

令和7年度
板橋区区民意識意向調査
報 告 書

令和7年9月



目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の実施方法	3
3. 回収結果	3
4. 調査項目	3
5. 地域区分	4
6. 本報告書を読むにあたって	5
第2章 調査結果	7
1. 属性	9
(1) 性別	9
(2) 年代	9
(3) 居住地域	9
(4) 国籍	9
(5) 職業	9
(6) 世帯構成	10
(7) 同居家族	10
(8) 住居形態	10
(9) 居住年数	10
(10) 直前の居住地	10
2. 区での住み心地	11
(1) 住みやすさ	11
(2) 定住意向	18
(2-1) 区内に住み続けたい理由	24
(2-2) 区外に移り住むとしたら住みたい地域	35
(2-3) 区外に移り住みたい理由	44
(2-4) 住みたい地域と区外に移り住みたい理由	54
(3) 板橋区に対する愛着	55
(3-1) 愛着を感じる理由	61
(4) 板橋区に対する誇り	71
(4-1) 誇りを感じる理由	77
3. 未来へつなぐまちづくり	87
(1) 少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うもの	87
(2) 子どもが区に対して意見を伝えやすい方法や手段	91
(3) 超高齢社会において重要だと思うもの	95
(4) 循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うもの	99

4. 板橋区のブランドに関する取組	101
(1) 区が取り組んでいるブランドの創造についての認知度	101
(2) 板橋区の「ブランド」になりうると考えるもの	104
(3) 「絵本のまち板橋」の推進	107
5. デジタル化に向けた取組	110
(1) デジタル化の進み具合	110
(2) 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うもの	112
(3) オンラインサービスを利用するうえで利便性向上のために必要なこと	115
6. 区の情報発信	117
(1) 区からの情報の伝わり具合	117
(2) 区からの情報が伝わっていないと思う主な理由	119
(3) 区の情報の入手方法	121
7. 今後力を入れるべき分野	123
(1) 板橋区発展のために力を入れるべき分野	123
8. 区の各政策分野	125
(1) 子育てのしやすさ	125
(2) 必要と感じる子育て施策	128
(3) 子どもたちのたくましく生きる力	131
(4) 直近1年間に学習したこと	133
(5) 今後どのようなことを学びたいか	136
(6) 1か月あたりに読む本の冊数	139
(7) 近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことの有無	140
(8) 地域住民同士の支え合い活動の中でできるもの	142
(9) 健康のために普段から行っていること	144
(10) 運動・スポーツの頻度	146
(11) 過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術	148
(12) 過去1年間における、異なる国籍や文化を持つ方とのコミュニケーション	150
(13) 平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについてどう思うか	152
(14) いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度	153
(15) 区内の身近な商店街に対する印象	160
(16) 自然環境・公園に対する満足度	163
(17) 環境のために現在取り組んでいること・今後取り組んでみたいこと	172
(18) 災害情報を収集するために確保している手段	174
(19) 災害に備えた家庭内での対策	176
(19-1) 飲料水・非常用食料の備蓄日数	178
(20) お住まいの地域の治安	179
(21) 「ユニバーサルデザイン」の認知度	180
(21-1) ユニバーサルデザインへの取組が進んでいるか	181
(22) 電車やバスの利用しやすさ	184
(23) 建築物等とまちなみとの調和	186

(24) 自転車に乗って出かけたいまちの実現に不足しているもの	188
9. 今後の行政サービスの負担のあり方	189
(1) 行政サービスと費用負担の関係	189
(2) 安定した行政サービスの提供に重要だと思うもの	191
(3) 今後の公共施設の在り方についての考え	193
10. 社会活動・地域活動等	195
(1) 社会活動・地域活動等への加入状況	195
(1-1) 地域で活動する団体・サークルに加入していない理由	200
(2) 地域の活動を活発にするために必要なこと	204
11. 板橋区職員に期待する能力・資質	205
(1) 最近1年間での職員と接する機会の有無	205
(1-1) 職員の対応に対する満足度	206
(1-2) 職員の能力・資質の現状評価	207
(2) 職員に求める姿	208
第3章 分析	209
1. 過去の調査との比較	211
(1) 区での住み心地	211
(2) 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野	213
2. 属性別にみた主な特徴	214
第4章 集計表	231
第5章 調査票	261

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

区民の住みやすさや定住意向、区への愛着・誇りのほか、区の施策に対する意識・意向などを広く把握し、「板橋区基本計画2025」を総括するとともに、「次期板橋区基本計画」策定に向けた基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査地域 板橋区全域
- (2) 調査対象 板橋区に居住する満18歳以上の区民
- (3) 調査対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から層化二段無作為抽出（板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平の5地域ごとの登録人口規模で3,000人を案分抽出）
- (5) 調査方法 郵送で調査票を配付し、インターネット上に設置した回答専用Webページの入力または郵送による返信
- (6) 調査期間 令和7年4月25日（金）～5月16日（金）
- (7) 調査実施機関 株式会社都市計画21

3. 回収結果

配付数	有効回収数		有効回収率
3,000	インターネット	605 (47.5%)	20.2%
	郵 送	670 (52.5%)	22.3%
	計	1,275 (100.0%)	42.5%

※前回（令和5年9月）調査（郵送・インターネット）
有効回収率39.3%

4. 調査項目

- (1) 属性
- (2) 区での住み心地
- (3) 「未来へつなぐまちづくり」について
- (4) 「板橋区のブランドに関する取組」について
- (5) 「デジタル化に向けた取組」について
- (6) 「区の情報・魅力発信」について
- (7) 「今後力を入れるべき分野」について
- (8) 「区の各政策分野」について
- (9) 「今後の行政サービスと負担のあり方」について
- (10) 「社会活動・地域活動等」について
- (11) 「板橋区職員に期待する能力・資格」について

5. 地域区分

地域名	対象地域
①板橋地域	板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見地域センター管内
②常盤台地域	大谷口・常盤台・桜川地域センター管内
③志村地域	清水・志村坂上・中台・前野地域センター管内
④赤塚地域	下赤塚・成増・徳丸地域センター管内
⑤高島平地域	蓮根・舟渡・高島平地域センター管内



6. 本報告書を読むにあたって

- (1) 図表中のnとは、回答者総数（または該当質問での該当者数）のことです。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入してあります。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によって語句を短縮・簡略化しています。
- (5) 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめています。
- (6) 本文記載以外のクロス集計表等については、板橋区公式ホームページの「オープンデータ」に掲載します。
- (7) 標本誤差

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを言います。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、その誤差を数学的に計算することが可能です。

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（P）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

$\left\{ \begin{array}{l} N = \text{母集団数（板橋区の満18歳以上の人口）} \\ n = \text{比率算出の基数（回答者数）} \\ P = \text{回答の比率（\%）} \end{array} \right.$

今回の調査結果の標本誤差は以下のようにになっています。

回答比率(P) n	10%又は 90%程度	20%又は 80%程度	30%又は 70%程度	40%又は 60%程度	50%程度
1,275	± 1.68	± 2.24	± 2.56	± 2.74	± 2.80
1,000	± 1.90	± 2.53	± 2.90	± 3.10	± 3.16
700	± 2.27	± 3.02	± 3.46	± 3.70	± 3.78
500	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.47
300	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77

※この表の計算式の信頼度は95%です。

●この表の見方

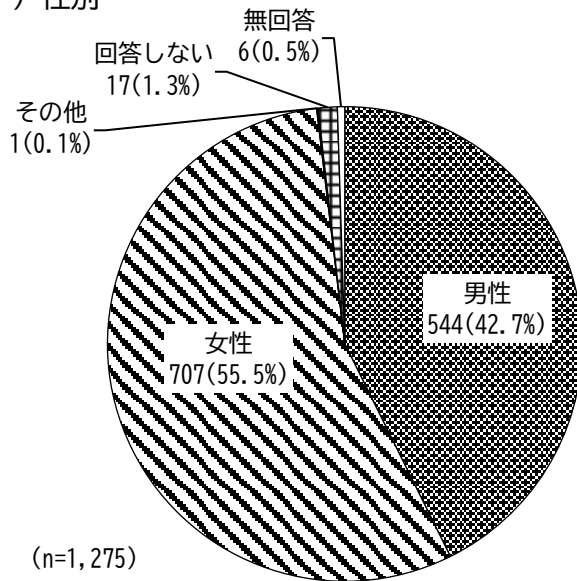
ある設問の回答者数が1,275人で、ある選択肢の回答した割合が50%であった場合、「その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.80以内（47.20%～52.80%）である」とみることができます。ただし、この表の計算式の信頼度は95%なので、この推定は95%の確率で正しいこととなります。（5%の確率で、47.20%～52.80%の範囲を超える）

つまり、上記の選択肢を回答する割合は、100回同じ調査をした場合、95回の確率で「47.20%～52.80%（50.0%±2.80%）」内となると言えます。

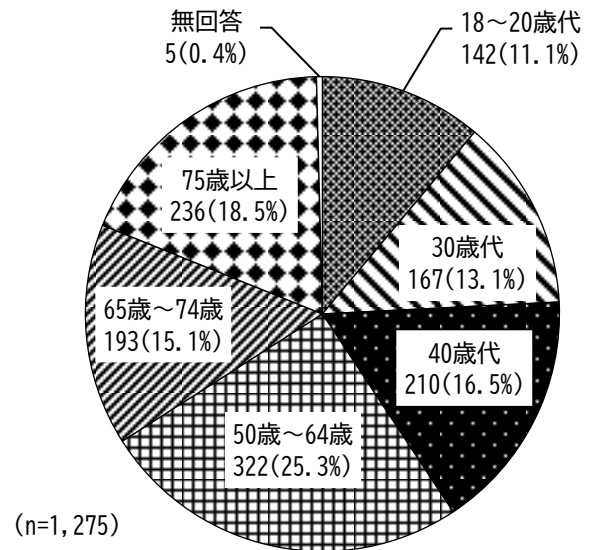
第2章 調査結果

1. 属性

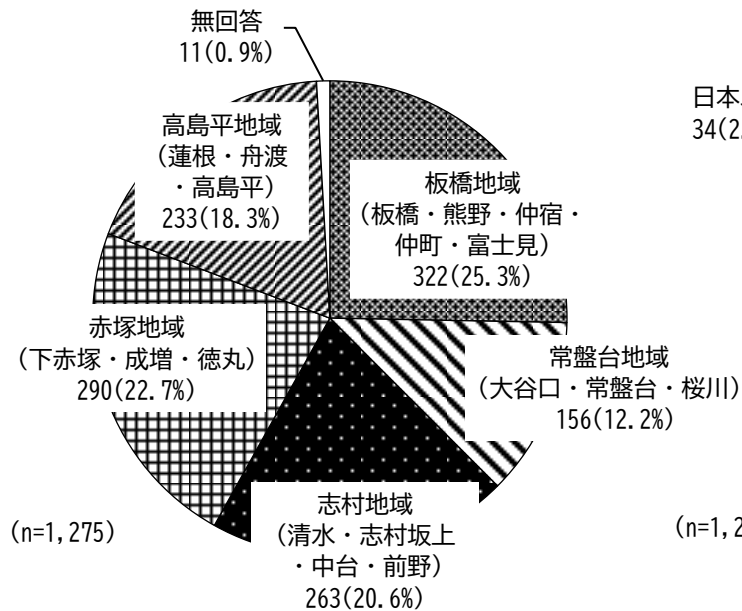
(1) 性別



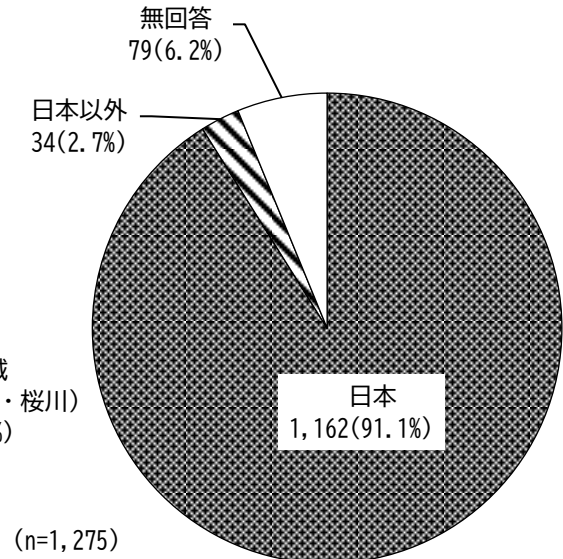
(2) 年代



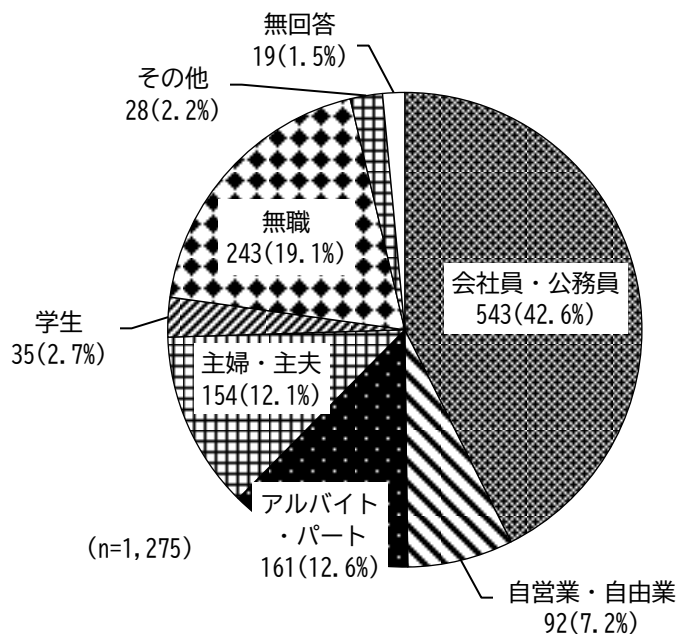
(3) 居住地域



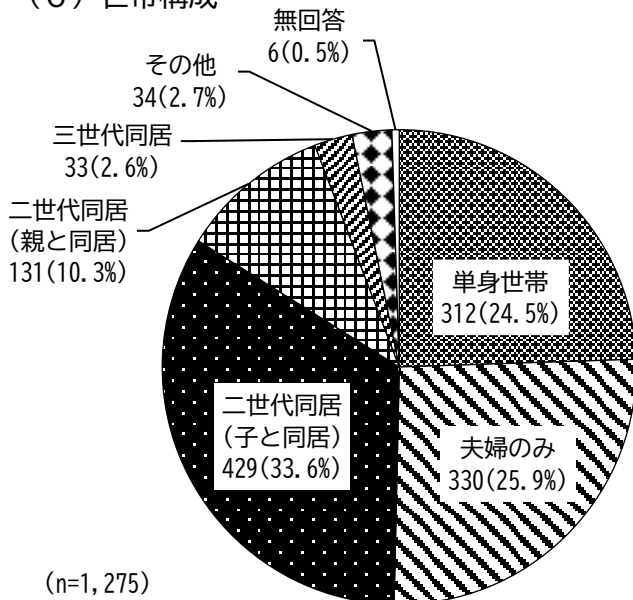
(4) 国籍



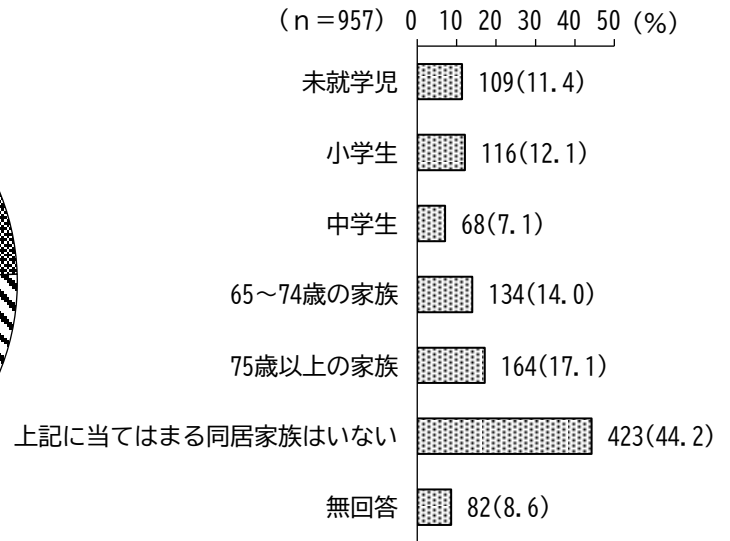
(5) 職業



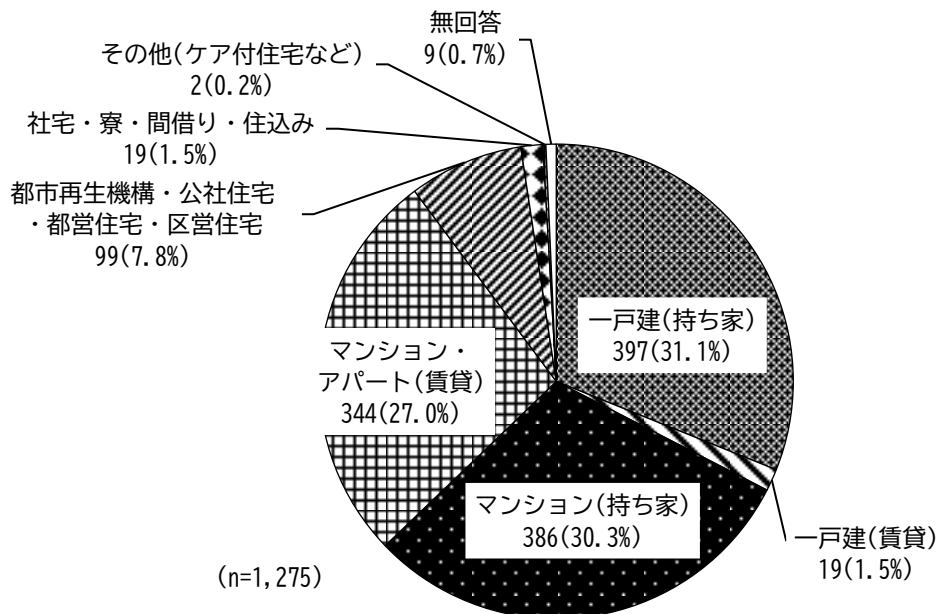
(6) 世帯構成



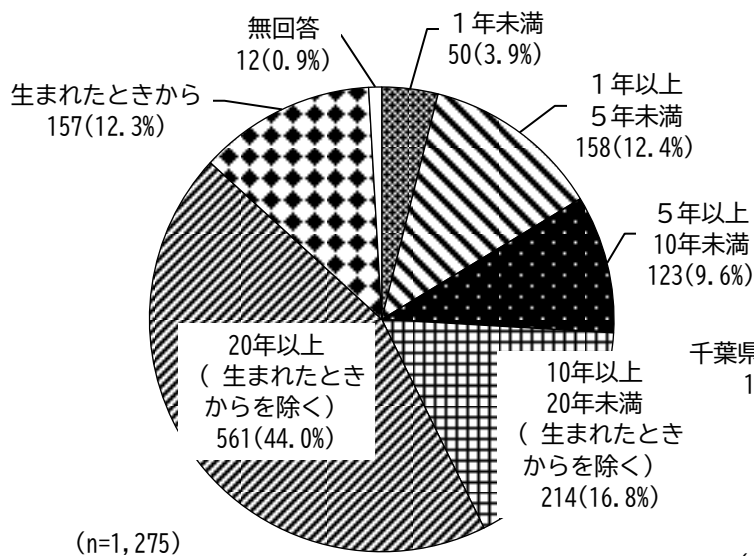
(7) 同居家族 (複数回答可)



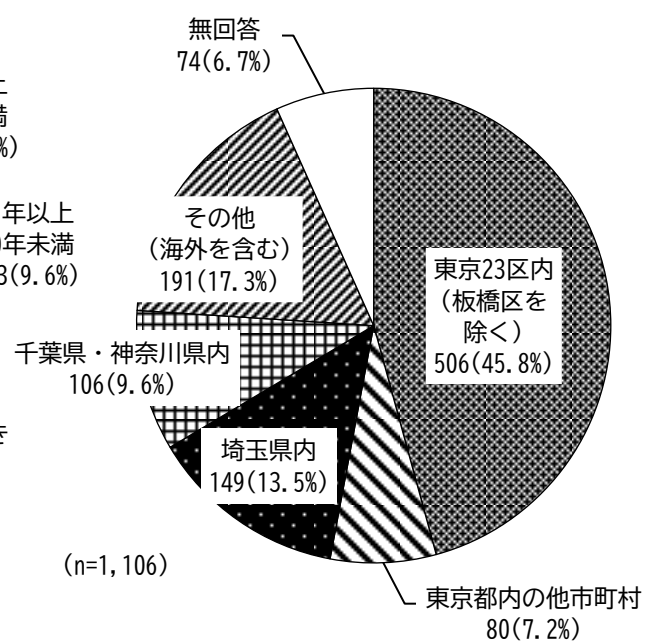
(8) 住居形態



(9) 居住年数



(10) 直前の居住地



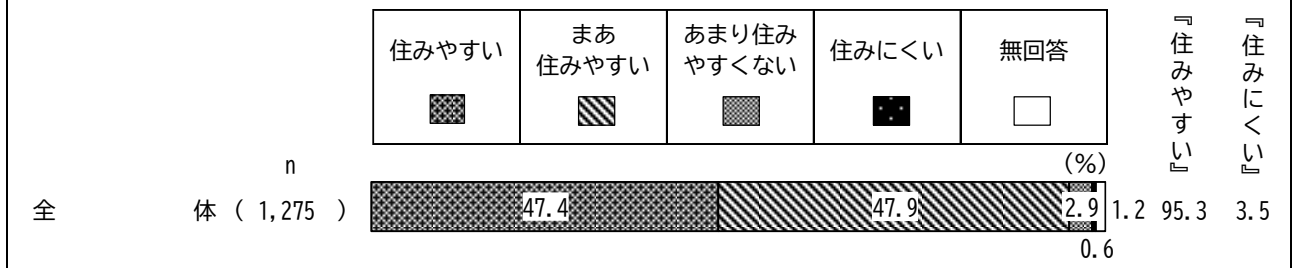
2. 区での住み心地

(1) 住みやすさ

◇『住みやすい』が9割半ば

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。(○は1つ)

図2-1-1

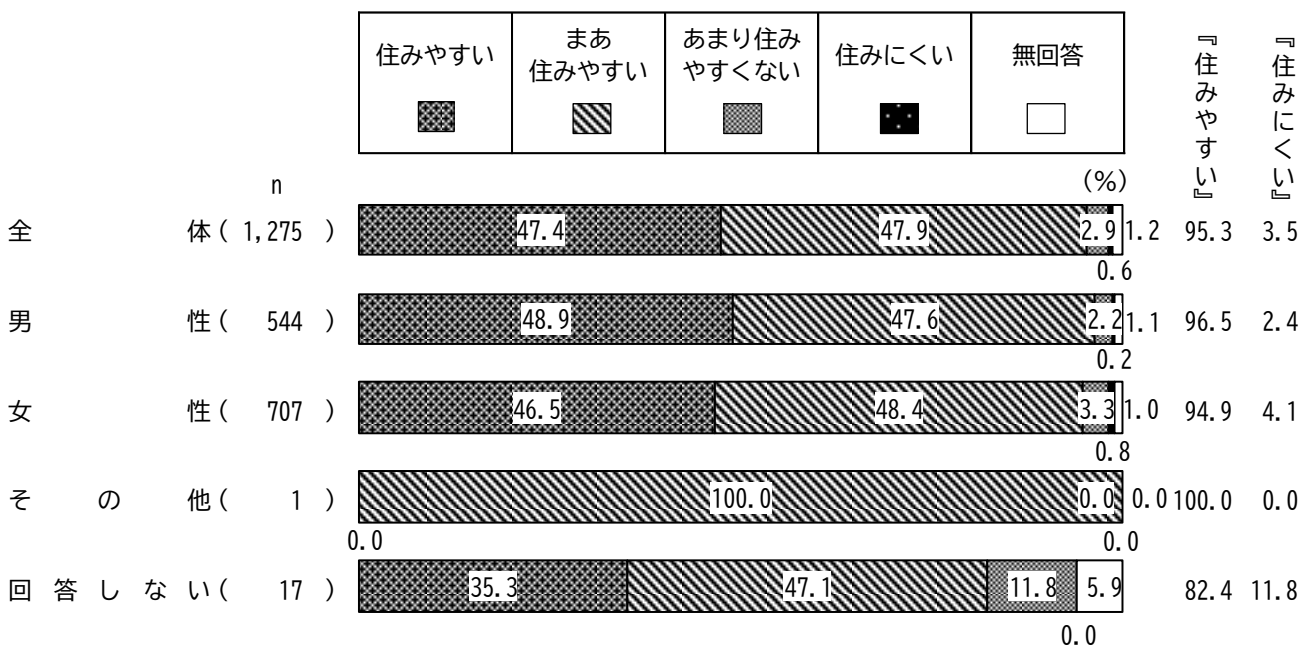


板橋区の住みやすさを聞いたところ、「住みやすい」(47.4%)が5割近く、これに「まあ住みやすい」(47.9%)を合わせた『住みやすい』(95.3%)は9割半ばとなっています。一方、「あまり住みやすくない」(2.9%)と「住みにくい」(0.6%)を合わせた『住みにくい』(3.5%)はわずかとなっています。(図2-1-1)

① 性別

性別でみると、「住みやすい」は男性(48.9%)、女性(46.5%)で4割台となっています。
(図2-1-2)

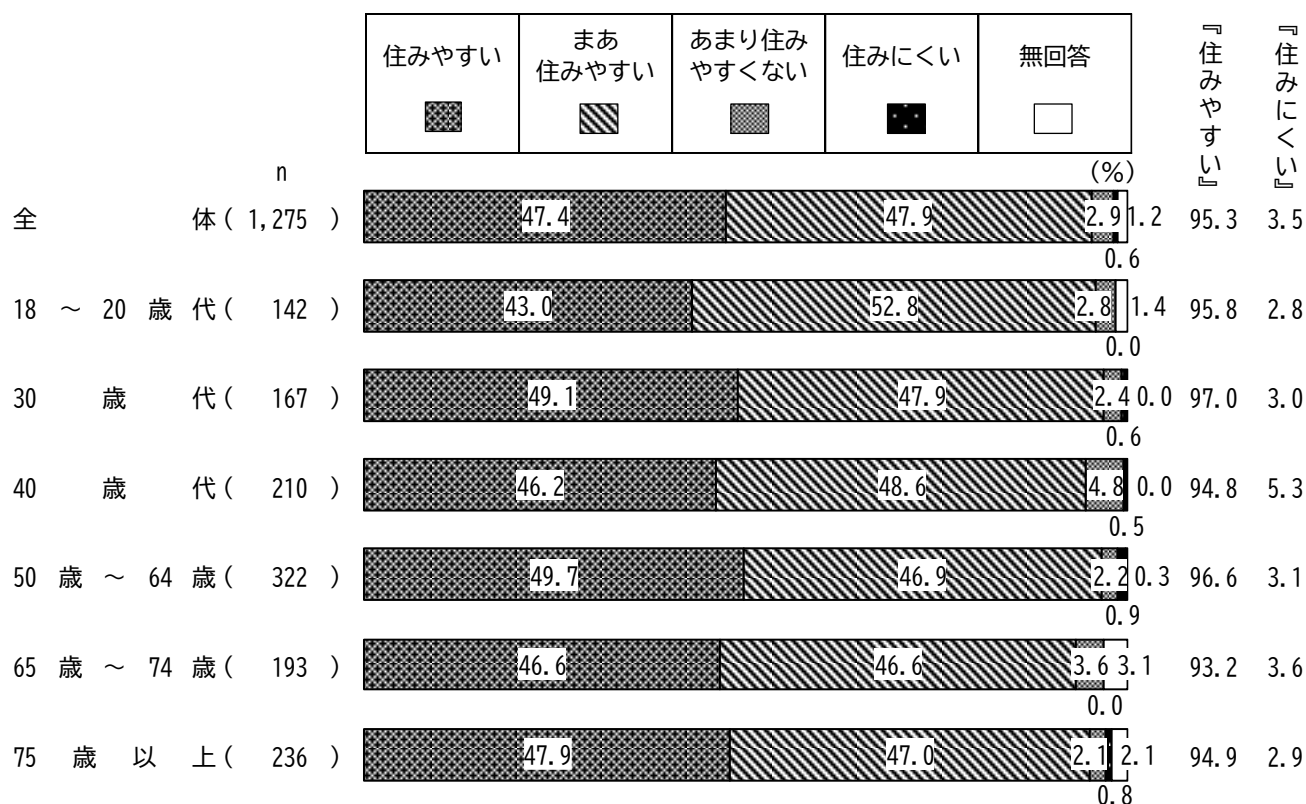
図2-1-2 住みやすさ(性別)



② 年代別

年代別でみると、「住みやすい」は30歳代（49.1%）、50歳～64歳（49.7%）で約5割となっています。また、『住みやすい』はすべての年代で9割台となっています。（図2-1-3）

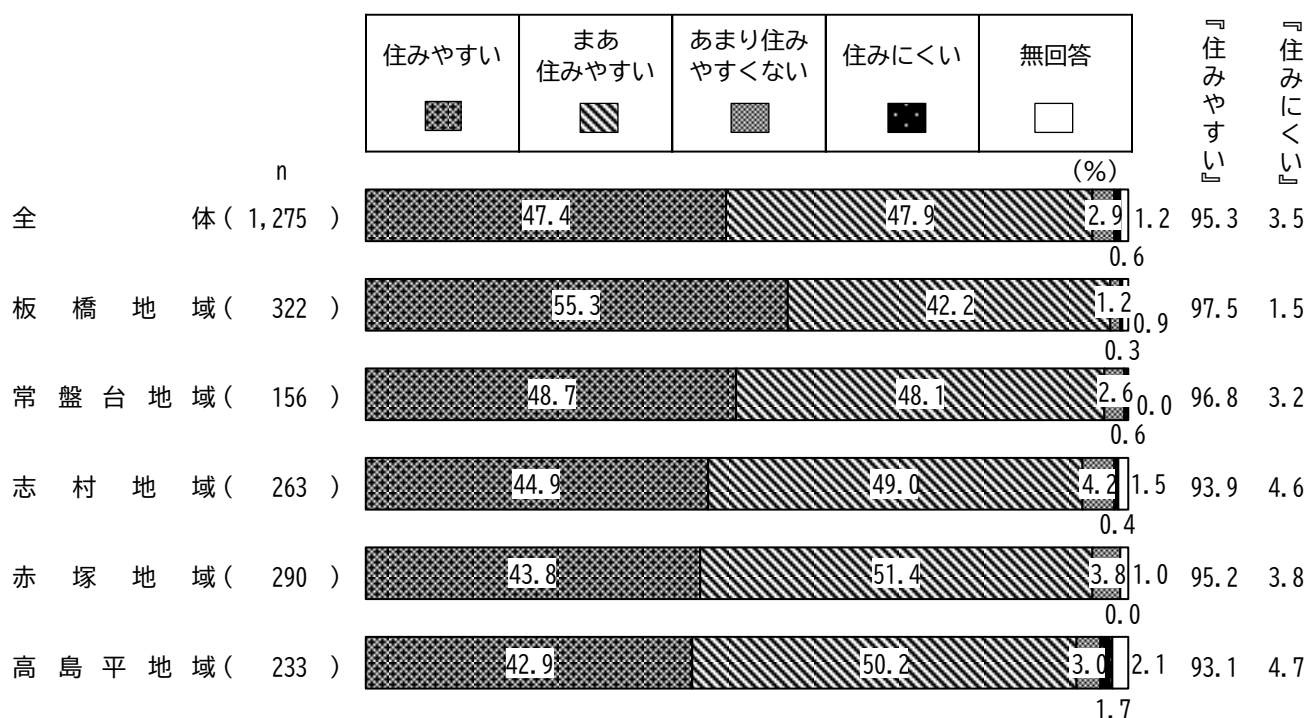
図2-1-3 住みやすさ（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「住みやすい」は板橋地域（55.3%）で5割半ばとなっています。また、『住みやすい』はすべての地域で9割台となっています。（図2-1-4）

図2-1-4 住みやすさ（地域別）

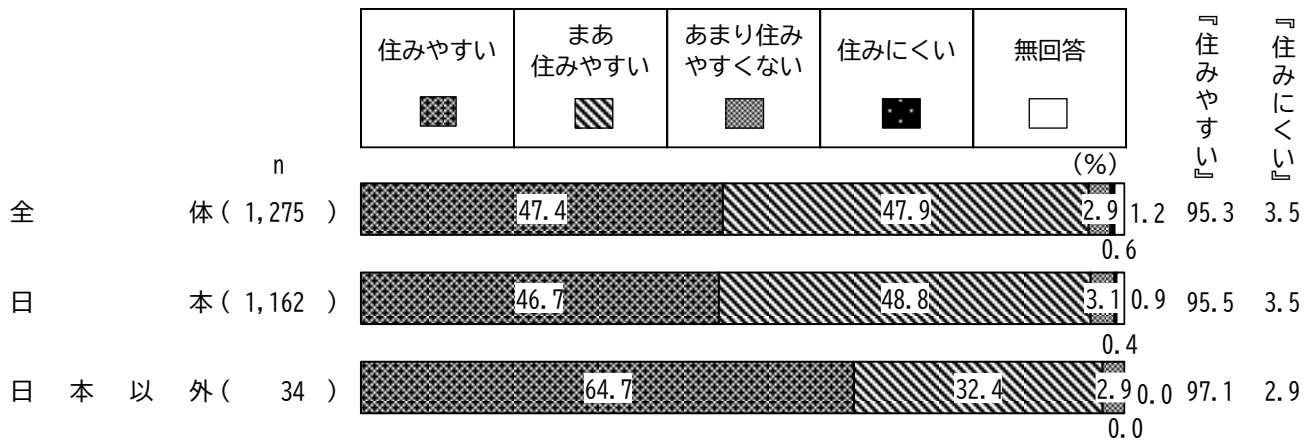


④ 国籍別

国籍別でみると、『住みやすい』は日本以外（97.1%）で10割近くとなっています。

（図2-1-5）

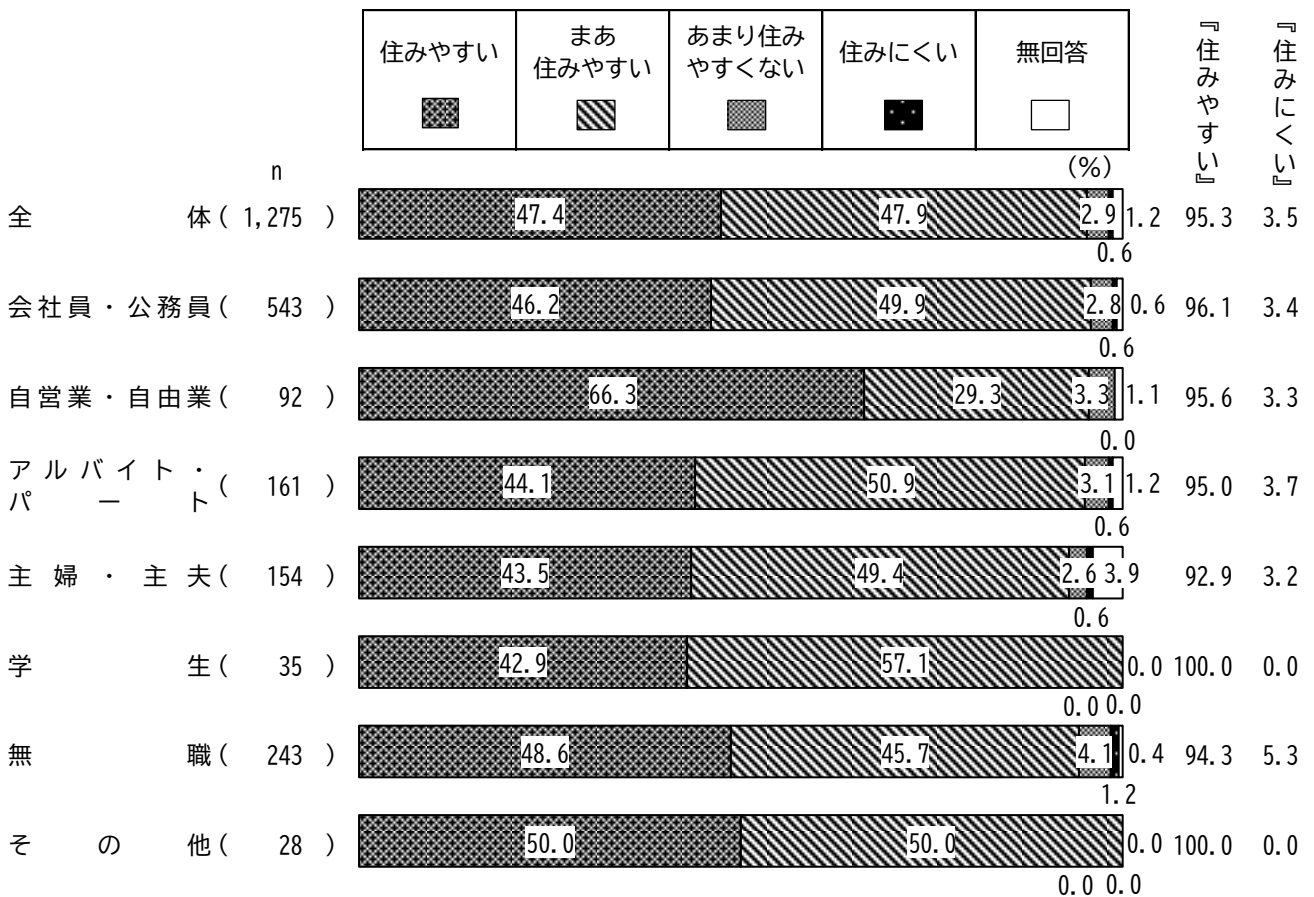
図2-1-5 住みやすさ（国籍別）



⑤ 職業別

職業別でみると、「住みやすい」は自営業・自由業（66.3%）で6割半ばとなっています。また、『住みやすい』は学生（100.0%）、その他（100.0%）で10割となっており、それらを除いたすべての職業で9割台となっています。（図2-1-6）

図2-1-6 住みやすさ（職業別）

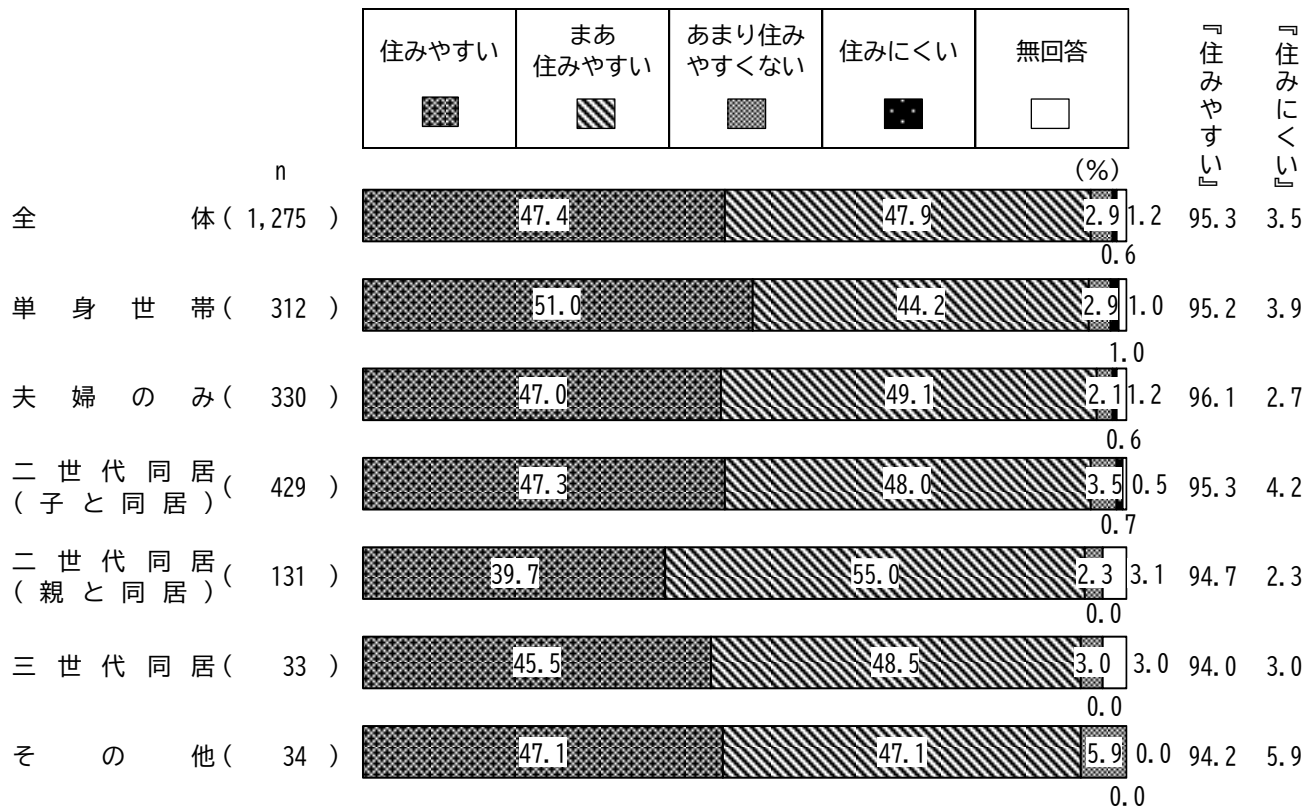


⑥ 世帯構成別

世帯構成別でみると、『住みやすい』はすべての世帯構成で9割台となっています。

(図2-1-7)

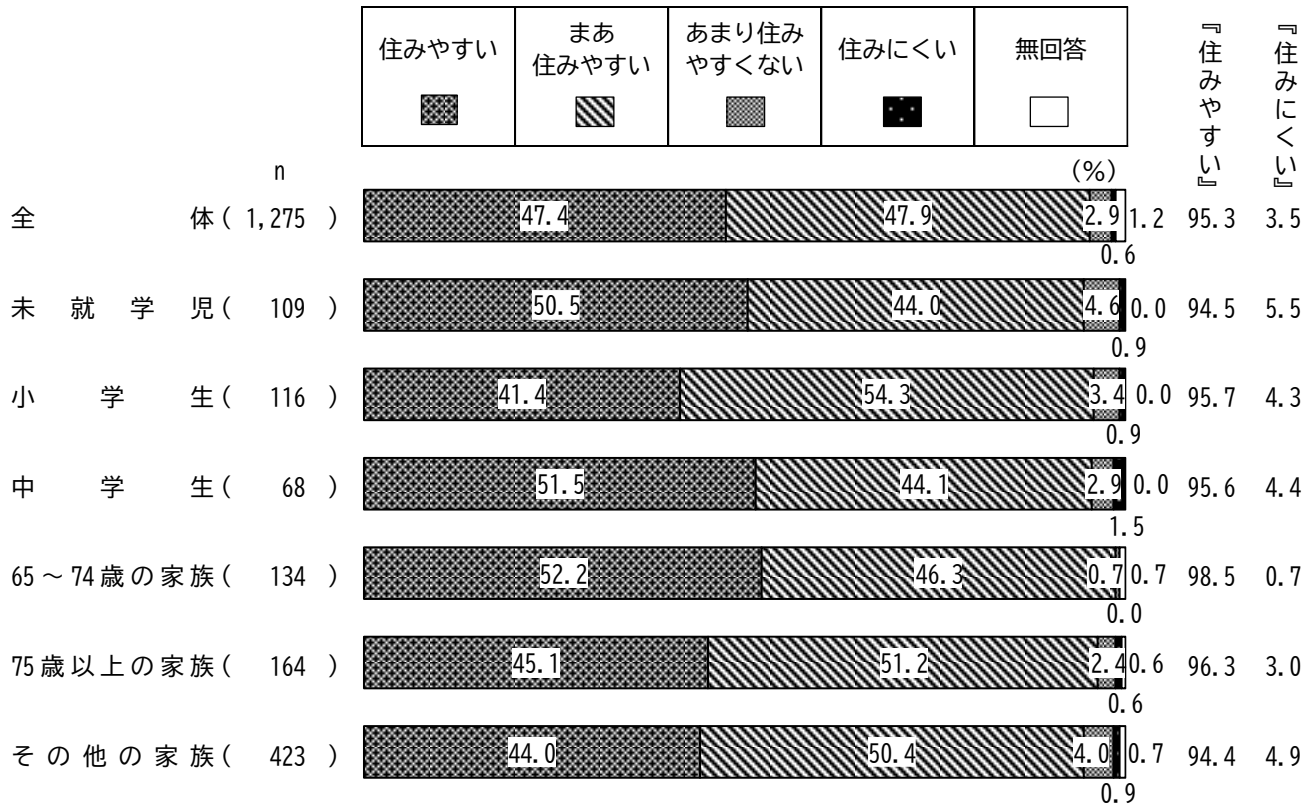
図2-1-7 住みやすさ(世帯構成別)



⑦ 同居家族別

同居家族別でみると、「住みやすい」は未就学児（50.5%）、中学生（51.5%）、65～74歳の家族（52.2%）と同居している方で5割を超えています。また、『住みやすい』はすべての同居家族で9割台となっています。（図2－1－8）

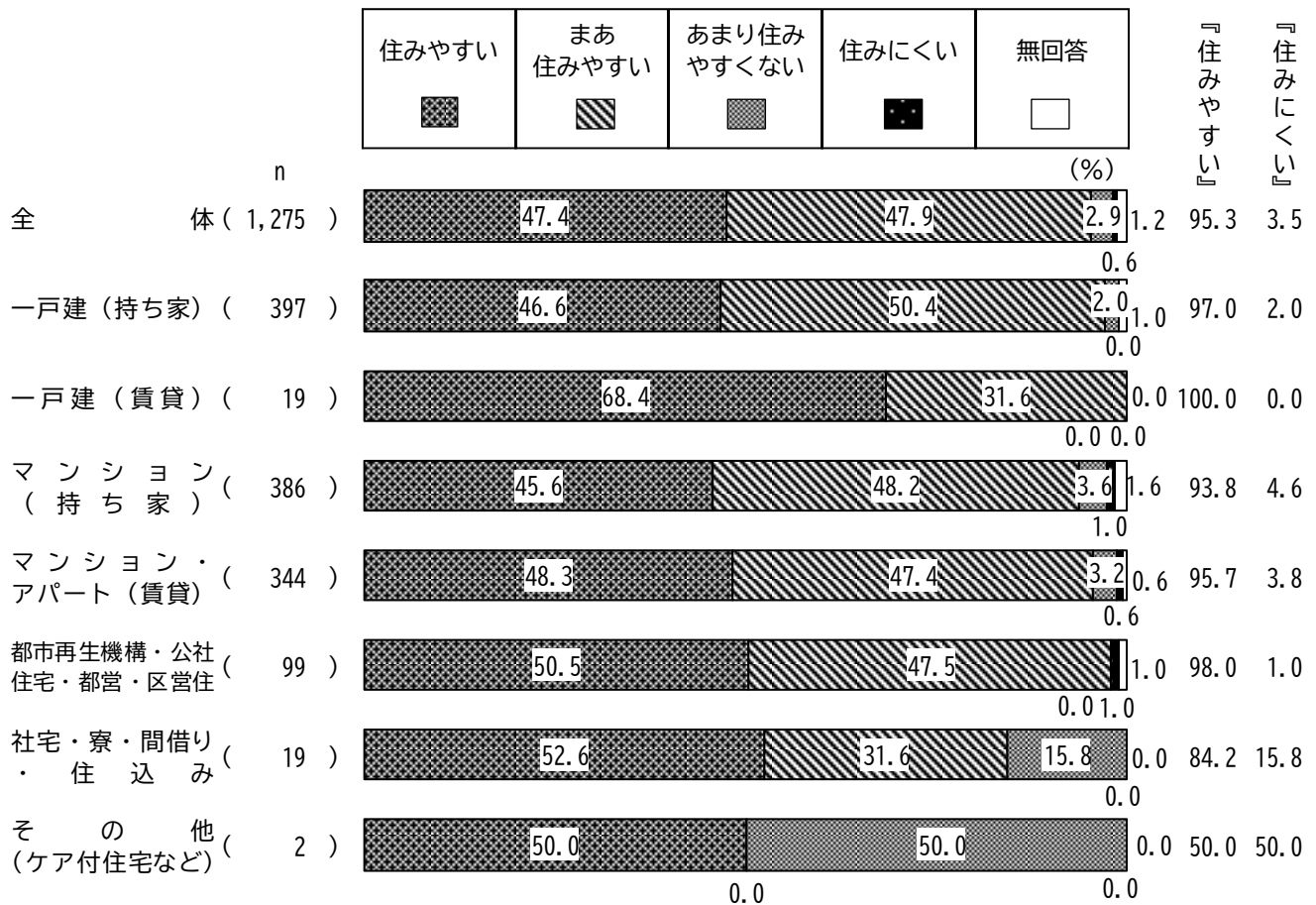
図2－1－8 住みやすさ（同居家族別）



⑧ 住居形態別

住居形態別でみると、「住みやすい」は一戸建（賃貸）（68.4％）で7割近くとなっています。また、『住みやすい』は一戸建（賃貸）（100.0％）で10割となっている一方、社宅・寮・間借り・住込み（84.2％）は8割半ばにとどまっています。（図2－1－9）

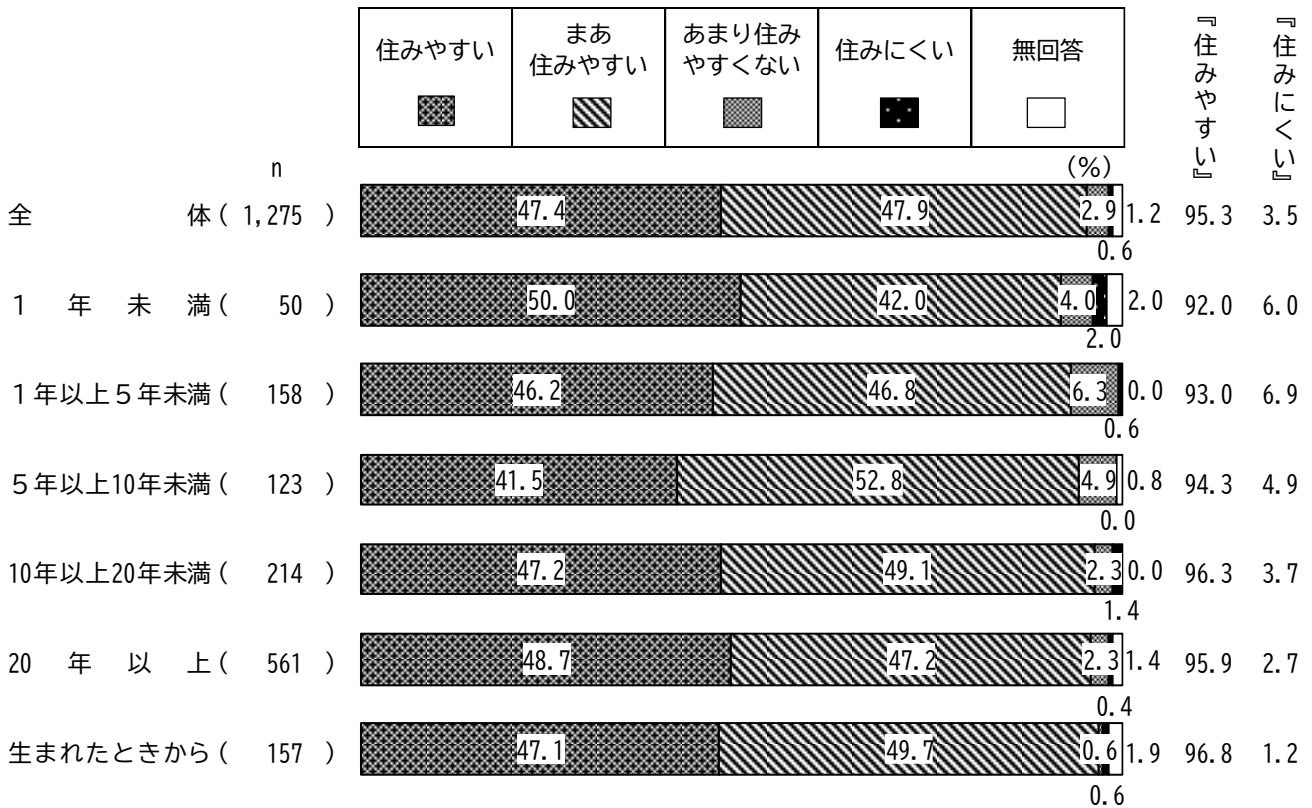
図2－1－9 住みやすさ（住居形態別）



⑨ 居住年数別

居住年数別でみると、「住みやすい」は1年未満（50.0%）で5割となっています。また、『住みやすい』はすべての居住年数で9割台となっています。（図2-1-10）

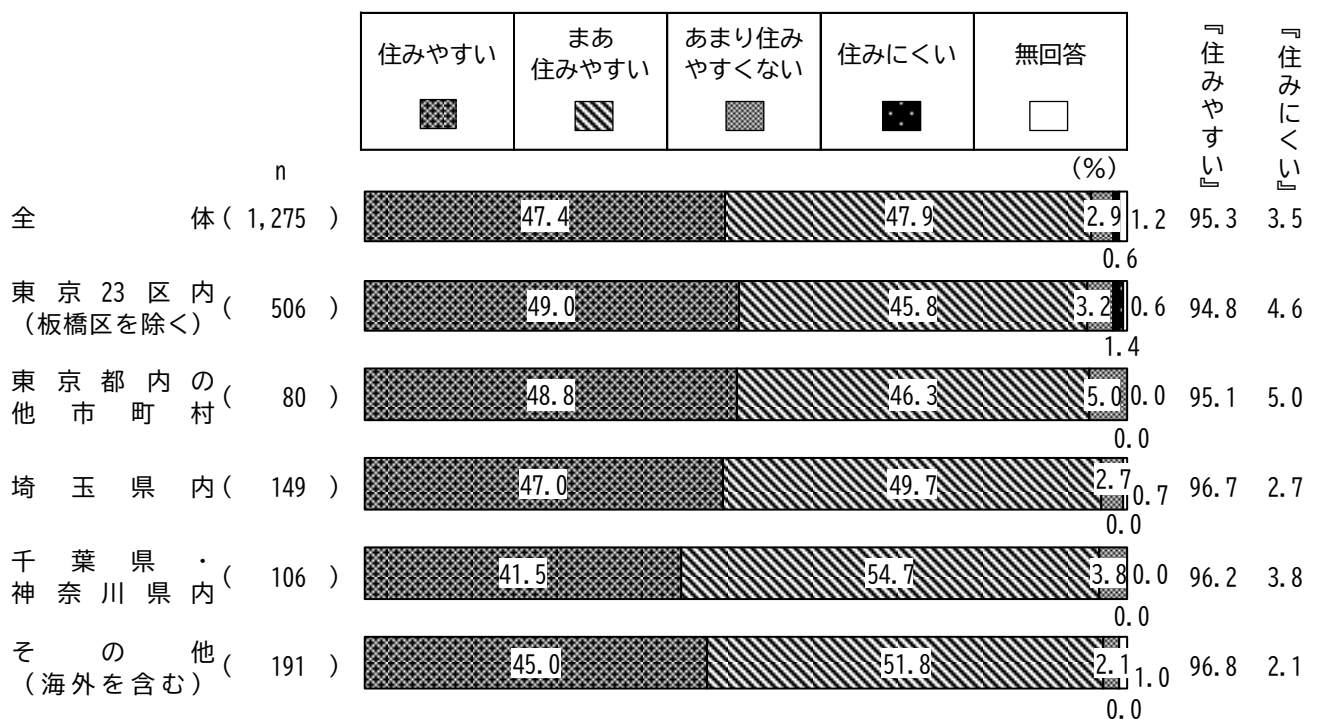
図2-1-10 住みやすさ（居住年数別）



⑩ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、『住みやすい』はすべての直前の居住地で9割台となっています。（図2-1-11）

図2-1-11 住みやすさ（直前の居住地別）

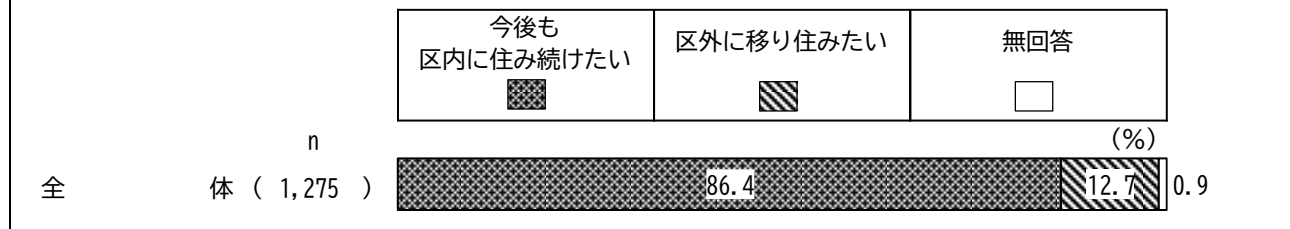


(2) 定住意向

◇「今後も区内に住み続けたい」が8割半ば

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。(○は1つ)

図2-2-1

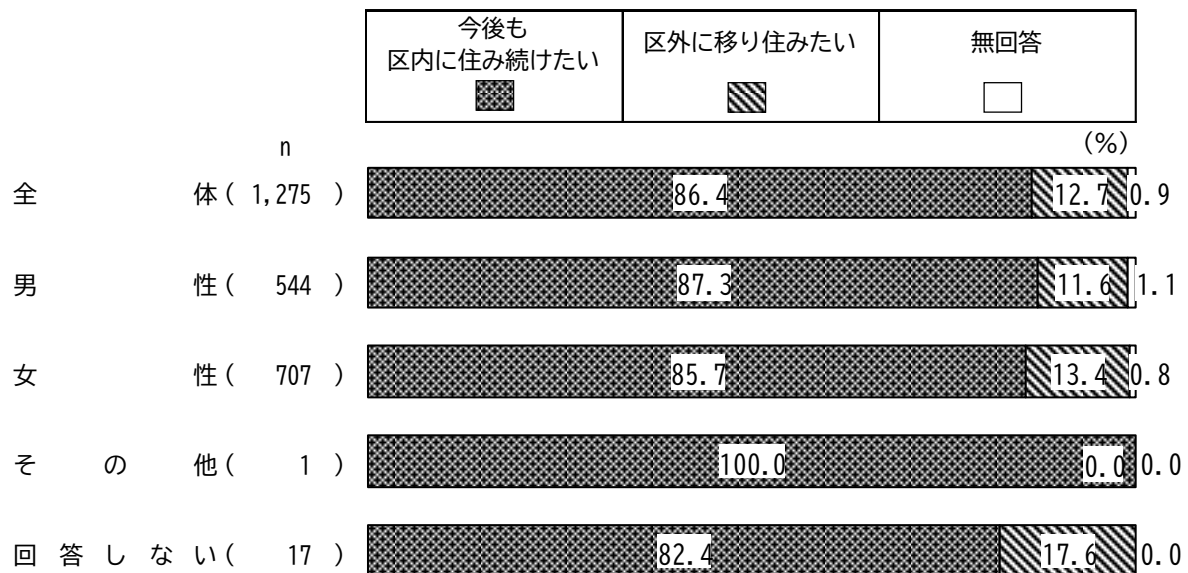


板橋区に住み続けたいか聞いたところ、「今後も区内に住み続けたい」(86.4%)が8割半ば、「区外に移り住みたい」(12.7%)が1割を超えています。(図2-2-1)

① 性別

性別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は男性(87.3%)、女性(85.7%)で8割台となっています。(図2-2-2)

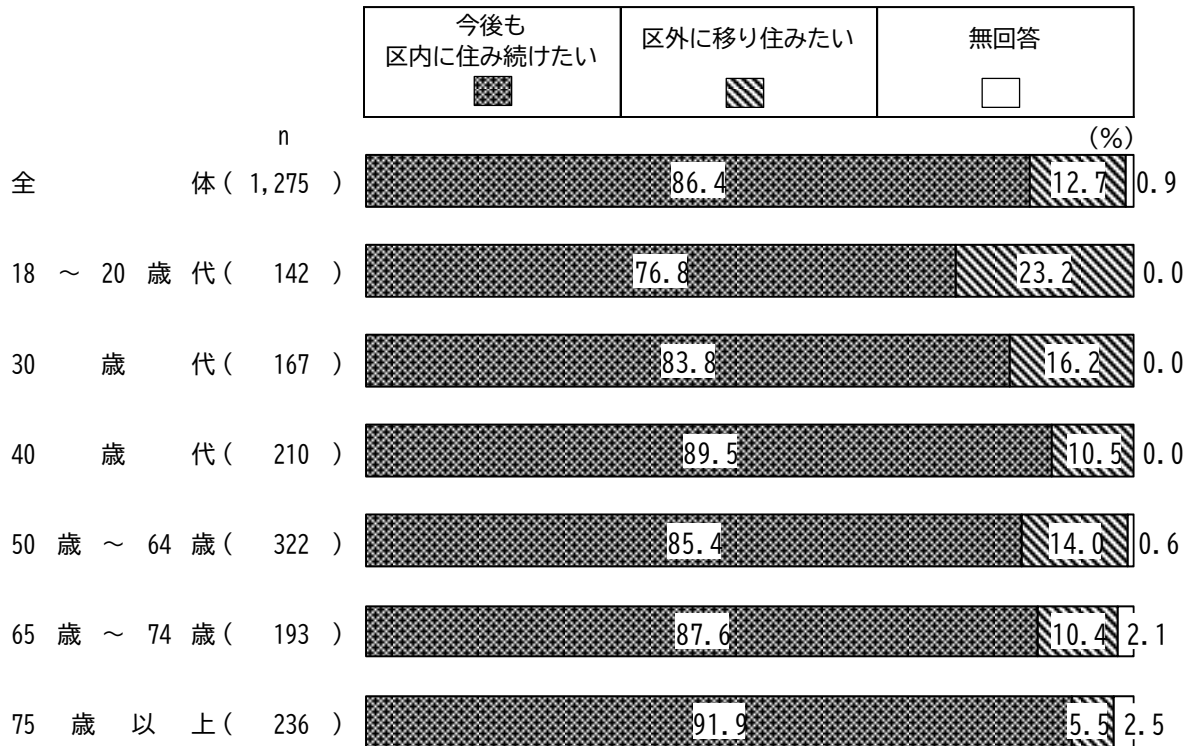
図2-2-2 定住意向(性別)



② 年代別

年代別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は75歳以上（91.9%）で9割を超えています。「区外に移り住みたい」は18～20歳代（23.2%）は2割を超えています。（図2-2-3）

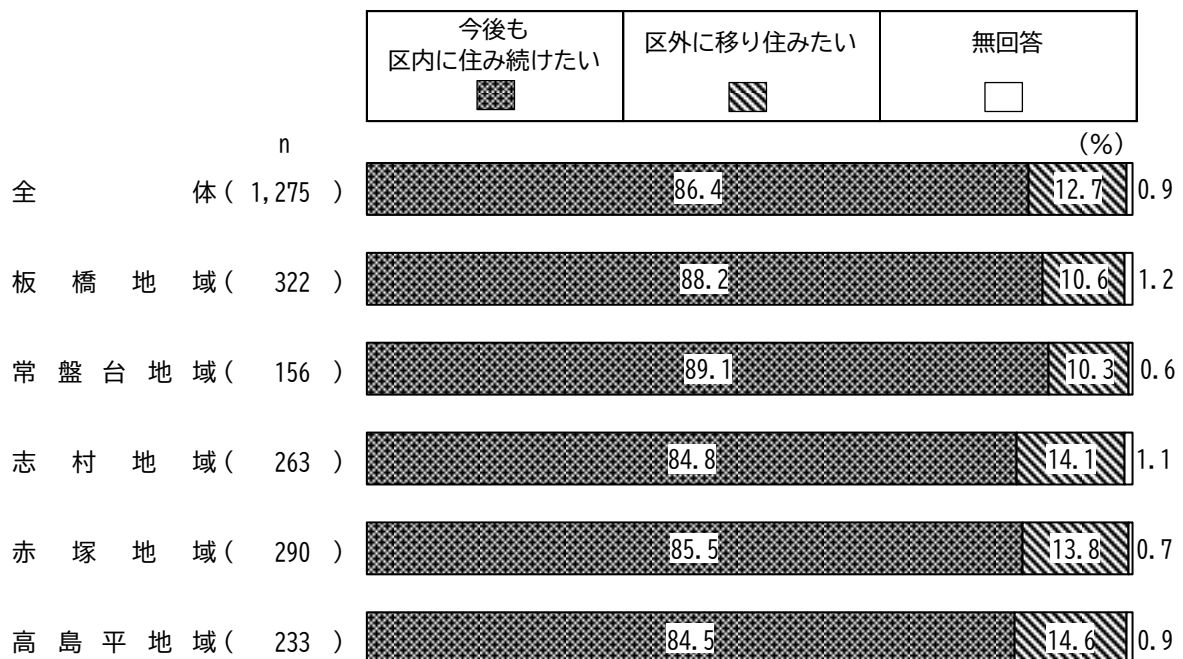
図2-2-3 定住意向（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はすべての地域で8割台となっています。（図2-2-4）

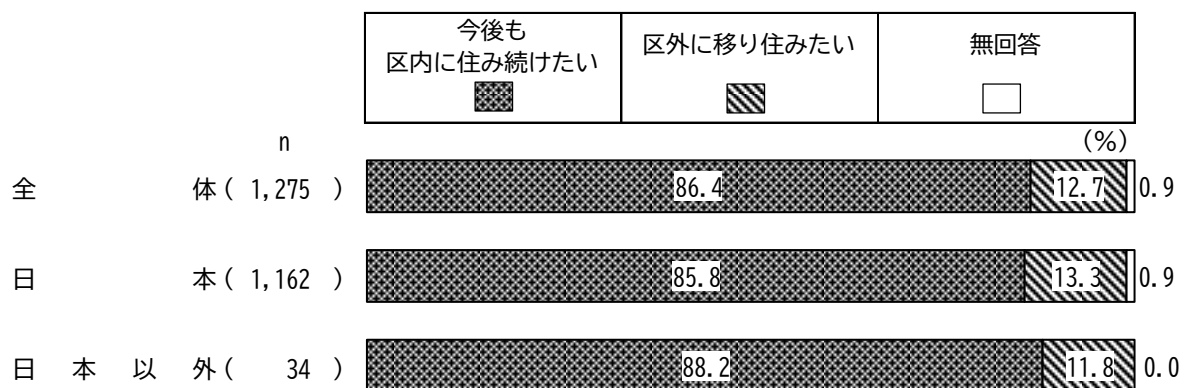
図2-2-4 定住意向（地域別）



④ 国籍別

国籍別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は日本以外（88.2%）で9割近くとなっています。（図2-2-5）

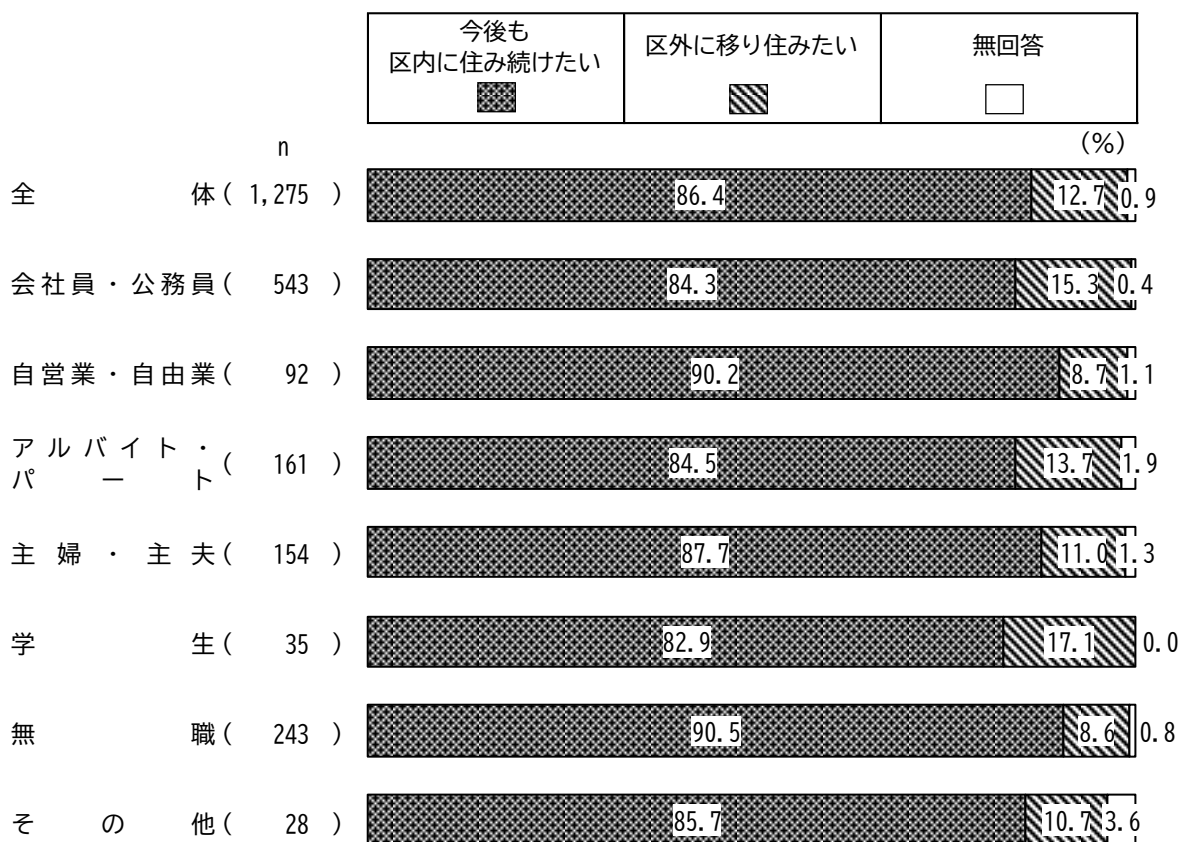
図2-2-5 定住意向（国籍別）



⑤ 職業別

職業別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は無職（90.5%）で約9割となっています。一方、「区外に移り住みたい」は学生（17.1%）で2割近くとなっています。（図2-2-6）

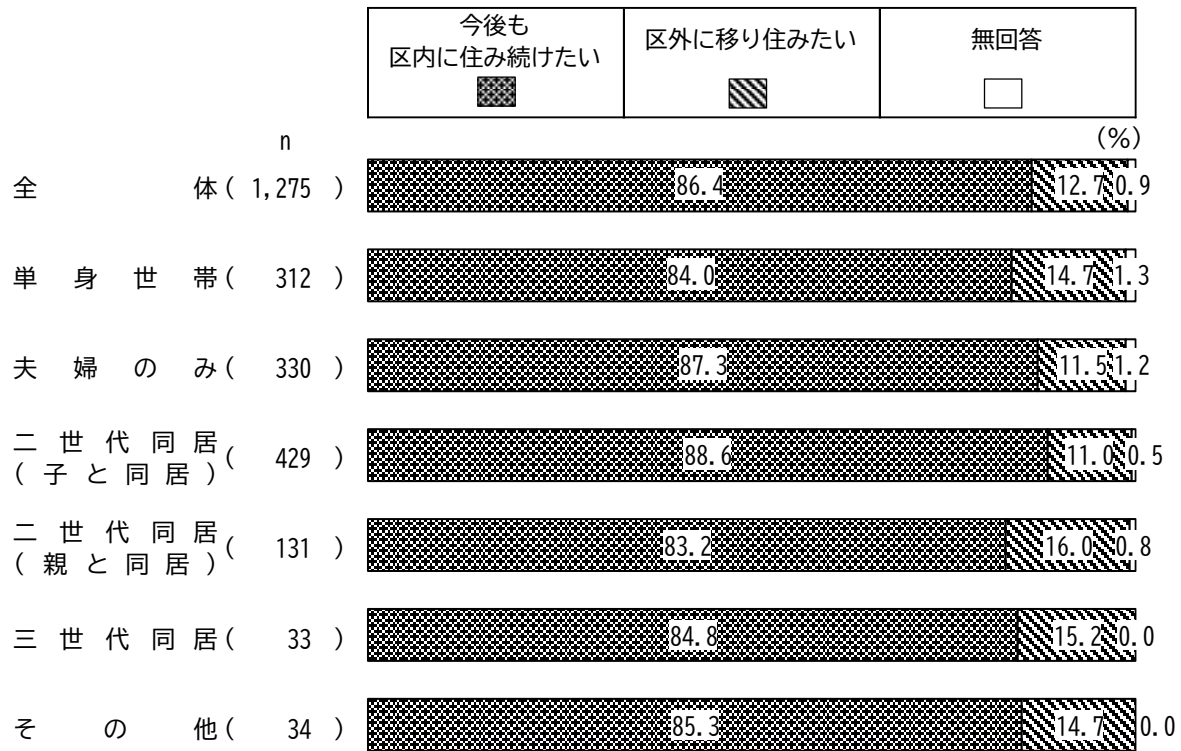
図2-2-6 定住意向（職業別）



⑥ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「今後も区内に住み続けたい」はすべての世帯構成で8割台となっています。(図2-2-7)

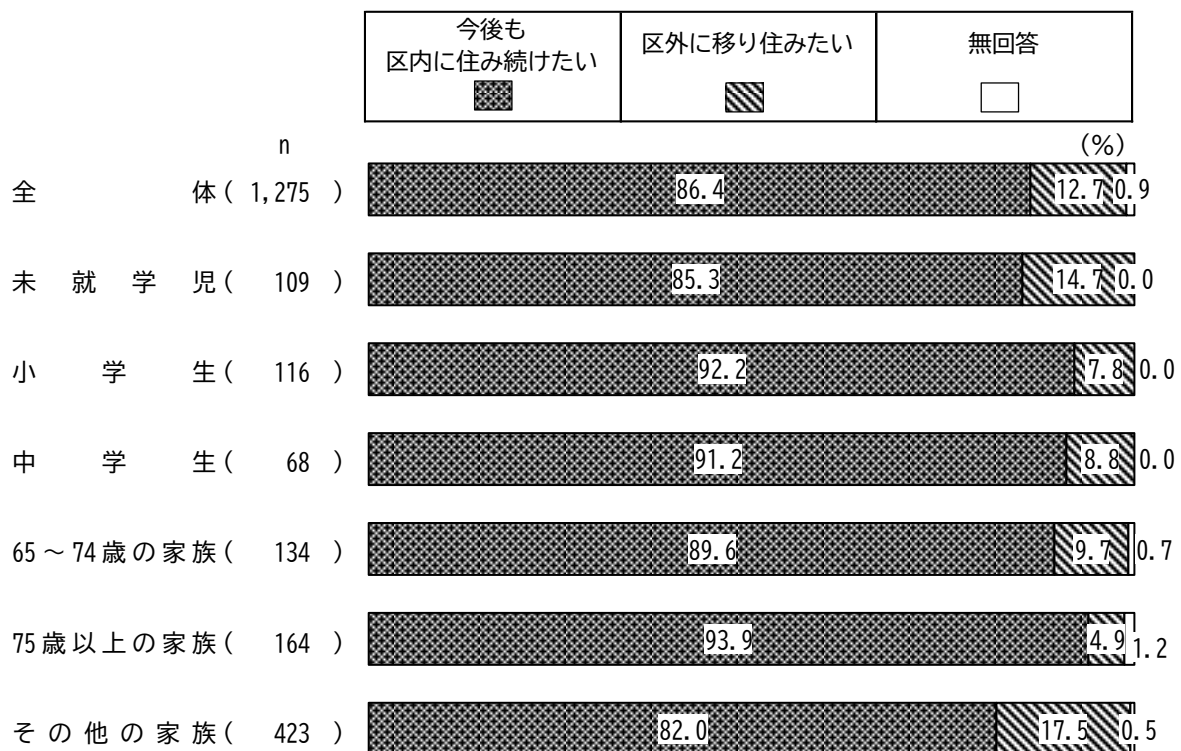
図2-2-7 定住意向(世帯構成別)



⑦ 同居家族別

同居家族別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は小学生(92.2%)、中学生(91.2%)、75歳以上の家族(93.9%)と同居している方で9割を超えています。(図2-2-8)

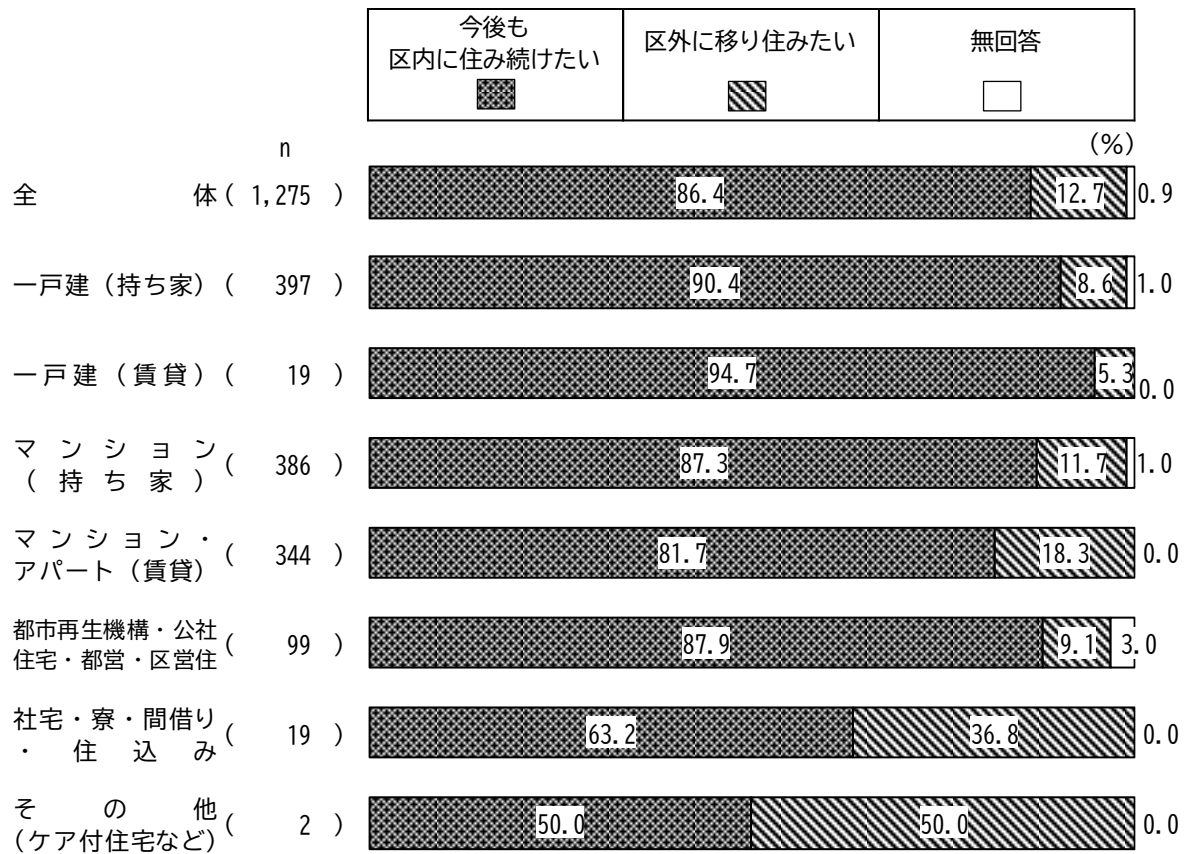
図2-2-8 定住意向(同居家族別)



⑧ 住居形態別

住居形態別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は一戸建（賃貸）（94.7%）で9割半ばとなっている一方、社宅・寮・間借り・住込み（63.2%）は6割を超えるにとどまっており、「区外に移り住みたい」は社宅・寮・間借り・住込み（36.8%）で3割半ばとなっています。（図2-2-9）

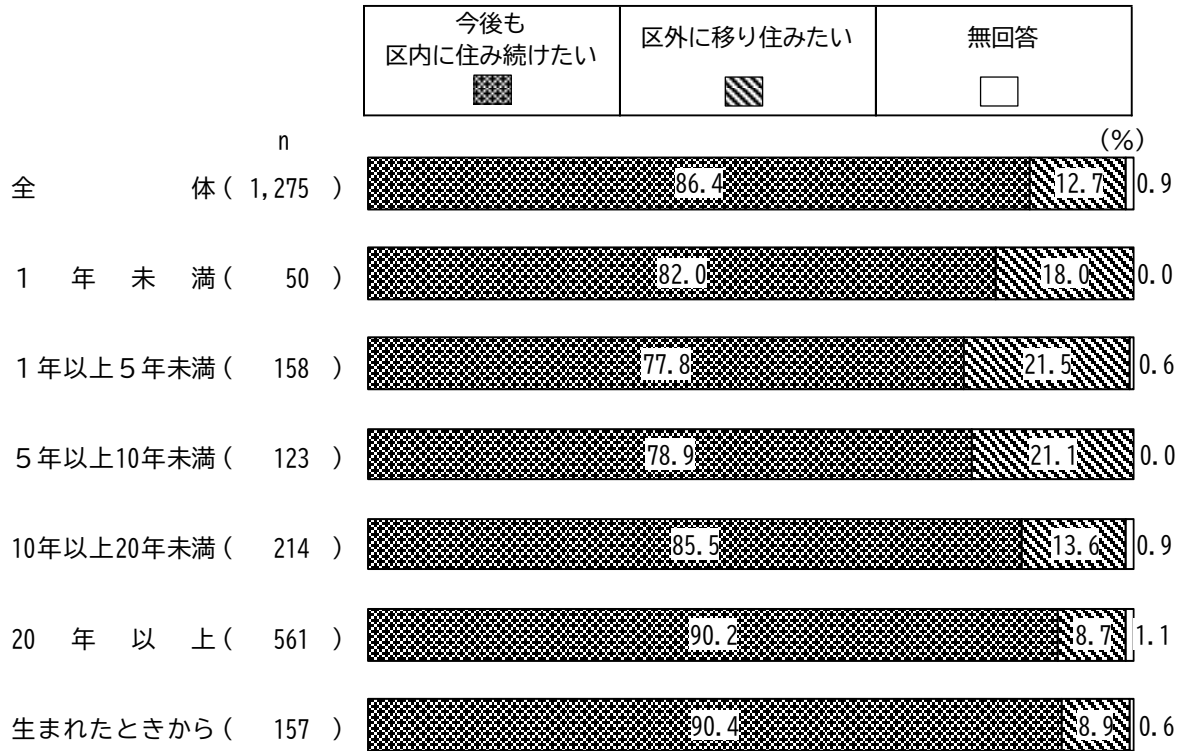
図2-2-9 定住意向（住居形態別）



⑨ 居住年数別

居住年数別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は20年以上（90.2%）、生まれたときから（90.4%）で9割となっています。一方、「区外に移り住みたい」は1年以上5年未満（21.5%）、5年以上10年未満（21.1%）で2割を超えています。（図2-2-10）

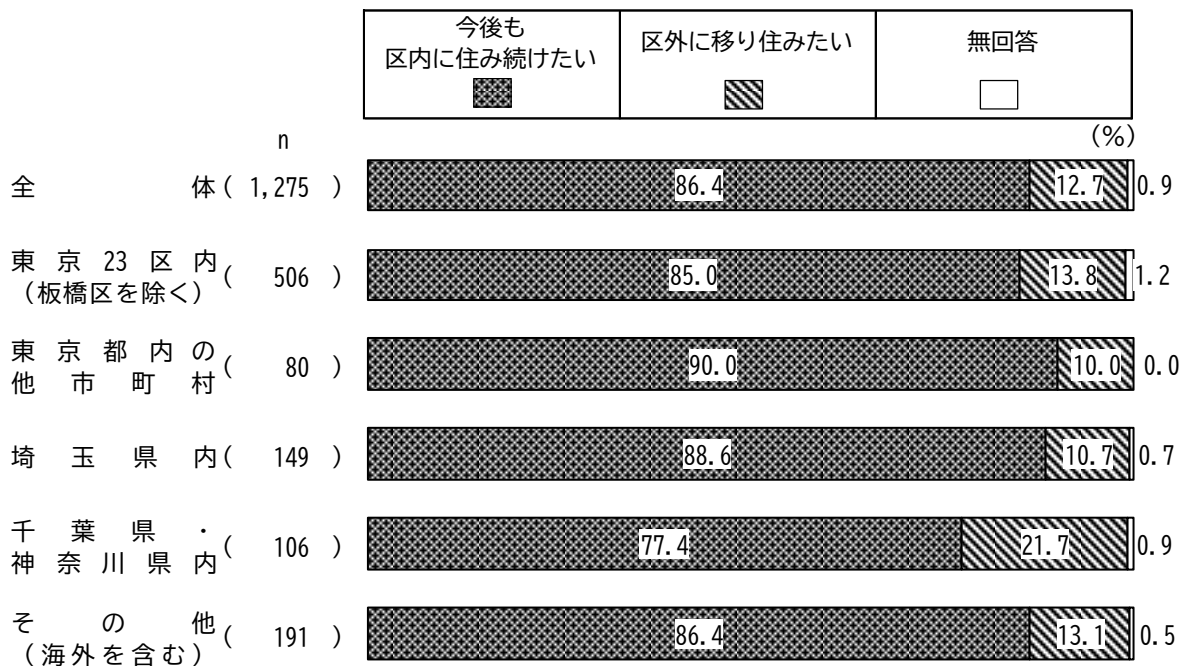
図2-2-10 定住意向（居住年数別）



⑩ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、「今後も区内に住み続けたい」は東京都内の他市町村（90.0%）で9割となっています。（図2-2-11）

図2-2-11 定住意向（直前の居住地別）



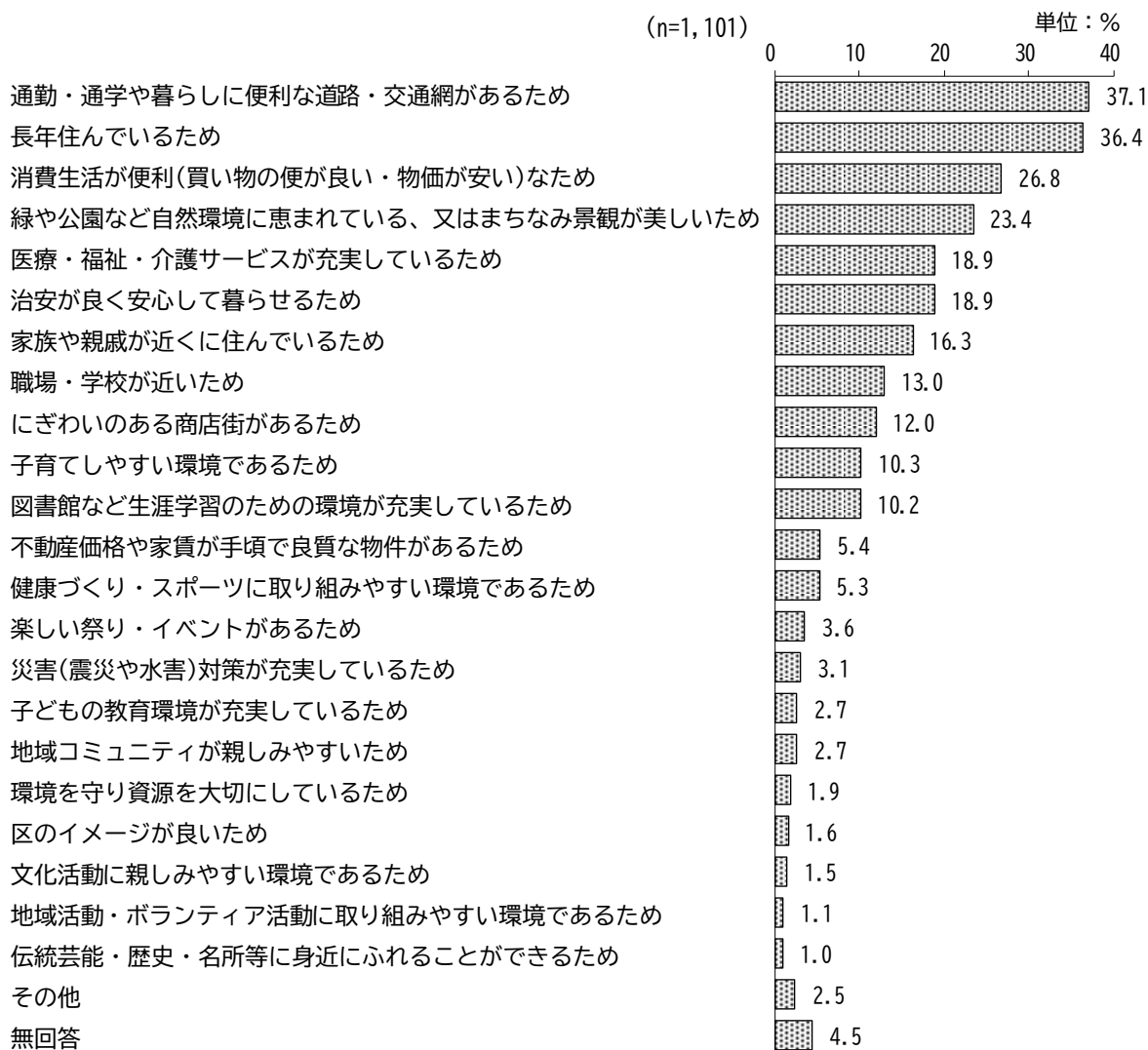
(2-1) 区内に住み続けたい理由

◇「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が4割近く

(問3で「今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ)

問3-1 そう思った主な理由は何ですか。(○は3つ)

図2-2-12



問3で、「今後も区内に住み続けたい」と答えた人(1,101人)にその理由を聞いたところ、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(37.1%)が4割近くで最も高く、次いで「長年住んでいるため」(36.4%)、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(26.8%)、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(23.4%)、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」(18.9%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(18.9%)などとなっています。(図2-2-12)

① 性別

性別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は男性（37.9%）、女性（36.8%）で第1位となっています。（表2-2-1）

表2-2-1 区内に住み続けたい理由（性別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
性 別	男 性	475	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.9	長年住んでいるため 37.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 24.4	治安が良く安心して暮らせるため 18.7
	女 性	606	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.8	長年住んでいるため 35.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 19.6
	そ の 他	1	長年住んでいるため 100.0				

② 年代別

年代別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は64歳以下のすべての年代で第1位となっています。「長年住んでいるため」は65歳以上のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は30歳代（29.3%）で第2位、40歳代（25.0%）で第3位となっています。（表2-2-2）

表2-2-2 区内に住み続けたい理由（年代別）

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
年 代 別	18～20歳代	109 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.5	109 治安が良く安心して暮らせるため 28.4	109 長年住んでいるため 26.6	109 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 22.0	109 家族や親戚が近くに住んでいるため 21.1
	30歳代	140 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.6	140 子育てしやすい環境であるため 29.3	140 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 20.7	140 家族や親戚が近くに住んでいるため 19.3	140 治安が良く安心して暮らせるため 17.9
	40歳代	188 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.9	188 長年住んでいるため 26.6	188 子育てしやすい環境であるため 25.0	188 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.7	188 治安が良く安心して暮らせるため/家族や親戚が近くに住んでいるため/職場・学校が近い 20.2
	50歳～64歳	275 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.1	275 長年住んでいるため 38.9	275 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 29.8	275 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 20.4	275 治安が良く安心して暮らせるため 20.0
	65歳～74歳	169 長年住んでいるため 49.7	169 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 39.6	169 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.5	169 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.8	169 医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.2
	75歳以上	217 長年住んでいるため 51.6	217 医療・福祉・介護サービスが充実しているため 33.6	217 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.9	217 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.0	217 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.6

③ 地域別

地域別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は板橋地域（38.0%）、志村地域（38.6%）、赤塚地域（41.9%）で第1位となっています。「長年住んでいるため」は常盤台地域（43.9%）、高島平地域（37.1%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は板橋地域（30.3%）で第3位となっています。（表2-2-3）

表2-2-3 区内に住み続けたい理由（地域別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
地 域 別	板 橋 地 域	284	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.0	長年住んでいるため 32.0	にぎわいのある商店街があるため 30.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.8
	常 盤 台 地 域	139	長年住んでいるため 43.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 22.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.9	
	志 村 地 域	223	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.6	長年住んでいるため 34.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 20.2
	赤 塚 地 域	248	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.9	長年住んでいるため 37.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 25.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.6	治安が良く安心して暮らせるため 20.2
	高 島 平 地 域	197	長年住んでいるため 37.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 35.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.3

④ 国籍別

国籍別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は日本(38.6%)で第1位となっています。「長年住んでいるため」は日本以外(23.3%)で第1位となっています。
 (表2-2-4)

表2-2-4 区内に住みたい理由(国籍別)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
国 籍 別						
日 本	997	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.6	長年住んでいるため 35.7	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.7	治安が良く安心して暮らせるため 19.1
日 本 以 外	30	長年住んでいるため 23.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.0			職場・学校が近い ため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 16.7

⑤ 職業別

職業別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は会社員・公務員(43.4%)、自営業・自由業(39.8%)、アルバイト・パート(33.8%)、学生(41.4%)で第1位となっています。「長年住んでいるため」は、自営業・自由業(39.8%)、アルバイト・パート(33.8%)、主婦・主夫(45.2%)、無職(50.9%)、その他(41.7%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「家族や親戚が近くに住んでいるため」は学生(37.9%)で第2位となっています。「職場・学校が近いため」はアルバイト・パート(26.5%)で第3位、その他(20.8%)で第5位となっています。(表2-2-5)

表2-2-5 区内に住み続けたい理由(職業別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	458	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.4	長年住んでいるため 27.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 24.0	治安が良く安心して暮らせるため 20.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.4
	自 営 業 ・ 自 由 業	83	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 39.8		消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.3	治安が良く安心して暮らせるため 21.7
	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	136	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 33.8		職場・学校が近い ため 26.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.7	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 23.5
	主 婦 ・ 主 夫	135	長年住んでいるため 45.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 34.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 31.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 27.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.7
	学 生	29	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 41.4	家族や親戚が近くに 住んでいるため 37.9	長年住んでいるため 34.5	治安が良く安心して暮らせるため 27.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 他※ 17.2
	無 職	220	長年住んでいるため 50.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 32.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 30.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.2
	そ の 他	24	長年住んでいるため 41.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.3		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/家族や親戚が近くに 住んでいるため/職場・学校が近い ため 20.8

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑥ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は単身世帯(43.5%)、二世帯同居(子と同居)(36.6%)、三世帯同居(39.3%)、その他(44.8%)で第1位となっています。「長年住んでいるため」は夫婦のみ(39.6%)、二世帯同居(親と同居)(58.7%)、三世帯同居(39.3%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「家族や親戚が近くに住んでいるため」は、二世帯同居(親と同居)(27.5%)、三世帯同居(25.0%)で第3位、その他(20.7%)で第5位となっています。(表2-2-6)

表2-2-6 区内に住みたい理由(世帯構成別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
世帯構成別	単 身 世 帯	262	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.5	長年住んでいるため 30.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.2	治安が良く安心して暮らせるため 25.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 19.8
	夫 婦 の み	288	長年住んでいるため 39.6	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 30.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.3
	二世帯同居(子と同居)	380	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.6	長年住んでいるため 31.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 25.3	子育てしやすい環境であるため 23.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.8
	二世帯同居(親と同居)	109	長年住んでいるため 58.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.0	家族や親戚が近くに住んでいるため 27.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.2
	三世帯同居	28	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため 39.3	家族や親戚が近くに住んでいるため 25.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 17.9	
	そ の 他	29	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.9	長年住んでいるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 31.0	治安が良く安心して暮らせるため/家族や親戚が近くに住んでいるため/職場・学校が近い 20.7	

⑦ 同居家族別

同居家族別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は中学生(37.1%)と同居している方で第1位となっています。「長年住んでいるため」は65～74歳の家族(53.3%)、75歳以上の家族(50.0%)、その他の家族(39.8%)と同居している方で第1位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は未就学児(52.7%)、小学生(44.9%)と同居している方で第1位となっています。

その他の特徴として、「職場・学校が近い」は小学生(29.0%)、中学生(25.8%)と同居している方で第2位となっています。「家族や親戚が近くに住んでいるため」は未就学児(21.5%)と同居している方で第3位、小学生(23.4%)、中学生(21.0%)と同居している方で第4位となっています。(表2-2-7)

表2-2-7 区内に住み続けたい理由(同居家族別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
同居家族別	未 就 学 児	93	子育てしやすい環境であるため 52.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/家族や親戚が近くに住んでいるため 21.5	子どもの教育環境が充実しているため 16.1	
	小 学 生	107	子育てしやすい環境であるため 44.9	職場・学校が近い ため 29.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 25.2	家族や親戚が近くに 住んでいるため 23.4	長年住んでいるため 20.6
	中 学 生	62	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網 があるため 37.1	長年住んでいるため/職場・学校が近い ため 25.8		家族や親戚が近くに 住んでいるため/子育て しやすい環境であるため/ 21.0	
	65 ～ 74 歳の 家 族	120	長年住んでいるため 53.3	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網 があるため 37.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が 安い)なため/医療・福祉・介護サービスが 充実しているため 29.2	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ景観が 美しいため 25.8	
	75 歳 以 上 の 家 族	154	長年住んでいるため 50.0	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網 があるため/緑や公園など 自然環境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 30.5		医療・福祉・介護 サービスが充実して いるため 27.3	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が 安い)なため 26.6
	その他の家族	347	長年住んでいるため 39.8	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網 があるため 39.5	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が 安い)なため 30.5	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 22.8	治安が良く安心して 暮らせるため 20.5

⑧ 住居形態別

住居形態別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はマンション（持ち家）（38.6%）、マンション・アパート（賃貸）（43.1%）で第1位となっています。「長年住んでいるため」は一戸建（持ち家）（49.3%）、都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅（42.5%）で第1位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は一戸建（賃貸）（38.9%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は社宅・寮・間借り・住込み（33.3%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「職場・学校が近い」は社宅・寮・間借り・住込み（16.7%）で第4位、一戸建（賃貸）（16.7%）、マンション・アパート（賃貸）（18.5%）で第5位となっています。「にぎわいのある商店街があるため」と「子育てしやすい環境であるため」は一戸建（賃貸）（16.7%）で第5位となっています。（表2-2-8）

表2-2-8 区内に住み続けたい理由（住居形態別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
住居形態別	一 戸 建 (持ち家)	359	長年住んでいるため 49.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.4
	一 戸 建 (賃 貸)	18	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 38.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.8		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.2	職場・学校が近いため/にぎわいのある商店街があるため/子育てしやすい環境であるため他※ 16.7
	マ ン シ ョ ン (持ち家)	337	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 38.6	長年住んでいるため 33.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.2
	マ ン シ ョ ン ・ ア パ ー ト (賃 貸)	281	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.1	長年住んでいるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 24.2		治安が良く安心して暮らせるため 20.6	職場・学校が近い 18.5
	都市再生機構 ・ 公 社 住 宅 ・ 都 営 住 宅 ・ 区 営 住 宅	87	長年住んでいるため 42.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.8		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 25.3	
	社 宅 ・ 寮 ・ 間 借 り ・ 住 込 み	12	治安が良く安心して暮らせるため 33.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.0		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/長年住んでいるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/職場・学校が近い 16.7	
	その他(ケア付住宅など)	1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため/長年住んでいるため 100.0				

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑨ 居住年数別

居住年数別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は1年未満(36.6%)、1年以上5年未満(40.7%)、5年以上10年未満(40.2%)、10年以上20年未満(39.9%)で第1位となっています。「長年住んでいるため」は20年以上(52.2%)、生まれた時から(64.1%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「家族や親戚が近くに住んでいるため」は生まれたときから(34.5%)で第2位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は1年未満(19.5%)で第2位、5年以上10年未満(22.7%)で第4位、1年以上5年未満(18.7%)で第5位となっています。「図書館など生涯学習のための環境が充実しているため」は1年未満(19.5%)で第2位となっています。

(表2-2-9)

表2-2-9 区内に住み続けたい理由(居住年数別)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
居 住 年 数 別	1 年 未 満	41	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 36.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/治安が良く安心して暮らせるため/子育てしやすい環境であるため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 19.5			
	1 年 以 上 5 年 未 満	123	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 22.8	治安が良く安心して暮らせるため 21.1	子育てしやすい環境であるため/にぎわいのある商店街があるため/職場・学校が近い 18.7
	5 年 以 上 10 年 未 満	97	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 34.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.7	治安が良く安心して暮らせるため/子育てしやすい環境であるため 22.7	
	10 年 以 上 20 年 未 満	183	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.9	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.9	長年住んでいるため/職場・学校が近い 19.7	
	20 年 以 上	506	長年住んでいるため 52.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.5
	生 ま れ た と き か ら	142	長年住んでいるため 64.1	家族や親戚が近くに 住んでいるため 34.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.3	治安が良く安心して暮らせるため 22.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 19.7

⑩ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はすべての直前の居住地で第1位となっています。

その他の特徴として、「図書館など生涯学習のための環境が充実しているため」は直前の居住地が千葉県・神奈川県内(19.5%)で第5位となっています。(表2-2-10)

表2-2-10 区内に住みたい理由(直前の居住地別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,101	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.1	長年住んでいるため 36.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 18.9
直 前 の 居 住 地 域	東京 23 区 内 (板橋区を除く)	430	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.8	長年住んでいるため 32.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 29.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 24.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.2
	東京都内の他市町村	72	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3	長年住んでいるため 31.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.4	治安が良く安心して暮らせるため 20.8
	埼玉県内	132	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 40.2	長年住んでいるため 33.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.4
	千葉県・神奈川県内	82	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 37.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/長年住んでいるため 24.4	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/治安が良く安心して暮らせるため 19.5	
	その他 (海外を含む)	165	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.0	長年住んでいるため 28.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 24.8	治安が良く安心して暮らせるため 23.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 22.4

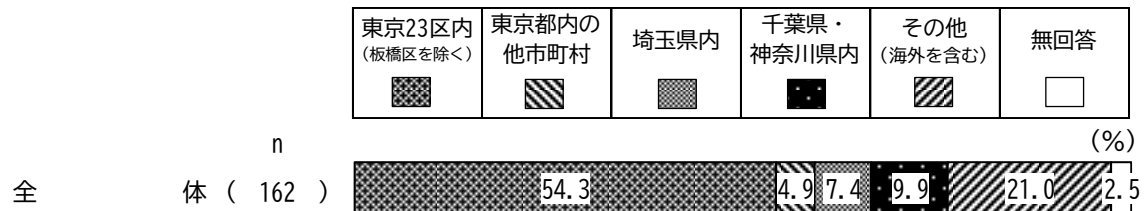
(2-2) 区外に移り住むとしたら住みたい地域

◇「東京23区内（板橋区を除く）」が5割半ば

(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-2 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。(○は1つ)

図2-2-13



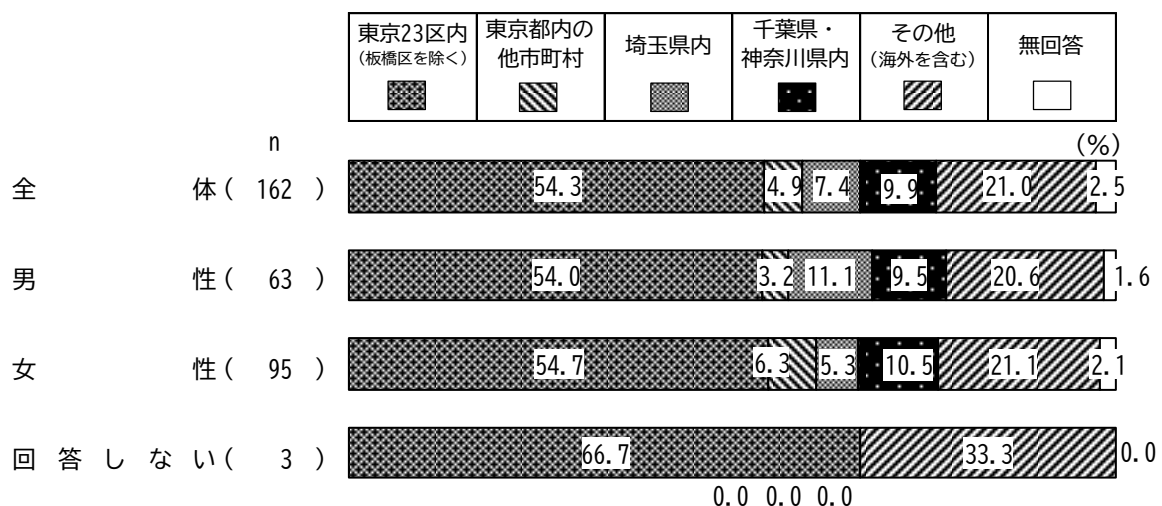
問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(162人)に、区外に移り住むとしたら住みたい地域を聞いたところ、「東京23区内（板橋区を除く）」(54.3%)が5割半ばとなっています。一方、「東京都内の他市町村」(4.9%)、「埼玉県内」(7.4%)、「千葉県・神奈川県内」(9.9%)が1割未満となっています。(図2-2-13)

① 性別

性別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は男性(54.0%)、女性(54.7%)で5割半ばとなっています。「その他（海外を含む）」は男性(20.6%)、女性(21.1%)で2割を超えています。

(図2-2-14)

図2-2-14 区外に移り住むとしたら住みたい地域（性別）

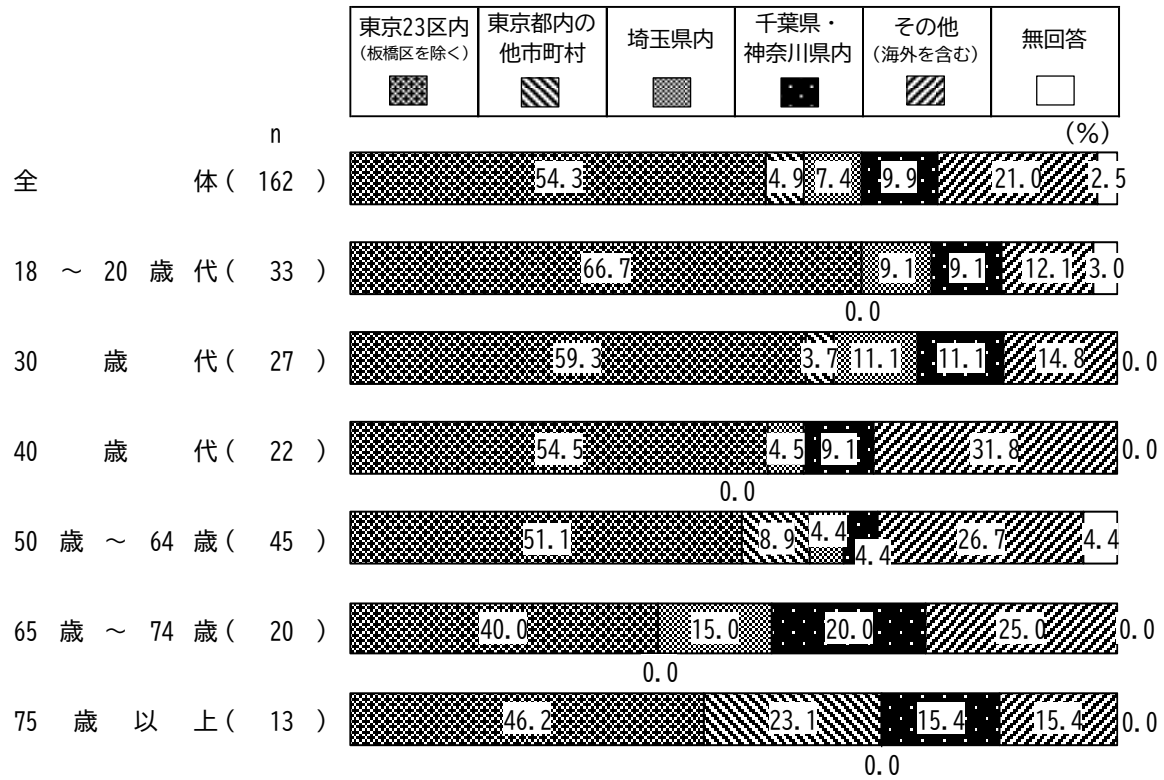


※「その他」を選んだ方はいませんでした。

② 年代別

年代別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は18～20歳代（66.7%）で6割半ばとなっている一方、65歳～74歳（40.0%）は4割にとどまっています。「その他（海外を含む）」は40歳代（31.8%）で3割を超えています。「千葉県・神奈川県内」は65歳～74歳（20.0%）で2割となっています。（図2-2-15）

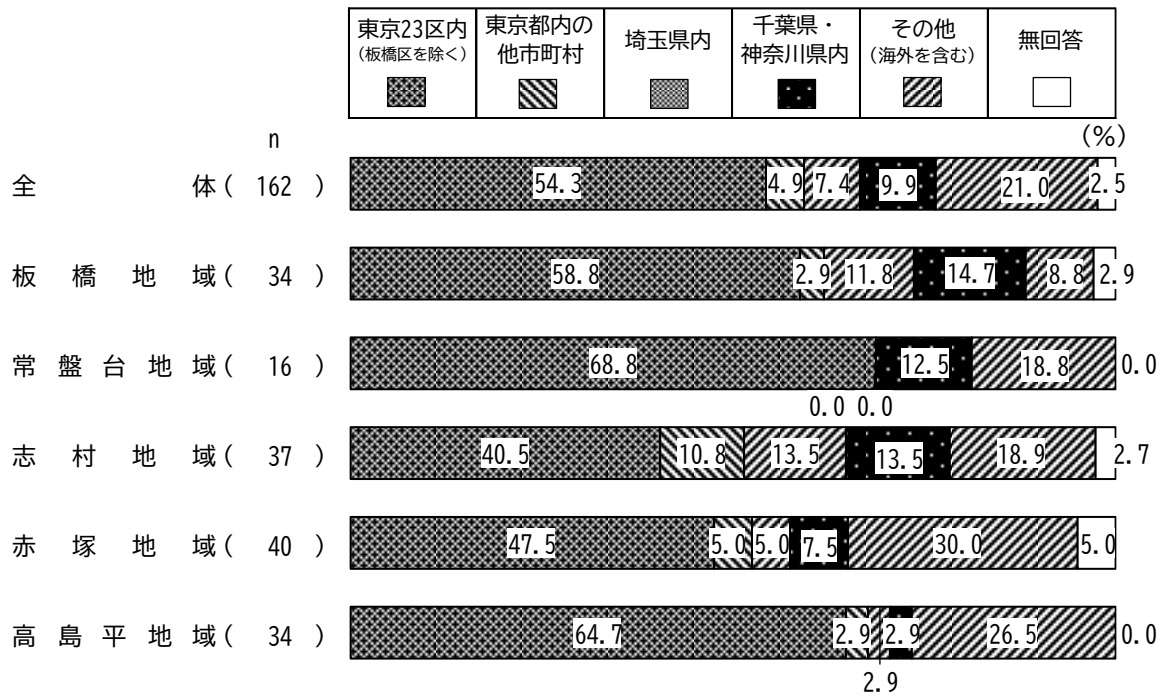
図2-2-15 区外に移り住むとしたら住みたい地域（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は常盤台地域（68.8%）で7割近く、高島平地域（64.7%）で6割半ばとなっている一方、志村地域（40.5%）は約4割にとどまっています。「その他（海外を含む）」は赤塚地域（30.0%）で3割となっている一方、板橋地域（8.8%）は1割未満となっています。（図2-2-16）

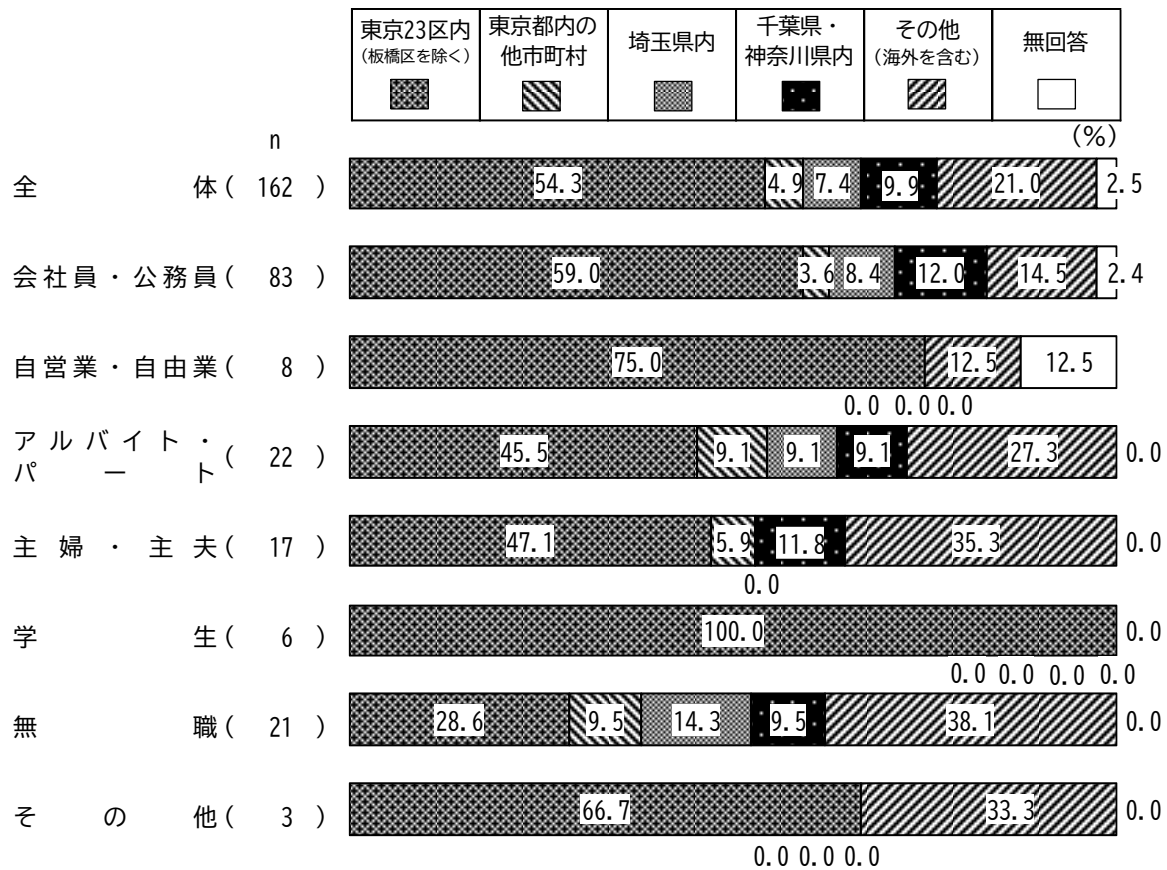
図2-2-16 区外に移り住むとしたら住みたい地域（地域別）



④ 職業別

職業別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は会社員（59.0％）で約6割となっている一方、無職（28.6％）は3割近くにとどまっています。「その他（海外を含む）」は無職（38.1％）で4割近く、主婦・主夫（35.3％）で3割半ばとなっています。（図2-2-17）

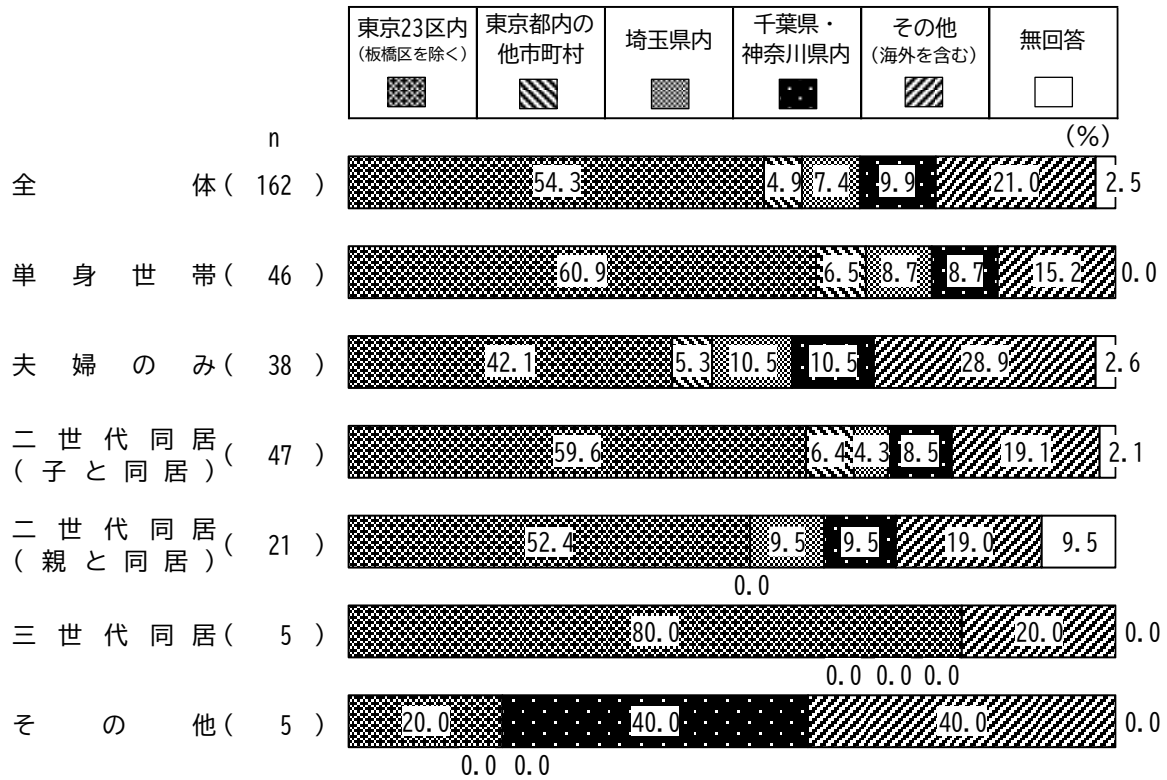
図2-2-17 区外に移り住むとしたら住みたい地域（職業別）



⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は単身世帯（60.9%）、二世帯同居（子と同居）（59.6%）で約6割、二世帯同居（親と同居）（52.4%）で5割を超えている一方、夫婦のみ（42.1%）は4割を超えるにとどまっています。「その他（海外を含む）」は夫婦のみ（28.9%）で3割近くとなっています。（図2-2-18）

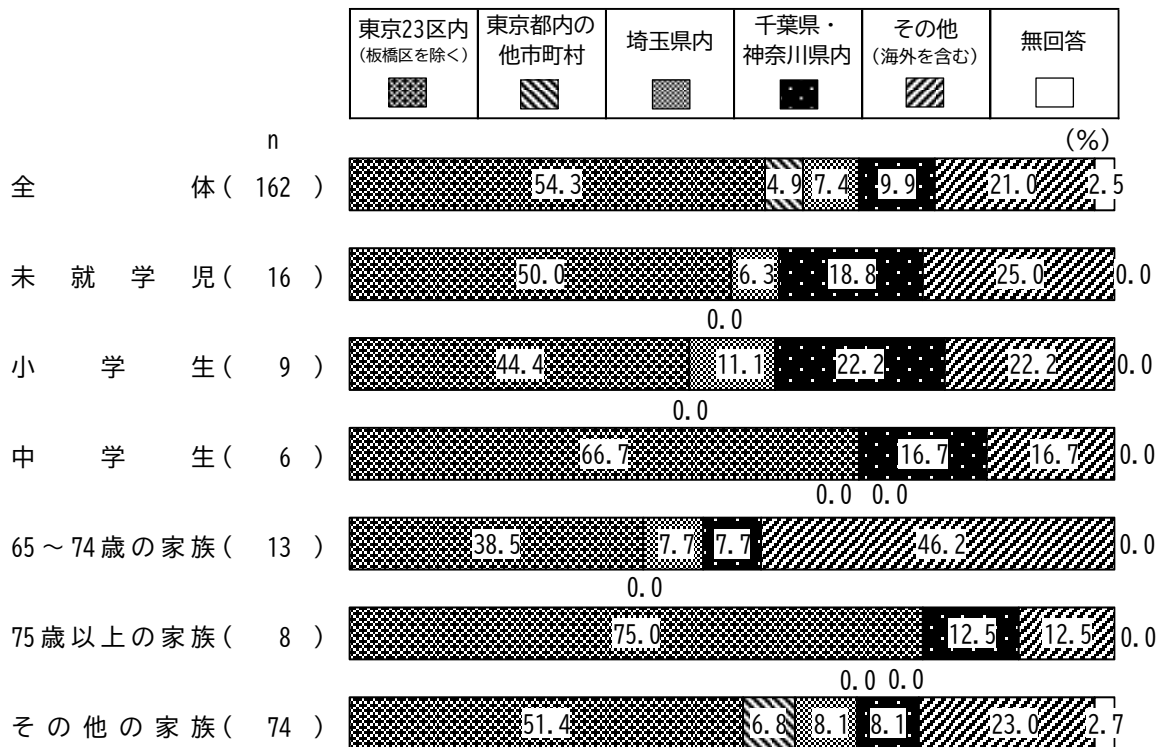
図2-2-18 区外に移り住むとしたら住みたい地域（世帯構成別）



⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、「東京23区内(板橋区を除く)」は未就学児(50.0%)、その他の家族(51.4%)と同居している方で5割台となっている一方、65～74歳の家族(38.5%)と同居している方は4割近くにとどまっています。「その他(海外を含む)」は65～74歳の家族(46.2%)と同居している方で4割半ばとなっています。(図2-2-19)

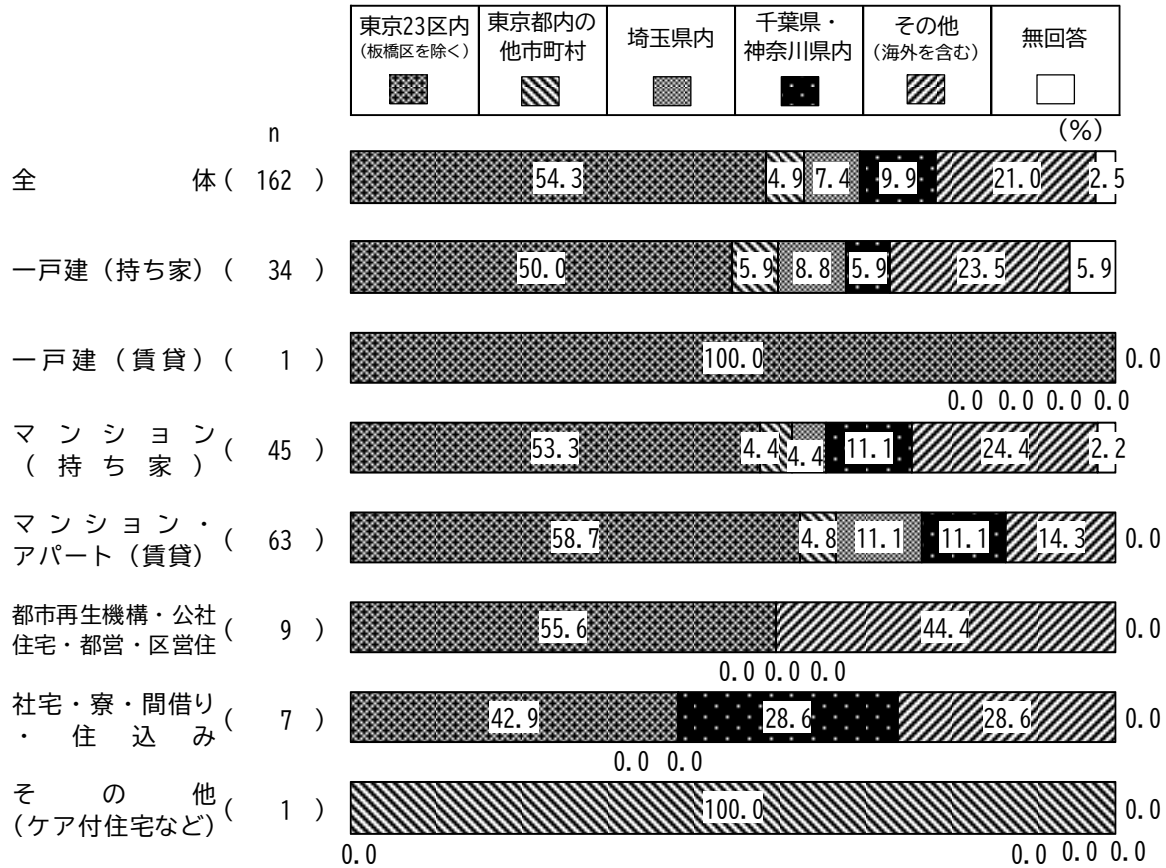
図2-2-19 区外に移り住むとしたら住みたい地域(同居家族別)



⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は一戸建（持ち家）（50.0%）、マンション（持ち家）（53.3%）、マンション・アパート（賃貸）（58.7%）で5割台となっています。「その他（海外を含む）」は一戸建（持ち家）（23.5%）、マンション（持ち家）（24.4%）で2割台となっています。（図2-2-20）

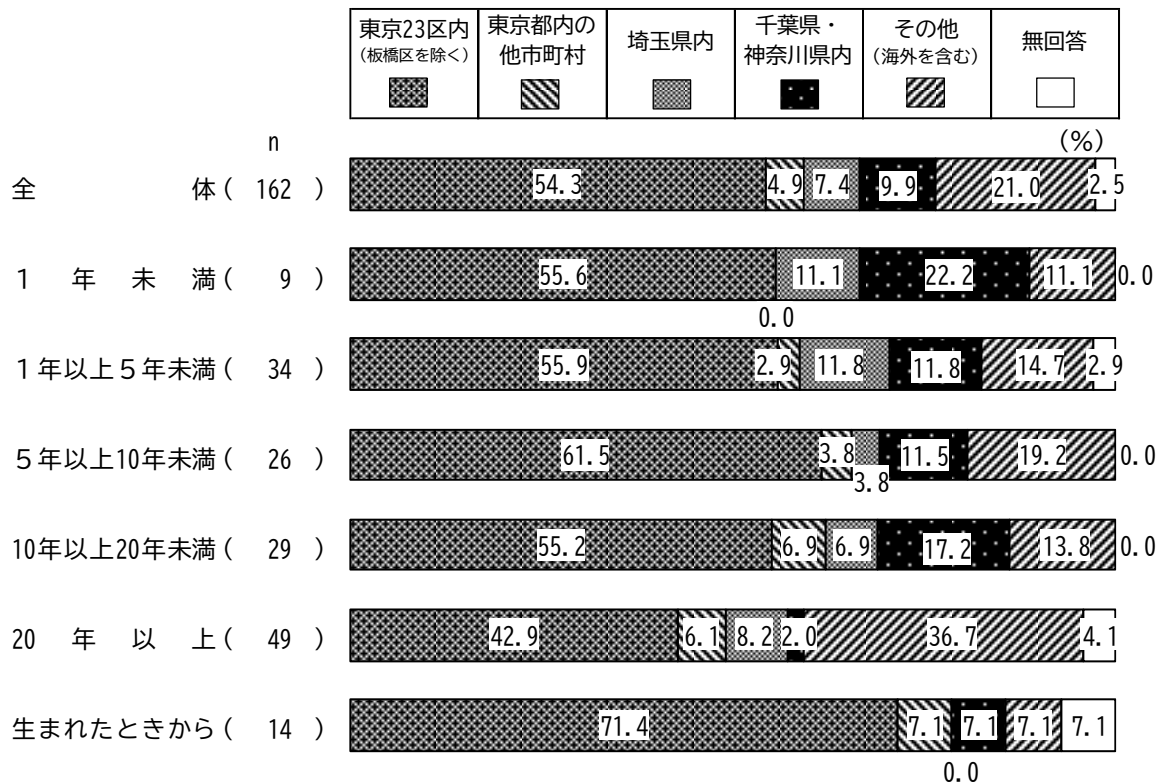
図2-2-20 区外に移り住むとしたら住みたい地域（住居形態別）



⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は生まれたときから（71.4%）で7割を超えている一方、20年以上（42.9%）は4割を超えるにとどまっています。「その他（海外を含む）」は20年以上（36.7%）で3割半ばとなっている一方、生まれたときから（7.1%）は1割未満となっています。（図2-2-21）

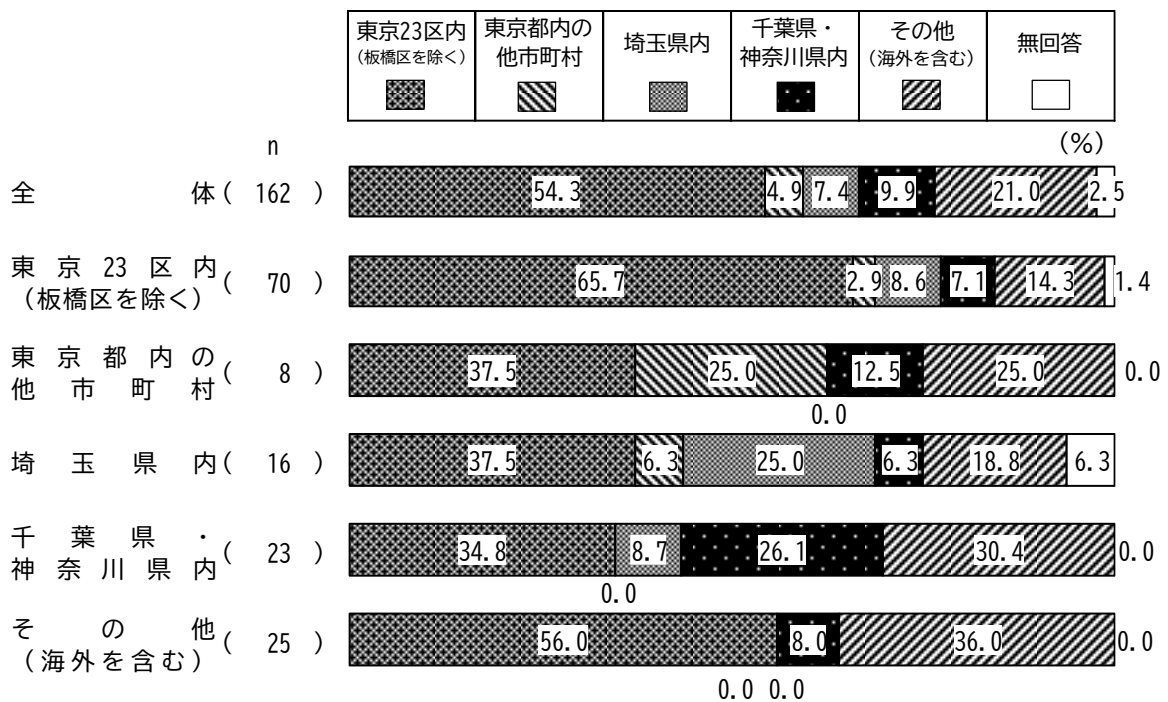
図2-2-21 区外に移り住むとしたら住みたい地域（居住年数別）



⑨ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、「東京23区内（板橋区を除く）」は直前の居住地が東京23区内（板橋区を除く）（65.7%）で6割半ばとなっている一方、直前の居住地が埼玉県内（37.5%）は4割近く、千葉県・神奈川県内（34.8%）は3割半ばにとどまっています。「その他（海外を含む）」は直前の居住地がその他（海外を含む）（36.0%）で3割半ばとなっています。「千葉県・神奈川県内」は直前の居住地が千葉県・神奈川県内（26.1）で2割半ばとなっています。（図2-2-22）

図2-2-22 区外に移り住むとしたら住みたい地域（直前の居住地別）



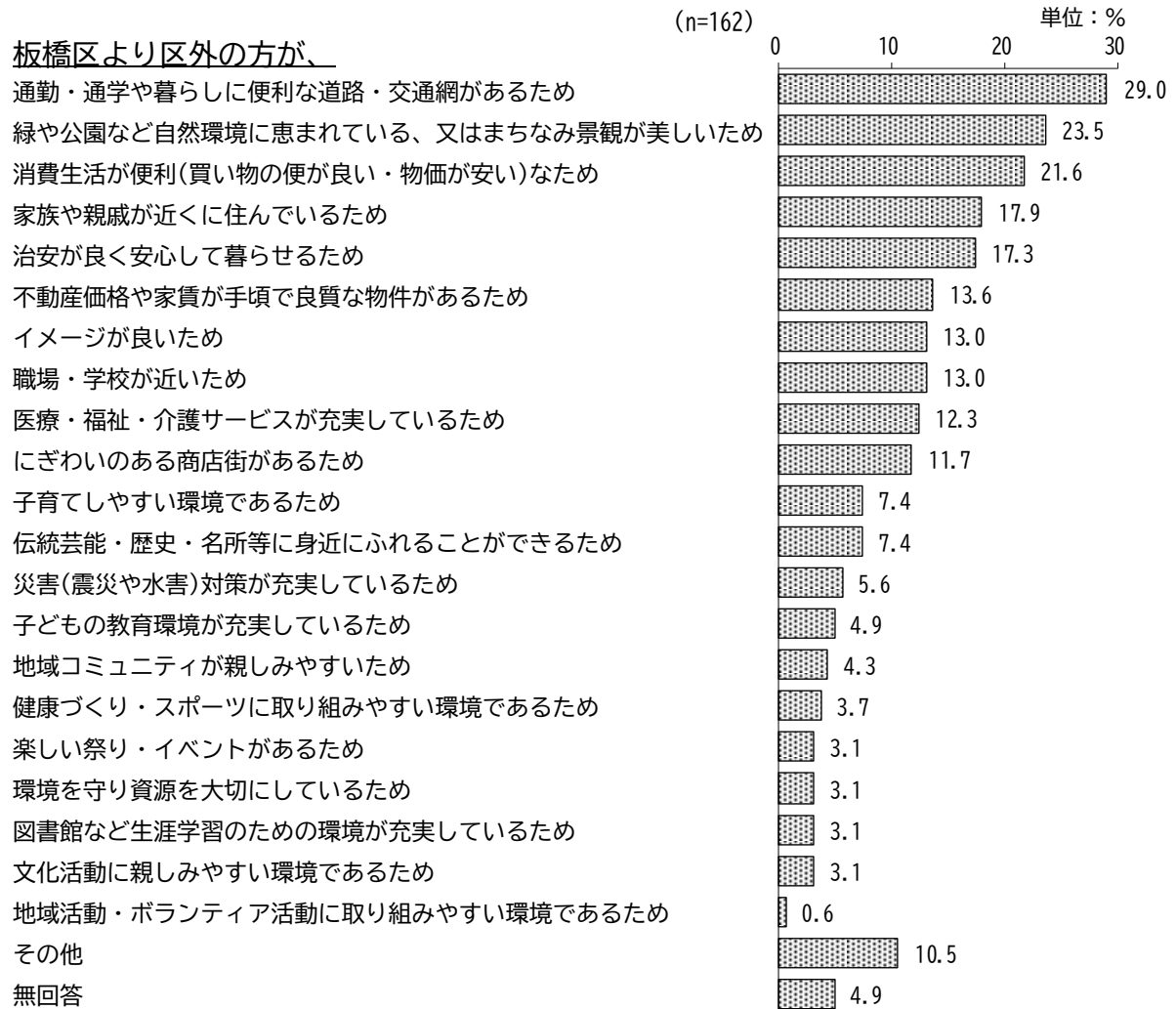
(2-3) 区外に移り住みたい理由

◇板橋区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」が約3割

(問3で「区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-3 そう思った主な理由は何ですか。(○は3つ)

図2-2-23



問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(162人)にその理由を聞いたところ、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(29.0%)が約3割で最も高く、次いで「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(23.5%)、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(21.6%)などとなっています。

(図2-2-23)

① 性別

性別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は男性（33.3%）、女性（27.4%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は男性（19.0%）で第4位となっています。（表2-2-11）

表2-2-11 区外に移り住みたい理由（性別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
性別	男 性	63	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 33.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.4	家族や親戚が近くに住んでいるため 22.2	にぎわいのある商店街があるため 19.0	治安が良く安心して暮らせるため 17.5
	女 性	95	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 27.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.2	治安が良く安心して暮らせるため 17.9	家族や親戚が近くに住んでいるため 15.8
	そ の 他	0					

② 年代別

年代別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は18～20歳代（42.4%）、30歳代（48.1%）で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は50歳～64歳（31.1%）、65歳～74歳（30.0%）で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は75歳以上（46.2%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は40歳代（36.4%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「イメージが良いため」は50歳～64歳（20.0%）で第2位、40歳代（22.7%）で第4位となっています。「職場・学校が近い」は18～20歳代（33.3%）で第2位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は65歳～74歳（25.0%）、75歳以上（30.8%）で第2位となっています。（表2-2-12）

表2-2-12 区外に移り住みたい理由（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
年 代 別	18～20歳代	33	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 42.4	職場・学校が近い ため 33.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 24.2	家族や親戚が近くに住んでいるため 18.2	子育てしやすい環境であるため 15.2
	30歳代	27	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 48.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため 29.6	家族や親戚が近くに住んでいるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 18.5		
	40歳代	22	治安が良く安心して暮らせるため 36.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 31.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 27.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/イメージが良いため 22.7	
	50歳～64歳	45	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/イメージが良いため 20.0	家族や親戚が近くに住んでいるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 17.8		
	65歳～74歳	20	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 30.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.0	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 20.0	家族や親戚が近くに住んでいるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 15.0	
	75歳以上	13	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 46.2	家族や親戚が近くに住んでいるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 他※ 15.4	

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

③ 地域別

地域別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は志村地域（29.7%）、高島平地域（35.3%）で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は赤塚地域（37.5%）で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は赤塚地域（29.7%）で第1位となっています。「イメージが良いため」は板橋地域（26.5%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は常盤台地域（25.0%）、高島平地域（20.6%）で第2位となっています。「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は赤塚地域（22.5%）で第3位、常盤台地域（12.5%）で第5位となっています。

（表2-2-13）

表2-2-13 区外に移り住みたい理由（地域別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに 住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
地 域 別	板 橋 地 域	34	イメージが良いため 26.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 23.5	治安が良く安心して暮らせるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 20.6		
	常 盤 台 地 域	16	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 31.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 25.0	家族や親戚が近くに 住んでいるため 18.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 他※ 12.5	
	志 村 地 域	37	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.7	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 27.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため 21.6	家族や親戚が近くに 住んでいるため 18.9	
	赤 塚 地 域	40	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 22.5	家族や親戚が近くに 住んでいるため/治安が 良く安心して暮らせるため 20.0	
	高 島 平 地 域	34	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 35.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 20.6	職場・学校が近いため/にぎわいのある商店街があるため 17.6		

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

④ 職業別

職業別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は会社員・公務員（32.5％）で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は無職（33.3％）で第1位となっています。「家族や親戚が近くに住んでいるため」はアルバイト・パート（36.4％）、主婦・主夫（35.3％）で第1位となっています。

その他の特徴として、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」はアルバイト・パート（22.7％）で第2位、主婦・主夫（11.8％）で第4位、無職（14.3％）で第5位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は無職（23.8％）で第2位、主婦・主夫（11.8％）で第4位、無職（14.3％）で第5位となっています。「子どもの教育環境が充実しているため」はアルバイト・パート（22.7％）で第2位となっています。（表2-2-14）

表2-2-14 区外に移り住みたい理由（職業別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	83	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.5	治安が良く安心して暮らせるため 25.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.7	職場・学校が近い 20.5
	自 営 業 ・ 自 由 業	8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 37.5			緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/イメージが良かったため/健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため/伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため/にぎわいのある商店街があるため 25.0	
	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	22	家族や親戚が近くに住んでいるため 36.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/子どもの教育環境が充実しているため 22.7		緑や公園など自然環境に恵まれている又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため 他※ 18.2	
	主 婦 ・ 主 夫	17	家族や親戚が近くに住んでいるため 35.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/治安が良く安心して暮らせるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/イメージが良かったため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/環境を守り資源を大切に 11.8	
	学 生	6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/職場・学校が近い 33.3			にぎわいのある商店街があるため/健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため/文化活動に親しみやすい環境であるため 16.7	
	無 職	21	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 23.8		イメージが良かったため 19.0	家族や親戚が近くに住んでいるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 他※ 14.3
そ の 他		3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/災害(震災や水害)対策が充実しているため 33.3				

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑤ 世帯構成別

世帯構成別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は二世帯同居（子と同居）（29.8%）、二世帯同居（親と同居）（28.6%）で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は夫婦のみ（26.3%）で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」は単身世帯（37.0%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「職場・学校が近いため」は二世帯同居（親と同居）（23.8%）で第2位、単身世帯（17.4%）で第5位となっています。（表2-2-15）

表2-2-15 区外に移り住みたい理由（世帯構成別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
世帯 構成 別	単 身 世 帯	46	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 37.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 23.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 21.7	職場・学校が近い ため 17.4
	夫 婦 の み	38	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 23.7		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 21.1	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 18.4
	二世帯同居 (子と同居)	47	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.8	家族や親戚が近くに住んでいるため 25.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.4	治安が良く安心して暮らせるため 23.4	子育てしやすい環境であるため 17.0
	二世帯同居 (親と同居)	21	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 28.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/職場・学校が近い ため 23.8		イメージが良いため 19.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 14.3
	三世帯同居	5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため 60.0				不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/イメージが良いため/職場・学校が近い ため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 20.0
	そ の 他	5	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/にぎわいのある商店街があるため 40.0			緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚が近くに住んでいるため/治安が良く安心して暮らせるため/文化活動に親しみやすい環境であるため 20.0	

⑥ 同居家族別

同居家族別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は未就学児（43.8%）と同居している方で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は65～74歳の家族（46.2%）、その他の家族（25.7%）と同居している方で第1位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は未就学児（43.8%）と同居している方で第1位となっています。

その他の特徴として、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は65～74歳の家族（23.1%）と同居している方で第2位、その他の家族（16.2%）と同居している方で第5位となっています。「職場・学校が近い」は未就学児（25.0%）と同居している方で第3位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は65～74歳の家族（23.1%）と同居している方で第2位、その他の家族（17.6%）と同居している方で第3位となっています。「伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため」は65～74歳の家族（23.1%）と同居している方で第2位となっています。（表2-2-16）

表2-2-16 区外に移り住みたい理由（同居家族別）

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
同 居 家 族 別	未 就 学 児	16	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/子育てしやすい環境であるため 43.8	職場・学校が近い 25.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/家族や親戚が近くに住んでいるため/子どもの教育環境が充実しているため 18.8	
	小 学 生	9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/治安が良く安心して暮らせるため/子どもの教育環境が充実しているため 33.3		消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚が近くに住んでいるため/イメージが良いため/職場・学校が近い 22.2	
	中 学 生	6	イメージが良いため 50.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため/ 33.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚が近くに住んでいるため/職場・学校が近い 16.7	
	65 ～ 74 歳 の 家 族	13	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 46.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため/伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 23.1		
	75 歳 以 上 の 家 族	8	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/治安が良く安心して暮らせるため 50.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 37.5	イメージが良いため 25.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚が近くに住んでいるため 他※ 12.5
	その他の家族	74	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 25.7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 21.6	治安が良く安心して暮らせるため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.6	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 16.2

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑦ 住居形態別

住居形態別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は、一戸建（持ち家）（32.4%）、マンション・アパート（賃貸）（30.2%）で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」はマンション（持ち家）（28.9%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「職場・学校が近いため」はマンション（持ち家）（15.6%）で第5位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」はマンション（持ち家）（17.8%）で第4位となっています。「にぎわいのある商店街があるため」は一戸建（持ち家）（17.6%）で第4位となっています。（表2-2-17）

表2-2-17 区外に移り住みたい理由（住居形態別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3	
住 居 形 態 別	一 戸 建 (持ち家)	34	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 32.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 23.5	治安が良く安心して暮らせるため/にぎわいのある商店街があるため 17.6		
	一 戸 建 (賃 貸)	1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/イメージが良いため/職場・学校が近いため 100.0					
	マンション (持ち家)	45	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 28.9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 22.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.8	職場・学校が近い ため 15.6	
	マンション・アパート (賃 貸)	63	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.2	家族や親戚が近くに住んでいるため 28.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため 20.6		消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 19.0	
	都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅	9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/イメージが良いため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 22.2				
	社 宅・寮・間 借 り・住 込 み	7	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/子育てしやすい環境であるため 42.9			職場・学校が近いため/子どもの教育環境が充実しているため 28.6		緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/にぎわいのある商店街があるため 他※ 14.3
	その他 (ケア付住宅など)	1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/地域コミュニティが親しみやすいため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 100.0					

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑧ 居住年数別

居住年数別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は1年以上5年未満(29.4%)、5年以上10年未満(30.8%)、生まれたときから(57.1%)で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は10年以上20年未満(31.0%)、20年以上(26.5%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は20年以上(20.4%)で第2位となっています。「職場・学校が近いため」は5年以上10年未満(19.2%)、生まれたときから(14.3%)で第3位となっています。「にぎわいのある商店街があるため」は5年以上10年未満(19.2%)で第3位となっています。(表2-2-18)

表2-2-18 区外に移り住みたい理由(居住年数別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
居 住 年 数 別	1 年 未 満	9	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 55.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/家族や親戚が近くに住んでいるため/治安が良く安心して暮らせるため/にぎわいのある商店街があるため 33.3			
	1 年 以 上 5 年 未 満	34	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/家族や親戚が近くに住んでいるため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/治安が良く安心して暮らせるため 20.6		
	5 年 以 上 10 年 未 満	26	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 30.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 26.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/家族や親戚が近くに住んでいるため/職場・学校が近い ため/にぎわいのある商店街があるため 19.2		
	10 年 以 上 20 年 未 満	29	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 31.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 20.7	家族や親戚が近くに住んでいるため/イメージが良いため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 17.2		
	20 年 以 上	49	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 26.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 20.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 18.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 16.3	
	生 ま れ た と き か ら	14	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 57.1	治安が良く安心して暮らせるため 21.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/職場・学校が近い ため 14.3		

⑨ 直前の居住地別

直前の居住地別でみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」と答えた方は、東京23区内（板橋区を除く）（28.6%）、その他（海外を含む）（28.0%）で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は埼玉県内（25.0%）で第1位となっています。「家族や親戚の住居に近いため」は千葉県・神奈川県内（30.4%）、その他（28.0%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は千葉県・神奈川県内（30.4%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は千葉県・神奈川県内（30.4%）で第1位、埼玉県内（18.8%）で第2位、その他（海外を含む）（20.0%）で第4位となっています。「イメージが良いため」は埼玉県内（18.8%）で第2位、その他（海外を含む）（20.0%）で第4位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は埼玉県内（18.8%）で第2位、東京23区内（板橋区を除く）（12.9%）で第5位となっています。（表2-2-19）

表2-2-19 区外に移り住みたい理由（直前の居住地別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 29.0	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 23.5	消費生活が便利(買 物の便が良い・物価 が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに 住んでいるため 17.9	治安が良く安心して 暮らせるため 17.3
直 前 の 居 住 地 域	東京23区内 (板橋区を除く)	70	通勤・通学や暮らし に便利な道路・交通 網があるため 28.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又は まちなみ景観が美しいため/消費生活が便利 (買い物の便が良い・物価が安い)なため 25.7		職場・学校が近い ため 14.3	医療・福祉・介護サー ビスが充実しているた め/治安が良く安心して 暮らせるため 12.9
	東京都内の 他市町村	8	家族や親戚が近くに 住んでいるため/医療・ 福祉・介護サービスが 充実しているため 37.5		通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網が あるため/緑や公園な ど自然環境に恵まれて いる、又はまちなみ景 観が美しいため/治安 が良く安心して暮らせ るため/にぎわいのある 商店街があるため 25.0		
	埼玉県内	16	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 25.0	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網が あるため/消費生活が 便利(買い物の便が良 い・物価が安い)なた め/家族や親戚が近く に住んでいるため/不 動産価格や家賃が手 頃で良質な物件があ るため/イメージが良 いため/医療・福祉・ 介護サービスが充実 しているため 18.8			
	千葉県・ 神奈川県内	23	家族や親戚が近くに 住んでいるため/治安 が良く安心して暮ら せるため/不動産価格 や家賃が手頃で良質 な物件があるため 30.4			通勤・通学や暮らし に便利な道路・交通 網があるため/消費 生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安 い)なため/職場・学 校が近い ため 21.7	
	そ の 他 (海外を含む)	25	通勤・通学や暮らし に便利な道路・交通 網があるため/家族 や親戚が近くに住ん でいるため 28.0		緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 24.0		消費生活が便利(買 い物の便が良い・物 価が安い)なため/治 安が良く安心して暮 らせるため/不動産 価格や家賃が手頃 で良質な物件があ るため/イメージが 良いため/楽しい祭 り・イベントがあ るため 20.0

(2-4) 住みたい地域と区外に移り住みたい理由

問3で、「区外に移り住みたい」と答えた人(162人)の理由を、区外に移り住むとしたら住みたい地域別にみると、板橋区よりも区外の方が、「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は東京23区内(板橋区を除く)(46.6%)で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は千葉県・神奈川県内(43.8%)、その他(海外を含む)(38.2%)で第1位となっています。「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」は埼玉県内(41.7%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため」はその他(26.5%)で第3位、千葉県・神奈川県内(18.8%)で第4位となっています。「職場・学校が近い」は東京23区(板橋区を除く)(20.5%)で第3位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は埼玉県内(25.0%)で第3位、千葉県・神奈川県内(18.8%)で第4位となっています。

(表2-2-20)

表2-2-20 区外に移り住みたい理由(住みたい地域別)

(%)

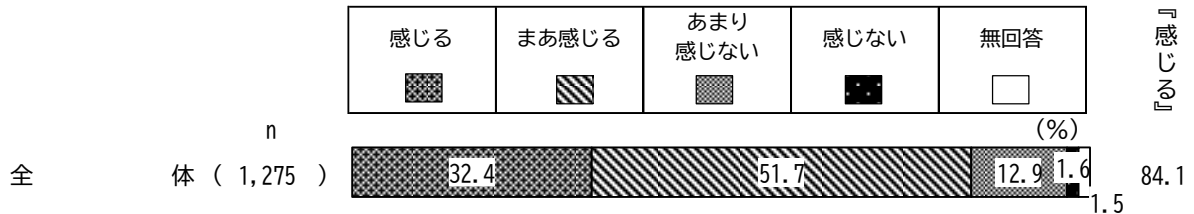
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		162	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 29.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 23.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 21.6	家族や親戚が近くに住んでいるため 17.9	治安が良く安心して暮らせるため 17.3
区外で 移り住みたい 地域	東京23区内 (板橋区を除く)	88	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 46.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 28.4	治安が良く安心して暮らせるため/職場・学校が近い ため 20.5		にぎわいのある商店街があるため 19.3
	東京都内の 他市町村	8	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 62.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/治安が良く安心して暮らせるため/不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/災害(震災や水害)対策が充実しているため/地域コミュニティが親しみやすいため 25.0			
	埼 玉 県 内	12	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 41.7	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 33.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/家族や親戚が近くに住んでいるため/子育てしやすい環境であるため 25.0		
	千 葉 県 ・ 神 奈 川 県 内	16	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 43.8	家族や親戚が近くに住んでいるため 31.3	治安が良く安心して暮らせるため 25.0	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため/子育てしやすい環境であるため 18.8	
	そ の 他 (海外を含む)	34	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 38.2	家族や親戚が近くに住んでいるため 32.4	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため 26.5	治安が良く安心して暮らせるため/イメージが良いため/伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 11.8	

(3) 板橋区に対する愛着

◇『感じる』が8割半ば

問4 あなたは、板橋区での暮らしに「愛着」を感じますか。(○はそれぞれ1つ)

図2-3-1

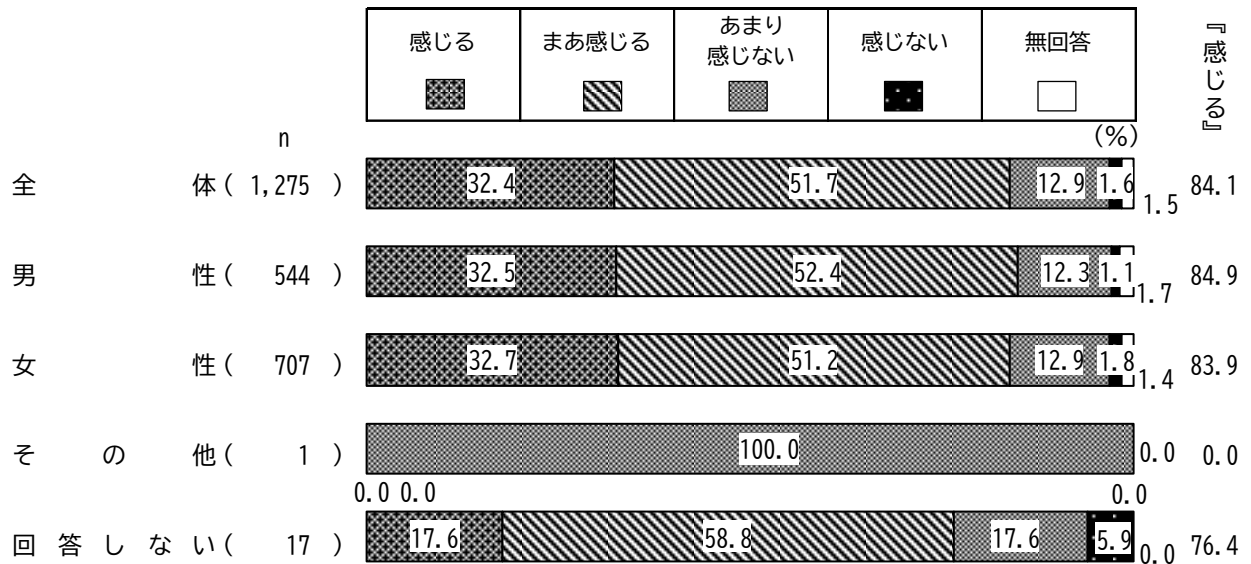


板橋区に「愛着」を感じるかを聞いたところ、「感じる」(32.4%)が3割を超え、これに「まあ感じる」(51.7%)を合わせた『感じる』(84.1%)は8割半ばとなっています。(図2-3-1)

① 性別

性別でみると、『感じる』は男性(84.9%)で8割半ば、女性(83.9%)で8割超えとなっています。(図2-3-2)

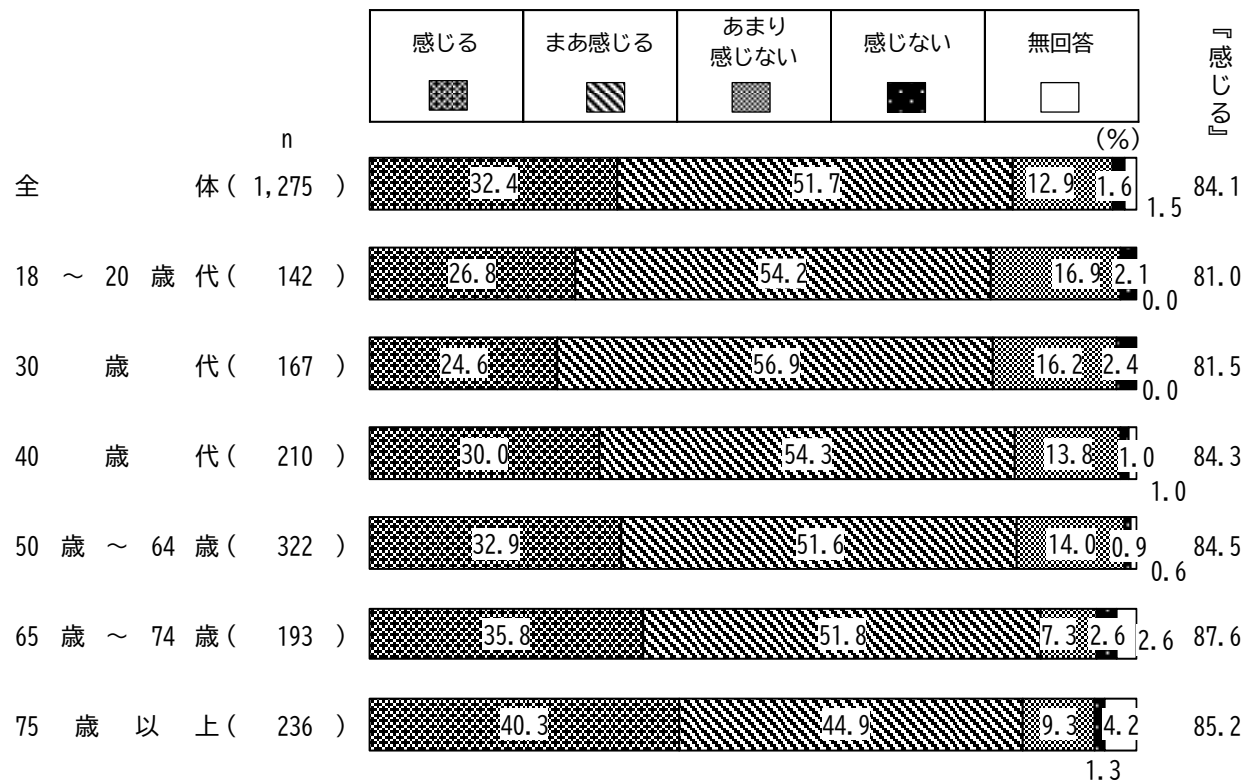
図2-3-2 板橋区に対する愛着(性別)



② 年代別

年代別でみると、『感じる』は65歳～74歳（87.6%）で9割近く、40歳代（84.3%）、50歳～64歳（84.5%）、75歳以上（85.2%）で8割半ばとなっています。（図2-3-3）

図2-3-3 板橋区に対する愛着（年代別）

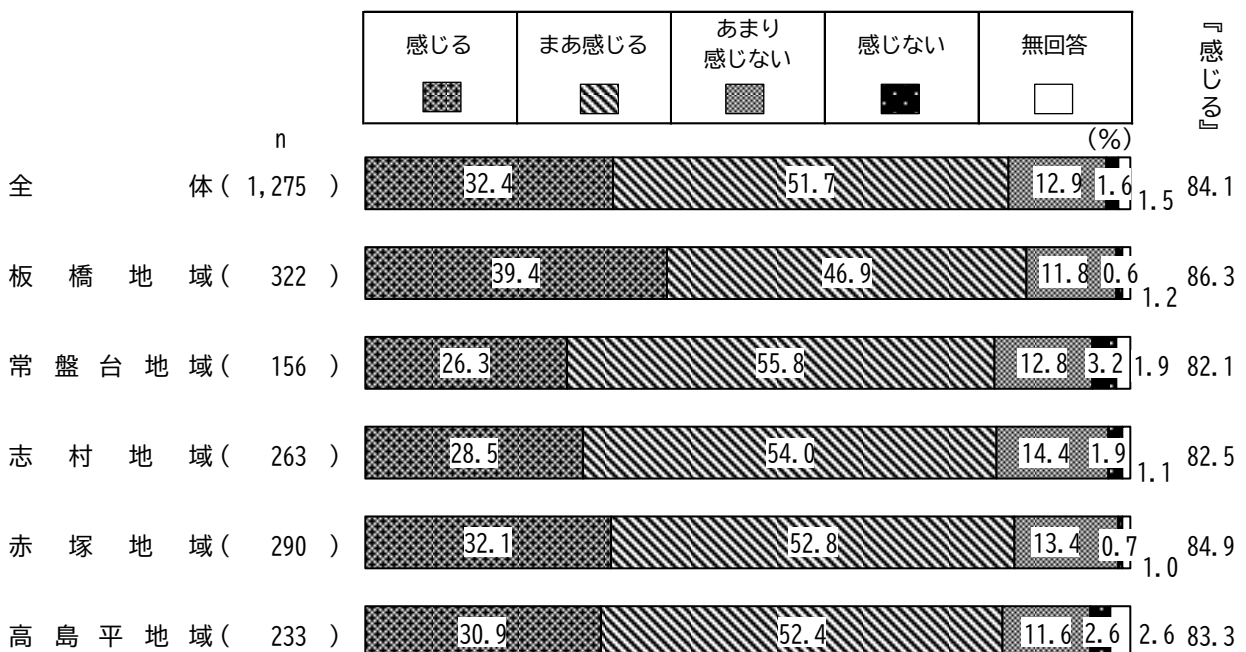


③ 地域別

地域別でみると、『感じる』は板橋地域（86.3%）、赤塚地域（84.9%）で8割半ば、常磐台地域（82.1%）、志村地域（82.5%）、高島平地域（83.3%）の地域で8割を超えています。

（図2-3-4）

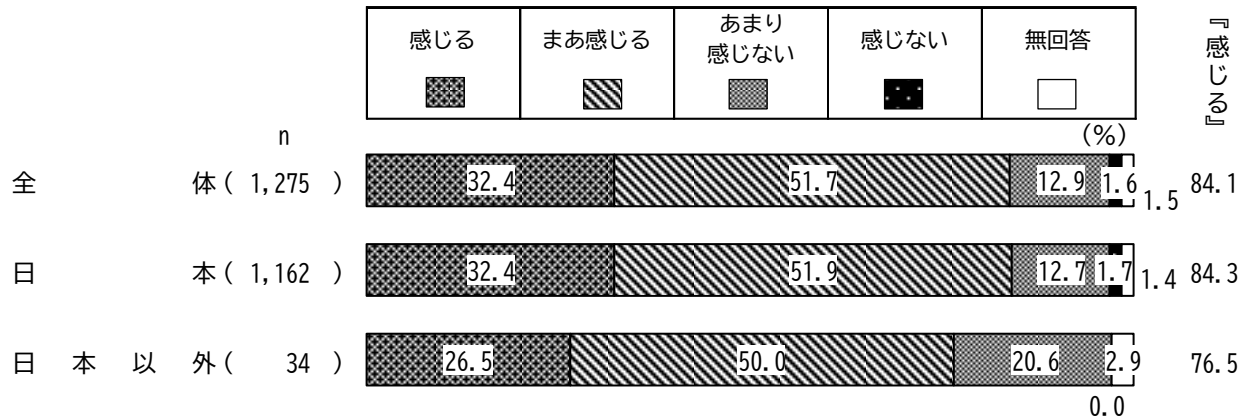
図2-3-4 板橋区に対する愛着（地域別）



④ 国籍別

国籍別でみると、『感じる』は日本（84.3％）で8割半ば、日本以外（76.5％）で7割半ばとなっています。（図2-3-5）

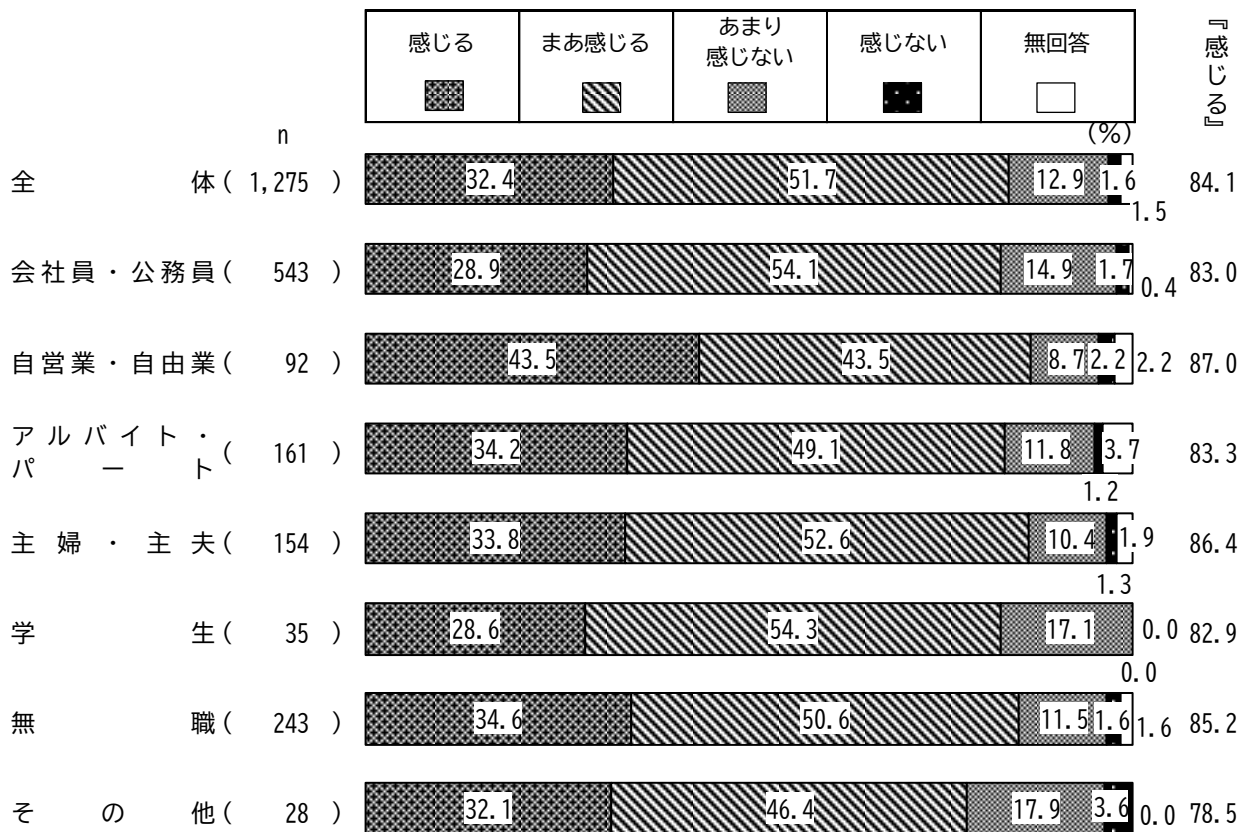
図2-3-5 板橋区に対する愛着（国籍別）



⑤ 職業別

職業別でみると、『感じる』は自営業・自由業（87.0％）で9割近く、主婦・主夫（86.4％）で8割半ば、無職（85.2％）で8割半ば、会社員・公務員（83.0％）、アルバイト・パート（83.3％）、学生（82.9％）で8割を超え、その他（78.5％）で8割近くとなっています。（図2-3-6）

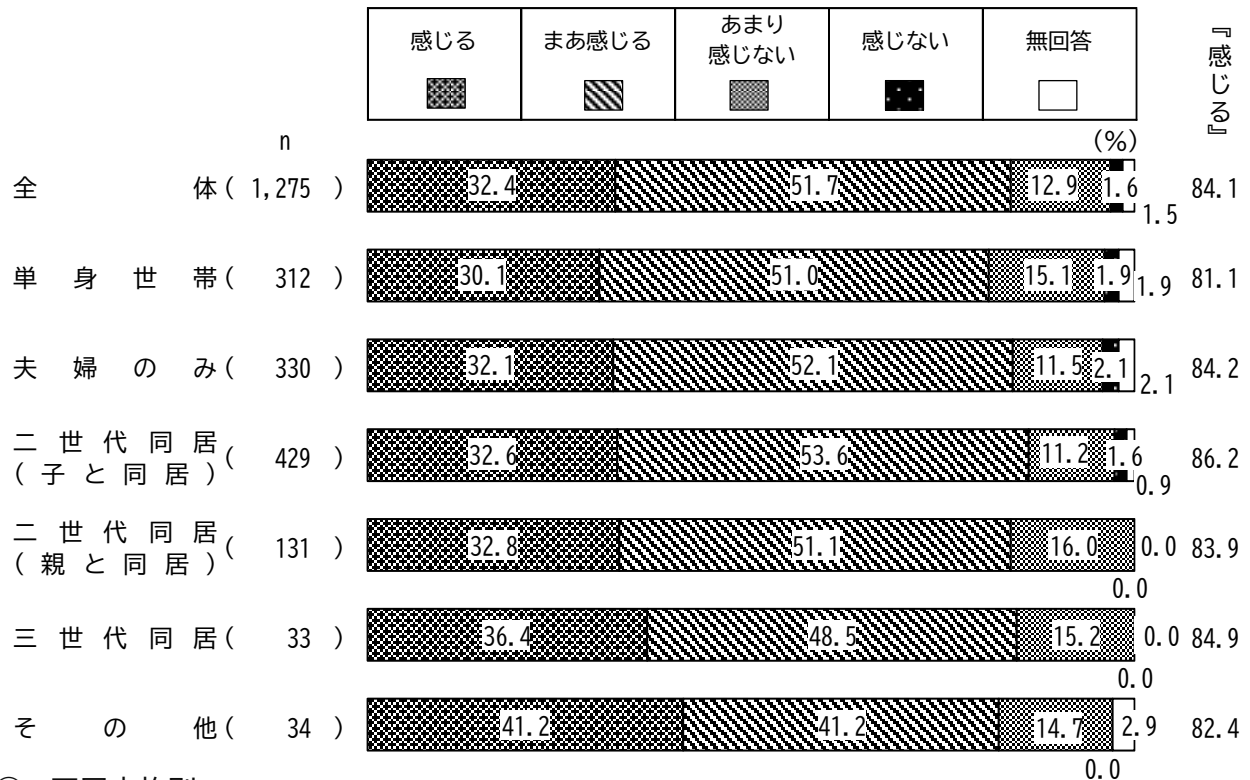
図2-3-6 板橋区に対する愛着（職業別）



⑥ 世帯構成別

世帯構成別でみると、『感じる』は夫婦のみ（84.2%）、二世代同居（子と同居）（86.2%）、三世代同居（84.9%）で8割半ばとなっています。（図2-3-7）

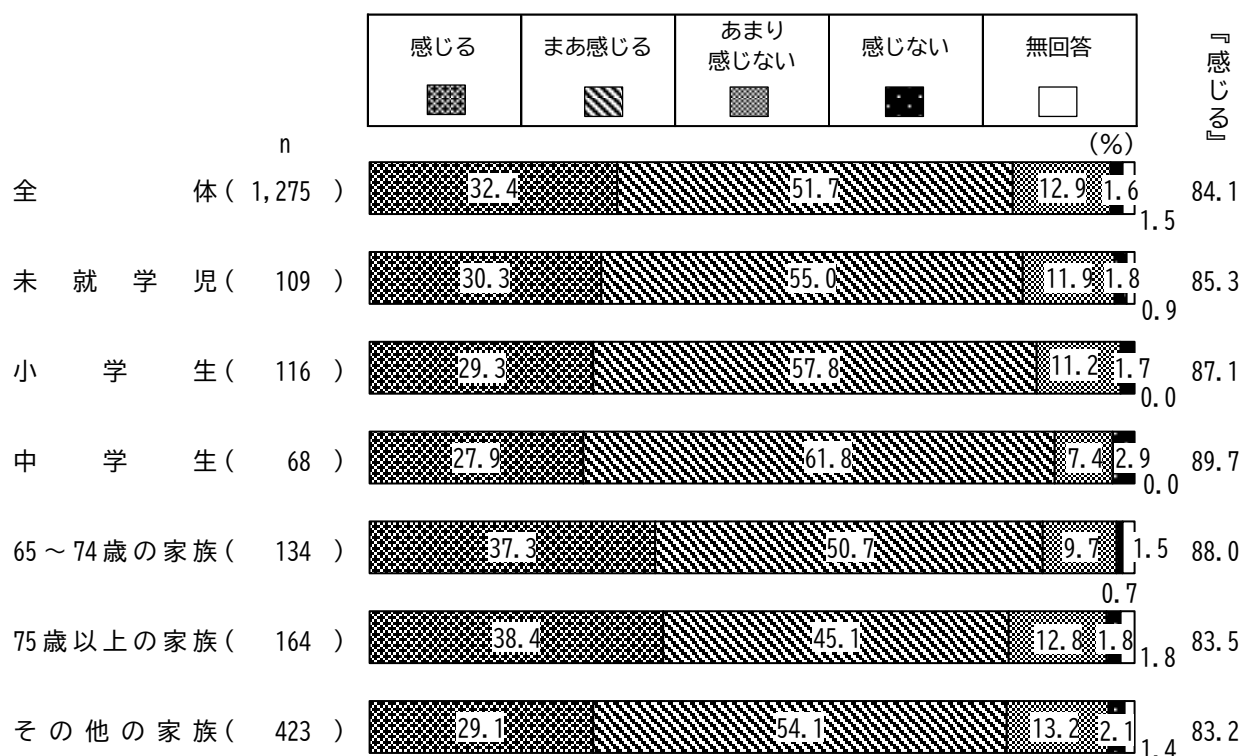
図2-3-7 板橋区に対する愛着（世帯構成別）



⑦ 同居家族別

同居家族別でみると、『感じる』は中学生（89.7%）と同居している方で約9割となっています。（図2-3-8）

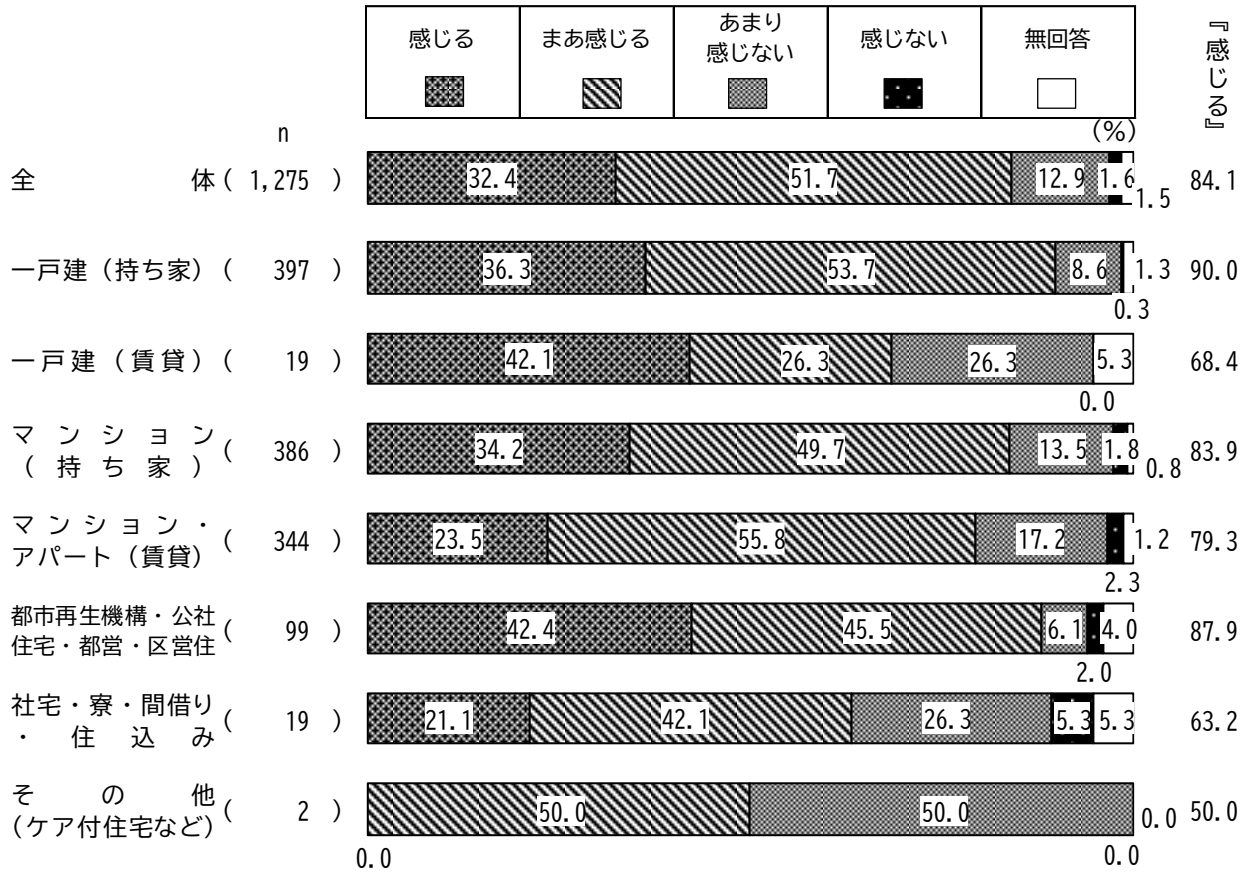
図2-3-8 板橋区に対する愛着（同居家族別）



⑧ 住居形態別

住居形態別でみると、『感じる』は一戸建（持ち家）（90.0%）で9割となっている一方、一戸建（賃貸）（68.4%）は7割近く、社宅・寮・間借り・住込み（63.2%）は6割を超えるにとどまっています。（図2-3-9）

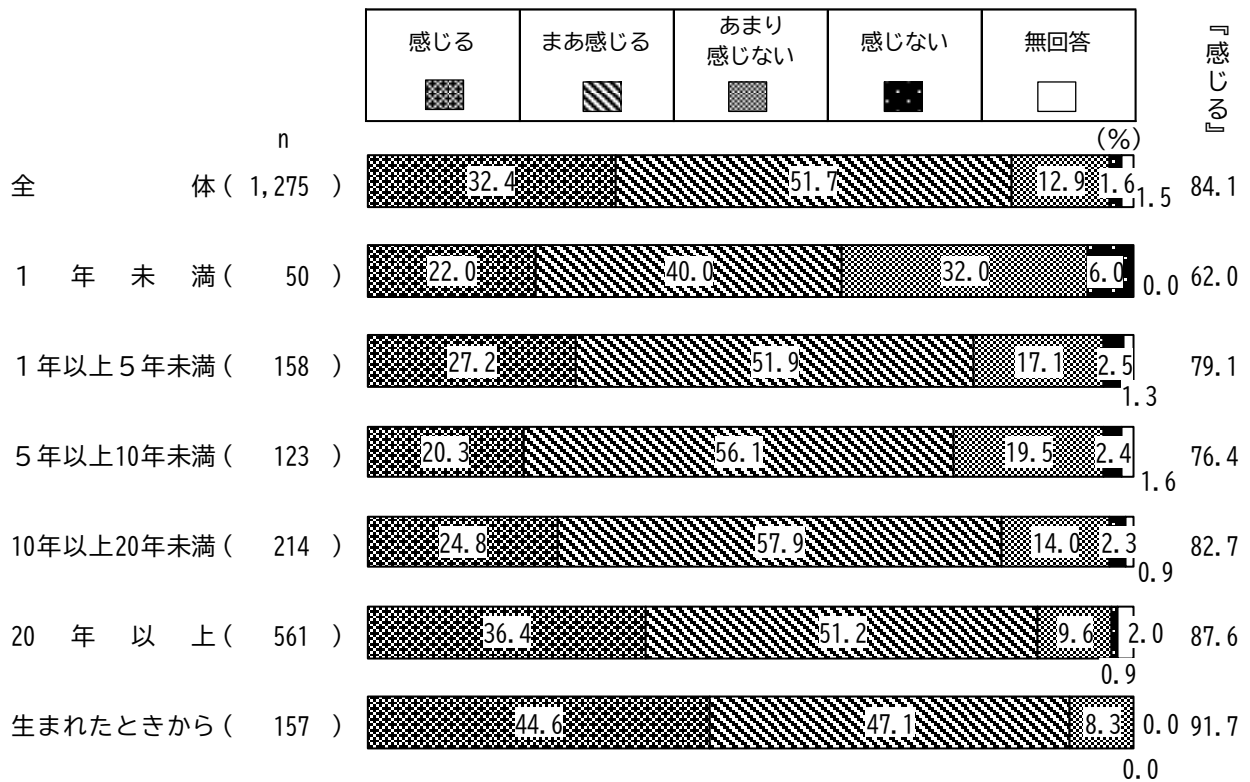
図2-3-9 板橋区に対する愛着（住居形態別）



⑨ 居住年数別

居住年数別でみると、『感じる』は生まれたときから(91.7%)で9割を超えている一方、1年未満(62.0%)は6割を超えるにとどまっています。(図2-3-10)

図2-3-10 板橋区に対する愛着(居住年数別)



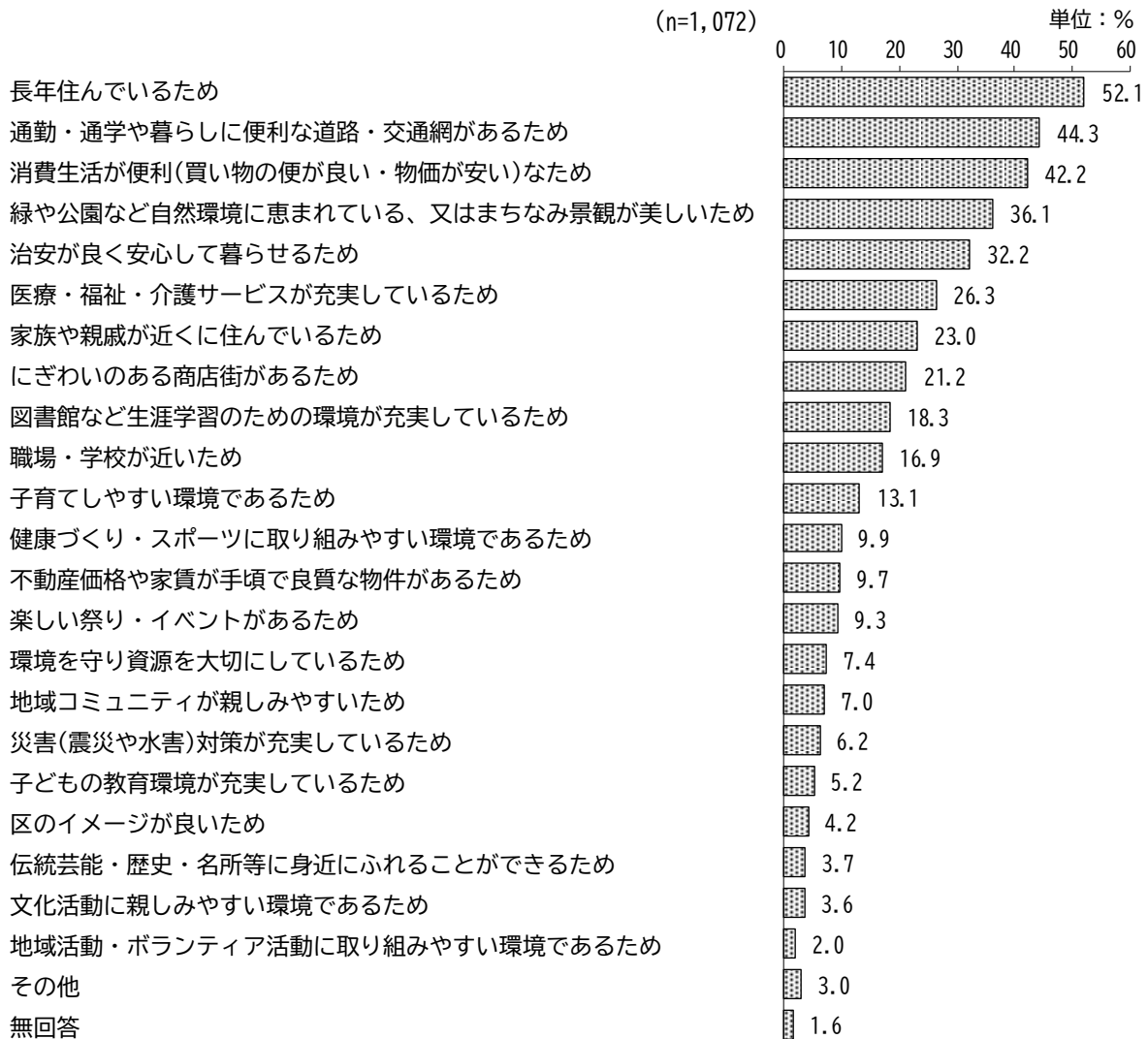
(3-1) 愛着を感じる理由

◇「長年住んでいるため」が5割超え

(問4で板橋区に愛着を「感じる」又は「まあ感じる」と回答した方のみ)

問4-1 「愛着を感じる」理由を5つ選んで下の表に番号を記入してください。

図2-3-11



問4で、板橋区に愛着を「感じる」又は「まあ感じる」と答えた人(1,072人)に、その理由を聞いたところ、「長年住んでいるため」(52.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」(44.3%)、「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」(42.2%)、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(36.1%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(32.2%)などとなっています。(図2-3-11)

① 性別

性別でみると、「長年住んでいるため」は男性(54.1%)、女性(50.9%)で第1位となっています。(表2-3-1)

表2-3-1 愛着を感じる理由(性別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、 又はまちなみ景観が美しいため 36.1	治安が良く安心して暮らせるため 32.2
性 別	男 性	462	長年住んでいるため 54.1	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 46.8	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 37.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、 又はまちなみ景観が美しいため 37.0	治安が良く安心して暮らせるため 32.0
	女 性	593	長年住んでいるため 50.9	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 46.0	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 42.8	緑や公園など自然環境に恵まれている、 又はまちなみ景観が美しいため 35.4	治安が良く安心して暮らせるため 32.5
	そ の 他	0					
	無 回 答	13	長年住んでいるため/消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 38.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため/緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため/家族や親戚が近くに住んでいるため/職場・学校が近い ため/子育てしやすい環境であるため/環境を守り資源を大切にしているため/区のイメージがよい ため 23.1			

② 年代別

年代別でみると、「長年住んでいるため」は18～20歳代（40.0%）、40歳代（46.3%）、50歳～64歳（58.1%）、65歳～74歳（65.7%）、75歳以上（64.7%）で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は18～20歳代（40.0%）、30歳代（30.9%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は75歳以上（46.8%）で第3位、50歳～64歳（27.2%）で第5位となっています。「にぎわいのある商店街があるため」は18～20歳代（32.2%）で第4位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は30歳代（27.2%）で第5位となっています。（表2-3-2）

表2-3-2 愛着を感じる理由（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため	治安が良く安心して暮らせるため
			52.1	44.3	42.2	36.1	32.2
年 代 別	18～20歳代	115	長年住んでいるため/通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため		治安が良く安心して暮らせるため	にぎわいのある商店街があるため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため
			40.0		33.9	32.2	31.3
	30歳代	136	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため		消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため	子育てしやすい環境であるため
			30.9	30.1		27.9	27.2
	40歳代	177	長年住んでいるため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため	
			46.3	42.9	38.4	32.8	
	50歳～64歳	272	長年住んでいるため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため
			58.1	51.1	46.3	27.9	27.2
	65歳～74歳	169	長年住んでいるため	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため	治安が良く安心して暮らせるため
			65.7	50.9	49.7	47.9	36.7
	75歳以上	201	長年住んでいるため	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため		通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため
			64.7	50.7	46.8		42.3

③ 地域別

地域別でみると、「長年住んでいるため」は常盤台地域(62.5%)、志村地域(53.0%)、赤塚地域(51.2%)で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は板橋地域(48.9%)で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は高島平地域(52.6%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は板橋地域(43.9%)で第4位となっています。(表2-3-3)

表2-3-3 愛着を感じる理由(地域別)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.1	治安が良く安心して暮らせるため 32.2
地 域 別	板 橋 地 域	278 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 48.9	長年住んでいるため 48.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 47.1	にぎわいのある商店街があるため 43.9	治安が良く安心して暮らせるため 33.1
	常 盤 台 地 域	128 長年住んでいるため 62.5	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 40.6	治安が良く安心して暮らせるため 36.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.0
	志 村 地 域	217 長年住んでいるため 53.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 41.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 41.0	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.2	治安が良く安心して暮らせるため 29.5
	赤 塚 地 域	246 長年住んでいるため 51.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 43.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 35.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.9	治安が良く安心して暮らせるため 29.7
	高 島 平 地 域	194 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 52.6	長年住んでいるため 50.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 46.4	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.8	治安が良く安心して暮らせるため 34.5

④ 国籍別

国籍別でみると、「治安が良く安心して暮らせるため」は日本以外(42.3%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は日本以外(34.6%)で第3位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は日本以外(30.8%)で第4位となっています。(表2-3-4)

表2-3-4 愛着を感じる理由(国籍別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.1	治安が良く安心して暮らせるため 32.2
国 籍 別	日 本	979	長年住んでいるため 51.3	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 45.1	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 42.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 35.3	治安が良く安心して暮らせるため 31.8
	日 本 以 外	26	長年住んでいるため/治安が良く安心して暮らせるため 42.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 34.6	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/子育てしやすい環境であるため 30.8	

⑤ 職業別

職業別でみると、「長年住んでいるため」は会社員・公務員、その他を除くすべての職業で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は会社員・公務員(46.3%)で第1位となっています。「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」はその他(50.0%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」はその他(40.9%)で第3位、主婦・主夫(41.4%)で第4位となっています。「家族や親戚が近くに住んでいるため」は学生(41.4%)で第3位となっています。(表2-3-5)

表2-3-5 愛着を感じる理由(職業別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 44.3	消費生活が便利(買い 物の便が良い・物価 が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 36.1	治安が良く安心して 暮らせるため 32.2
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	451	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 46.3	長年住んでいるため 43.9	消費生活が便利(買い 物の便が良い・物価 が安い)なため 38.8	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 30.4	治安が良く安心して 暮らせるため 29.0
	自 営 業 ・ 自 由 業	80	長年住んでいるため 60.0	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 46.3	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が 安い)なため/治安が良く 安心して暮らせる ため 37.5	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 35.0	
	アルバイト・ パ ー ト	134	長年住んでいるため 49.3	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 47.0	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 41.0	消費生活が便利(買い 物の便が良い・物価 が安い)なため 36.6	職場・学校が近い ため 29.1
	主 婦 ・ 主 夫	133	長年住んでいるため 55.6	消費生活が便利(買い 物の便が良い・物価 が安い)なため 48.1	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 42.9	医療・福祉・介護 サービスが充実して いるため 41.4	通勤・通学や暮らし に便利な道路・交通 網があるため 34.6
	学 生	29	長年住んでいるため 51.7	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 48.3	治安が良く安心して 暮らせるため/家族や親 戚が近くに住んでいる ため 41.4	消費生活が便利(買い 物の便が良い・物価 が安い)なため 31.0	
	無 職	207	長年住んでいるため 68.1	消費生活が便利(買い 物の便が良い・物価 が安い)なため 51.2	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 43.5	治安が良く安心して 暮らせるため 42.0	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 41.1
	そ の 他	22	緑や公園など自然環 境に恵まれている、 又はまちなみ景観が 美しいため 50.0	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 45.5	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が 安い)なため/医療・福祉・ 介護サービスが 充実しているため 40.9	長年住んでいるため 36.4	

⑥ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「長年住んでいるため」はその他を除くすべての世帯構成で第1位となっています。「消費生活が便利（買い物の便が良い・物価が安い）なため」はその他（53.6%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「家族や親戚が近くに住んでいるため」は二世帯同居（親と同居）（34.5%）で第3位、三世帯同居（32.1%）、その他（39.3%）で第5位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は二世帯同居（子と同居）（28.9%）で第5位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」はその他（39.3%）で第5位となっています。（表2-3-6）

表2-3-6 愛着を感じる理由（世帯構成別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 36.1	治安が良く安心して暮らせる ため 32.2
世帯 構成 別	単 身 世 帯	253	長年住んでいるため 51.4	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 47.8	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 44.3	治安が良く安心して暮らせる ため 37.9	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 33.2
	夫 婦 の み	278	長年住んでいるため 56.1	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 46.8	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 42.4	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 41.4	治安が良く安心して暮らせる ため 33.1
	二 世 代 同 居 (子 と 同 居)	370	長年住んでいるため 45.7	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 45.1	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 38.6	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 34.9	子育てしやすい環境である ため 28.9
	二 世 代 同 居 (親 と 同 居)	110	長年住んでいるため 66.4	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 37.3	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため/家族や親 戚が近くに住んでいるため 34.5	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 33.6	
	三 世 代 同 居	28	長年住んでいるため 50.0	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 42.9	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 39.3	治安が良く安心して暮らせる ため 35.7	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため/家族や親 戚が近くに住んでいるため 32.1
	そ の 他	28	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 53.6	長年住んでいるため/通勤・通 学や暮らしに便利な道路・交 通網があるため 46.4	治安が良く安心して暮らせる ため 42.9	医療・福祉・介護サービスが 充実しているため/家族や親 戚が近くに住んでいるため 39.3	

⑦ 同居家族別

同居家族別でみると、「長年住んでいるため」は、65～74歳の家族（66.1%）、75歳以上の家族（62.0%）、その他の家族（56.3%）と同居している方で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は中学生（45.9%）と同居している方で第1位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は未就学児（50.5%）、小学生（46.5%）と同居している方で第1位となっています。

その他の特徴として、「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は75歳以上の家族（40.1%）と同居している方で第3位、65～74歳の家族（36.4%）と同居している方で第5位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は中学生（29.5%）と同居している方で第5位となっています。（表2-3-7）

表2-3-7 愛着を感じる理由（同居家族別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利(買い物の便が 良い・物価が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が 美しいため 36.1	治安が良く安心して暮らせるため 32.2
同居家族別	未 就 学 児	93	子育てしやすい環境であるため 50.5	緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が 美しいため 37.6	通勤・通学や暮らしに便利な道 路・交通網があるため 33.3	家族や親戚が近くに住んでい るため 25.8	長年住んでいるため/消費生活 が便利(買い物の便が良い・物 価が安い)なため/職場・学校 が近い ため 他※ 24.7
	小 学 生	101	子育てしやすい環境であるため 46.5	通勤・通学や暮らしに便利な道 路・交通網があるため 35.6	長年住んでいるため 34.7	緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が 美しいため 32.7	職場・学校が近い ため 30.7
	中 学 生	61	通勤・通学や暮らしに便利な道 路・交通網があるため 45.9	消費生活が便利(買い物の便が 良い・物価が安い)なため 37.7	長年住んでいるため 36.1	緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が 美しいため 31.1	子育てしやすい環境であるため 29.5
	65 ～ 74 歳の 家 族	118	長年住んでいるため 66.1	通勤・通学や暮らしに便利な道 路・交通網があるため 50.0	消費生活が便利(買い物の便が 良い・物価が安い)なため 40.7	緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が 美しいため 38.1	医療・福祉・介護サービスが充 実しているため 36.4
	75 歳 以上 の 家 族	137	長年住んでいるため 62.0	消費生活が便利(買い物の便が 良い・物価が安い)なため 46.0	緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が 美しいため/医療・福祉・介護 サービスが充実しているため 40.1	治安が良く安心して暮らせるため 38.0	
	その他の家族	352	長年住んでいるため 56.3	通勤・通学や暮らしに便利な道 路・交通網があるため 46.6	消費生活が便利(買い物の便が 良い・物価が安い)なため 45.2	緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が 美しいため 35.5	治安が良く安心して暮らせるため 30.4

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

⑧ 住居形態別

住居形態別でみると、「長年住んでいるため」は一戸建(持ち家)(63.3%)、マンション(持ち家)(53.1%)で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」はマンション・アパート(賃貸)(43.2%)、社宅・寮・間借り・住込み(41.7%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「にぎわいのある商店街があるため」は一戸建(賃貸)(30.8%)で第3位、マンション・アパート(賃貸)(29.3%)で第5位となっています。「職場・学校が近いため」「子育てしやすい環境であるため」は一戸建(賃貸)(30.8%)で第3位となっています。(表2-3-8)

表2-3-8 愛着を感じる理由(住居形態別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 36.1	治安が良く安心して暮らせるため 32.2
住居形態別	一 戸 建 (持 ち 家)	357	長年住んでいるため 63.3	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため/消費生活が 便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 44.8	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 37.3	治安が良く安心して暮らせるため 32.8	
	一 戸 建 (賃 貸)	13	消費生活が便利(買い物の便 が良い・物価が安い)なため/緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が美しいため 46.2		通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため/にぎわいの ある商店街があるため/職場・学校が近いため/子育てし やすい環境であるため 30.8		
	マ ン シ ョ ン (持 ち 家)	324	長年住んでいるため 53.1	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 46.9	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 44.1	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 38.3	治安が良く安心して暮らせるため 29.0
	マ ン シ ョ ン ・ ア パ ー ト (賃 貸)	273	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 43.2	長年住んでいるため 38.5	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 36.3	治安が良く安心して暮らせるため 30.8	にぎわいのある商店街があるため 29.3
	都市再生機構 ・ 公 社 住 宅 ・ 都 営 住 宅 ・ 区 営 住 宅	87	緑や公園など自然環境に 恵まれている、又はまちなみ 景観が美しいため 54.0	長年住んでいるため 52.9	治安が良く安心して暮らせるため 47.1	消費生活が便利(買い物の 便が良い・物価が安い)なため 44.8	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため 36.8
	社 宅 ・ 寮 ・ 間 借 り ・ 住 込 み	12	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通網があるため/治安が良く安心して暮らせるため 41.7		長年住んでいるため 33.3	消費生活が便利(買い物の便 が良い・物価が安い)なため/緑や公園など自然環境に恵ま れている、又はまちなみ景観が美しいため 25.0	
	その他(ケア付住宅など)	1					

⑨ 居住年数別

居住年数別でみると、「長年住んでいるため」は20年以上(68.2%)、生まれたときから(86.8%)で第1位となっています。「通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため」は1年以上5年未満(39.2%)、5年以上10年未満(47.9%)、10年以上20年未満(44.1%)で第1位となっています。「消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため」「治安が良く安心して暮らせるため」は1年未満(35.5%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「家族や親戚が近くに住んでいるため」は生まれたときから(44.4%)で第2位となっています。「にぎわいのある商店街があるため」は1年未満(25.8%)で第4位、1年以上5年未満(32.8%)で第5位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は1年未満(25.8%)で第4位、5年以上10年未満(24.5%)で第5位となっています。(表2-3-9)

表2-3-9 愛着を感じる理由(居住年数別)

(%)

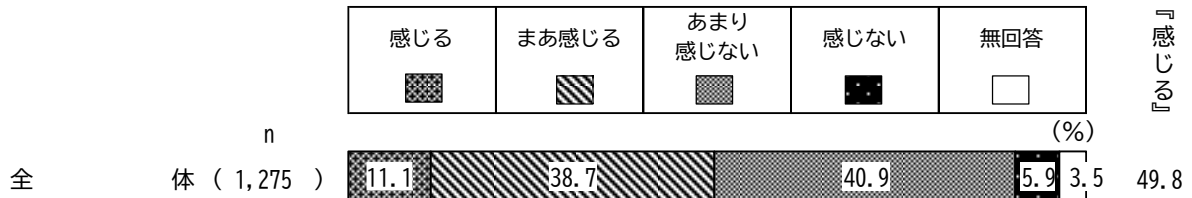
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,072	長年住んでいるため 52.1	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.3	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 42.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.1	治安が良く安心して暮らせるため 32.2
居 住 年 数 別	1 年 未 満	31	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため/治安が良く安心して暮らせるため 35.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 32.3	にぎわいのある商店街があるため/子育てしやすい環境であるため 25.8		
	1 年 以 上 5 年 未 満	125	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 39.2	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 38.4	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 36.0	治安が良く安心して暮らせるため 33.6	にぎわいのある商店街があるため 32.8
	5 年 以 上 10 年 未 満	94	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 47.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 41.5	治安が良く安心して暮らせるため 40.4	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 38.3	子育てしやすい環境であるため 24.5
	10 年 以 上 20 年 未 満	177	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 44.1	長年住んでいるため 41.8	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 40.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 29.9	治安が良く安心して暮らせるため 26.6
	20 年 以 上	491	長年住んでいるため 68.2	通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため 47.5	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため 47.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 39.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 35.2
	生 ま れ た と き か ら	144	長年住んでいるため 86.8	家族や親戚が近くに 住んでいるため 44.4	通勤・通学や暮らしに 便利な道路・交通 網があるため 41.0	消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が 安い)なため/治安が良く安心して暮らせる ため 33.3	

(4) 板橋区に対する誇り

◇『感じる』が約5割

問5 あなたは、板橋区での暮らしに「誇り」を感じますか。(○はそれぞれ1つ)

図2-4-1



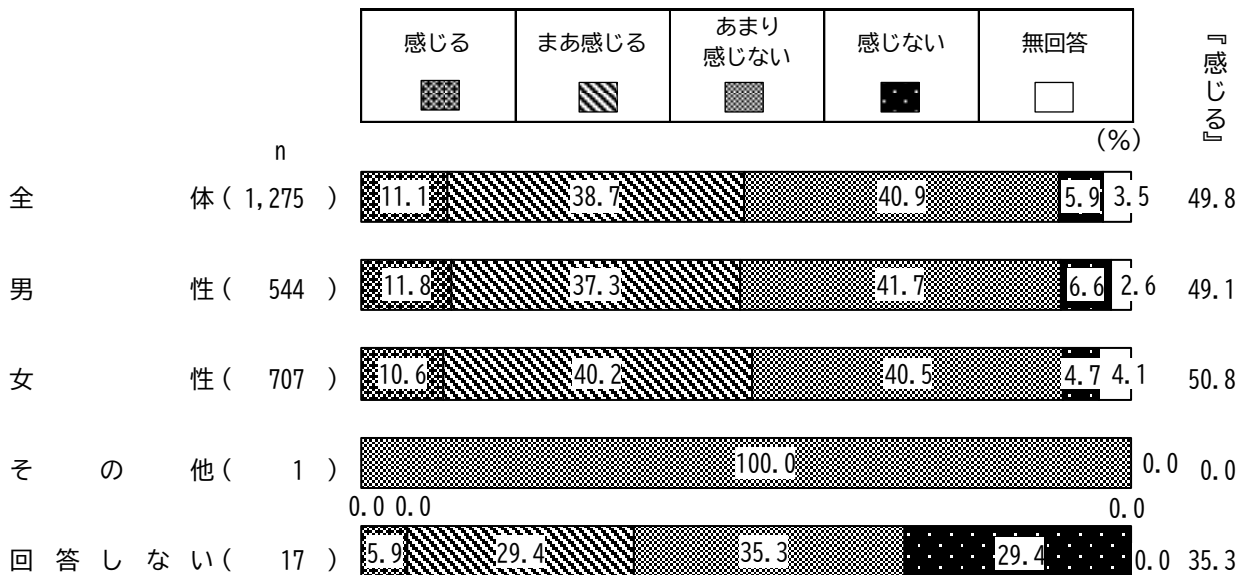
板橋区に「誇り」を感じるかを聞いたところ、「感じる」(11.1%)が1割を超え、これに「まあ感じる」(38.7%)を合わせた『感じる』(49.8%)は約5割となっています。(図2-4-1)

① 性別

性別でみると、『感じる』は男性(49.1%)、女性(50.8%)で約5割となっています。

(図2-4-2)

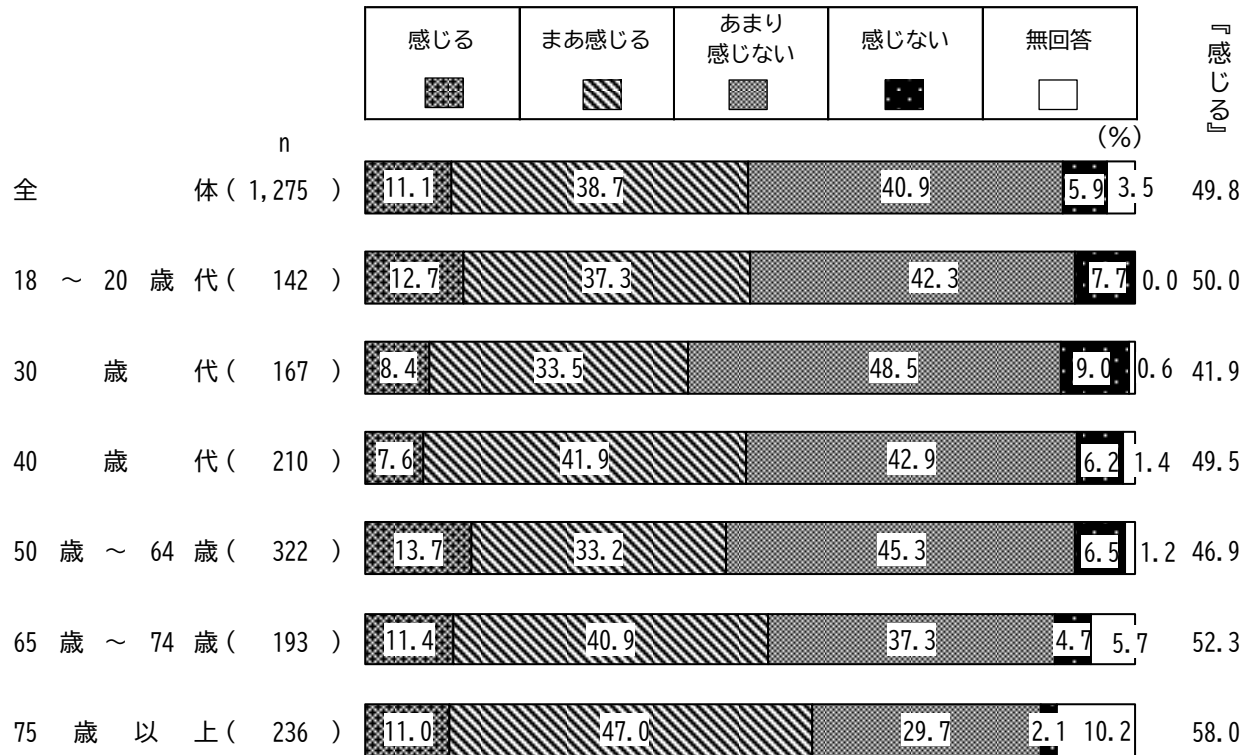
図2-4-2 板橋区に対する誇り(性別)



② 年代別

年代別でみると、『感じる』は75歳以上（58.0％）で6割近く、65歳～74歳（52.3％）で5割超え、18～20歳代（50.0％）で5割、40歳代（49.5％）で5割近くとなっています。（図2-4-3）

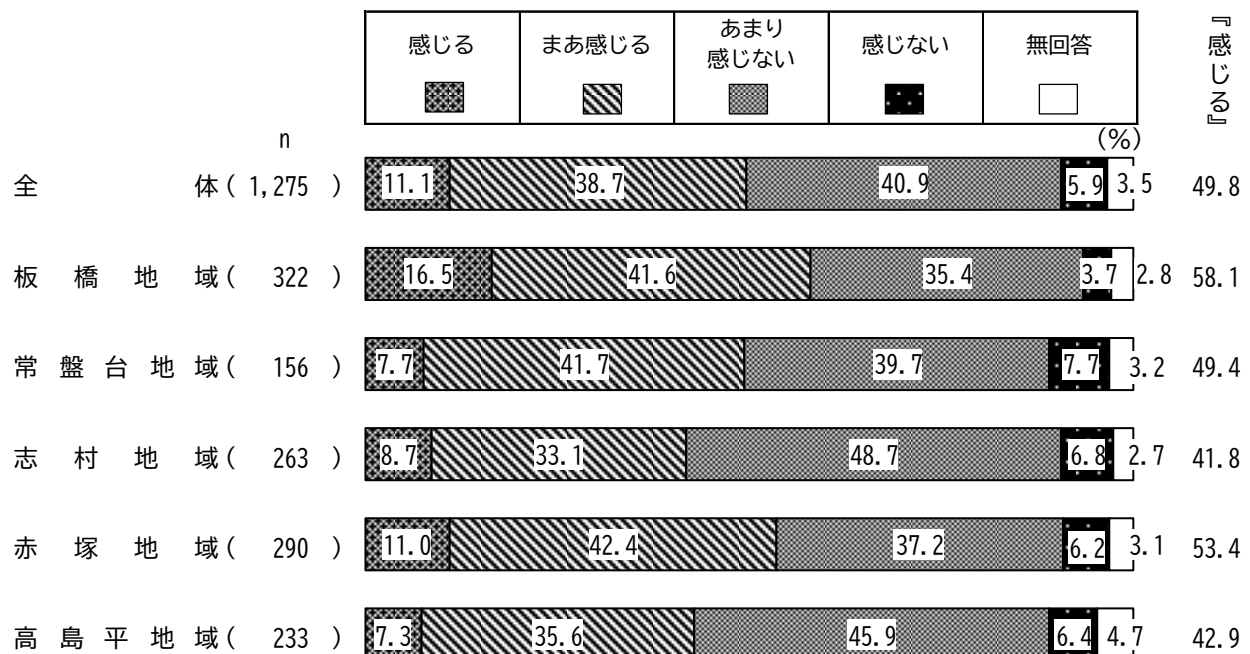
図2-4-3 板橋区に対する誇り（年代別）



③ 地域別

地域別でみると、『感じる』は板橋地域（58.1％）で6割近く、赤塚地域（53.4％）で5割を超えています。（図2-4-4）

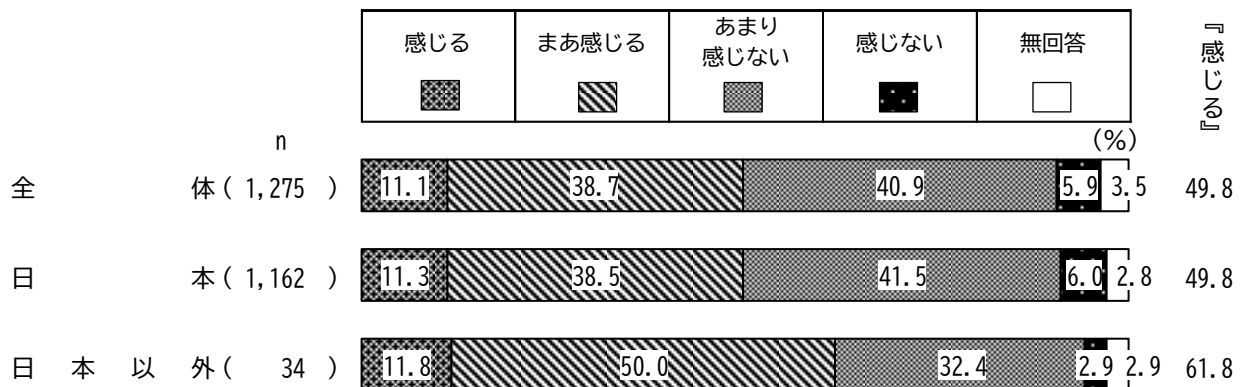
図2-4-4 板橋区に対する誇り（地域別）



④ 国籍別

国籍別でみると、『感じる』は日本以外（61.8%）で6割を超えています。（図2-4-5）

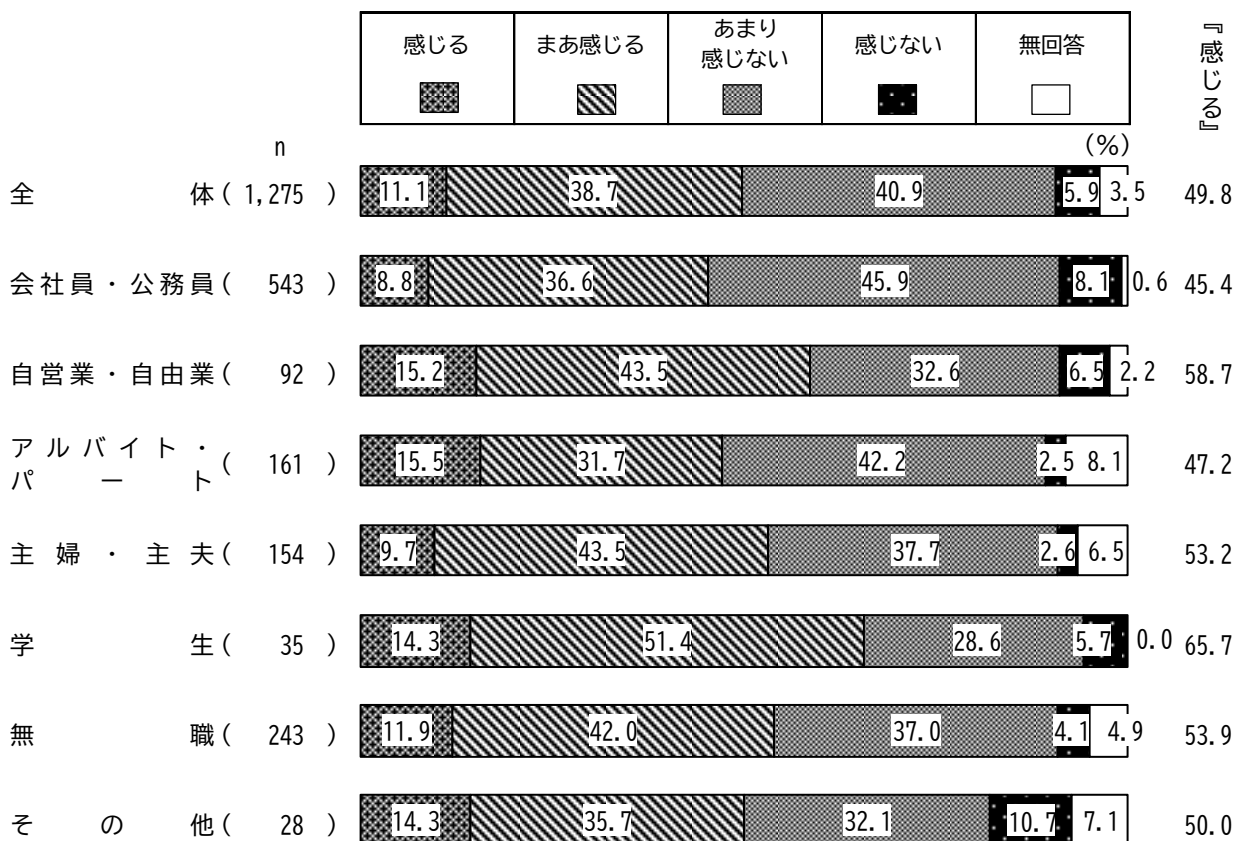
図2-4-5 板橋区に対する誇り（国籍別）



⑤ 職業別

職業別でみると、『感じる』は学生（65.7%）で6割半ば、自営業・自由業（58.7%）で6割近く、無職（53.9%）、主婦・主夫（53.2%）、その他（50.0%）で5割台となっています。（図2-4-6）

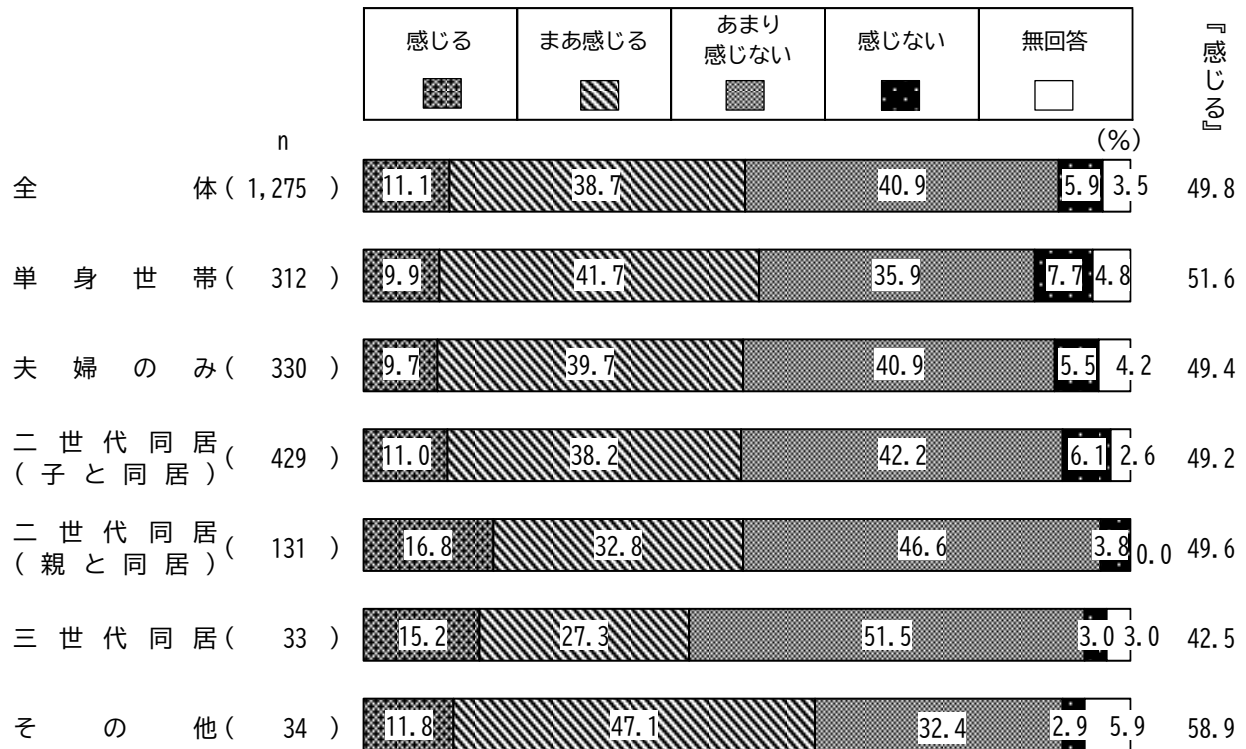
図2-4-6 板橋区に対する誇り（職業別）



⑥ 世帯構成別

世帯構成別でみると、『感じる』はその他（58.9%）で6割近く、単身世帯（51.6%）で5割を超えています。（図2-4-7）

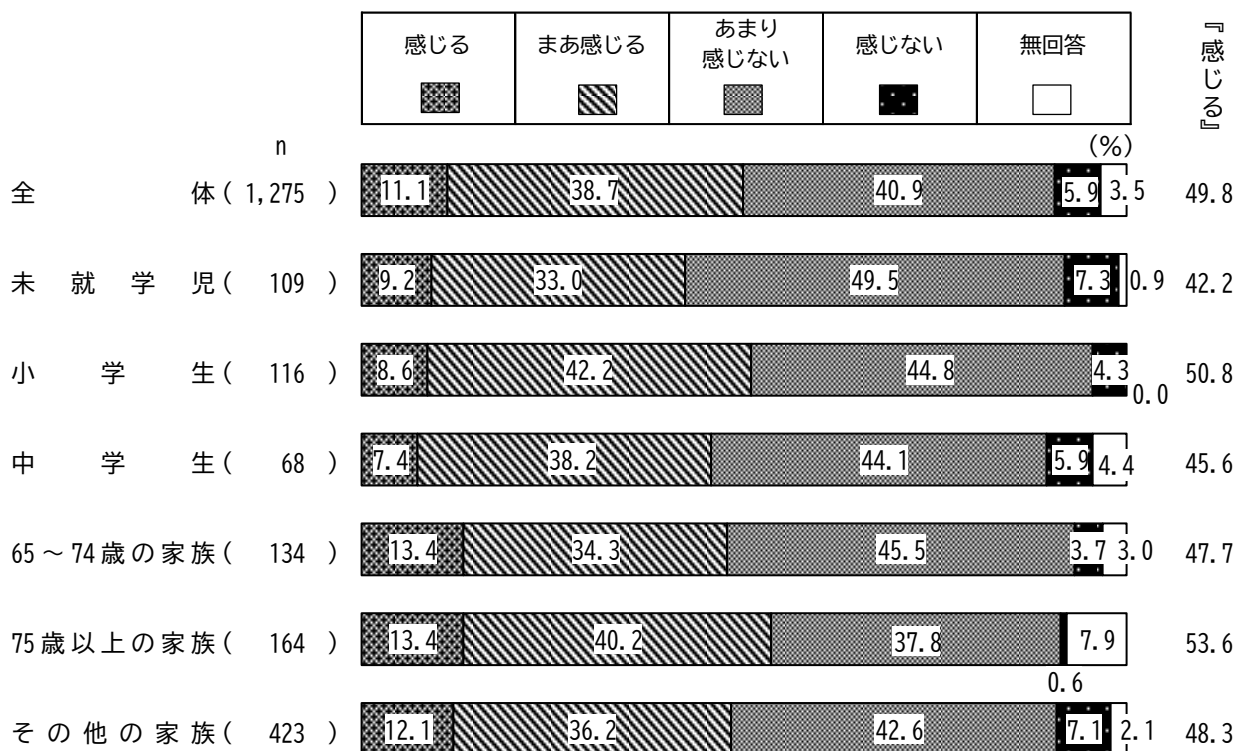
図2-4-7 板橋区に対する誇り（世帯構成別）



⑦ 同居家族別

同居家族別でみると、『感じる』は75歳以上の家族（53.6%）と同居している方で5割を超え、小学生（50.8%）と同居している方で約5割となっています。（図2-4-8）

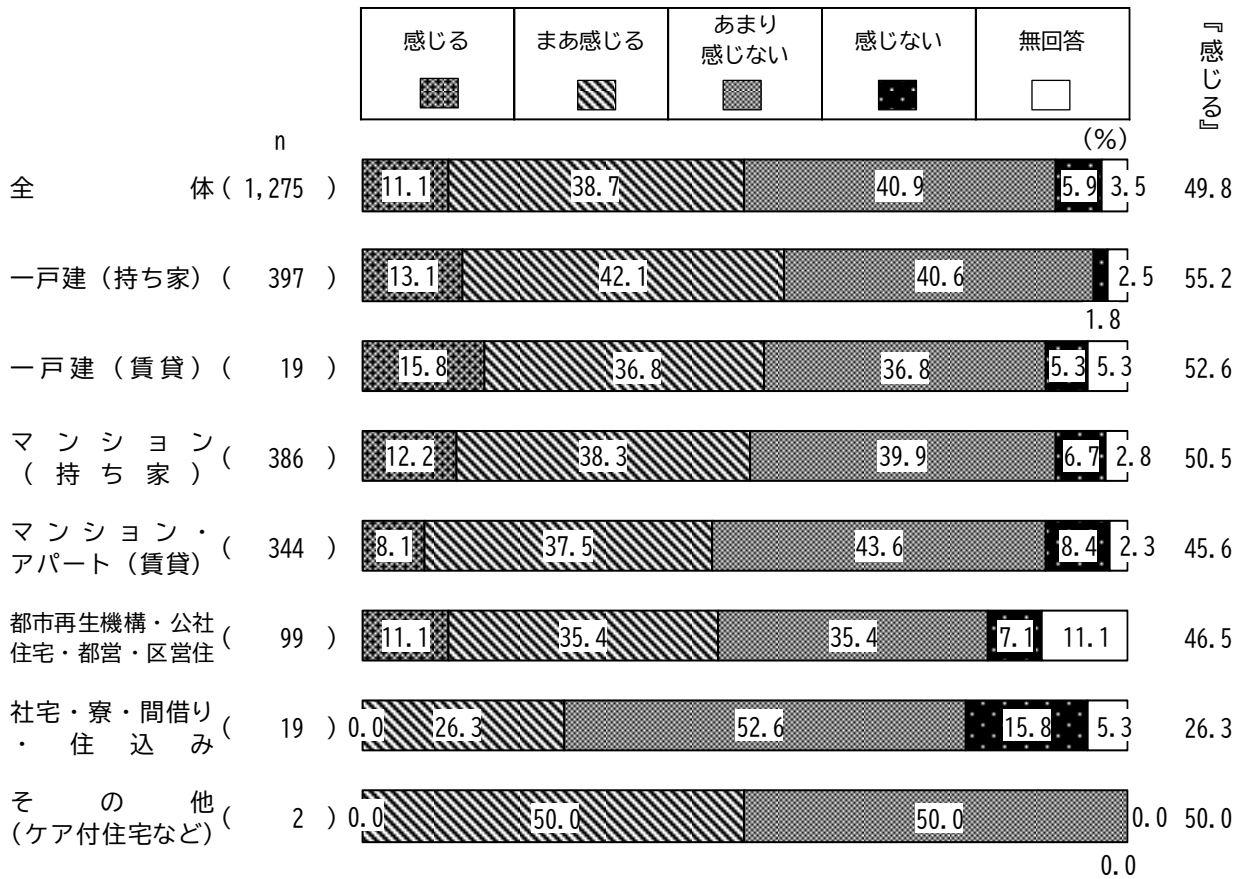
図2-4-8 板橋区に対する誇り（同居家族別）



⑧ 住居形態別

住居形態別でみると、『感じる』は一戸建（持ち家）（55.2%）で5割半ばとなっています。一方、社宅・寮・間借り・住込み（26.3%）は2割半ばにとどまっています。（図2-4-9）

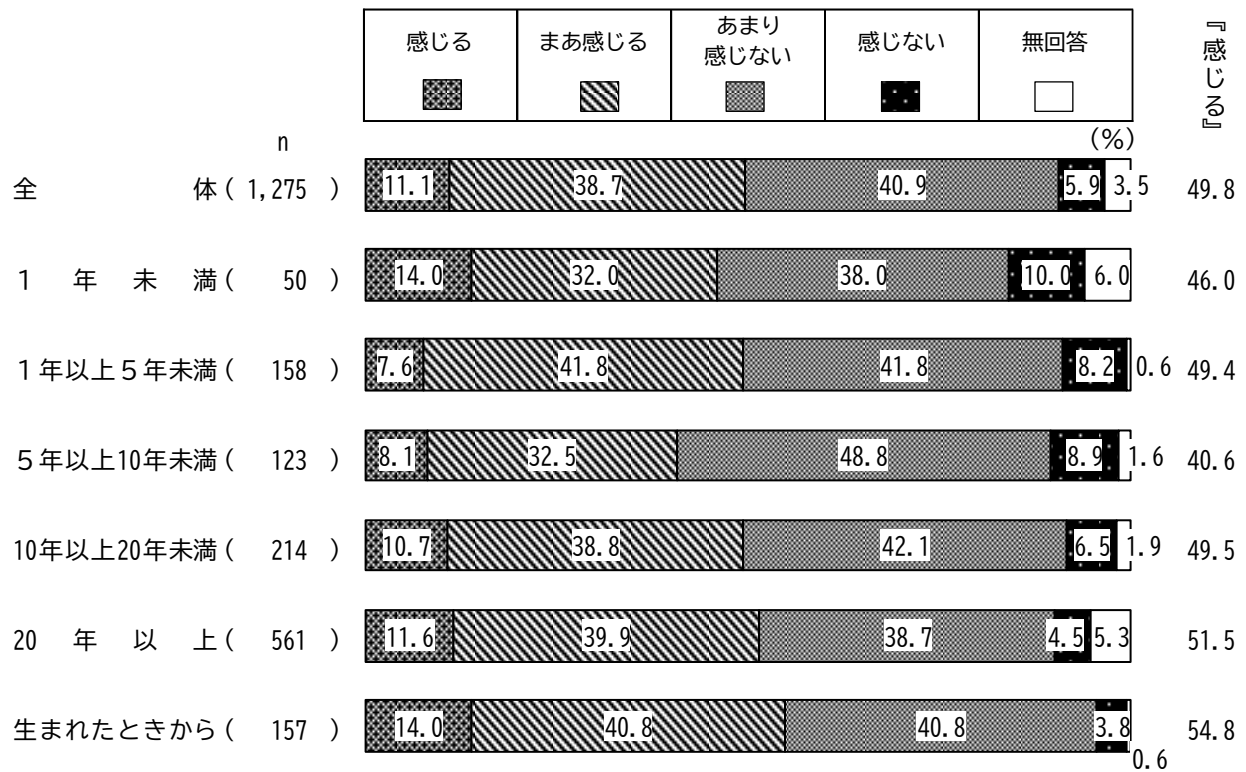
図2-4-9 板橋区に対する誇り（住居形態別）



⑨ 居住年数別

居住年数別でみると、『感じる』は生まれたときから（54.8%）で5割半ば、20年以上（51.5%）で5割を超えています。（図2-4-10）

図2-4-10 板橋区に対する誇り（居住年数別）



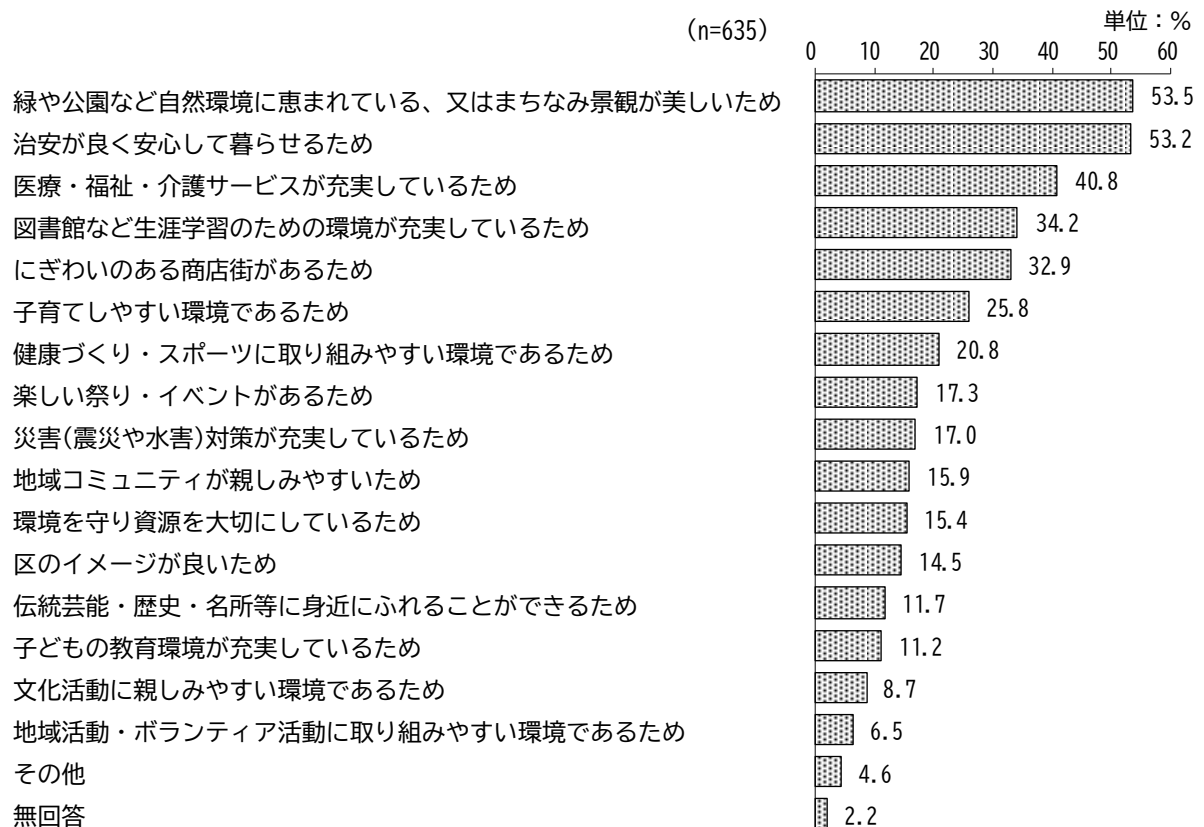
(4-1) 誇りを感じる理由

◇「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」、「治安が良く安心して暮らせるため」が5割超え

(問5で板橋区に誇りを「感じる」又は「まあ感じる」と回答した方のみ)

問5-1 「誇りを感じる」理由を5つ選んで下の表に番号を記入してください。

図2-4-11



問5で、板橋区に誇りを「感じる」又は「まあ感じる」と答えた人(635人)に、その理由を聞いたところ、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」(53.5%)、「治安が良く安心して暮らせるため」(53.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」(40.8%)、「図書館など生涯学習のための環境が充実しているため」(34.2%)、「にぎわいのある商店街があるため」(32.9%)、「子育てしやすい環境であるため」(25.8%)などとなっています。(図2-4-11)

① 性別

性別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は男性（56.6%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は女性（52.1%）で第1位となっています。（表2-4-1）

表2-4-1 誇りを感じる理由（性別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
性 別	男 性	267	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 56.6	治安が良く安心して暮らせるため 54.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 43.1	にぎわいのある商店街があるため 32.2	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 31.1
	女 性	359	治安が良く安心して暮らせるため 52.1	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 51.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 39.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 35.9	にぎわいのある商店街があるため 33.4
	そ の 他	0					
	無 回 答	6	治安が良く安心して暮らせるため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 66.7		環境を守り資源を大切にしているため 50.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/にぎわいのある商店街があるため/災害(震災や水害)対策が充実しているため 33.3	

② 年代別

年代別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は30歳代（51.4%）、65歳～74歳（64.4%）、75歳以上（65.7%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は18～20歳代（54.9%）、40歳代（50.0%）、50歳～64歳（49.0%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は30歳代（47.1%）、40歳代（43.3%）で第3位となっています。「楽しい祭り・イベントがあるため」は18～20歳代（23.9%）で第4位となっています。「健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため」は65～74歳代（30.7%）で第5位となっています。（表2-4-2）

表2-4-2 誇りを感じる理由（年代別）

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
年 代 別	18～20歳代	71 治安が良く安心して暮らせるため 54.9	71 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 42.3	71 にぎわいのある商店街があるため 40.8	71 楽しい祭り・イベントがあるため 23.9	71 医療・福祉・介護サービスが充実しているため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 22.5
	30歳代	70 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 51.4	70 治安が良く安心して暮らせるため 48.6	70 子育てしやすい環境であるため 47.1	70 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.3	70 にぎわいのある商店街があるため 25.7
	40歳代	104 治安が良く安心して暮らせるため 50.0	104 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 47.1	104 子育てしやすい環境であるため 43.3	104 にぎわいのある商店街があるため 29.8	104 医療・福祉・介護サービスが充実しているため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 28.8
	50歳～64歳	151 治安が良く安心して暮らせるため 49.0	151 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 46.4	151 医療・福祉・介護サービスが充実しているため 43.7	151 にぎわいのある商店街があるため 35.8	151 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.4
	65歳～74歳	101 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 64.4	101 治安が良く安心して暮らせるため 63.4	101 医療・福祉・介護サービスが充実しているため 48.5	101 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 40.6	101 にぎわいのある商店街があるため/健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 30.7
	75歳以上	137 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 65.7	137 医療・福祉・介護サービスが充実しているため 61.3	137 治安が良く安心して暮らせるため 54.7	137 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 39.4	137 にぎわいのある商店街があるため 33.6

③ 地域別

地域別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は志村地域（64.5%）、赤塚地域（51.6%）、高島平地域（68.0%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は常盤台地域（54.5%）で第1位となっています。「にぎわいのある商店街があるため」は板橋地域（53.5%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は高島平地域（39.0%）で第4位、志村地域（28.2%）で第5位となっています。（表2-4-3）

表2-4-3 誇りを感じる理由（地域別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
地 域 別	板 橋 地 域	187	にぎわいのある商店街があるため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 50.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 46.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 43.9	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 28.3
	常 盤 台 地 域	77	治安が良く安心して暮らせるため 54.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 46.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 41.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 39.0	にぎわいのある商店街があるため 33.8
	志 村 地 域	110	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 64.5	治安が良く安心して暮らせるため 55.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 43.6	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 39.1	子育てしやすい環境であるため 28.2
	赤 塚 地 域	155	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 51.6	治安が良く安心して暮らせるため 51.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 35.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 30.3	にぎわいのある商店街があるため 27.7
	高 島 平 地 域	100	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 68.0	治安が良く安心して暮らせるため 59.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 44.0	子育てしやすい環境であるため 39.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 33.0

④ 国籍別

国籍別でみると、「治安が良く安心して暮らせるため」は日本以外（61.9%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は日本以外（42.9%）で第2位となっています。（表2-4-4）

表2-4-4 誇りを感じる理由（国籍別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
国 籍 別	日 本	578	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 52.8	治安が良く安心して暮らせるため 52.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 39.6	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/にぎわいのある商店街があるため 33.6	
	日 本 以 外	21	治安が良く安心して暮らせるため 61.9	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/子育てしやすい環境であるため 42.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 33.3	にぎわいのある商店街があるため/区のイメージが良いため 28.6	

⑤ 職業別

職業別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は会社員・公務員（48.6%）、主婦・主夫（57.3%）、その他（85.7%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は自営業・自由業（59.3%）、アルバイト・パート（55.3%）、学生（56.5%）、無職（62.6%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は会社員・公務員（33.6%）で第4位、アルバイト・パート（32.9%）で第5位となっています。「健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため」は主婦・主夫（28.0%）、その他（28.6%）で第5位となっています。「地域コミュニティが親しみやすいため」は学生（30.4%）で第4位となっています。（表2-4-5）

表2-4-5 誇りを感じる理由（職業別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	247	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 48.6	治安が良く安心して暮らせるため 47.8	にぎわいのある商店街があるため 35.2	子育てしやすい環境であるため 33.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 29.6
	自 営 業 ・ 自 由 業	54	治安が良く安心して暮らせるため 59.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.7	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 31.5	にぎわいのある商店街があるため 24.1
	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	76	治安が良く安心して暮らせるため 55.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 36.8	にぎわいのある商店街があるため 36.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/子育てしやすい環境であるため 32.9
	主 婦 ・ 主 夫	82	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 57.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 52.4	治安が良く安心して暮らせるため 46.3	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 45.1	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 28.0
	学 生	23	治安が良く安心して暮らせるため 56.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 43.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 39.1	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/地域コミュニティが親しみやすいため 30.4	
	無 職	131	治安が良く安心して暮らせるため 62.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 59.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 57.3	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/にぎわいのある商店街があるため 36.6	
	そ の 他	14	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 85.7	治安が良く安心して暮らせるため 57.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 50.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 35.7	にぎわいのある商店街があるため/健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため 他※ 28.6

※同率の項目が多いため、選択肢の一部を省略している。

⑥ 世帯構成別

世帯構成別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は、夫婦のみ（61.3%）、二世帯同居（子と同居）（50.7%）、二世帯同居（親と同居）（52.3%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は単身世帯（56.5%）、二世帯同居（親と同居）（52.3%）、三世帯同居（64.3%）、その他（60.0%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は二世帯同居（子と同居）（46.9%）で第3位となっています。「楽しい祭り・イベントがあるため」は三世帯同居（35.7%）で第3位となっています。（表2-4-6）

表2-4-6 誇りを感じる理由（世帯構成別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
世帯構成別	単身世帯	161	治安が良く安心して暮らせるため 56.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.3	にぎわいのある商店街があるため 39.8	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 35.4	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 35.4
	夫婦のみ	163	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 61.3	治安が良く安心して暮らせるため 54.6	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 49.7	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 35.0	にぎわいのある商店街があるため 30.7
	二世帯同居（子と同居）	211	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.7	治安が良く安心して暮らせるため 48.8	子育てしやすい環境であるため 46.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 37.9	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 35.5
	二世帯同居（親と同居）	65	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため 52.3		医療・福祉・介護サービスが充実しているため 43.1	にぎわいのある商店街があるため 36.9	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 33.8
	三世帯同居	14	治安が良く安心して暮らせるため 64.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.0	楽しい祭り・イベントがあるため 35.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/地域コミュニティが親しみやすいため 28.6	
	その他	20	治安が良く安心して暮らせるため 60.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.0	にぎわいのある商店街があるため 30.0	区のイメージが良いため 25.0

⑦ 同居家族別

同居家族別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は65～74歳の家族（56.3%）、75歳以上の家族（55.7%）、その他の家族（54.9%）と同居している方で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は75歳以上の家族（55.7%）と同居している方で第1位となっています。「子育てしやすい環境であるため」は未就学児（71.7%）、小学生（74.6%）、中学生（61.3%）と同居している方で第1位となっています。

その他の特徴として、「楽しい祭り・イベントがあるため」は中学生（29.0%）と同居している方で第4位となっています。「子どもの教育環境が充実しているため」は未就学児（30.4%）、中学生（29.0%）と同居している方で第4位、小学生（25.4%）と同居している方で第5位となっています。（表2-4-7）

表2-4-7 誇りを感じる理由（同居家族別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
同居家族別	未 就 学 児	46	子育てしやすい環境であるため 71.7	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 50.0	治安が良く安心して暮らせるため 45.7	子どもの教育環境が充実しているため 30.4	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 28.3
	小 学 生	59	子育てしやすい環境であるため 74.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 49.2	治安が良く安心して暮らせるため 39.0	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 37.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/子どもの教育環境が充実しているため 25.4
	中 学 生	31	子育てしやすい環境であるため 61.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 51.6	治安が良く安心して暮らせるため 48.4	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/にぎわいのある商店街があるため/楽しい祭り・イベントがあるため/子どもの教育環境が充実しているため 29.0	
	65 ～ 74 歳の 家 族	64	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 56.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 53.1	治安が良く安心して暮らせるため 51.6	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 37.5	にぎわいのある商店街があるため 35.9
	75 歳 以 上 の 家 族	88	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため 55.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 52.3	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 31.8	にぎわいのある商店街があるため 27.3	
	その他の家族	204	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 54.9	治安が良く安心して暮らせるため 53.9	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.2	にぎわいのある商店街があるため 33.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 31.4

⑧ 住居形態別

住居形態別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は一戸建（賃貸）（50.0%）、マンション（持ち家）（61.5%）で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は一戸建（持ち家）（54.3%）、マンション・アパート（賃貸）（55.4%）、都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅（63.0%）で第1位となっています。「医療・福祉・介護サービスが充実しているため」は一戸建（賃貸）（50.0%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は一戸建（賃貸）（40.0%）で第3位、マンション（持ち家）（31.3%）で第5位となっています。（表2-4-8）

表2-4-8 誇りを感じる理由（住居形態別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
住居形態別	一 戸 建 （ 持 ち 家 ）	219	治安が良く安心して暮らせるため 54.3	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 52.5	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 43.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 36.1	にぎわいのある商店街があるため 32.4
	一 戸 建 （ 賃 貸 ）	10	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/医療・福祉・介護サービスが充実しているため 50.0		子育てしやすい環境であるため 40.0	治安が良く安心して暮らせるため/にぎわいのある商店街があるため/区のイメージが良いため 30.0	
	マ ン シ ョ ン （ 持 ち 家 ）	195	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 61.5	治安が良く安心して暮らせるため 48.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 44.6	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 37.9	子育てしやすい環境であるため 31.3
	マ ン シ ョ ン ・ ア パ ー ト （ 賃 貸 ）	157	治安が良く安心して暮らせるため 55.4	にぎわいのある商店街があるため 45.2	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 42.7	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 28.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 26.8
	都市再生機構 ・ 公 社 住 宅 ・ 都 営 住 宅 ・ 区 営 住 宅	46	治安が良く安心して暮らせるため 63.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 58.7	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 56.5	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 30.4	災害(震災や水害)対策が充実しているため 26.1
	社 宅 ・ 寮 ・ 間 借 り ・ 住 込 み	5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため/治安が良く安心して暮らせるため/区のイメージが良いため 80.0			医療・福祉・介護サービスが充実しているため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため 40.0	
	その他（ケア付住宅など）	1					

⑨ 居住年数別

居住年数別でみると、「緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため」は5年以上10年未満(46.0%)、10年以上20年未満(51.9%)、20年以上(59.2%)で第1位となっています。「治安が良く安心して暮らせるため」は1年未満(56.5%)、1年以上5年未満(52.6%)、生まれたときから(57.0%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育てしやすい環境であるため」は5年以上10年未満(36.0%)で第3位、1年未満(26.1%)、1年以上5年未満(29.5%)、10年以上20年未満(35.8%)で第4位となっています。(表2-4-9)

表2-4-9 誇りを感じる理由(居住年数別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		635	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 53.5	治安が良く安心して暮らせるため 53.2	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 40.8	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 34.2	にぎわいのある商店街があるため 32.9
居 住 年 数 別	1 年 未 満	23	治安が良く安心して暮らせるため 56.5	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 47.8	にぎわいのある商店街があるため 30.4	子育てしやすい環境であるため 26.1	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/楽しい祭り・イベントがあるため他※ 21.7
	1 年 以 上 5 年 未 満	78	治安が良く安心して暮らせるため 52.6	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 42.3	にぎわいのある商店街があるため 38.5	子育てしやすい環境であるため 29.5	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 25.6
	5 年 以 上 10 年 未 満	50	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 46.0	治安が良く安心して暮らせるため 44.0	子育てしやすい環境であるため 36.0	にぎわいのある商店街があるため 30.0	医療・福祉・介護サービスが充実しているため/図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 28.0
	10 年 以 上 20 年 未 満	106	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 51.9	治安が良く安心して暮らせるため 48.1	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 37.7	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため/子育てしやすい環境であるため 35.8	
	20 年 以 上	289	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 59.2	治安が良く安心して暮らせるため 55.4	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 52.9	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 38.1	にぎわいのある商店街があるため 31.5
	生 ま れ た と き か ら	86	治安が良く安心して暮らせるため 57.0	緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため 52.3	医療・福祉・介護サービスが充実しているため 38.4	にぎわいのある商店街があるため 34.9	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため 31.4

※同率の項目が多いため、選択肢の一部を省略している。

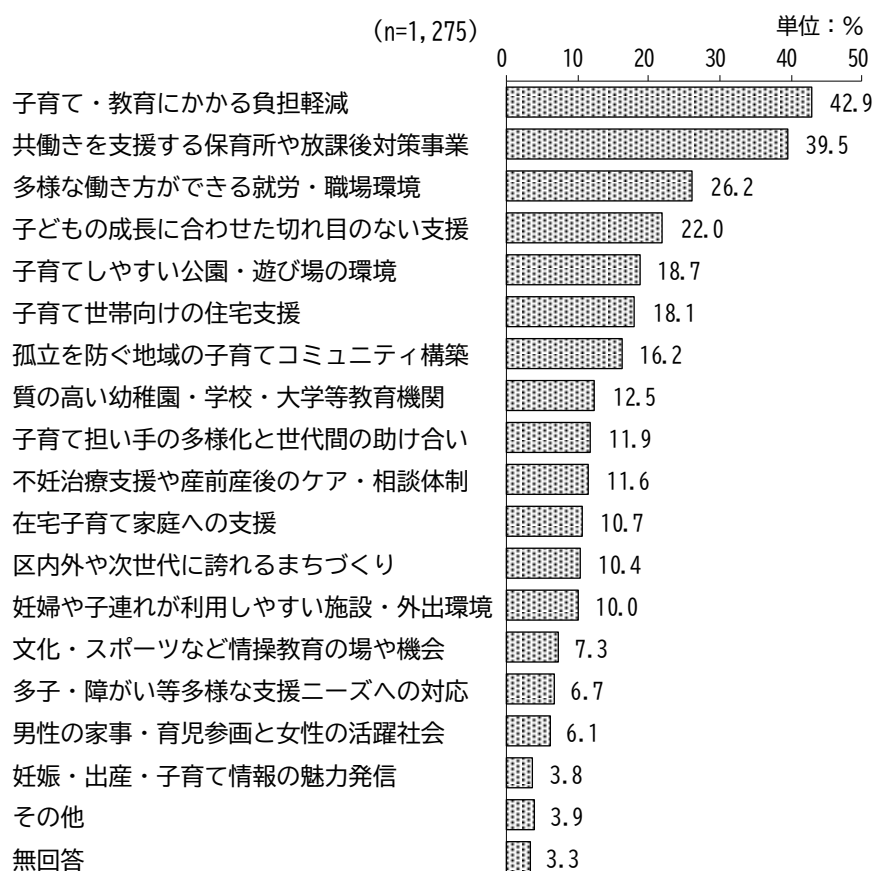
3. 未来へつなぐまちづくり

(1) 少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うもの

◇「子育て・教育にかかる負担軽減」が4割超え

問6 板橋区人口ビジョンを改定し、区の人口は増加を続けた後、2040年をピークに減少する推計となりました。一方で近年、出生数の減少や子育て世帯の転出超過が続いています。少子化対策や若い世代・子育て世帯の定住化に重要だと思うものはどれですか。（〇は3つ）

図3-1-1



少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うものを聞いたところ、「子育て・教育にかかる負担軽減」(42.9%)が4割を超えて最も高く、次いで「共働きを支援する保育所や放課後対策事業」(39.5%)が約4割、「多様な働き方ができる就労・職場環境」(26.2%)、「子どもの成長に合わせた切れ目のない支援」(22.0%)が2割台となっています。(図3-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「子育て・教育にかかる負担軽減」は40歳代以下のすべての年代で第1位となっています。「共働きを支援する保育所や放課後対策事業」は50歳以上のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育て世帯向けの住宅支援」は30歳代（25.7%）で第3位、65歳～74歳（18.1%）、75歳以上（19.1%）で第5位となっています。「孤立を防ぐ地域の子育てコミュニティ構築」は75歳以上（19.9%）で第4位、50歳～64歳（22.7%）で第5位となっています。「不妊治療支援や産前産後のケア・相談体制」が30歳代（22.8%）で第4位となっています。

（表3-1-1）

表3-1-1 少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うもの（年代別）

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,275	子育て・教育にかかる負担軽減 42.9	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 39.5	多様な働き方ができる就労・職場環境 26.2	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 22.0	子育てしやすい公園・遊び場の環境 18.7
年 代 別	18～20歳代	142 子育て・教育にかかる負担軽減 52.8	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 38.0	多様な働き方ができる就労・職場環境 27.5	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 23.2	子育てしやすい公園・遊び場の環境 19.7
	30歳代	167 子育て・教育にかかる負担軽減 57.5	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 41.3	子育て世帯向けの住宅支援 25.7	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援/ 不妊治療支援や産前産後のケア・相談体制 22.8	
	40歳代	210 子育て・教育にかかる負担軽減 43.8	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 38.1	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 29.5	子育てしやすい公園・遊び場の環境 27.6	多様な働き方ができる就労・職場環境 27.1
	50歳～64歳	322 共働きを支援する保育所や放課後対策事業 41.3	子育て・教育にかかる負担軽減 40.7	多様な働き方ができる就労・職場環境 26.1	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 25.2	孤立を防ぐ地域の子育てコミュニティ構築 22.7
	65歳～74歳	193 共働きを支援する保育所や放課後対策事業 44.6	子育て・教育にかかる負担軽減 38.9	多様な働き方ができる就労・職場環境 29.0	子育てしやすい公園・遊び場の環境 19.7	子育て世帯向けの住宅支援 18.1
	75歳以上	236 共働きを支援する保育所や放課後対策事業 34.7	子育て・教育にかかる負担軽減 32.2	多様な働き方ができる就労・職場環境 25.8	孤立を防ぐ地域の子育てコミュニティ構築 19.9	子育て世帯向けの住宅支援 19.1

② 地域別

地域別でみると、「子育て・教育にかかる負担軽減」は板橋地域を除くすべての地域で第1位となっています。「共働きを支援する保育所や放課後対策事業」は板橋地域(41.6%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育て世帯向けの住宅支援」は常盤台地域(21.2%)で第4位、赤塚地域(19.0%)で第5位となっています。(表3-1-2)

表3-1-2 少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うもの(地域別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	子育て・教育にかかる負担軽減 42.9	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 39.5	多様な働き方ができる就労・職場環境 26.2	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 22.0	子育てしやすい公園・遊び場の環境 18.7
地 域 別	板 橋 地 域	322	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 41.6	子育て・教育にかかる負担軽減 41.3	多様な働き方ができる就労・職場環境 27.0	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 21.7	子育てしやすい公園・遊び場の環境 19.6
	常 盤 台 地 域	156	子育て・教育にかかる負担軽減 40.4	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 39.7	多様な働き方ができる就労・職場環境 23.1	子育て世帯向けの住宅支援 21.2	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 20.5
	志 村 地 域	263	子育て・教育にかかる負担軽減 48.7	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 37.6	多様な働き方ができる就労・職場環境 27.8	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 22.4	子育てしやすい公園・遊び場の環境 19.8
	赤 塚 地 域	290	子育て・教育にかかる負担軽減 42.8	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 39.0	多様な働き方ができる就労・職場環境 25.5	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 22.8	子育て世帯向けの住宅支援 19.0
	高 島 平 地 域	233	子育て・教育にかかる負担軽減 41.2	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 39.9	多様な働き方ができる就労・職場環境 26.6	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 23.2	子育てしやすい公園・遊び場の環境 17.6

③ 同居家族別

同居家族別でみると、「子育て・教育にかかる負担軽減」は65～74歳の家族を除くすべての同居家族で第1位となっています。「共働きを支援する保育所や放課後対策事業」は65～74歳の家族(39.6%)と同居している方で第1位となっています。

その他の特徴として、「子育て世帯向けの住宅支援」は未就学児(23.9%)と同居している方で第4位、75歳以上の家族(18.3%)と同居している方で第5位となっています。「質の高い幼稚園・学校・大学等教育機関」は中学生(19.1%)と同居している方で第5位となっています。「孤立を防ぐ地域の子育てコミュニティ構築」はその他の家族(18.4%)と同居している方で第5位となっています。(表3-1-3)

表3-1-3 少子化対策や子育て世帯の定住化に重要だと思うもの(同居家族別)

(%)

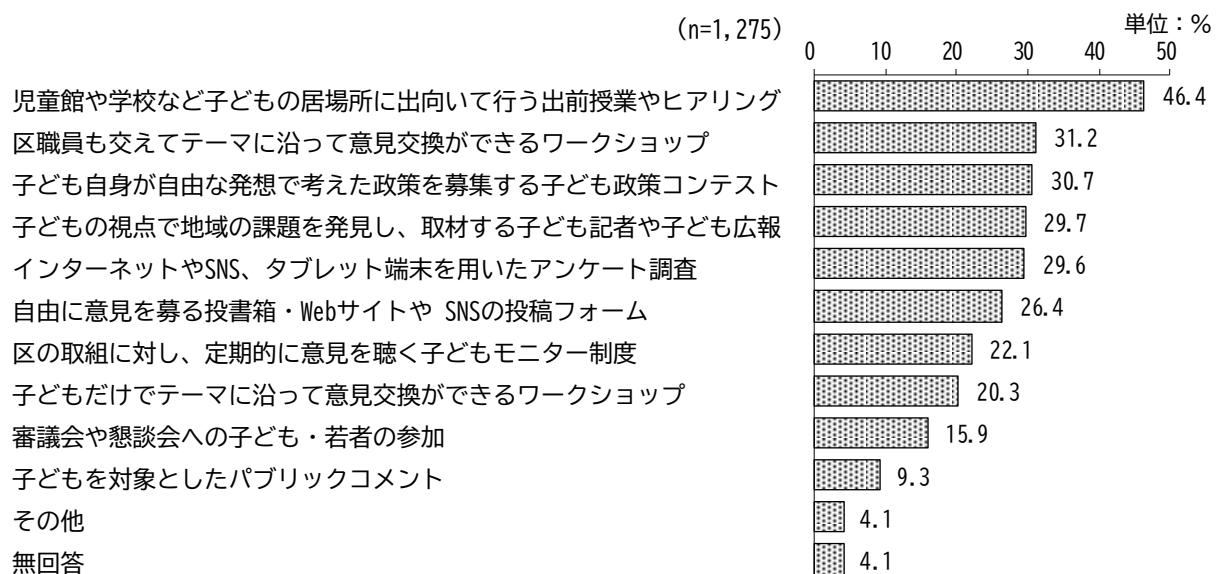
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	子育て・教育にかかる負担軽減 42.9	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 39.5	多様な働き方ができる就労・職場環境 26.2	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 22.0	子育てしやすい公園・遊び場の環境 18.7
同居家族別	未 就 学 児	109	子育て・教育にかかる負担軽減 58.7	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 40.4	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 33.0	子育て世帯向けの住宅支援 24.8	子育てしやすい公園・遊び場の環境 23.9
	小 学 生	116	子育て・教育にかかる負担軽減 50.9	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 38.8	子育てしやすい公園・遊び場の環境 35.3	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 34.5	多様な働き方ができる就労・職場環境 19.8
	中 学 生	68	子育て・教育にかかる負担軽減 60.3	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 47.1	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 35.3	子育てしやすい公園・遊び場の環境 33.8	質の高い幼稚園・学校・大学等教育機関 19.1
	65 ～ 74 歳の 家 族	134	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 39.6	子育て・教育にかかる負担軽減 30.6	多様な働き方ができる就労・職場環境 28.4	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 23.9	子育てしやすい公園・遊び場の環境 20.1
	75 歳 以 上 の 家 族	164	子育て・教育にかかる負担軽減 40.2	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 37.8	多様な働き方ができる就労・職場環境 27.4	子育てしやすい公園・遊び場の環境 18.9	子育て世帯向けの住宅支援 18.3
	その他の家族	423	子育て・教育にかかる負担軽減 42.3	共働きを支援する保育所や放課後対策事業 41.4	多様な働き方ができる就労・職場環境 30.0	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 22.2	孤立を防ぐ地域の子育てコミュニティ構築 18.4

(2) 子どもが区に対して意見を伝えやすい方法や手段

◇「児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング」が4割半ば

問7 2023年にこども基本法が施行され、こども施策の策定等にあたって、こどもの意見の反映に係る措置を講ずることが義務付けられました。区では、2024年にいたばし子どもワークショップを開催するなど、子どもの意見を聴く仕組みについて検討を続けています。どのような方法や手段があれば、子どもは、区に対して意見を伝えやすいと思いますか。(〇は3つ)

図3-2-1



子どもが区に対して意見を伝えやすい手段や方法を聞いたところ、「児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング」(46.4%) が4割半ばで最も高く、次いで「区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ」(31.2%)、「子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト」(30.7%)、「子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報」(29.7%)、「インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査」(29.6%) が3割前後となっています。(図3-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング」はすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム」は50歳～64歳（28.9%）で第3位、18～20歳代（33.1%）、30歳代（23.4%）、40歳代（27.1%）で第5位となっています。「区の実組に対し、定期的に意見を聴く子どもモニター制度」が65歳～74歳（30.1%）で第5位となっています。「審議会や懇談会への子ども・若者の参加」は75歳以上（24.2%）で第5位となっています。（表3-2-1）

表3-2-1 子どもが区に対して意見を伝えやすい手段や方法（年代別）

（%）

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,275	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 46.4	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 31.2	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 30.7	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 29.7	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 29.6
年 代 別	18～20歳代	142 児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 39.4	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 37.3	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 36.6	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 35.9	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 33.1
	30歳代	167 児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 55.7	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 36.5	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 30.5	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 24.6	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 23.4
	40歳代	210 児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 47.1	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 36.2	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 30.5	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 28.6	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 27.1
	50歳～64歳	322 児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 48.4	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 34.2	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ/自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 28.9	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 28.6	
	65歳～74歳	193 児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 47.2	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 43.0	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 33.7	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 30.6	区の実組に対し、定期的に意見を聴く子どもモニター制度 30.1
	75歳以上	236 児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 40.3	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 37.7	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 36.4	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 30.9	審議会や懇談会への子ども・若者の参加 24.2

② 地域別

地域別でみると、「児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング」はすべての地域で第1位となっています。

その他の特徴として、「自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム」は板橋地域(27.3%)、赤塚地域(30.0%)で第5位となっています。(表3-2-2)

表3-2-2 子どもが区に対して意見を伝えやすい方法や手段(地域別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 46.4	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 31.2	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 30.7	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 29.7	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 29.6
地 域 別	板 橋 地 域	322	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 44.7	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 32.6	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 32.3	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 28.6	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 27.3
	常 盤 台 地 域	156	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 50.0	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 32.1	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 30.8	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 26.9	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 他※ 26.3
	志 村 地 域	263	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 51.0	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 32.7	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 32.3	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 30.0	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 29.7
	赤 塚 地 域	290	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 41.0	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 33.1	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 32.4	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 32.1	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 30.0
	高 島 平 地 域	233	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 48.9	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ/子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 31.3	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 30.0	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 28.3	

※同率の項目が多いため選択肢を一部省略している

③ 同居家族別

同居家族別でみると、「児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング」はすべての同居家族で第1位となっています。

その他の特徴として、「自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム」は中学生(25.0%)、65～74歳の家族(27.6%)と同居している方で第4位、その他の家族(28.4%)と同居している方で第5位となっています。「子どもだけでテーマに沿って意見交換ができるワークショップ」は小学生(23.3%)と同居している方で第5位となっています。(表3-2-3)

表3-2-3 子どもが区に対して意見を伝えやすい方法や手段(同居家族別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 46.4	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 31.2	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 30.7	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 29.7	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 29.6
同居家族別	未 就 学 児	109	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 56.9	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 43.1	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 29.4	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ/子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 26.6	
	小 学 生	116	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 59.5	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 39.7	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 30.2	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 25.0	子どもだけでテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 23.3
	中 学 生	68	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 55.9	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 38.2	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 29.4	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 25.0	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 他※ 23.5
	65 ～ 74 歳の 家 族	134	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 53.7	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 37.3	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 32.1	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 27.6	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 他※ 26.1
	75 歳 以 上 の 家 族	164	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 43.9	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 36.0	区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ 35.4	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 32.9	区の取組に対し、定期的に意見を聴く子どもモニター制度 24.4
	その他の家族	423	児童館や学校など子どもの居場所に出向いて行う出前授業やヒアリング 45.2	インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 35.0	子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト 31.9	子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 30.7	自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム 28.4

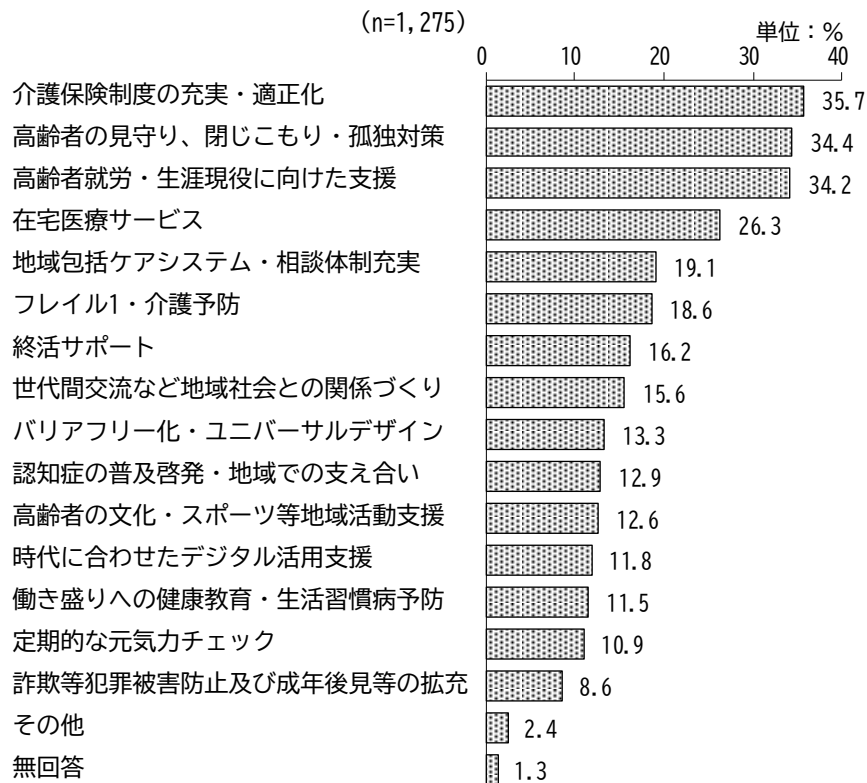
※同率の項目が多いため選択肢を一部省略している

(3) 超高齢社会において重要だと思うもの

◇「介護保険制度の充実・適正化」、「高齢者就労・生涯現役に向けた支援」、「高齢者就労・生涯現役に向けた支援」が3割半ば

問8 2025年時点で区の高齢者人口（65歳以上）は、超高齢社会の目安となる総人口に占める割合の21%を超えており、2040年には25%（4人に1人）をも超える推計となっています。超高齢社会において重要だと思うものはどれですか。（○は3つ）

図3-3-1



超高齢社会において重要だと思うものを聞いたところ、「介護保険制度の充実・適正化」（35.7%）、「高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策」（34.4%）、「高齢者就労・生涯現役に向けた支援」（34.2%）が3割半ばとなっており、次いで「在宅医療サービス」（26.3%）、「地域包括ケアシステム・相談体制充実」（19.1%）となっています。（図3-3-1）

① 年代別

年代別でみると、「介護保険制度の充実・適正化」は65歳以上のすべての年代で第1位となっています。「高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策」は30歳代以下のすべての年代で第1位となっています。「高齢者就労・生涯現役に向けた支援」は40歳代（38.1%）、50歳～64歳（43.5%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「終活サポート」は18～20歳代（26.1%）で第2位、30歳代（22.2%）で第4位となっています。「世代間交流など地域社会との関係づくり」は40歳代（18.6%）で第5位となっています。「フレイル・介護予防」は65歳～74歳（23.3%）で第5位となっています。（表3-3-1）

表3-3-1 超高齢社会において重要だと思うもの（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	介護保険制度の充実・適正化 35.7	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 34.4	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 34.2	在宅医療サービス 26.3	地域包括ケアシステム・相談体制充実 19.1
年 代 別	18～20歳代	142	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 31.0	終活サポート 26.1	在宅医療サービス 22.5	介護保険制度の充実・適正化 21.8	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 21.1
	30歳代	167	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 38.9	介護保険制度の充実・適正化/高齢者就労・生涯現役に向けた支援 25.1		終活サポート 22.2	在宅医療サービス 21.6
	40歳代	210	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 38.1	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 34.3	介護保険制度の充実・適正化 23.8	在宅医療サービス 23.3	世代間交流など地域社会との関係づくり 18.6
	50歳～64歳	322	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 43.5	介護保険制度の充実・適正化 41.0	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 38.5	在宅医療サービス 28.3	地域包括ケアシステム・相談体制充実 21.7
	65歳～74歳	193	介護保険制度の充実・適正化 44.0	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 38.9	在宅医療サービス 29.5	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 26.9	フレイル・介護予防 23.3
	75歳以上	236	介護保険制度の充実・適正化 48.7	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 34.7	在宅医療サービス 29.2	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 28.8	地域包括ケアシステム・相談体制充実 22.9

② 職業別

職業別でみると、「介護保険制度の充実・適正化」は自営業・自由業(41.3%)、主婦・主夫(37.0%)、無職(45.7%)で第1位となっています。「高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策」は学生(48.6%)で第1位となっています。「高齢者就労・生涯現役に向けた支援」は会社員・公務員(36.1%)、アルバイト・パート(50.3%)で第1位となっています。「在宅医療サービス」はその他(46.4%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「終活サポート」は学生(28.6%)で第2位、会社員・公務員(17.7%)、アルバイト・パート(16.8%)で第5位となっています。「フレイル・介護予防」はアルバイト・パート(18.6%)で第4位、自営業・自由業(20.7%)で第5位となっています。「バリアフリー化・ユニバーサルデザイン」はその他(28.6%)で第5位となっています。(表3-3-2)

表3-3-2 超高齢社会において重要だと思うもの(職業別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	介護保険制度の充実・適正化 35.7	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 34.4	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 34.2	在宅医療サービス 26.3	地域包括ケアシステム・相談体制充実 19.1
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	543	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 36.1	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 33.7	介護保険制度の充実・適正化 28.7	在宅医療サービス 25.4	終活サポート 17.7
	自 営 業 ・ 自 由 業	92	介護保険制度の充実・適正化 41.3	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 40.2	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 38.0	在宅医療サービス 33.7	フレイル・介護予防 20.7
	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	161	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 50.3	介護保険制度の充実・適正化 43.5	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 34.8	フレイル・介護予防 18.6	終活サポート 16.8
	主 婦 ・ 主 夫	154	介護保険制度の充実・適正化 37.0	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 36.4	在宅医療サービス 33.8	地域包括ケアシステム・相談体制充実 30.5	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 24.0
	学 生	35	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 48.6	終活サポート 28.6	介護保険制度の充実・適正化/在宅医療サービス 25.7	高齢者就労・生涯現役に向けた支援/詐欺等犯罪被害防止及び成年後見等の拡充 20.0	
	無 職	243	介護保険制度の充実・適正化 45.7	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 31.3	地域包括ケアシステム・相談体制充実 29.2	在宅医療サービス 25.9	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 25.5
	そ の 他	28	在宅医療サービス 46.4	介護保険制度の充実・適正化 35.7	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 32.1	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 28.6	バリアフリー化・ユニバーサルデザイン 28.6

③ 住居形態別

住居形態別でみると、「介護保険制度の充実・適正化」は一戸建（持ち家）（39.0%）、都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅（39.4%）、社宅・寮・間借り・住込み（31.6%）で第1位となっています。「高齢者就労・生涯現役に向けた支援」は一戸建（賃貸）（57.9%）、マンション（持ち家）（35.5%）で第1位、「高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策」はマンション・アパート（賃貸）（35.8%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「フレイル・介護予防」は一戸建（持ち家）（20.9%）で第5位となっています。「終活サポート」は社宅・寮・間借り・住込み（21.1%）で第4位、マンション・アパート（賃貸）（22.1%）で第5位となっています。「世代間交流など地域社会との関係づくり」「高齢者の文化・スポーツ等地域活動支援」「働き盛りへの健康教育・生活習慣病予防」は一戸建（賃貸）（21.1%）で第4位となっています。「バリアフリー化・ユニバーサルデザイン」は社宅・寮・間借り・住込み（21.1%）で第4位となっています。（表3-3-3）

表3-3-3 超高齢社会において重要だと思うもの（住居形態別）

(%)

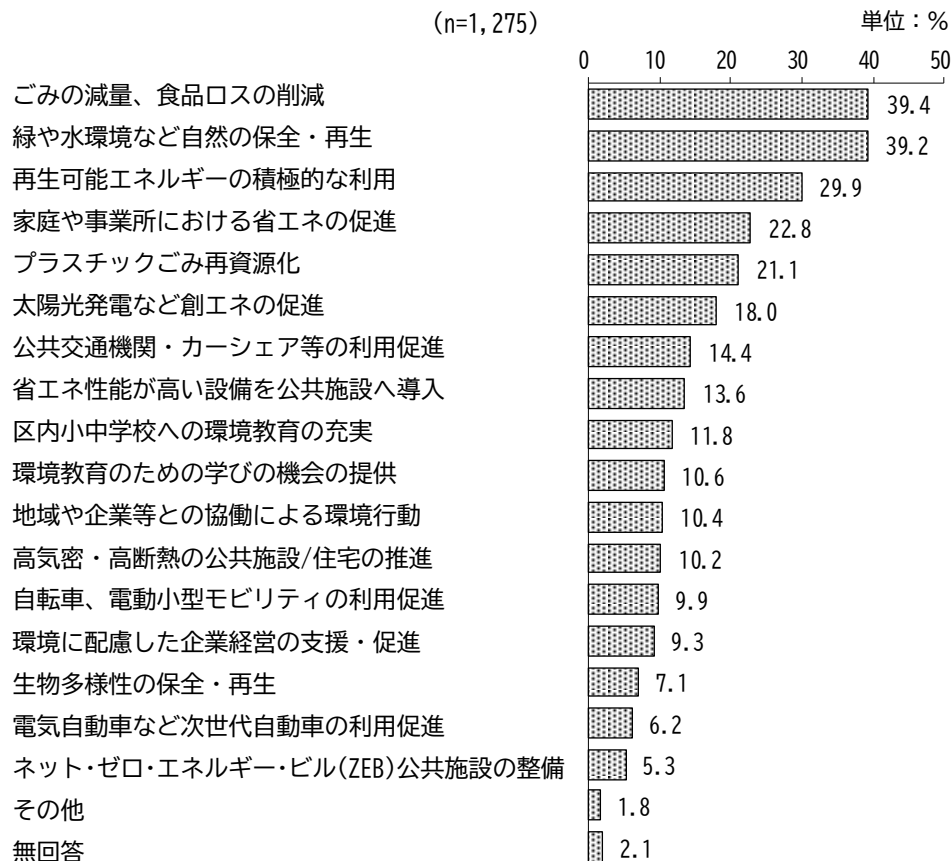
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	介護保険制度の充実・適正化 35.7	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 34.4	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 34.2	在宅医療サービス 26.3	地域包括ケアシステム・相談体制充実 19.1
住居形態別	一 戸 建 （持ち家）	397	介護保険制度の充実・適正化 39.0	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 34.8	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 34.5	在宅医療サービス 31.0	フレイル・介護予防 20.9
	一 戸 建 （賃 貸）	19	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 57.9	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 26.3	介護保険制度の充実・適正化 26.3	在宅医療サービス/世代間交流など地域社会との関係づくり/高齢者の文化・スポーツ等地域活動支援/働き盛りへの健康教育・生活習慣病予防 21.1	
	マ ン シ ョ ン （持ち家）	386	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 35.5	介護保険制度の充実・適正化 34.2	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 32.9	在宅医療サービス 25.4	地域包括ケアシステム・相談体制充実 23.1
	マ ン シ ョ ン ・ ア パー ト （賃 貸）	344	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 35.8	介護保険制度の充実・適正化 33.1	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 32.8	在宅医療サービス 22.7	終活サポート 22.1
	都市再生機構 ・ 公社住宅 ・ 都営住宅 ・ 区営住宅	99	介護保険制度の充実・適正化 39.4	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 38.4	高齢者就労・生涯現役に向けた支援 28.3	在宅医療サービス 26.3	地域包括ケアシステム・相談体制充実 25.3
	社 宅 ・ 寮 ・ 間 借 り ・ 住 込 み	19	介護保険制度の充実・適正化 31.6	高齢者就労・生涯現役に向けた支援/高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 26.3		終活サポート/バリアフリー化・ユニバーサルデザイン 21.1	
	その他（ケア付住宅など）	2	高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策/高齢者就労・生涯現役に向けた支援/認知症の普及啓発・地域での支え合い 100.0				

(4) 循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うもの

◇「ごみの減量、食品ロスの削減」、「緑や水環境など自然の保全・再生」が約4割

問9 板橋区では2022年1月に「ゼロカーボンいたばし2050」を表明し、2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる「カーボンニュートラル」の実現をめざして、脱炭素に向けた取組を行っています。資源を大切にする循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うものはどれですか。(○は3つ)

図3-4-1



循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うものを聞いたところ、「ごみの減量、食品ロスの削減」(39.4%)、「緑や水環境など自然の保全・再生」(39.2%)が約4割となっています。次いで、「再生可能なエネルギーの積極的な利用」(29.9%)が約3割、「家庭や事業所における省エネの促進」(22.8%)、「プラスチックごみ再資源化」(21.1%)が2割台となっています。(図3-4-1)

① 年代別

年代別でみると、「ごみの減量、食品ロスの削減」は30歳代(32.9%)、65歳～74歳(43.0%)、75歳以上(46.2%)で第1位となっています。「緑や水環境など自然の保全・再生」は30歳代(32.9%)、40歳代(40.0%)、50歳～64歳(42.9%)で第1位となっています。「再生可能エネルギーの積極的な利用」は18～20歳代(38.7%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「太陽光発電など創エネの促進」は18～20歳代(20.4%)、50歳～64歳(22.0%)で第4位となっています。「公共交通機関・カーシェア等の利用促進」は30歳代(22.8%)で第4位、40歳代(18.1%)で第5位となっています。「省エネ性能が高い設備を公共施設へ導入」は18～20歳代(17.6%)で第5位となっています。(表3-4-1)

表3-4-1 循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うもの(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	ごみの減量、食品ロスの削減 39.4	緑や水環境など自然の保全・再生 39.2	再生可能エネルギーの積極的な利用 29.9	家庭や事業所における省エネの促進 22.8	プラスチックごみ再資源化 21.1
年 代 別	18～20歳代	142	再生可能エネルギーの積極的な利用 38.7	緑や水環境など自然の保全・再生 35.9	ごみの減量、食品ロスの削減 31.7	太陽光発電など創エネの促進 20.4	省エネ性能が高い設備を公共施設へ導入 17.6
	30歳代	167	ごみの減量、食品ロスの削減/緑や水環境など自然の保全・再生 32.9		再生可能エネルギーの積極的な利用 31.1	公共交通機関・カーシェア等の利用促進 22.8	家庭や事業所における省エネの促進 20.4
	40歳代	210	緑や水環境など自然の保全・再生 40.0	ごみの減量、食品ロスの削減 34.8	再生可能エネルギーの積極的な利用 27.6	家庭や事業所における省エネの促進 21.9	公共交通機関・カーシェア等の利用促進 18.1
	50歳～64歳	322	緑や水環境など自然の保全・再生 42.9	ごみの減量、食品ロスの削減 42.2	再生可能エネルギーの積極的な利用 27.6	太陽光発電など創エネの促進 22.0	プラスチックごみ再資源化 21.7
	65歳～74歳	193	ごみの減量、食品ロスの削減 43.0	緑や水環境など自然の保全・再生 40.4	再生可能エネルギーの積極的な利用 36.3	家庭や事業所における省エネの促進 25.4	プラスチックごみ再資源化 24.4
	75歳以上	236	ごみの減量、食品ロスの削減 46.2	緑や水環境など自然の保全・再生 39.4	家庭や事業所における省エネの促進 31.8	プラスチックごみ再資源化 30.5	再生可能エネルギーの積極的な利用 23.7

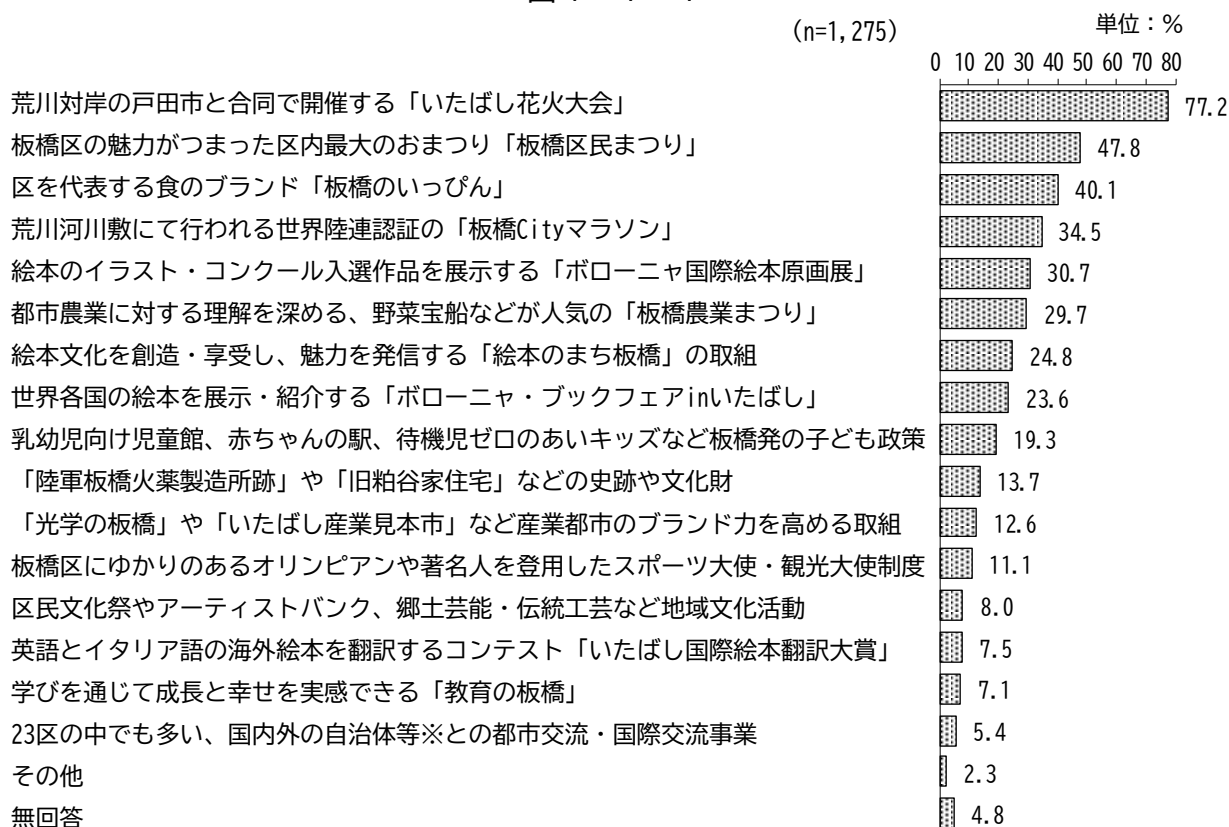
4. 板橋区のブランドに関する取組

(1) 区が取り組んでいるブランドの創造についての認知度

◇「荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」」が8割近く

問10 板橋区が取り組んでいる板橋らしさを感じるブランド創造に向けた取組について、あなたが知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

図4-1-1



区が取り組んでいるブランドの創造について知っているものを聞いたところ、「荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」(77.2%)」が8割近くで最も高く、次いで「板橋区の魅力がつまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」(47.8%)」が約5割、「区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」(40.1%)」が約4割、「荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」(34.5%)」、「絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ボローニャ国際絵本原画展」(30.7%)」が3割台となっています。(図4-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」」はすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組」は30歳代(34.1%)で第3位、18～20歳代(20.4%)で第4位となっています。「乳幼児向け児童館、赤ちゃんの駅、待機児童ゼロのあいキッズなどの板橋発の子ども政策」は30歳代(26.9%)で第4位となっています。「都市農業に対する理解を深める、野菜宝船などが人気の「板橋農業まつり」」は65～74歳(38.9%)で第4位、75歳以上(38.1%)で第5位となっています。(表4-1-1)

表4-1-1 区が取り組んでいるブランドの創造についての認知度(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 77.2	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 47.8	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 40.1	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 34.5	絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」 30.7
年 代 別	18～20歳代	142	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 66.2	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 32.4	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 21.8	絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組 20.4	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 19.0
	30歳代	167	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 73.7	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 34.7	絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組 34.1	乳幼児向け児童館、赤ちゃんの駅、待機児童ゼロのあいキッズなど板橋発の子ども政策 26.9	絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」 25.7
	40歳代	210	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 81.4	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 51.4	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 51.4	絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」 42.9	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 41.0
	50歳～64歳	322	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 81.7	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 50.9	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 50.0	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 37.3	絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」 32.9
	65歳～74歳	193	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 82.4	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 48.7	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 40.9	都市農業に対する理解を深める、野菜宝船などが人気の「板橋農業まつり」 38.9	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 38.3
	75歳以上	236	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 72.9	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 59.7	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 40.7	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 38.6	都市農業に対する理解を深める、野菜宝船などが人気の「板橋農業まつり」 38.1

② 居住年数別

居住年数別でみると、「荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」」はすべての居住年数で第1位となっています。

その他の特徴として、「絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組」は1年未満(18.0%)、1年以上5年未満(30.4%)、5年以上10年未満(32.5%)で第3位となっています。「世界各国の絵本を展示・紹介するポローニャ・ブックフェアinいたばし」は1年未満(14.0%)で第4位となっています。「都市農業に対する理解を深める、野菜宝船などが人気の「板橋農業まつり」」は20年以上(38.1%)で第5位となっています。(表4-1-2)

表4-1-2 区が取り組んでいるブランドの創造についての認知度(居住年数別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 77.2	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 47.8	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 40.1	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 34.5	絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」 30.7
居 住 年 数 別	1 年 未 満	50	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 40.0	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 20.0	絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組 18.0	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」/世界各国の絵本を展示・紹介する「ポローニャ・ブックフェアinいたばし」 14.0	
	1 年 以 上 5 年 未 満	158	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 62.0	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 38.0	絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組 30.4	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 20.9	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 19.0
	5 年 以 上 10 年 未 満	123	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 76.4	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 35.8	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」/絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」/絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組 32.5		
	10 年 以 上 20 年 未 満	214	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 76.6	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 44.4	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 43.9	絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」 35.0	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 33.6
	20 年 以 上	561	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 83.1	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 55.3	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 47.2	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 42.2	都市農業に対する理解を深める、野菜宝船などが人気の「板橋農業まつり」 38.1
	生 ま れ た と き か ら	157	荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」 84.1	板橋区の魅力がまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」 54.1	区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」 44.6	荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」 38.2	絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ポローニャ国際絵本原画展」 33.1

(2) 板橋区の「ブランド」になりうると考えるもの

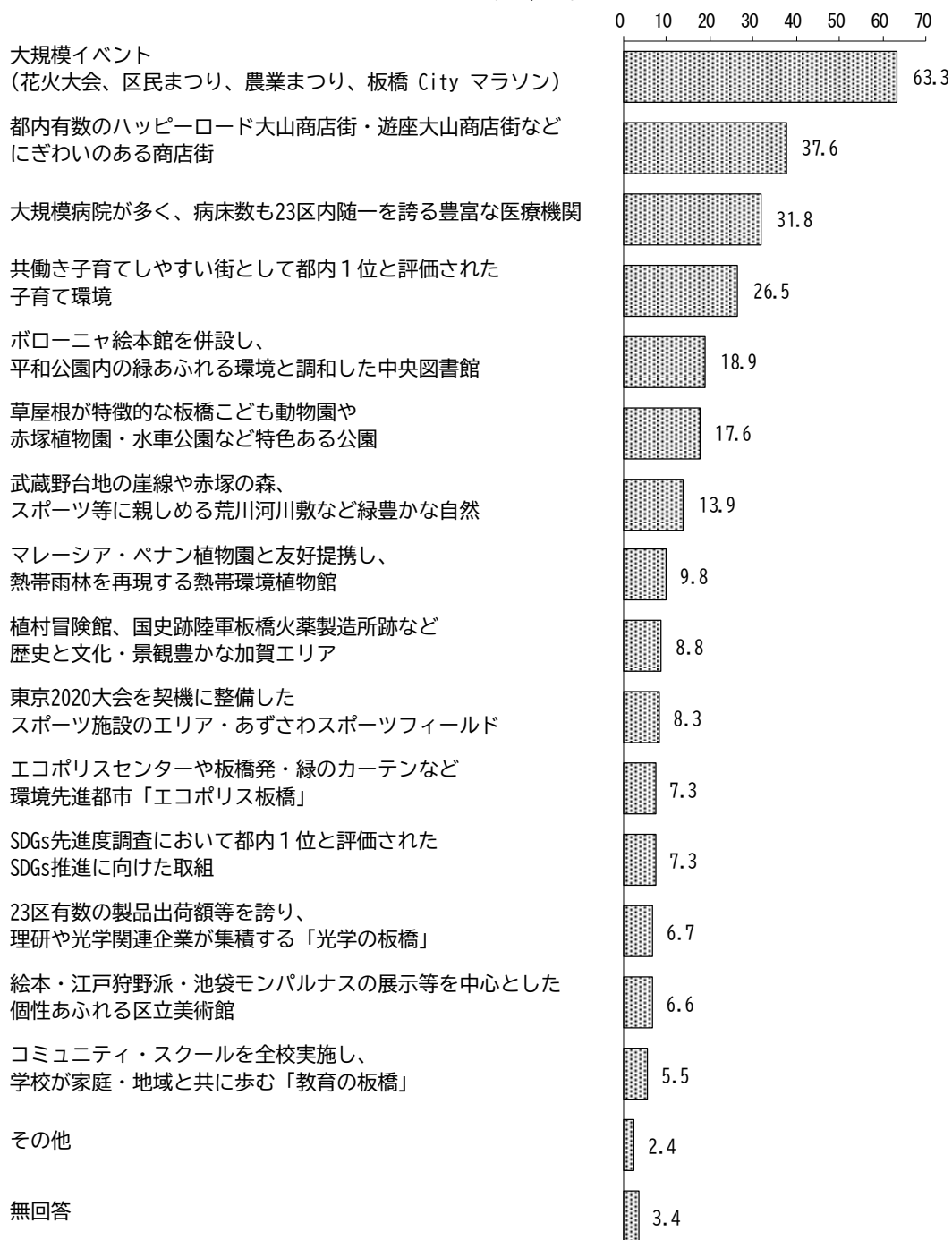
◇「大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン)」が6割超え

問11 あなたが、板橋区の「ブランド」になりうると考えるものはどれですか。(○は3つ)

図4-2-1

(n=1,275)

単位：%



板橋区の「ブランド」になりうると考えるものを聞いたところ、「大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン)」(63.3%)が6割を超えて最も高く、次いで「都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街」(37.6%)が4割近くとなっています。(図4-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン）」はすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「草屋根が特徴的な板橋こども動物園や赤塚植物園・水車公園など特色ある公園」は75歳以上（21.2%）で第4位、30歳代（21.6%）で第5位となっています。

（表4-2-1）

表4-2-1 板橋区の「ブランド」になりうると考えるもの（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン） 63.3	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 37.6	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 31.8	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 26.5	ボローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 18.9
年 代 別	18～20歳代	142	大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン） 64.8	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 32.4	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 26.1	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 19.7	ボローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 17.6
	30歳代	167	大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン） 65.3	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 38.9	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 37.1	ボローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 22.8	草屋根が特徴的な板橋こども動物園や赤塚植物園・水車公園など特色ある公園 21.6
	40歳代	210	大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン） 62.9	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 45.7	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 31.0	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 25.7	ボローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 24.8
	50歳～64歳	322	大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン） 68.9	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 45.7	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 35.7	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 24.5	ボローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 他※ 14.6
	65歳～74歳	193	大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン） 60.6	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 43.0	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 29.5	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 26.9	ボローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 20.7
	75歳以上	236	大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン） 56.8	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 39.8	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 28.8	草屋根が特徴的な板橋こども動物園や赤塚植物園・水車公園など特色ある公園 21.2	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 18.2

※同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

② 世帯構成別

世帯構成別でみると、「大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン）」はすべての世帯構成で第1位となっています。

その他の特徴として、「草屋根が特徴的な板橋こども動物園や赤塚植物園・水車公園など特色ある公園」は夫婦のみ（21.8%）、その他（17.6%）で第5位となっています。

（表4-2-2）

表4-2-2 板橋区の「ブランド」になりうると考えるもの（世帯構成別）

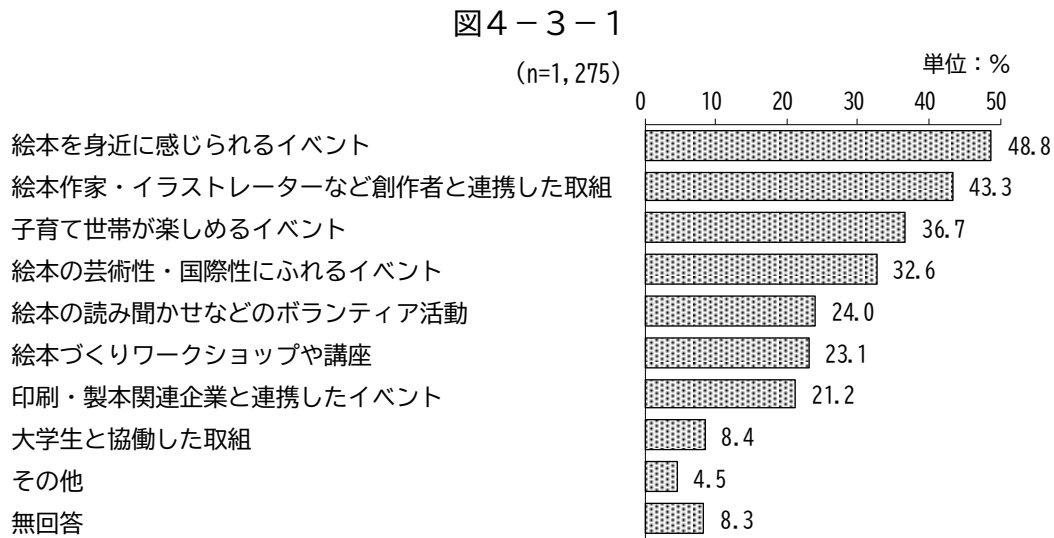
(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン) 63.3	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 37.6	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 31.8	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 26.5	ポローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 18.9
世帯構成別	単身世帯	312	大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン) 59.6	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 35.9	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 33.7	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 23.4	ポローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 18.3
	夫婦のみ	330	大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン) 64.5	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 33.6	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 32.4	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 24.8	草屋根が特徴的な板橋こども動物園や赤塚植物園・水車公園など特色ある公園 21.8
	二世帯同居(子と同居)	429	大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン) 63.4	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 40.3	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 31.9	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 29.8	ポローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 22.4
	二世帯同居(親と同居)	131	大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン) 67.9	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 40.5	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 29.8	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 19.8	ポローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 18.3
	三世帯同居	33	大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン) 75.8	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 48.5	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 33.3	ポローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館 30.3	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 27.3
	その他	34	大規模イベント(花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン) 58.8	大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関 38.2	都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街 29.4	共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境 23.5	草屋根が特徴的な板橋こども動物園や赤塚植物園・水車公園など特色ある公園 17.6

(3)「絵本のまち板橋」の推進

◇「絵本を身近に感じられるイベント」が5割近く

問12 板橋区は絵本文化を発信する「絵本のまち板橋」を推進しています。どのような取組であれば参加したいですか。(○は3つ)



区が絵本文化を発信する「絵本のまち板橋」を推進するにあたって、どのような取組であれば参加したいか聞いたところ、「絵本を身近に感じられるイベント」(48.8%)が5割近くで最も高く、次いで「絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組」(43.3%)が4割を超え、「子育て世帯が楽しめるイベント」(36.7%)、「絵本の芸術性・国際性にふれるイベント」(32.6%)は3割台となっています。(図4-3-1)

① 年代別

年代別でみると、「絵本を身近に感じられるイベント」は40歳代以上のすべての年代で第1位となっています。「絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組」は18～20歳代(43.7%)、40歳代(46.2%)で第1位となっています。「子育て世帯が楽しめるイベント」は30歳代(56.3%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「絵本づくりワークショップや講座」は18～20歳代(23.9%)、40歳代(27.6%)、50歳～64歳(24.5%)で第5位となっています。「印刷・製本関連企業と連携したイベント」は40歳代(31.0%)で第4位、30歳代(24.6%)で第5位となっています。(表4-3-1)

表4-3-1 「絵本のまち板橋」の推進(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	絵本を身近に感じられるイベント 48.8	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 43.3	子育て世帯が楽しめるイベント 36.7	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 32.6	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 24.0
年 代 別	18～20歳代	142	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 43.7	子育て世帯が楽しめるイベント 43.0	絵本を身近に感じられるイベント 35.2	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 32.4	絵本づくりワークショップや講座 23.9
	30歳代	167	子育て世帯が楽しめるイベント 56.3	絵本を身近に感じられるイベント 46.1	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 42.5	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 30.5	印刷・製本関連企業と連携したイベント 24.6
	40歳代	210	絵本を身近に感じられるイベント/絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 46.2		子育て世帯が楽しめるイベント 38.1	印刷・製本関連企業と連携したイベント 31.0	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント/絵本づくりワークショップや講座 27.6
	50歳～64歳	322	絵本を身近に感じられるイベント 55.3	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 51.9	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 33.2	子育て世帯が楽しめるイベント 31.1	絵本づくりワークショップや講座 24.5
	65歳～74歳	193	絵本を身近に感じられるイベント 51.8	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 42.5	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 41.5	子育て世帯が楽しめるイベント 32.6	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 31.1
	75歳以上	236	絵本を身近に感じられるイベント 50.0	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 36.0	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 31.4	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 30.9	子育て世帯が楽しめるイベント 29.2

② 職業別

職業別でみると、「絵本を身近に感じられるイベント」は会社員・公務員を除くすべての職業で第1位となっています。「絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組」は会社員・公務員(45.7%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「印刷・製本関連企業と連携したイベント」は会社員・公務員(24.9%)、自営業・自由業(26.1%)で第5位となっています。(表4-3-2)

表4-3-2 「絵本のまち板橋」の推進(職業別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	絵本を身近に感じられるイベント 48.8	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 43.3	子育て世帯が楽しめるイベント 36.7	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 32.6	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 24.0
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	543	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 45.7	絵本を身近に感じられるイベント 44.2	子育て世帯が楽しめるイベント 41.4	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 32.2	印刷・製本関連企業と連携したイベント 24.9
	自 営 業 ・ 自 由 業	92	絵本を身近に感じられるイベント 50.0	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 46.7	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 34.8	子育て世帯が楽しめるイベント 30.4	印刷・製本関連企業と連携したイベント 26.1
	アルバイト・ パ ー ト	161	絵本を身近に感じられるイベント 52.8	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 39.8	子育て世帯が楽しめるイベント 32.3	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 30.4	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 27.3
	主 婦 ・ 主 夫	154	絵本を身近に感じられるイベント 53.2	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 46.8	子育て世帯が楽しめるイベント 35.7	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 31.8	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 31.2
	学 生	35	絵本を身近に感じられるイベント 54.3	子育て世帯が楽しめるイベント 48.6	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 45.7	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 37.1	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 25.7
	無 職	243	絵本を身近に感じられるイベント 51.0	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 39.1	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 34.6	子育て世帯が楽しめるイベント 29.6	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 28.4
	そ の 他	28	絵本を身近に感じられるイベント 57.1	絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 39.3	子育て世帯が楽しめるイベント 35.7	絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 28.6	絵本の芸術性・国際性にふれるイベント 21.4

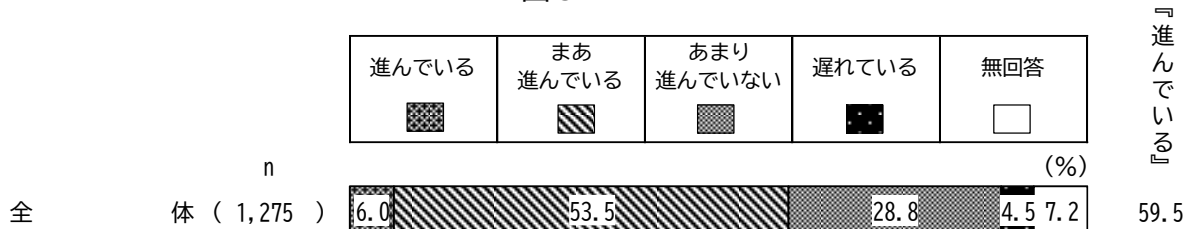
5. デジタル化に向けた取組

(1) デジタル化の進み具合

◇『進んでいる』が約6割

問13 板橋区は行政サービスのデジタル化が進んでいると思いますか。(○は1つ)

図5-1-1

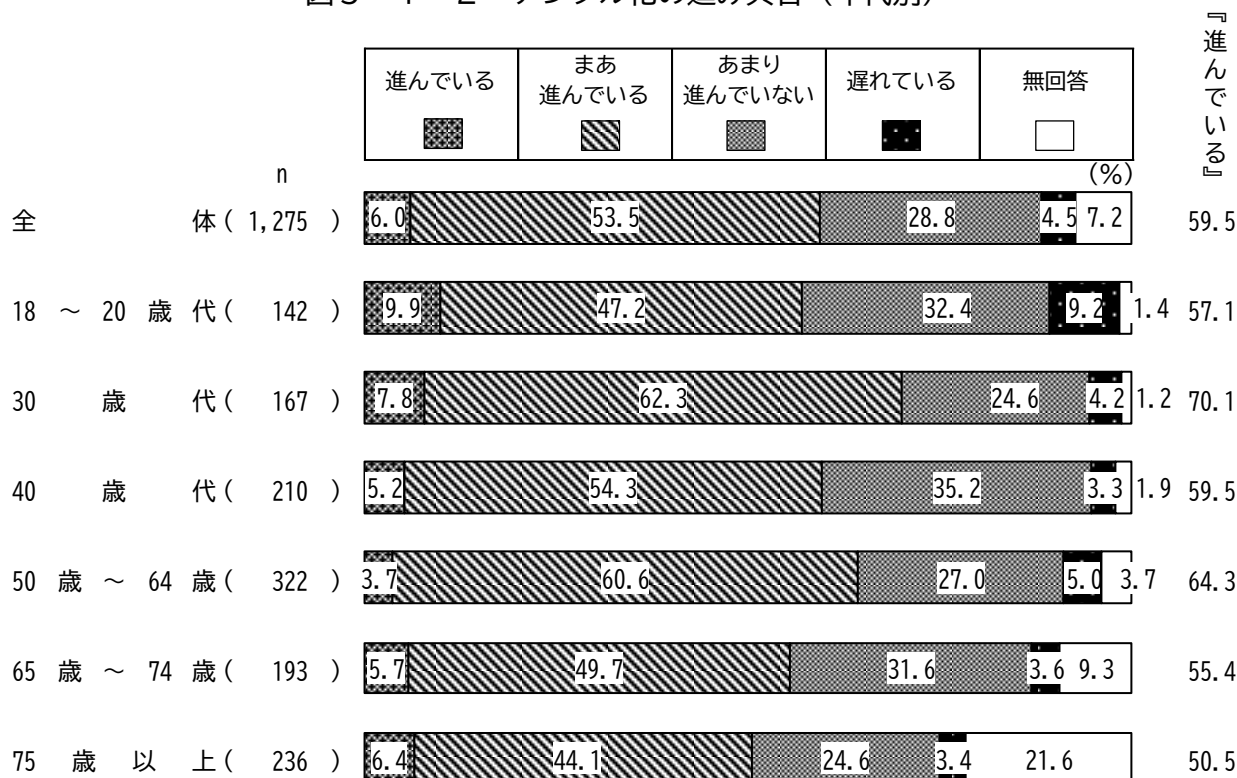


デジタル化の進み具合を聞いたところ、「進んでいる」(6.0%)が1割未満にとどまりましたが、これに「まあ進んでいる」(53.5%)を合わせた『進んでいる』(59.5%)は約6割となっています。一方、「あまり進んでいない」(28.8%)は3割近く、「遅れている」(4.5%)は1割未満となっています。(図5-1-1)

① 年代別

年代別でみると、『進んでいる』は30歳代(70.1%)で7割、50歳～64歳(64.3%)で6割半ばとなっています。(図5-1-2)

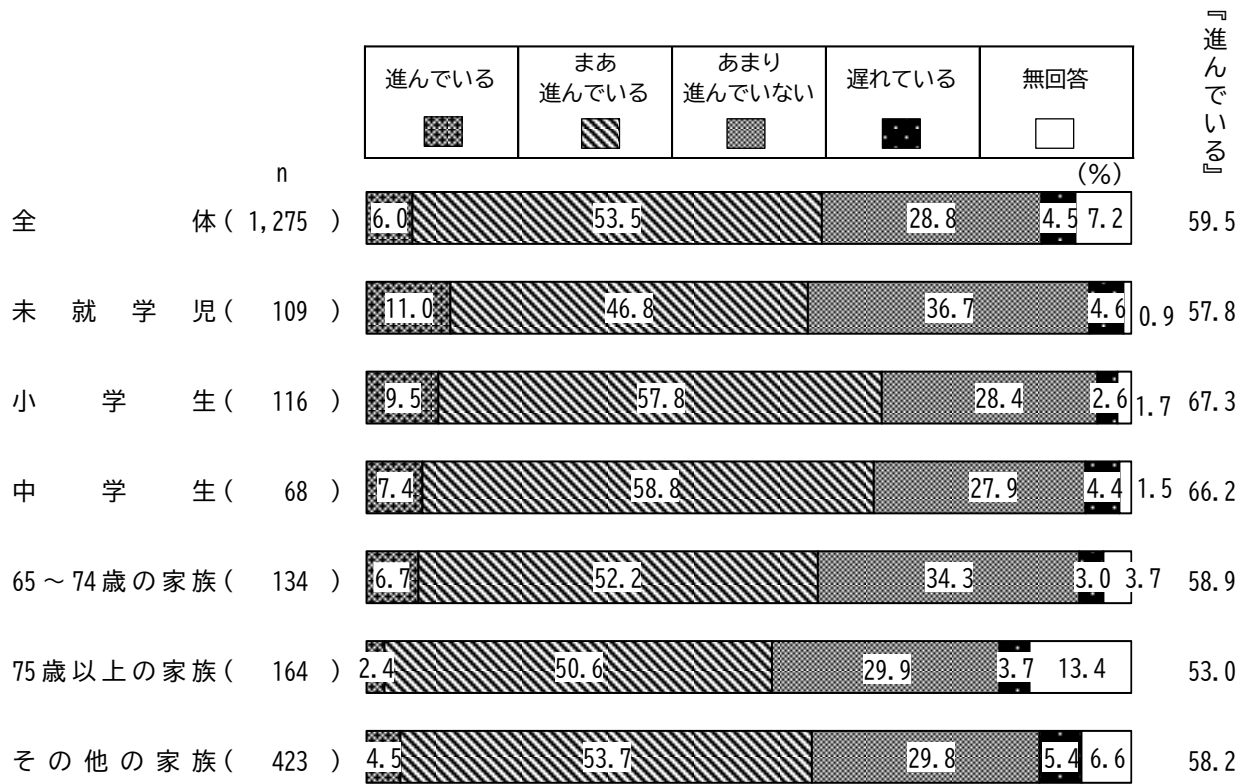
図5-1-2 デジタル化の進み具合(年代別)



② 同居家族別

同居家族別でみると、『進んでいる』は小学生（67.3%）と同居している方で7割近く、中学生（66.2%）と同居している方で6割半ばとなっています。（図5－1－3）

図5－1－3 デジタル化の進み具合（同居家族別）

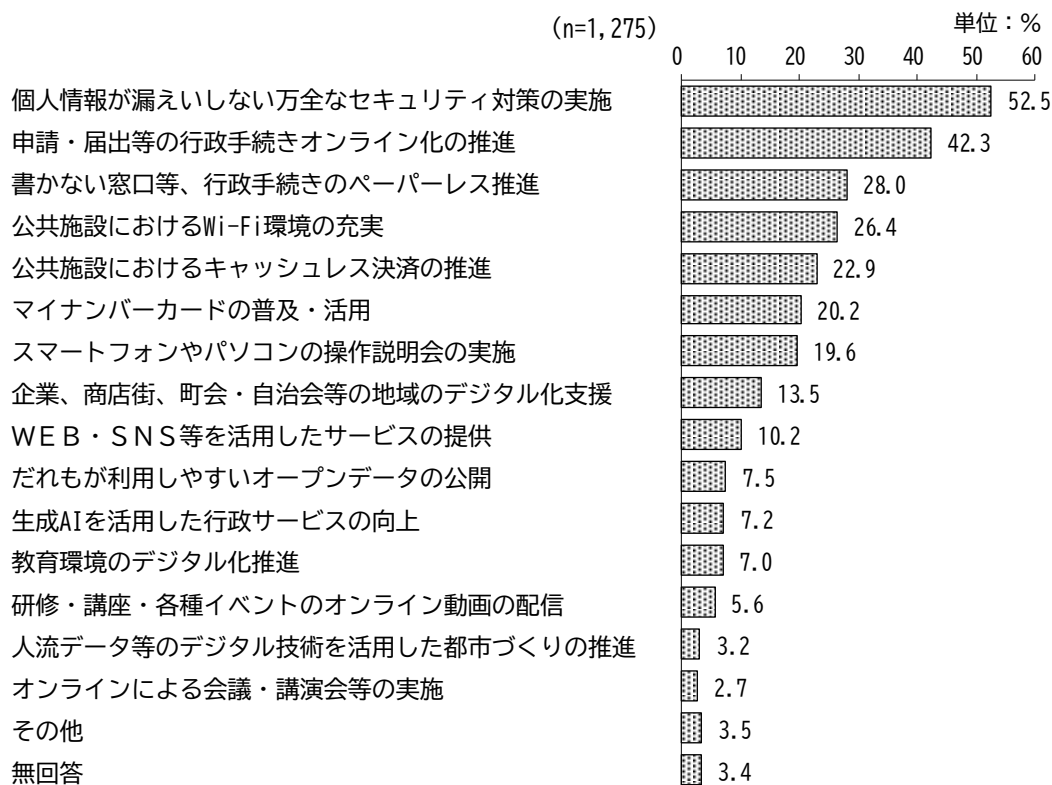


(2) 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うもの

◇「個人情報情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施」が5割超え

問14 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うものはどれですか。
(○は3つ)

図5-2-1



行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うものを聞いたところ、「個人情報情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施」(52.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「申請・届出等の行政手続きのオンライン化の推進」(42.3%)、「書かない窓口、行政手続きのペーパーレス推進」(28.0%)、「公共施設におけるWi-Fi環境の充実」(26.4%)、「公共施設におけるキャッシュレス決済の推進」(22.9%)となっています。(図5-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施」は50歳以上のすべての年代で第1位となっています。「申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進」は40歳代以下のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」は65歳～74歳(35.2%)、75歳以上(35.2%)で第2位となっています。「マイナンバーカードの普及・活用」は75歳以上(30.5%)で第3位、65歳～74歳(21.8%)で第5位となっています。(表5-2-1)

表5-2-1 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うもの(年代別)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,275	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 52.5	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 42.3	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 28.0	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 26.4	公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 22.9
年 代 別	18～20歳代	142 申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 47.9	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 43.0	公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 32.4	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 31.7	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 29.6
	30歳代	167 申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 55.7	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 43.7	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 38.3	公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 35.9	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 29.3
	40歳代	210 申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 55.2	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 46.7	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 36.7	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 33.8	公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 30.5
	50歳～64歳	322 個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 51.2	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 45.7	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進/公共施設におけるWi-Fi環境の充実 30.4		公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 23.9
	65歳～74歳	193 個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 61.7	スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施 35.2	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 32.6	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 25.4	マイナンバーカードの普及・活用 21.8
	75歳以上	236 個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 64.0	スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施 35.2	マイナンバーカードの普及・活用 30.5	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 21.6	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 16.5

② 職業別

職業別でみると、「個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施」は自営業・自由業(53.3%)、アルバイト・パート(60.2%)、主婦・主夫(66.9%)、無職(57.6%)、その他(71.4%)で第1位となっています。「申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進」は会社員・公務員(52.7%)で第1位となっています。「公共施設におけるWi-Fi環境の充実」は学生(51.4%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」は主婦・主夫(26.6%)、無職(30.5%)、その他(39.3%)で第3位、アルバイト・パート(27.3%)で第5位となっています。「マイナンバーカードの普及・活用」は無職(28.8%)で第4位となっています。「WEB・SNS等を活用したサービスの提供」は学生(25.7%)で第5位となっています。(表5-2-2)

表5-2-2 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うもの(職業別)

(%)

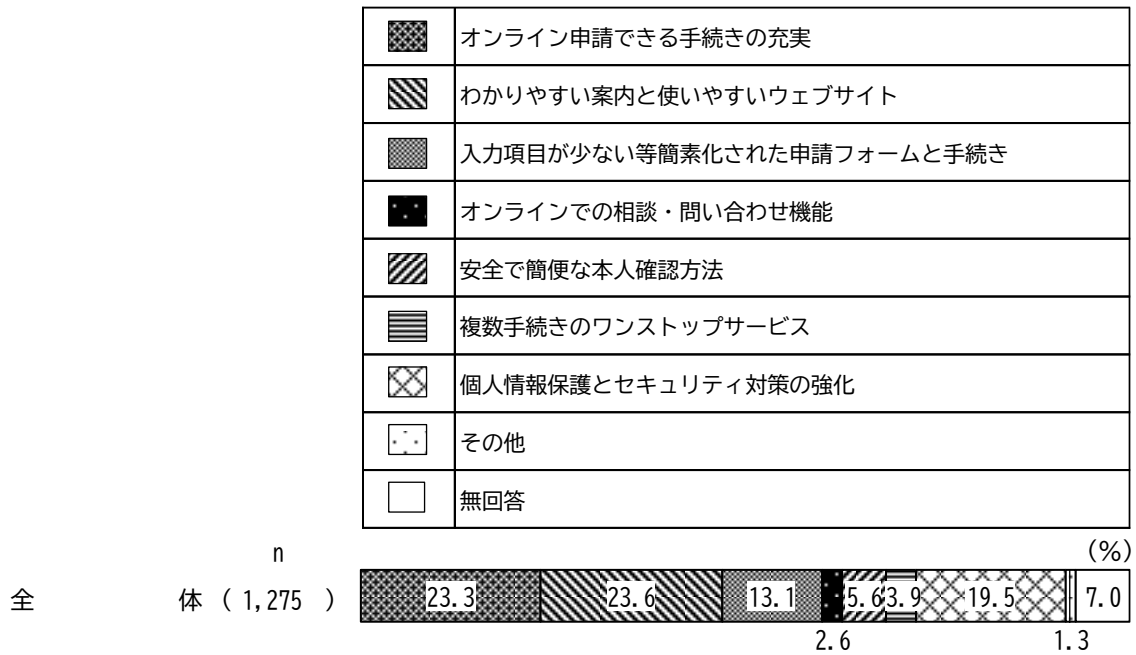
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 52.5	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 42.3	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 28.0	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 26.4	公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 22.9
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	543	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 52.7	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 43.6	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 33.0	公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 29.5	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 28.9
	自 営 業 ・ 自 由 業	92	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 53.3	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 38.0	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進/公共施設におけるWi-Fi環境の充実 27.2	公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 20.7	
	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	161	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 60.2	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 36.0	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 31.1	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 29.8	スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施 27.3
	主 婦 ・ 主 夫	154	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 66.9	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 33.8	スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施 26.6	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 24.7	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 24.0
	学 生	35	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 51.4	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進/公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 40.0	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 37.1	WEB・SNS等を活用したサービスの提供 25.7	
	無 職	243	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 57.6	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 31.7	スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施 30.5	マイナンバーカードの普及・活用 28.8	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 19.3
	そ の 他	28	個人情報が漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 71.4	公共施設におけるWi-Fi環境の充実 50.0	スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施 39.3	申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 35.7	書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 28.6

(3) オンラインサービスを利用するうえで利便性向上のために必要なこと

◇「わかりやすい案内と使いやすいウェブサイト」、「オンライン申請できる手続きの充実」が2割超え

問15 板橋区では様々な行政手続き等のオンライン化を進めています。行政手続き等のオンラインサービスを利用するうえで必要だと思うものはどれですか。(○は1つ)

図5-3-1

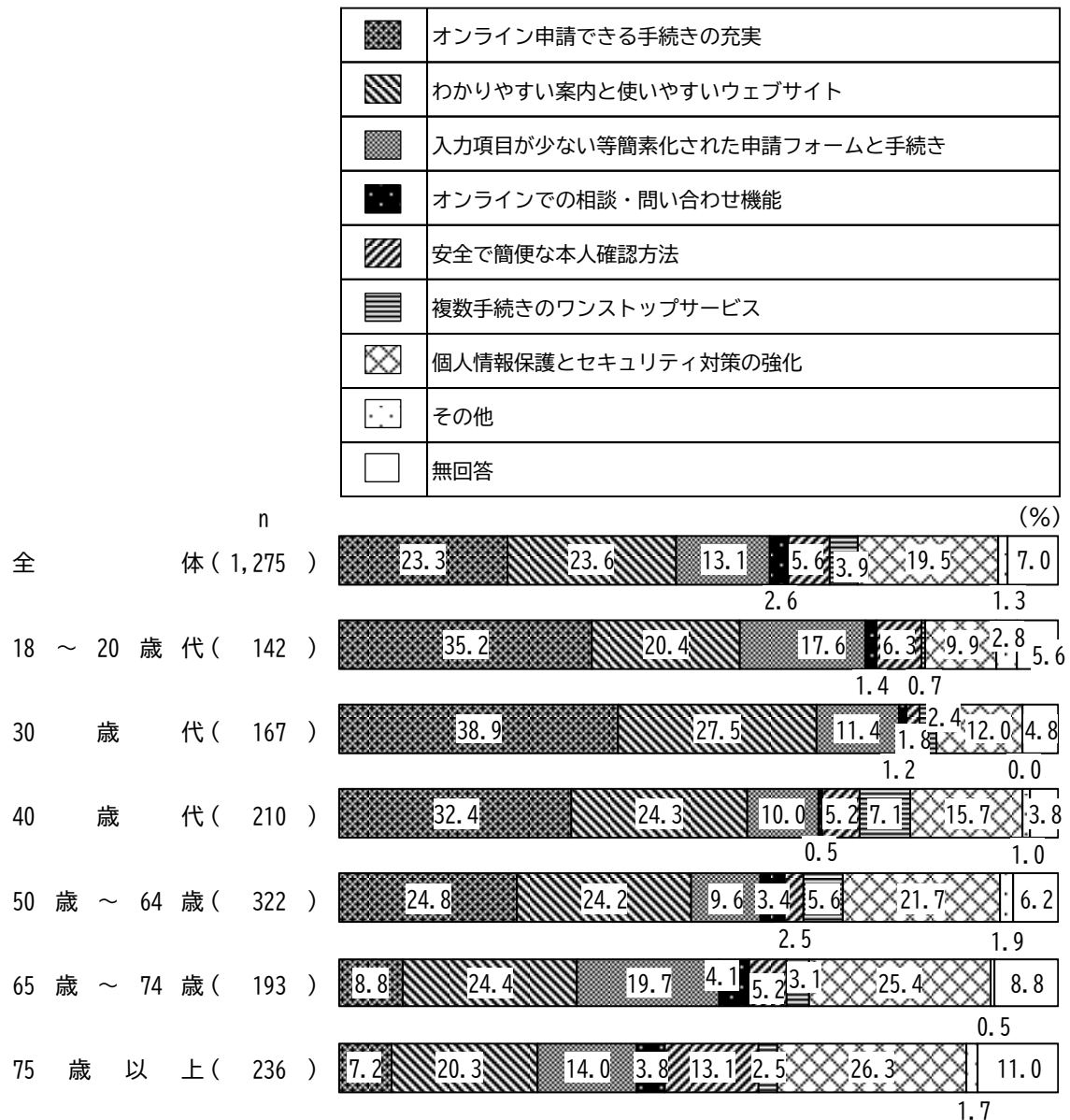


行政手続き等のオンラインサービスを利用するうえで必要だと思うものを聞いたところ、「わかりやすい案内と使いやすいウェブサイト」(23.6%)、「オンライン申請できる手続きの充実」(23.3%)が2割を超え、「入力項目が少ない等簡素化された申請フォームと手続き」(13.1%)が1割を超えています。(図5-3-1)

① 年代別

年代別でみると、「わかりやすい案内と使いやすいウェブサイト」はすべての年代で2割台となっています。「オンライン申請できる手続きの充実」は30歳代（38.9%）で4割近く、18～20歳代（35.2%）で3割半ば、40歳代（32.4%）で3割を超えています。「個人情報保護とセキュリティ対策の強化」は50歳以上のすべての年代で2割台となっています。（図5-3-2）

図5-3-2 オンラインサービスを利用するうえで利便性向上のために必要なこと（年代別）



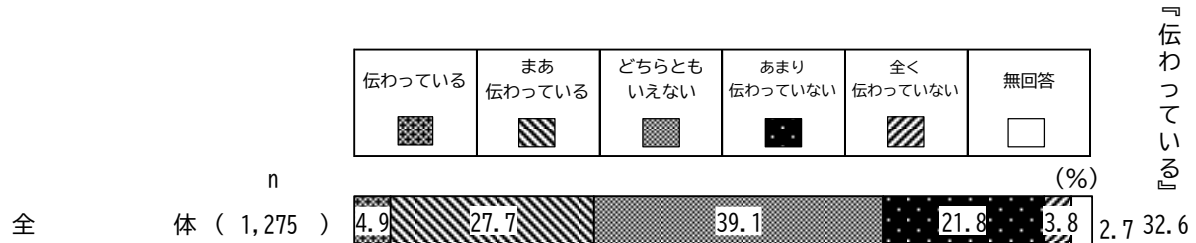
6. 区の情報発信

(1) 区からの情報の伝わり具合

◇『伝わっている』が3割超え

問16 あなたは、区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。(○は1つ)

図6-1-1

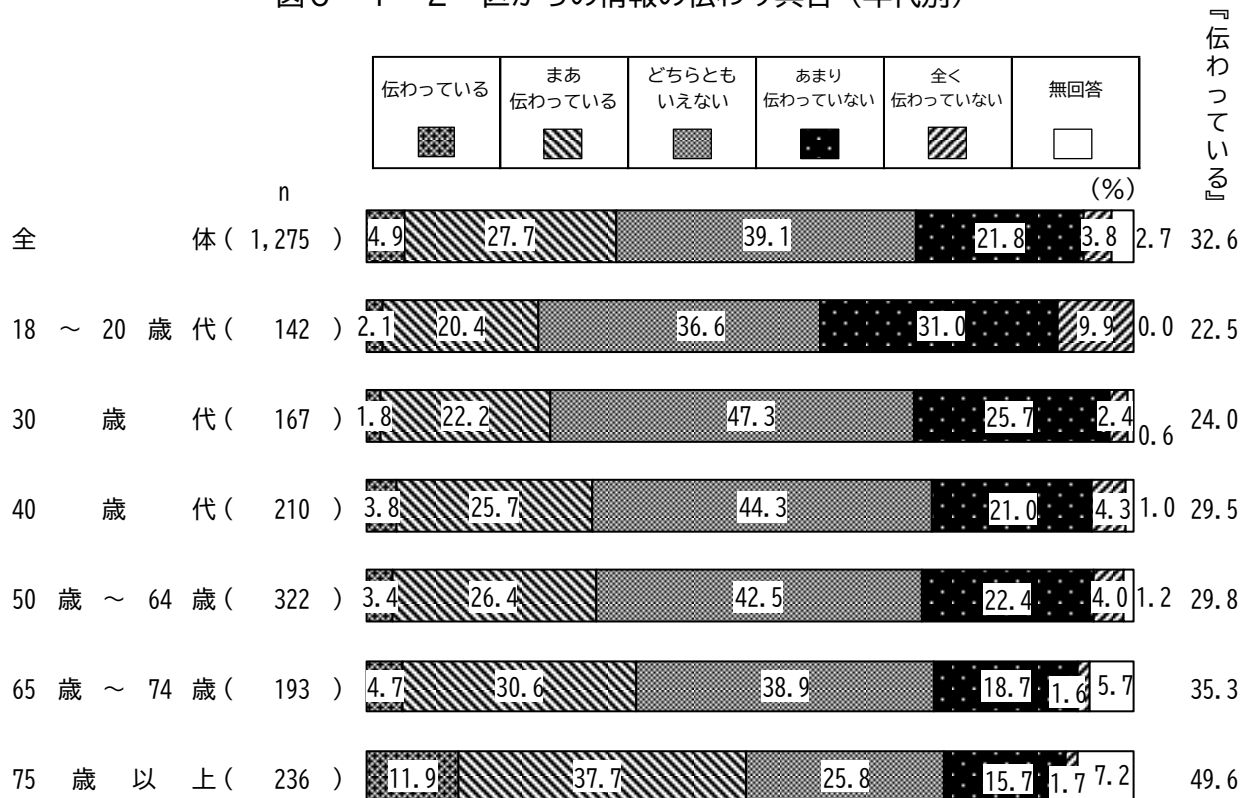


区からの情報の伝わり具合を聞いたところ、「伝わっている」(4.9%)と「まあ伝わっている」(27.7%)を合わせた『伝わっている』(32.6%)は3割を超えています。(図6-1-1)

① 年代別

年代別でみると、『伝わっている』は75歳以上(49.6%)で約5割となっています。一方、18～20歳代(22.5%)は2割を超えるにとどまっています。(図6-1-2)

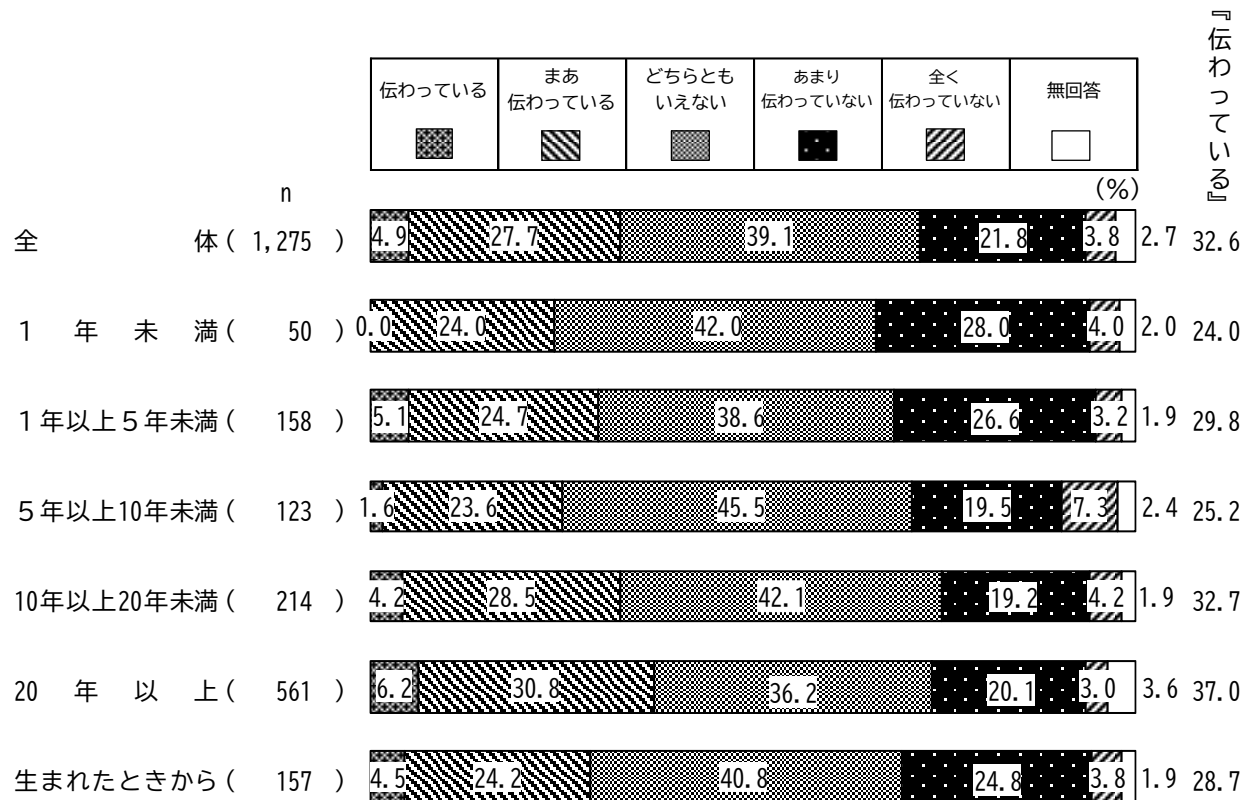
図6-1-2 区からの情報の伝わり具合(年代別)



② 居住年数別

居住年数別でみると、『伝わっている』は20年以上(37.0%)で4割近く、10年以上20年未満(32.7%)で3割を超えています。(図6-1-3)

図6-1-3 区からの情報の伝わり具合(居住年数別)



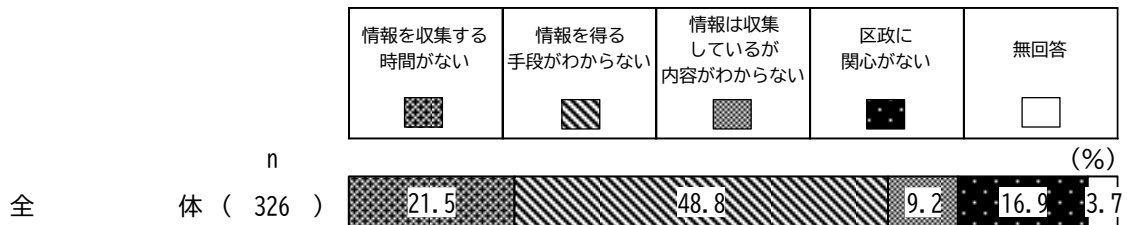
(2) 区からの情報が伝わっていないと思う主な理由

◇「情報を得る手段が分からない」が5割近く

(問16で「あまり伝わっていない」又は「全く伝わっていない」と回答した方のみ)

問16-1 区からの情報が伝わっていないと思う主な理由は何ですか。(○は1つ)

図6-2-1



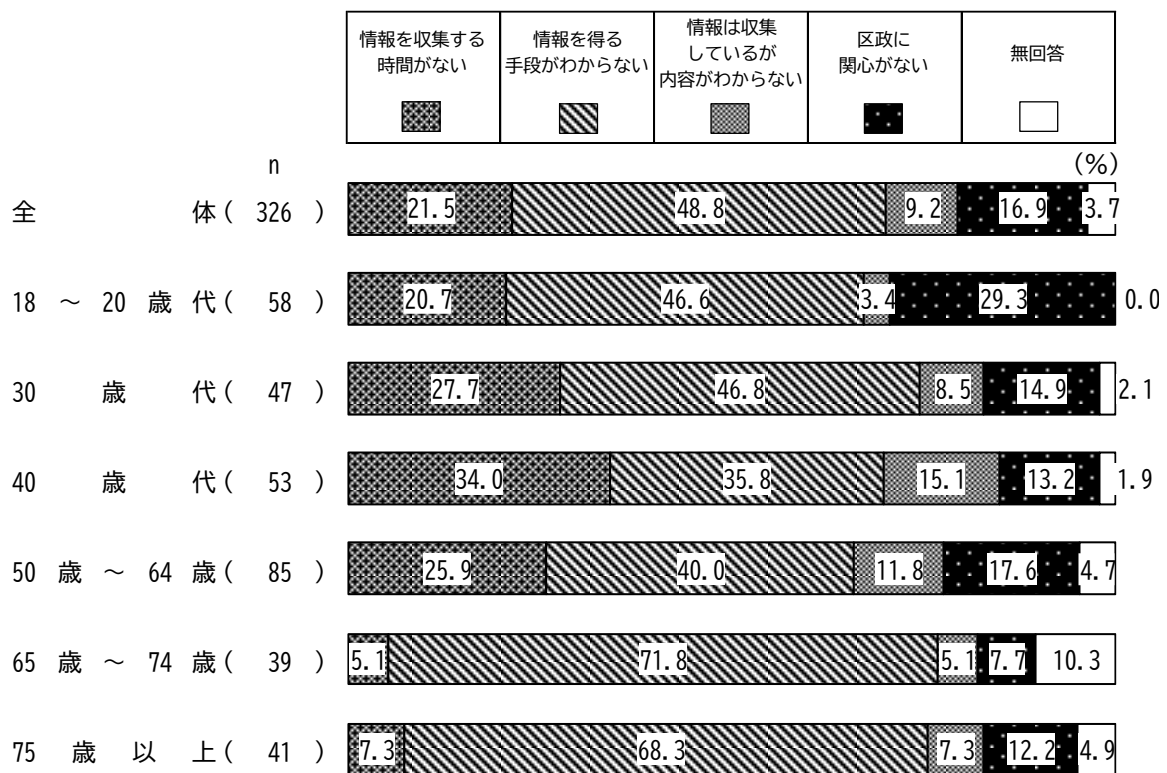
問16で、区からの情報が「あまり伝わっていない」又は「伝わっていない」と答えた人(326人)に、区からの情報が伝わっていないと思う主な理由を聞いたところ、「情報を得る手段が分からない」(48.8%)が5割近く、「情報を収集する時間がない」(21.5%)が2割を超えています。

(図6-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「情報を得る手段が分からない」は65歳～74歳(71.8%)、75歳以上(68.3%)で7割前後となっている一方、40歳代(35.8%)は3割半ばとなっています。「情報を収集する時間がない」は40歳代(34.0%)で3割半ばとなっている一方、65歳～74歳(5.1%)、75歳以上(7.3%)は1割未満となっています。「区政に関心がない」は18～20歳代(29.3%)で約3割となっています。(図6-2-2)

図6-2-2 区からの情報が伝わっていないと思う主な理由(年代別)



(3) 区の情報の入手方法

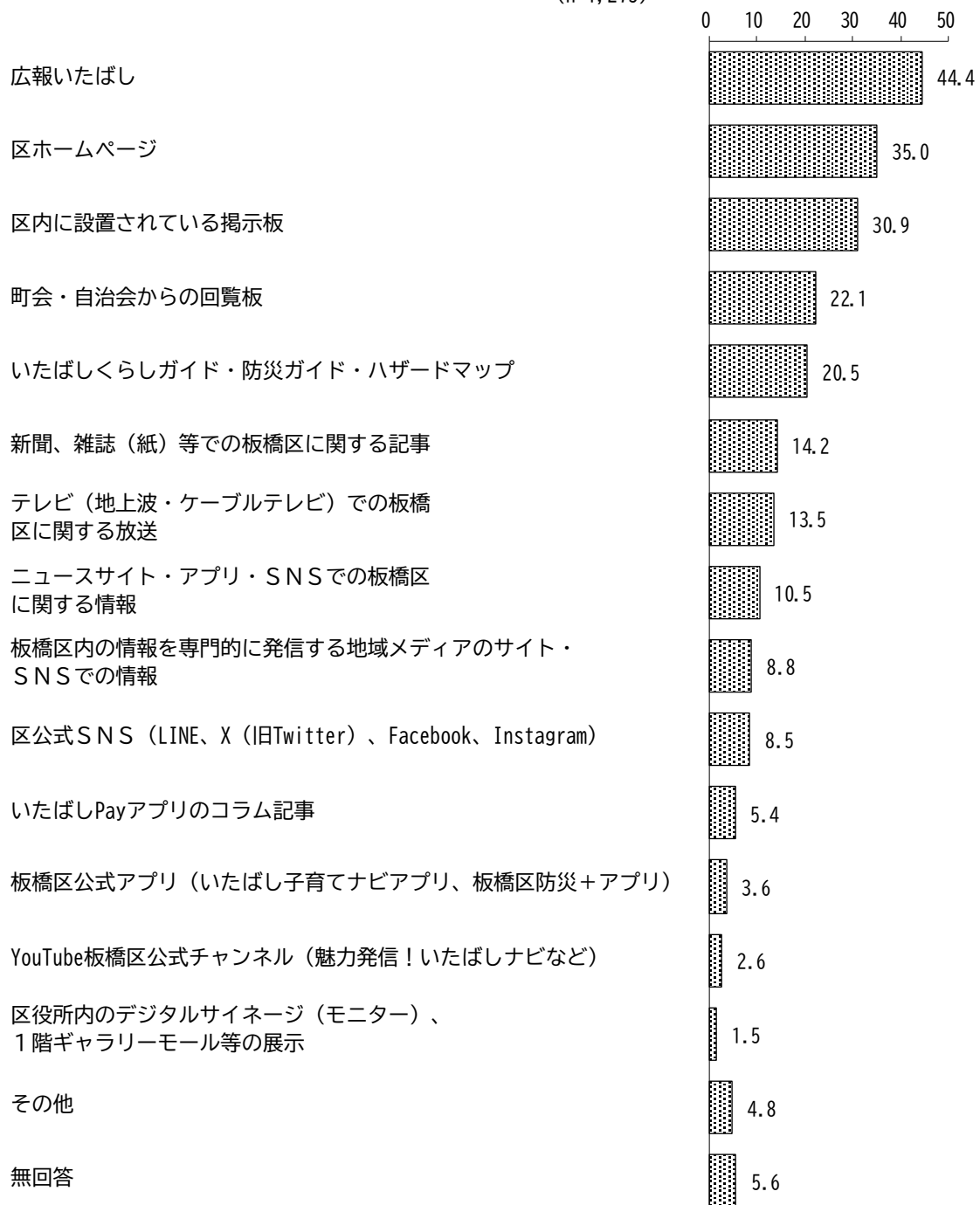
◇「広報いたばし」が4割半ば

問17 あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。(〇はいくつでも)

図6-3-1

(n=1,275)

単位：％



区の情報の入手方法を聞いたところ、「広報いたばし」（44.4％）が4割半ばで最も高く、次いで「区ホームページ」（35.0％）、「区内に設置されている掲示板」（30.9％）、「町会・自治会からの回覧板」（22.1％）、「いたばし暮らしガイド・防災ガイド・ハザードマップ」（20.5％）などとなっています。（図6-3-1）

① 年代別

年代別でみると、「広報いたばし」は50歳以上のすべての年代で第1位となっています。「区ホームページ」は40歳代以下のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「テレビ（地上波・ケーブルテレビ）での板橋区に関する放送」は18～20歳代（15.5%）で第3位となっています。「ニュースサイト・アプリ・SNSでの板橋区に関する情報」は30歳代（22.8%）で第3位、40歳代（18.1%）で第5位となっています。「区公式SNS（LINE、X（旧Twitter）、Facebook、Instagram）」は30歳代（16.8%）で第4位、18～20歳代（11.3%）で第5位となっています。（表6-3-1）

表6-3-1 区の情報の入手方法（年代別）

(%)

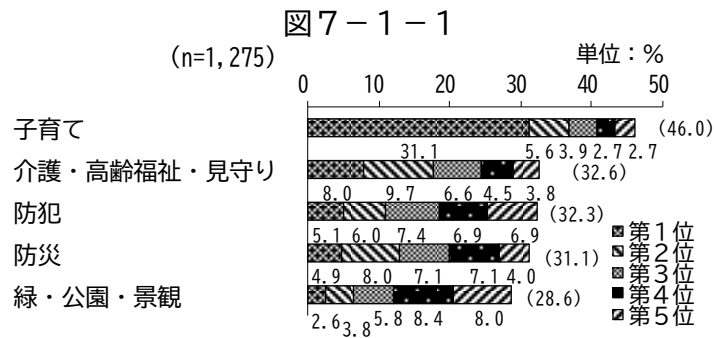
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	広報いたばし 44.4	区ホームページ 35.0	区内に設置されてい る掲示板 30.9	町会・自治会からの 回覧板 22.1	いたばし暮らしガイ ド・防災ガイド・ハ ザードマップ 20.5
年 代 別	18 ～ 20 歳 代	142	区ホームページ 27.5	区内に設置されてい る掲示板 22.5	テレビ（地上波・ ケーブルテレビ）で の板橋区に関する放 送 15.5	広報いたばし 13.4	いたばし暮らしガイド・防 災ガイド・ハザードマップ /区公式SNS（LINE、X （旧Twitter）、 Facebook、Instagram） 11.3
	30 歳 代	167	区ホームページ 35.9	区内に設置されてい る掲示板 27.5	ニュースサイト・ア プリ・SNSでの板 橋区に関する情報 22.8	区公式SNS（LINE、 X（旧Twitter）、 Facebook、 Instagram） 16.8	板橋区内の情報を専 門的に発信する地域 メディアのサイト・ SNSでの情報 15.6
	40 歳 代	210	区ホームページ 46.2	広報いたばし 34.8	区内に設置されてい る掲示板 26.2	板橋区内の情報を専 門的に発信する地域 メディアのサイト・ SNSでの情報 18.6	ニュースサイト・ア プリ・SNSでの板 橋区に関する情報 18.1
	50 歳 ～ 64 歳	322	広報いたばし 46.9	区ホームページ 45.3	区内に設置されてい る掲示板 31.4	町会・自治会からの 回覧板 18.3	いたばし暮らしガイ ド・防災ガイド・ハ ザードマップ 17.1
	65 歳 ～ 74 歳	193	広報いたばし 62.2	町会・自治会からの 回覧板 35.8	区内に設置されてい る掲示板 35.2	区ホームページ 31.1	いたばし暮らしガイ ド・防災ガイド・ハ ザードマップ 28.0
	75 歳 以 上	236	広報いたばし 75.0	町会・自治会からの 回覧板 44.1	区内に設置されてい る掲示板 38.6	いたばし暮らしガイド・防災ガイド・ハ ザードマップ/新聞、雑誌（紙）等での板橋 区に関する記事 33.9	

7. 今後力を入れるべき分野

(1) 板橋区発展のために力を入れるべき分野

◇第1位から第5位までの合計では「子育て」が4割半ば

問18 板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つ選んで下の表に番号を記入してください。



上記以外の項目	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	合計
学校教育	4.9	11.9	3.4	3.8	2.1	26.1
高齢者社会参加・介護予防	5.5	6.1	3.6	4.1	2.7	22.0
市街地整備・まちづくり	2.8	3.0	4.8	4.0	5.0	19.6
交通安全(自転車対策等)	1.3	2.5	3.6	5.4	5.6	18.4
健康づくり・公衆衛生	3.8	3.3	4.7	3.6	2.6	18.0
就労支援	1.7	3.2	4.9	3.7	3.2	16.7
道路・交通	1.6	2.6	4.1	2.7	5.4	16.4
住宅施策	3.1	3.8	3.3	2.0	3.5	15.7
環境・清掃・リサイクル	1.3	1.8	2.7	4.5	5.3	15.6
商業・工業振興	1.9	2.2	2.4	3.6	1.4	11.5
生活保護・生活困窮者支援	1.9	2.0	2.4	2.1	2.0	10.4
生涯学習・社会教育	1.6	2.5	2.0	2.0	2.2	10.3
孤立・孤独対策、ひきこもり支援	0.9	2.4	2.1	2.4	2.0	9.8
行財政改革	1.7	1.3	1.5	1.3	2.8	8.6
障がい者福祉	0.8	2.3	2.8	1.8	0.7	8.4
DX(デジタルトランスフォーメーション)	1.3	1.6	1.8	1.3	1.6	7.6
ブランド創造・魅力発信	1.2	1.0	0.9	1.7	2.5	7.3
食育	1.0	1.3	1.3	1.4	1.1	6.1
スポーツ振興	1.0	1.3	1.6	1.0	1.2	6.1
文化・芸術振興	0.5	0.6	0.9	1.6	2.0	5.6
男女平等・女性活躍推進	0.7	0.8	1.8	1.3	0.8	5.4
情報公開・区民参加	0.4	0.6	0.6	0.6	3.1	5.3
コミュニティ・協働	0.6	0.7	1.2	1.6	1.1	5.2
観光振興	0.7	0.5	0.9	1.8	0.9	4.8
消費生活トラブル防止	0.5	0.6	1.1	0.4	1.6	4.2
多様性理解の推進	0.3	0.6	1.2	0.8	1.2	4.1
都市農業振興	0.4	0.4	0.9	0.9	1.3	3.9
国際交流・多文化共生	0.1	0.5	0.8	1.1	0.5	3.0
ユニバーサルデザインの推進	0.3	0.7	0.2	0.5	1.1	2.8
無回答	4.4	4.7	5.8	7.3	8.0	30.2

今後、区が重点的に力を入れるべき分野を、重要だと思う順に5つまで聞いたところ、第1位から第5位までの合計の割合では、「子育て」(46.0%)が4割半ばで最も高く、次いで「介護・高齢福祉・見守り」(32.6%)、「防犯」(32.3%)などとなっています。(図7-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「子育て」は 64 歳以下のすべての年代で第 1 位となっています。「介護・高齢福祉・見守り」は 75 歳以上 (47.3%) で第 1 位となっています。「防災」は 65 歳～74 歳 (38.8%) で第 1 位となっています。

その他の特徴として、「学校教育」は 18～20 歳代 (28.1%)、30 歳代 (45.5%) で第 2 位、40 歳代 (34.7%) で第 3 位となっています。「交通安全 (自転車対策等)」は 75 歳以上 (28.9%) で第 5 位となっています。(表 7-1-1)

表 7-1-1 板橋区発展のために力を入れるべき分野 (年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	子育て 46.0	介護・高齢福祉・見守り 32.6	防犯 32.3	防災 31.1	緑・公園・景観 28.6
年 代 別	18～20 歳代	142	子育て 54.2	学校教育 28.1	防災 25.9	緑・公園・景観 25.2	防犯 23.1
	30 歳代	167	子育て 71.3	学校教育 45.5	緑・公園・景観 30.6	防犯 29.4	防災 27.0
	40 歳代	210	子育て 61.5	防犯 37.6	学校教育 34.7	防災 28.6	緑・公園・景観 28.1
	50 歳～64 歳	322	子育て 42.8	介護・高齢福祉・見守り 40.2	防犯 36.3	防災 33.8	緑・公園・景観 28.0
	65 歳～74 歳	193	防災 38.8	介護・高齢福祉・見守り 37.7	子育て 34.8	防犯 33.2	緑・公園・景観 30.0
	75 歳以上	236	介護・高齢福祉・見守り 47.3	防犯/防災 29.7		緑・公園・景観 29.2	交通安全(自転車対策等) 28.9

8. 区の各政策分野

(1) 子育てのしやすさ

◇「はい」が4割半ば、「いいえ」がわずか

問19 板橋区は子育て世帯にとって、子育てしやすいまちですか（子育て世帯ではない方は、子育てしやすいまちだと思いますか）。(○は1つ)

図8-1-1

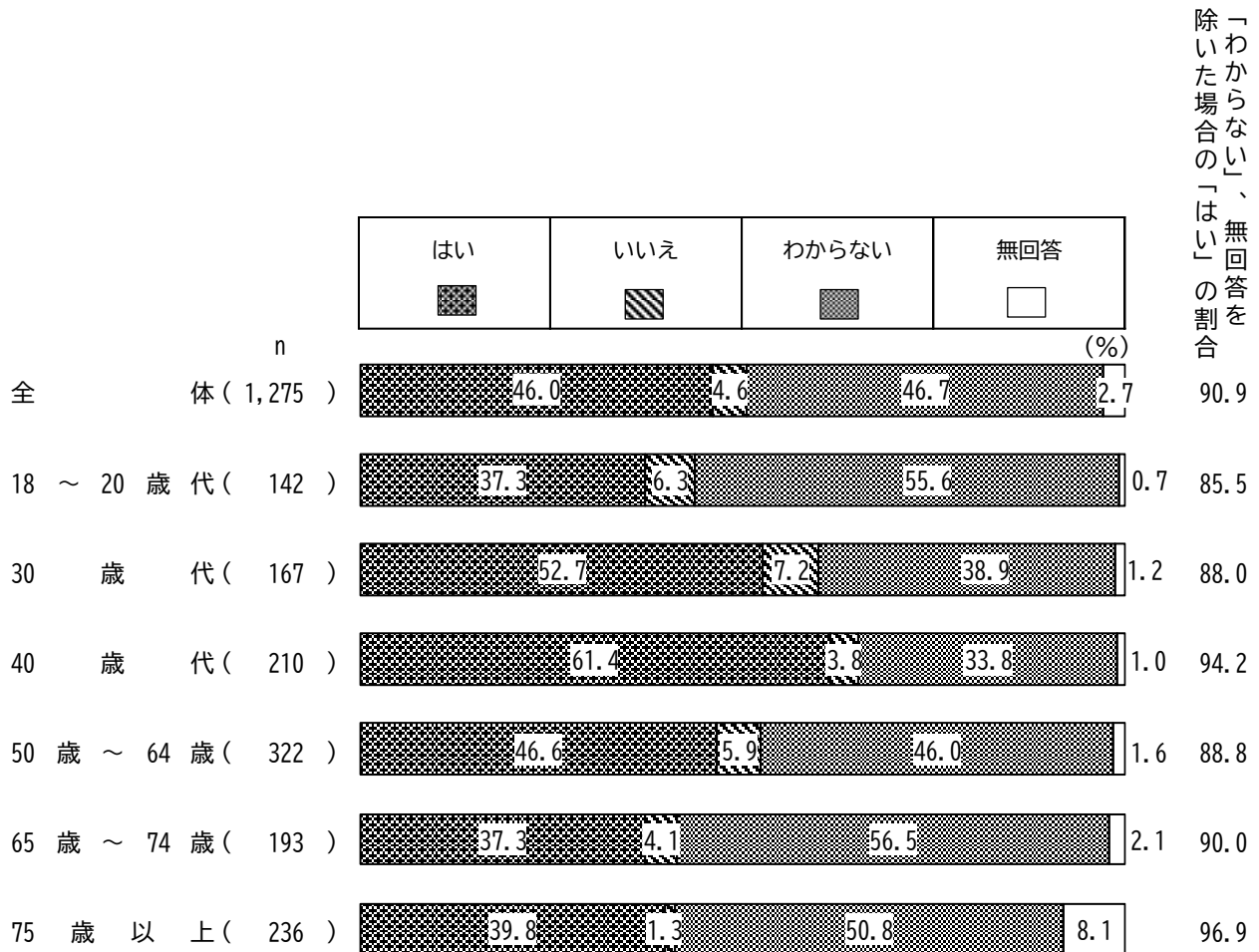


子育てのしやすさを聞いたところ、「はい」(46.0%)が4割半ば、「いいえ」(4.6%)がわずかとなっています。「わからない」、無回答を除いた場合の「はい」の割合(90.9%)が約9割となっています。(図8-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「はい」は40歳代(61.4%)で6割を超えています。「わからない」、無回答を除いた場合の「はい」の割合は40歳代(94.2%)、75歳以上(96.9%)で9割半ばとなっています。
(図8-1-2)

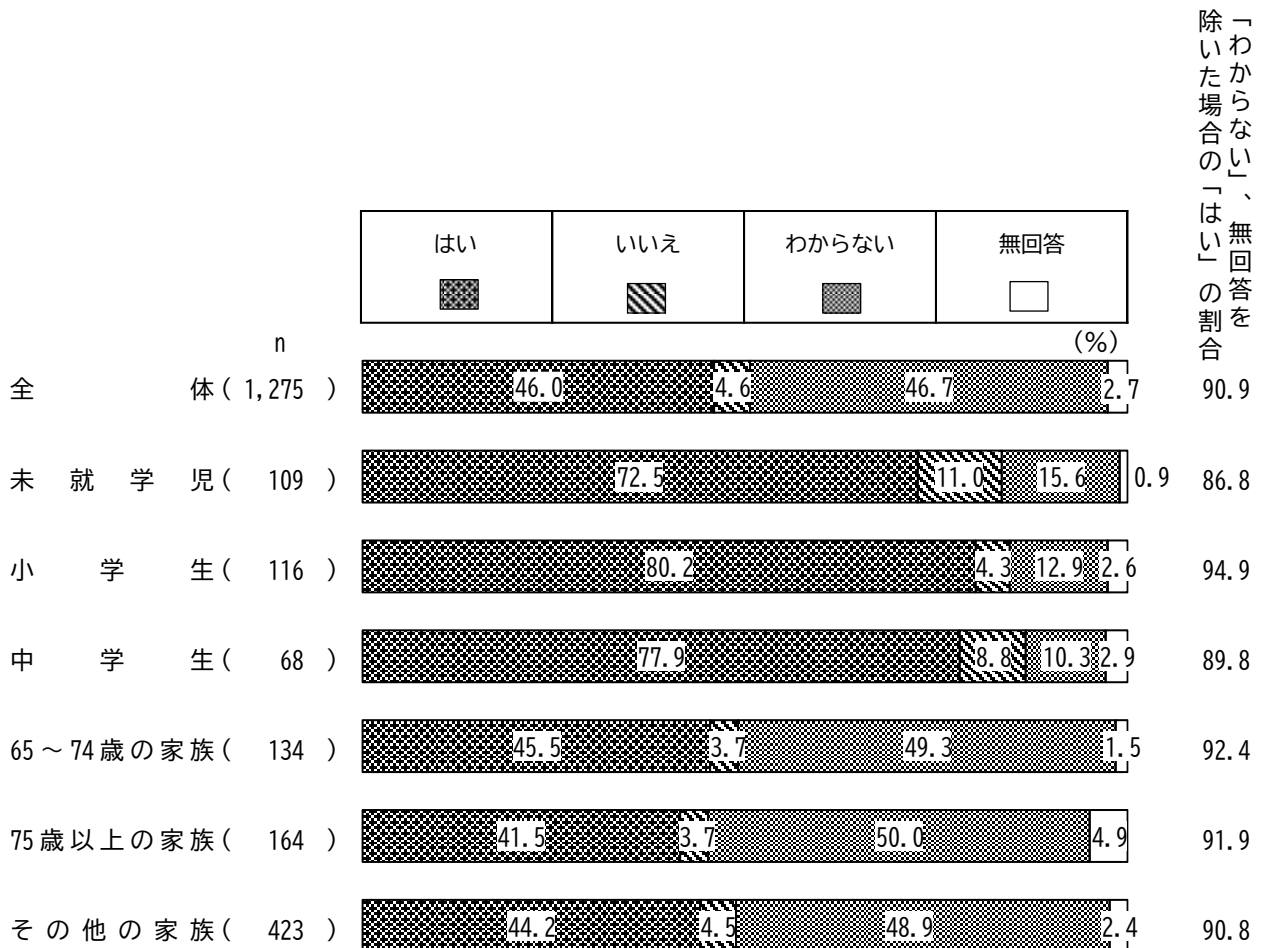
図8-1-2 子育てのしやすさ(年代別)



② 同居家族別

同居家族別でみると、「はい」は小学生（80.2%）と同居している方で8割、中学性（77.9%）と同居している方で8割近く、未就学児（72.5%）と同居している方で7割を超えています。「わからない」、無回答を除いた場合の「はい」の割合は小学生（94.9%）と同居している方で9割半ば、65～74歳の家族（92.4%）、75歳以上家族（91.9%）と同居している方で9割を超え、その他の家族（90.8%）と同居している方で約9割となっています。（図8－1－3）

図8－1－3 子育てのしやすさ（同居家族別）

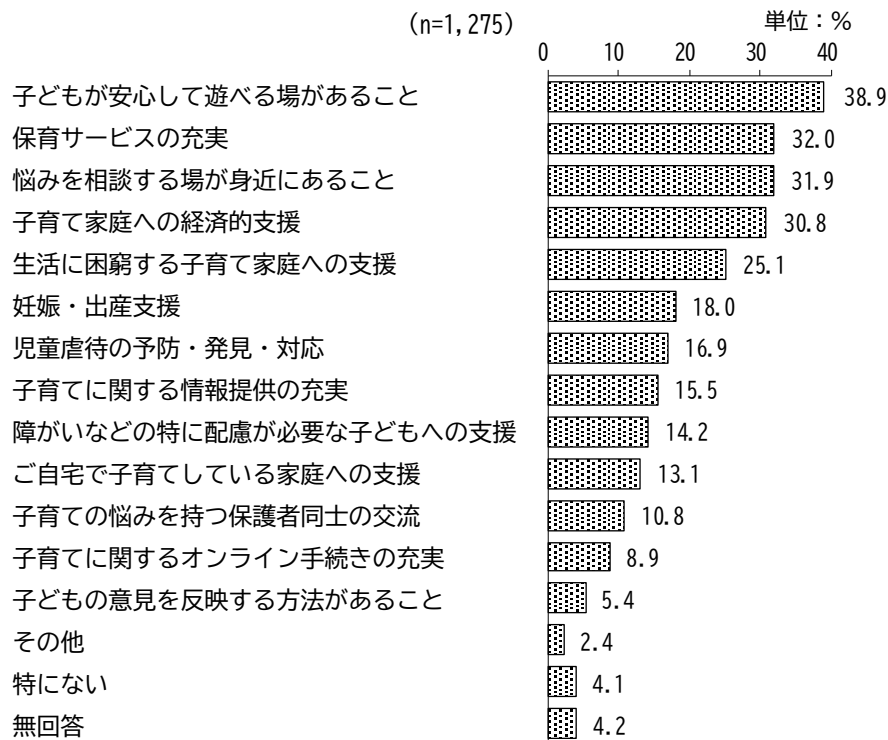


(2) 必要と感じる子育て施策

◇「子どもが安心して遊べる場があること」が4割近く

問20 あなたが必要と感じる子育て施策はどれですか。(〇は3つ)

図8-2-1



必要と感じる子育て施策を聞いたところ、「子どもが安心して遊べる場があること」(38.9%)が4割近くで最も高く、次いで「保育サービスの充実」(32.0%)、「悩みを相談する場が身近にあること」(31.9%)、「子育て家庭への経済的支援」(30.8%)が3割台となっています。

(図8-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「子どもが安心して遊べる場があること」は40歳代(54.8%)、65歳～74歳代(38.9%)で第1位となっています。「悩みを相談する場が身近にあること」は50歳～64歳(39.4%)、75歳以上(36.9%)で第1位となっています。「子育て家庭への経済的支援」は30歳代以下のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「妊娠・出産支援」は18～20歳代(28.2%)、30歳代(34.7%)で第4位となっています。「子育てに関する情報提供の充実」は65歳～74歳(23.8%)で第5位となっています。「障がいなどの特に配慮が必要な子どもへの支援」は75歳以上(22.5%)で第4位となっています。(表8-2-1)

表8-2-1 必要とを感じる子育て施策(年代別)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,275	子どもが安心して遊べる場があること 38.9	保育サービスの充実 32.0	悩みを相談する場が身近にあること 31.9	子育て家庭への経済的支援 30.8	生活に困窮する子育て家庭への支援 25.1
年 代 別	18～20歳代	142 子育て家庭への経済的支援 39.4	悩みを相談する場が身近にあること 29.6	子どもが安心して遊べる場があること 28.9	妊娠・出産支援 28.2	保育サービスの充実 27.5
	30歳代	167 子育て家庭への経済的支援 49.1	子どもが安心して遊べる場があること 42.5	保育サービスの充実 41.9	妊娠・出産支援 34.7	生活に困窮する子育て家庭への支援 17.4
	40歳代	210 子どもが安心して遊べる場があること 54.8	子育て家庭への経済的支援 36.2	保育サービスの充実 34.3	悩みを相談する場が身近にあること 25.7	生活に困窮する子育て家庭への支援 21.0
	50歳～64歳	322 悩みを相談する場が身近にあること 39.4	保育サービスの充実 37.3	子どもが安心して遊べる場があること 36.0	子育て家庭への経済的支援 27.0	生活に困窮する子育て家庭への支援 26.7
	65歳～74歳	193 子どもが安心して遊べる場があること 38.9	悩みを相談する場が身近にあること 38.3	生活に困窮する子育て家庭への支援 31.1	保育サービスの充実 29.0	子育て家庭への経済的支援/子育てに関する情報提供の充実 23.8
	75歳以上	236 悩みを相談する場が身近にあること 36.9	子どもが安心して遊べる場があること 32.6	生活に困窮する子育て家庭への支援 28.4	障がいなどの特に配慮が必要な子どもへの支援 22.5	保育サービスの充実 21.2

② 同居家族別

同居家族別でみると、「子どもが安心して遊べる場があること」は小学生（65.5%）、65～74歳の家族（42.5%）、75歳以上の家族（34.8%）、その他の家族（37.4%）と同居している方で第1位となっています。「子育て家庭への経済的支援」は未就学児（56.9%）、中学生（60.3%）と同居している方で第1位となっています。「生活に困窮する子育て家庭への支援」は75歳以上の家族（34.8%）と同居している方で第1位となっています。

その他の特徴として、「妊娠・出産支援」は未就学児（21.1%）と同居している方で第4位となっています。「ご自宅で子育てしている家庭への支援」は中学生（20.6%）と同居している方で第4位、未就学児（20.2%）と同居している方で第5位となっています。「子育てに関するオンライン手続きの充実」は小学生（19.8%）と同居している方で第4位となっています。（表8-2-2）

表8-2-2 必要とを感じる子育て施策（同居家族別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	子どもが安心して遊べる場があること 38.9	保育サービスの充実 32.0	悩みを相談する場が身近にあること 31.9	子育て家庭への経済的支援 30.8	生活に困窮する子育て家庭への支援 25.1
同 居 家 族 別	未 就 学 児	109	子育て家庭への経済的支援 56.9	子どもが安心して遊べる場があること 56.0	保育サービスの充実 43.1	妊娠・出産支援 21.1	ご自宅で子育てしている家庭への支援 20.2
	小 学 生	116	子どもが安心して遊べる場があること 65.5	子育て家庭への経済的支援 48.3	保育サービスの充実 33.6	子育てに関するオンライン手続きの充実 19.8	生活に困窮する子育て家庭への支援 18.1
	中 学 生	68	子育て家庭への経済的支援 60.3	子どもが安心して遊べる場があること 55.9	保育サービスの充実 38.2	生活に困窮する子育て家庭への支援/ご自宅で子育てしている家庭への支援 20.6	
	65 ～ 74 歳の 家 族	134	子どもが安心して遊べる場があること 42.5	悩みを相談する場が身近にあること 38.8	保育サービスの充実 31.3	子育て家庭への経済的支援 30.6	生活に困窮する子育て家庭への支援 21.6
	75 歳 以 上 の 家 族	164	子どもが安心して遊べる場があること/生活に困窮する子育て家庭への支援 34.8		悩みを相談する場が身近にあること 30.5	子育て家庭への経済的支援 23.8	保育サービスの充実 22.6
	その他の家族	423	子どもが安心して遊べる場があること 37.4	悩みを相談する場が身近にあること 36.6	保育サービスの充実 34.8	子育て家庭への経済的支援 29.8	生活に困窮する子育て家庭への支援 23.9

(3) 子どもたちのたくましく生きる力

◇『感じる』が約3割

問21 子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通して、はぐくまれていると感じますか。（○は1つ）

図8-3-1

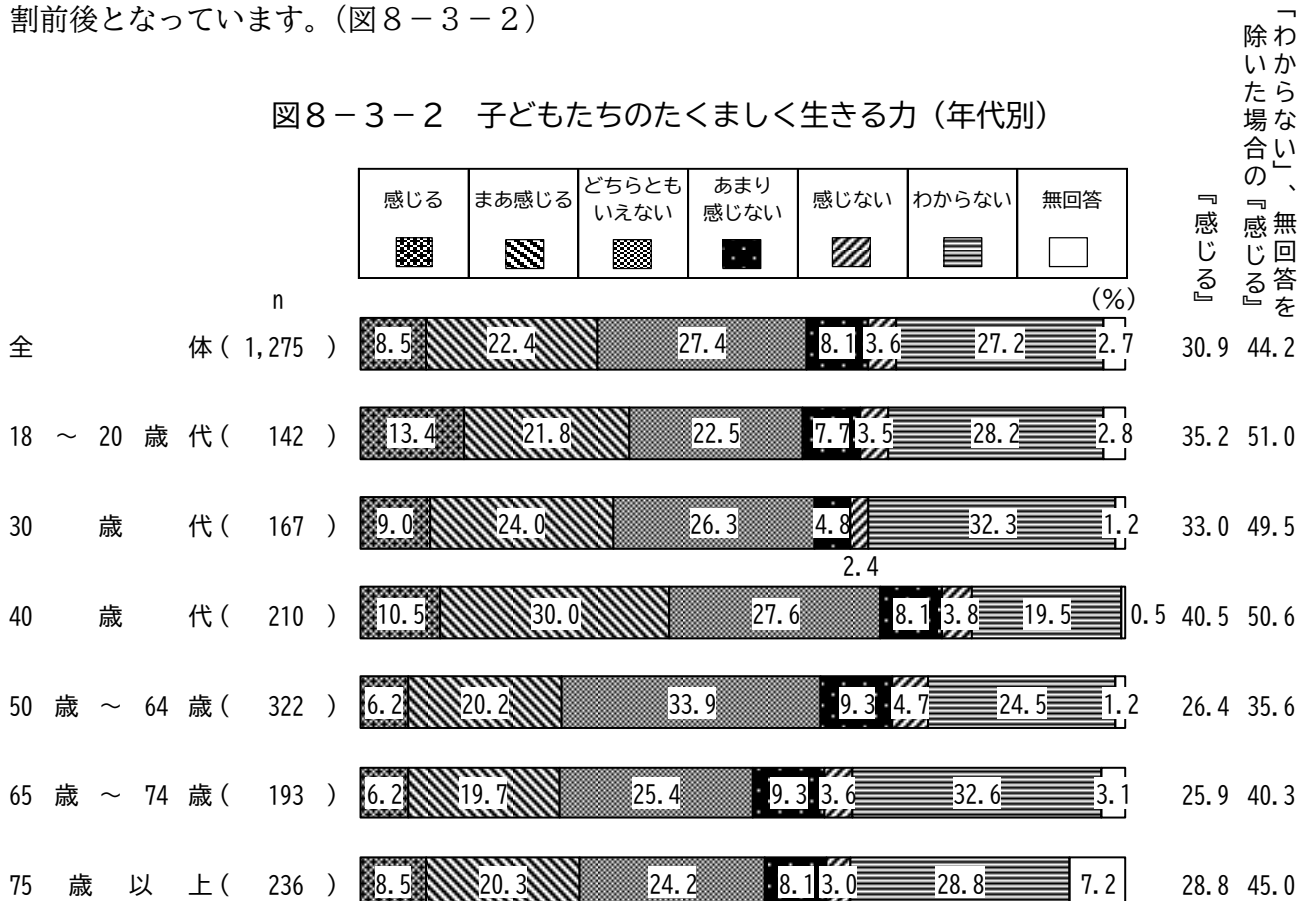


子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通して、はぐくまれていると感じるか聞いたところ、「感じる」（8.5%）が1割未満となり、これに「まあ感じる」（22.4%）を合わせた『感じる』（30.9%）は約3割となっています。「わからない」、無回答を除いた場合の『感じる』（44.2%）は4割半ばとなっています。（図8-3-1）

① 年代別

年代別でみると、『感じる』は40歳代（40.5%）で約4割となっています。「わからない」、無回答を除いた場合の『感じる』は18～20歳代（51.0%）、30歳代（49.5%）、40歳代（50.6%）で5割前後となっています。（図8-3-2）

図8-3-2 子どもたちのたくましく生きる力（年代別）

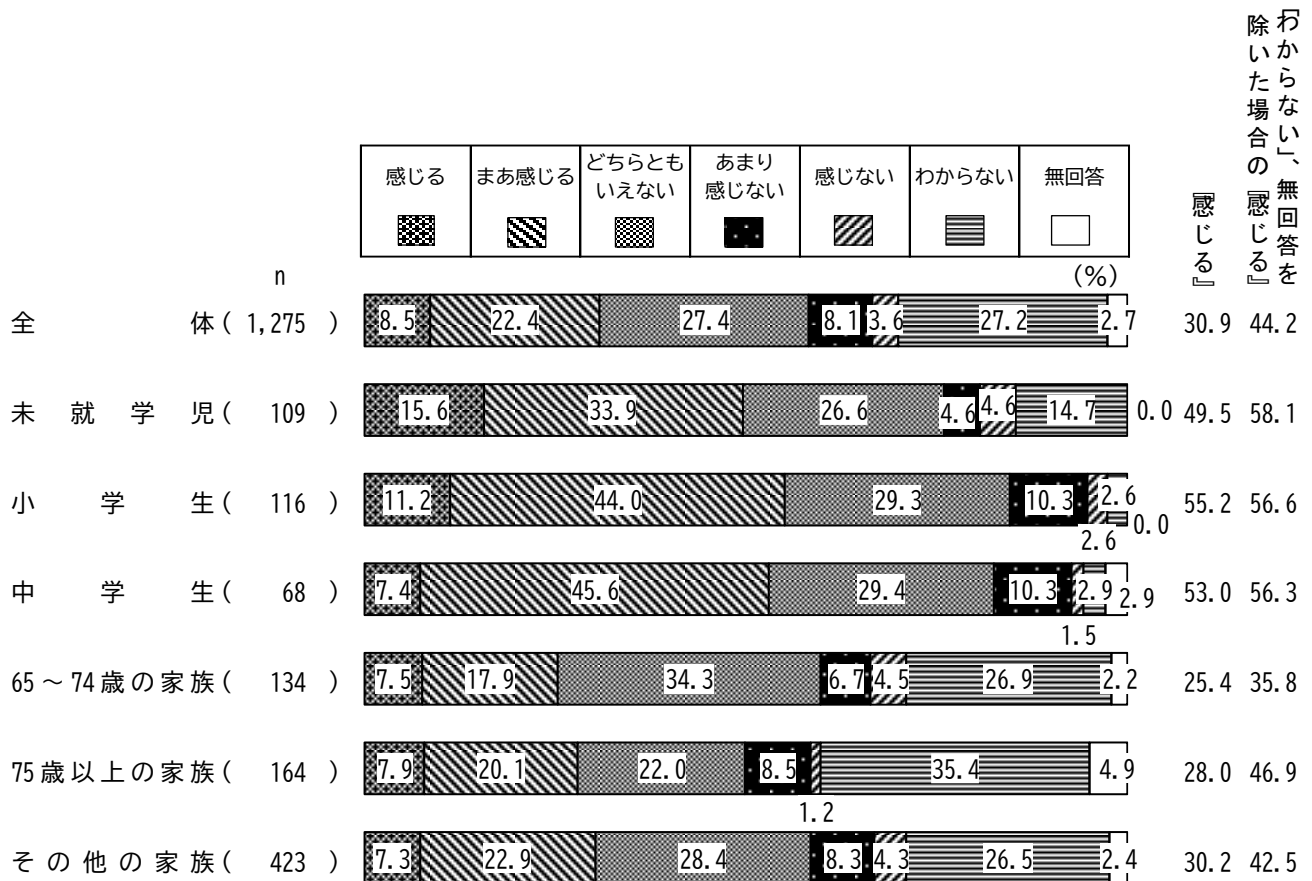


② 同居家族別

同居家族別でみると、『感じる』は小学生(55.2%)と同居している方で5割半ば、中学生(53.0%)と同居している方で5割を超え、未就学児(49.5%)と同居している方で約5割となっています。「わからない」、無回答を除いた場合の『感じる』は未就学児(58.1%)と同居している方で6割近く、小学生(56.6%)、中学生(56.3%)と同居している方で5割半ばとなっています。

(図8-3-3)

図8-3-3 子どもたちのたくましく生きる力(同居家族別)

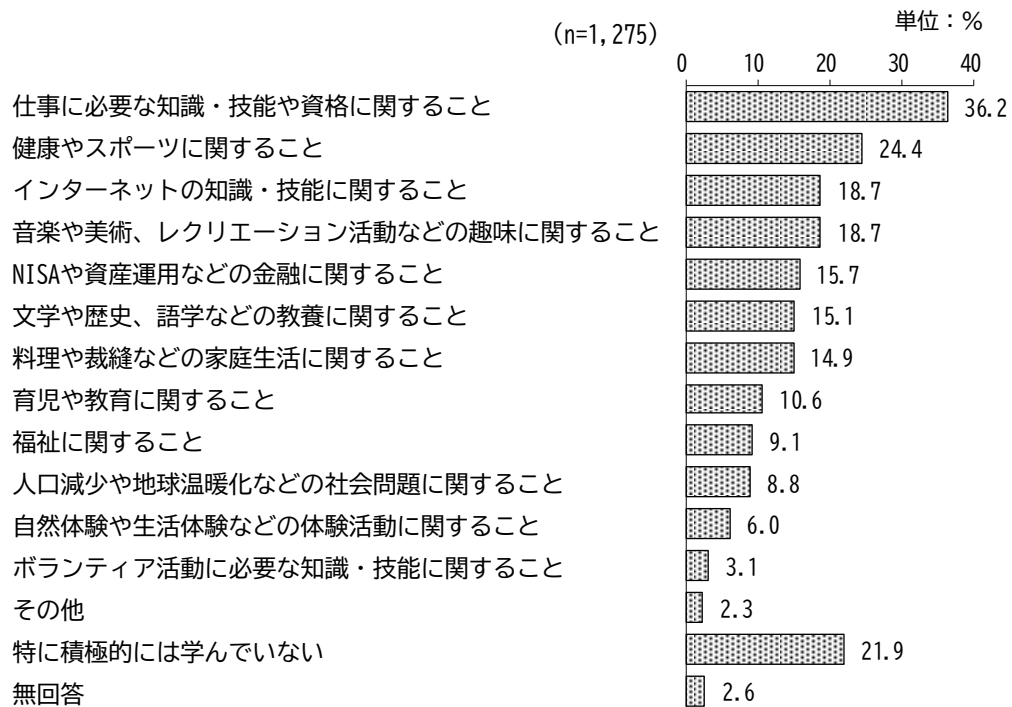


(4) 直近1年間に学習したこと

◇「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が3割半ば

問22 あなたは直近1年間でどのようなことを積極的に学びましたか。(○はいくつでも)

図8-4-1



直近1年間に学習したことを聞いたところ、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」(36.2%)が3割半ばで最も高く、次いで「健康やスポーツに関すること」(24.4%)、「インターネットの知識・技能に関すること」(18.7%)、「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」(18.7%)、「NISAや資産運用などの金融に関すること」(15.7%)となっています。

(図8-4-1)

① 年代別

年代別でみると、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」は64歳以下のすべての年代で第1位となっています。「健康やスポーツに関すること」は65歳以上のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「育児や教育に関すること」は30歳代(29.9%)で第2位、40歳代(20.0%)で第5位となっています。「人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること」は75歳以上(19.5%)で第2位となっています。「料理や裁縫などの家庭生活に関すること」は40歳代(21.0%)で第3位となっています。(表8-4-1)

表8-4-1 直近1年間に学習したこと(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 36.2	健康やスポーツに関 すること 24.4	インターネットの知識・技能に関すること/ 音楽や美術、レクリエーション活動などの 趣味に関すること 18.7	NISAや資産運用など の金融に関すること 15.7	
年 代 別	18 ～ 20 歳 代	142	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 51.4	インターネットの知 識・技能に関するこ と 28.2	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 19.7	文学や歴史、語学な どの教養に関するこ と 18.3	健康やスポーツに関 すること 14.8
	30 歳 代	167	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 59.9	育児や教育に関する こと 29.9	NISAや資産運用など の金融に関すること 29.3	インターネットの知 識・技能に関するこ と 22.8	健康やスポーツに関 すること 19.8
	40 歳 代	210	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 50.5	インターネットの知 識・技能に関するこ と 21.9	料理や裁縫などの家 庭生活に関すること 21.0	NISAや資産運用など の金融に関すること 20.5	育児や教育に関する こと 20.0
	50 歳 ～ 64 歳	322	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 41.0	健康やスポーツに関 すること 24.8	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 19.9	インターネットの知 識・技能に関するこ と 18.0	NISAや資産運用など の金融に関すること 16.1
	65 歳 ～ 74 歳	193	健康やスポーツに関 すること 33.7	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 20.7	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 18.7	インターネットの知 識・技能に関するこ と 17.1	文学や歴史、語学な どの教養に関するこ と 16.1
	75 歳 以 上	236	健康やスポーツに関 すること 29.7	人口減少や地球温暖 化などの社会問題に 関すること 19.5	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 19.1	福祉に関すること 14.8	文学や歴史、語学な どの教養に関するこ と 13.6

② 職業別

職業別でみると、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」は会社員・公務員（56.9%）、自営業・自由業（47.8%）、アルバイト・パート（36.0%）、学生（40.0%）で第1位となっています。「健康やスポーツに関すること」は主婦・主夫（33.8%）、無職（25.5%）、その他（28.6%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」は無職（17.7%）で第3位、主婦・主夫（15.6%）で第4位、アルバイト・パート（12.4%）、その他（14.3%）で第5位となっています。「料理や裁縫などの家庭生活に関すること」は主婦・主夫（27.3%）で第2位、アルバイト・パート（16.1%）で第4位、学生（17.1%）で第5位となっています。（表8-4-2）

表8-4-2 直近1年間に学習したこと（職業別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	仕事に必要な知識・技能や資格に関する こと 36.2	健康やスポーツに関 すること 24.4	インターネットの知識・技能に関する こと/ 音楽や美術、レクリエーション活動などの 趣味に関する こと 18.7	NISAや資産運用などの 金融に関する こと 15.7	
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	543	仕事に必要な知識・技能や資格に関する こと 56.9	NISAや資産運用などの 金融に関する こと 23.4	インターネットの知 識・技能に関する こと 23.0	健康やスポーツに関 すること 20.1	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関する こと 16.9
	自 営 業 ・ 自 由 業	92	仕事に必要な知識・技能や資格に関する こと 47.8	健康やスポーツに関 すること 32.6	インターネットの知 識・技能に関する こと 26.1	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関する こと 25.0	NISAや資産運用など の金融に関する こと 19.6
	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	161	仕事に必要な知識・技能や資格に関する こと 36.0	健康やスポーツに関 すること 24.8	インターネットの知 識・技能に関する こと 16.8	料理や裁縫などの家 庭生活に関する こと 16.1	音楽や美術、レクリ エーション活動などの趣味に 関すること/文学や歴史、語 学などの教養に関する こと 12.4
	主 婦 ・ 主 夫	154	健康やスポーツに関 すること 33.8	料理や裁縫などの家 庭生活に関する こと 27.3	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関する こと 24.0	文学や歴史、語学な どの教養に関する こと 15.6	インターネットの知 識・技能に関する こと/福祉に関する こと 13.6
	学 生	35	仕事に必要な知識・技能や資格に関する こと 40.0	インターネットの知 識・技能に関する こと 31.4	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関する こと 25.7	健康やスポーツに関 すること 20.0	料理や裁縫などの家 庭生活に関する こと 17.1
	無 職	243	健康やスポーツに関 すること 25.5	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関する こと 20.6	文学や歴史、語学な どの教養に関する こと 17.7	福祉に関する こと/人口減少や地球温暖化な どの社会問題に関する こと 14.4	
	そ の 他	28	健康やスポーツに関 すること 28.6	インターネットの知 識・技能に関する こと 25.0	仕事に必要な知識・技能や資格に関する こと/音楽や美術、レクリエーション活動など の趣味に関する こと 21.4	NISAや資産運用などの金融 に関する こと/文学や歴史、語学などの教養に 関すること 他※ 14.3	

※ 同率の項目が多いため、選択肢を一部省略している。

(5) 今後どのようなことを学びたいか

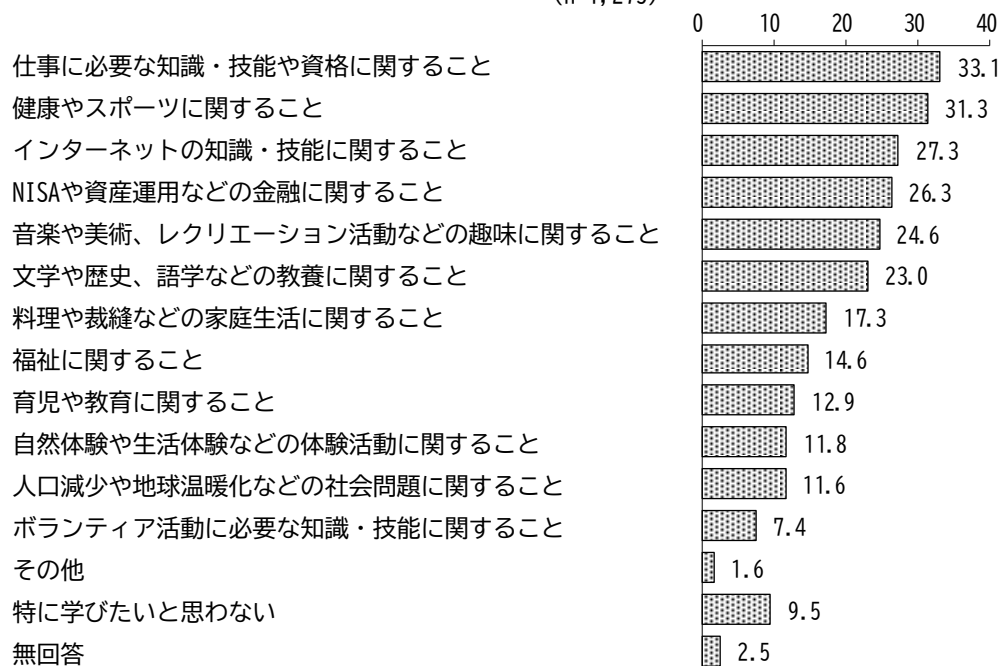
◇「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」、「健康やスポーツに関すること」が3割を超え

問23 あなたは今後、どのようなことを積極的に学びたいと思いますか。(○はいくつでも)

図8-5-1

(n=1,275)

単位：％



今後どのようなことを学びたいか聞いたところ、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」(33.1%)が3割を超えて最も高く、次いで「健康やスポーツに関すること」(31.3%)、「インターネットの知識・技能に関すること」(27.3%)、「NISAや資産運用などの金融に関すること」(26.3%)、「音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること」(24.6%)などとなっています。(図8-5-1)

① 年代別

年代別でみると、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」は64歳以下のすべての年代で第1位となっています。「健康やスポーツに関すること」は65歳以上のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「育児や教育に関すること」は30歳代(38.9%)で第3位となっています。「文学や歴史、語学などの教養に関すること」は65歳～74歳(26.9%)で第4位、18～20歳代(23.2%)、30歳代(23.4%)、40歳代(23.3%)で第5位となっています。「料理や裁縫などの家庭生活に関すること」は40歳代(23.3%)で第5位となっています。「福祉に関すること」は75歳以上(22.9%)で第4位となっており、「人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること」は75歳以上(20.8%)で第5位となっています。(表8-5-1)

表8-5-1 今後どのようなことを学びたいか(年代別)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,275	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること 33.1	健康やスポーツに関すること 31.3	インターネットの知識・技能に関すること 27.3	NISAや資産運用などの金融に関すること 26.3	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること 24.6
年 代 別	18～20歳代	142 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること 48.6	NISAや資産運用などの金融に関すること 30.3	インターネットの知識・技能に関すること 27.5	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること 24.6	文学や歴史、語学などの教養に関すること 23.2
	30歳代	167 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること 56.9	NISAや資産運用などの金融に関すること 47.3	育児や教育に関すること 38.9	インターネットの知識・技能に関すること 29.3	文学や歴史、語学などの教養に関すること 23.4
	40歳代	210 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること 48.1	NISAや資産運用などの金融に関すること 38.1	インターネットの知識・技能に関すること 26.7	健康やスポーツに関すること 25.2	文学や歴史、語学などの教養に関すること/料理や裁縫などの家庭生活に関すること 23.3
	50歳～64歳	322 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること 35.4	健康やスポーツに関すること 33.5	NISAや資産運用などの金融に関すること 30.4	インターネットの知識・技能に関すること 27.6	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること 27.0
	65歳～74歳	193 健康やスポーツに関すること 43.5	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること 32.1	インターネットの知識・技能に関すること 30.6	文学や歴史、語学などの教養に関すること 26.9	仕事に必要な知識・技能や資格に関すること 16.1
	75歳以上	236 健康やスポーツに関すること 35.2	音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること 23.7	インターネットの知識・技能に関すること 23.3	福祉に関すること 22.9	人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること 20.8

② 職業別

職業別でみると、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」は会社員・公務員（48.1%）、自営業・自由業（42.4%）、アルバイト・パート（36.0%）、学生（48.6%）で第1位となっています。「健康やスポーツに関すること」は主婦・主夫（40.3%）、無職（35.0%）で第1位となっています。「インターネットの知識・技能に関すること」はその他（35.7%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「文学や歴史、語学などの教養に関すること」は無職（25.9%）で第3位、自営業・自由業（28.3%）、学生（25.7%）、その他（17.9%）で第4位、アルバイト・パート（21.7%）、主婦・主夫（22.7%）で第5位となっています。（表8-5-2）

表8-5-2 今後どのようなことを学びたいか（職業別）

(%)

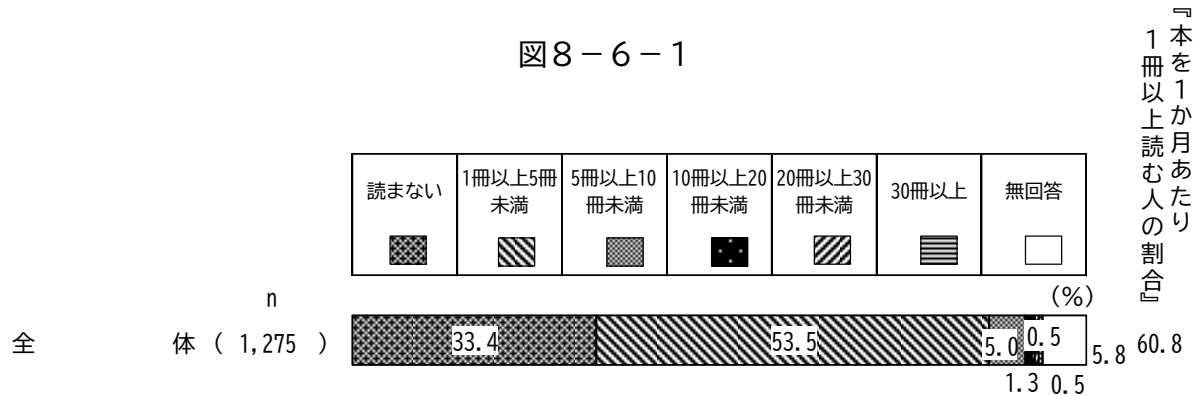
		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 33.1	健康やスポーツに関 すること 31.3	インターネットの知 識・技能に関するこ と 27.3	NISAや資産運用など の金融に関すること 26.3	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 24.6
職 業 別	会 社 員 ・ 公 務 員	543	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 48.1	NISAや資産運用など の金融に関すること 38.1	健康やスポーツに関 すること 28.0	インターネットの知 識・技能に関するこ と 26.9	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 22.5
	自 営 業 ・ 自 由 業	92	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 42.4	インターネットの知 識・技能に関するこ と 35.9	健康やスポーツに関 すること 32.6	文学や歴史、語学な どの教養に関するこ と 28.3	NISAや資産運用などの金融 に関すること/音楽や美 術、レクリエーション活動 などの趣味に関すること 27.2
	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	161	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 36.0	健康やスポーツに関 すること 31.7	インターネットの知 識・技能に関するこ と 28.0	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 22.4	文学や歴史、語学な どの教養に関するこ と 21.7
	主 婦 ・ 主 夫	154	健康やスポーツに関 すること 40.3	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 27.9	インターネットの知 識・技能に関するこ と 25.3	料理や裁縫などの家 庭生活に関すること 24.0	文学や歴史、語学な どの教養に関するこ と 22.7
	学 生	35	仕事に必要な知識・ 技能や資格に関する こと 48.6	NISAや資産運用など の金融に関すること 34.3	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 28.6	インターネットの知識・技能に関すること/ 文学や歴史、語学などの教養に関すること 25.7	
	無 職	243	健康やスポーツに関 すること 35.0	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 28.8	文学や歴史、語学な どの教養に関するこ と 25.9	インターネットの知 識・技能に関するこ と 25.1	福祉に関すること 21.4
	そ の 他	28	インターネットの知 識・技能に関するこ と 35.7	健康やスポーツに関 すること 28.6	音楽や美術、レクリ エーション活動など の趣味に関すること 21.4	仕事に必要な知識・技能や資格に関するこ と/NISAや資産運用などの金融に関するこ と/文学や歴史、語学などの教養に関するこ と/福祉に関すること 17.9	

(6) 1か月あたりに読む本の冊数

◇「1冊以上5冊未満」が5割超え

問24 あなたは、1か月に何冊くらい本を読んでいますか（電子書籍を含みますが、雑誌や漫画は除きます）。() 内に数値を記入してください

図8-6-1

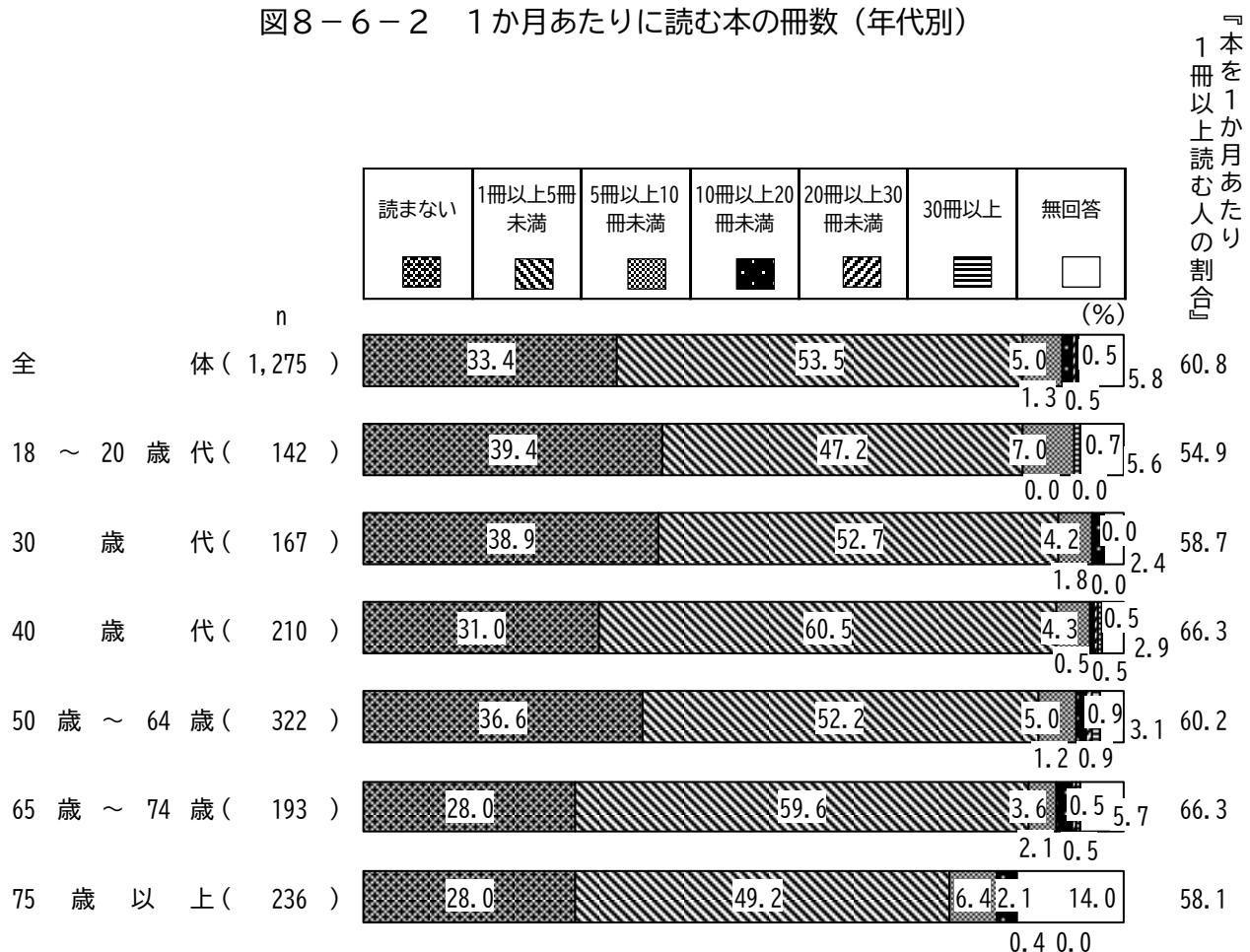


1か月あたりに読む本の冊数を聞いたところ、「1冊以上5冊未満」(53.5%) が5割を超えている一方、「読まない」(33.4%) は3割を超えています。(図8-6-1)

① 年代別

年代別でみると、「1冊以上5冊未満」は40歳代(60.5%)で約6割となっています。一方、「読まない」は65歳以上の年代で3割近くとなっています。(図8-6-2)

図8-6-2 1か月あたりに読む本の冊数(年代別)



(7) 近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことの有無

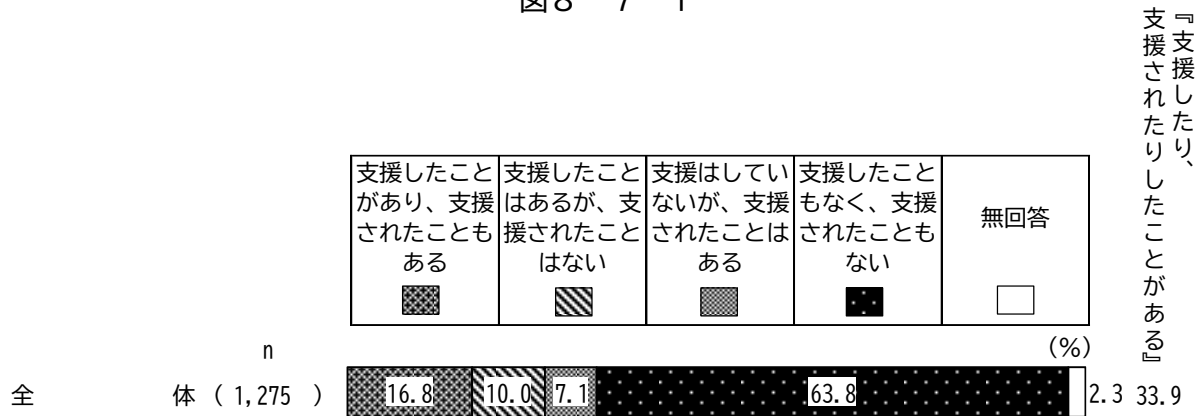
(7) 近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことの有無

◇『支援したり、支援されたりしたことがある』が3割超え

問25 あなたは近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことはありますか。

(○は1つ)

図8-7-1

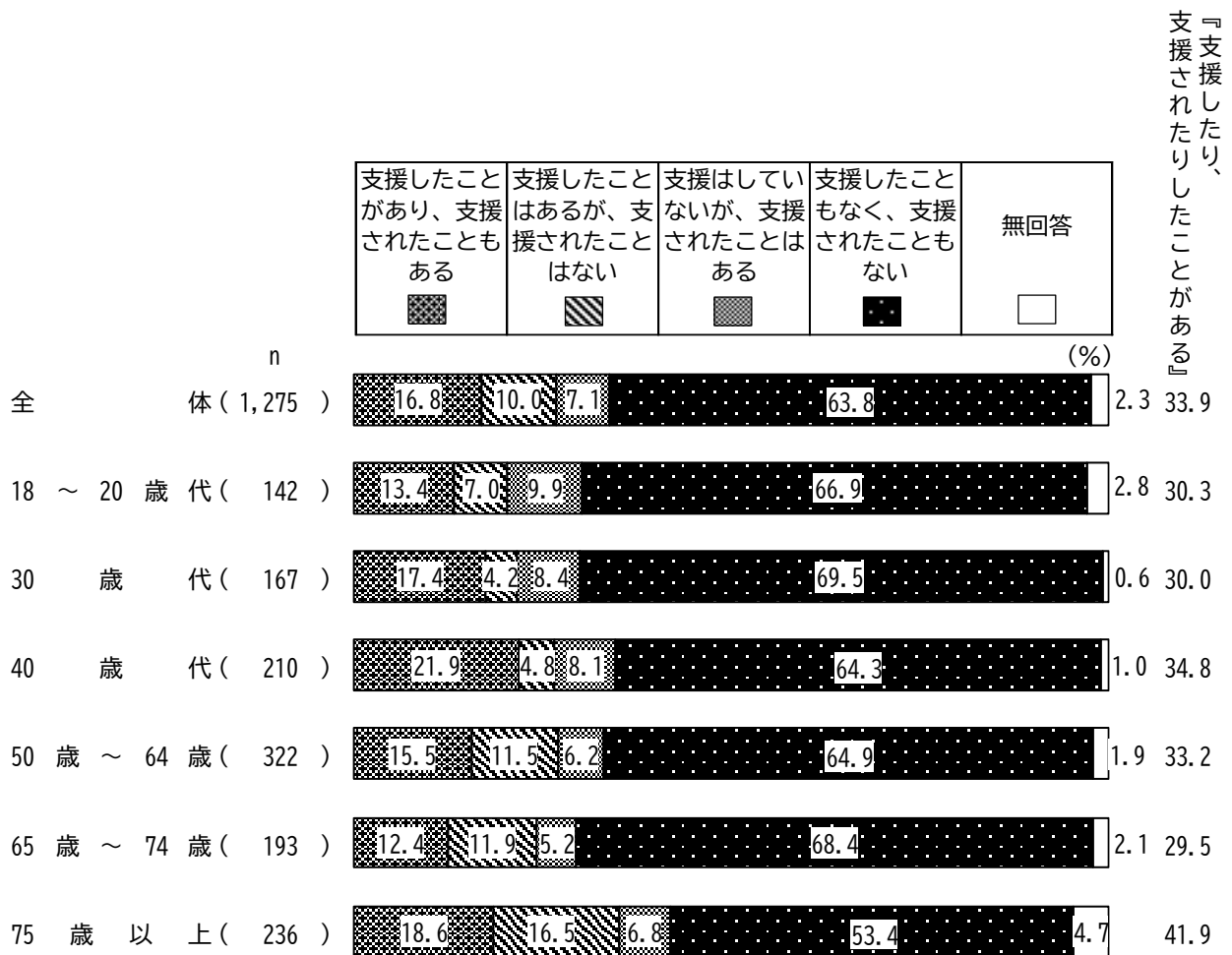


近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことの有無を聞いたところ、「支援したことがあり、支援されたこともある」(16.8%)が1割半ば、これに「支援したことはあるが、支援されたことはない」(10.0%)と「支援はしていないが、支援されたことはある」(7.1%)を合わせた『支援したり、支援されたりしたことがある』(33.9%)は3割を超えています。(図8-7-1)

① 年代別

年代別でみると、『支援したり、支援されたりしたことがある』は75歳以上(41.9%)で4割を超えています。一方、「支援したこともなく、支援されたこともない」は74歳以下のすべての年代で6割台となっています。(図8-7-2)

図8-7-2 近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことの有無(年代別)



(8) 地域住民同士の支え合い活動の中でできるもの

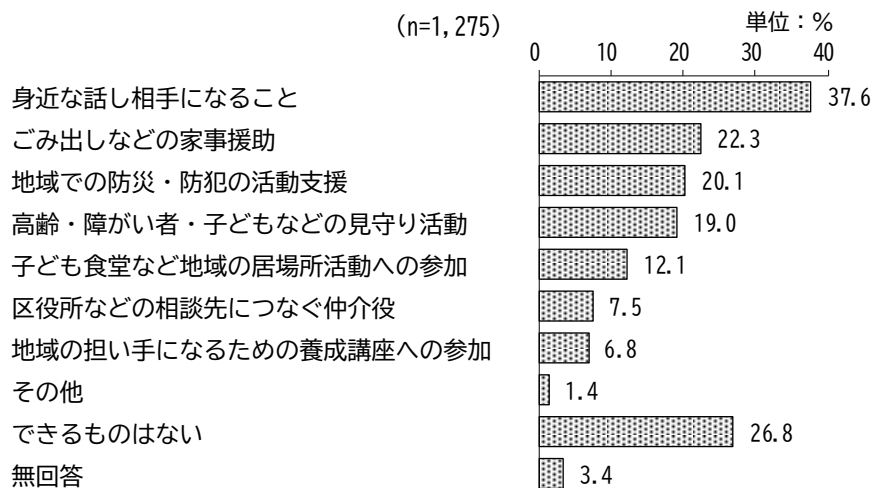
◇「身近な話し相手になること」が4割近く

問26 あなたが、地域住民同士の支え合い活動の中で、できるものはありますか。

(○はいいくつでも)

図8-8-1

(n=1,275)



地域住民同士の支え合い活動の中でできるものを聞いたところ、「身近な話し相手になること」(37.6%)が4割近くで最も高く、次いで「ごみ出しなどの家事援助」(22.3%)、「地域での防災・防犯の活動支援」(20.1%)、「高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動」(19.0%)、「子ども食堂など地域の居場所活動への参加」(12.1%)となっています。一方、「できるものはない」(26.8%)は2割半ばとなっています。(図8-8-1)

① 年代別

年代別でみると、「身近な話し相手になること」はすべての年代で第1位となっています。

(表8-8-1)

表8-8-1 地域住民同士の支え合い活動の中でできるもの(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	身近な話し相手になること 37.6	ごみ出しなどの家事援助 22.3	地域での防災・防犯の活動支援 20.1	高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 19.0	子ども食堂など地域の居場所活動への参加 12.1
年 代 別	18～20歳代	142	身近な話し相手になること 34.5	ごみ出しなどの家事援助/地域での防災・防犯の活動支援 16.2	高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 14.8	子ども食堂など地域の居場所活動への参加 9.9	
	30歳代	167	身近な話し相手になること 42.5	高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 19.8	ごみ出しなどの家事援助/地域での防災・防犯の活動支援 16.8	子ども食堂など地域の居場所活動への参加 12.0	
	40歳代	210	身近な話し相手になること 35.7	地域での防災・防犯の活動支援 23.3	高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 22.9	ごみ出しなどの家事援助 17.1	子ども食堂など地域の居場所活動への参加 14.8
	50歳～64歳	322	身近な話し相手になること 35.1	ごみ出しなどの家事援助 23.3	高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 21.7	地域での防災・防犯の活動支援 20.8	子ども食堂など地域の居場所活動への参加 12.4
	65歳～74歳	193	身近な話し相手になること 33.7	ごみ出しなどの家事援助 26.4	地域での防災・防犯の活動支援 23.3	高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 20.2	子ども食堂など地域の居場所活動への参加 15.5
	75歳以上	236	身近な話し相手になること 44.5	ごみ出しなどの家事援助 29.2	地域での防災・防犯の活動支援 18.6	高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 13.1	子ども食堂など地域の居場所活動への参加 8.1

(9) 健康のために普段から行っていること

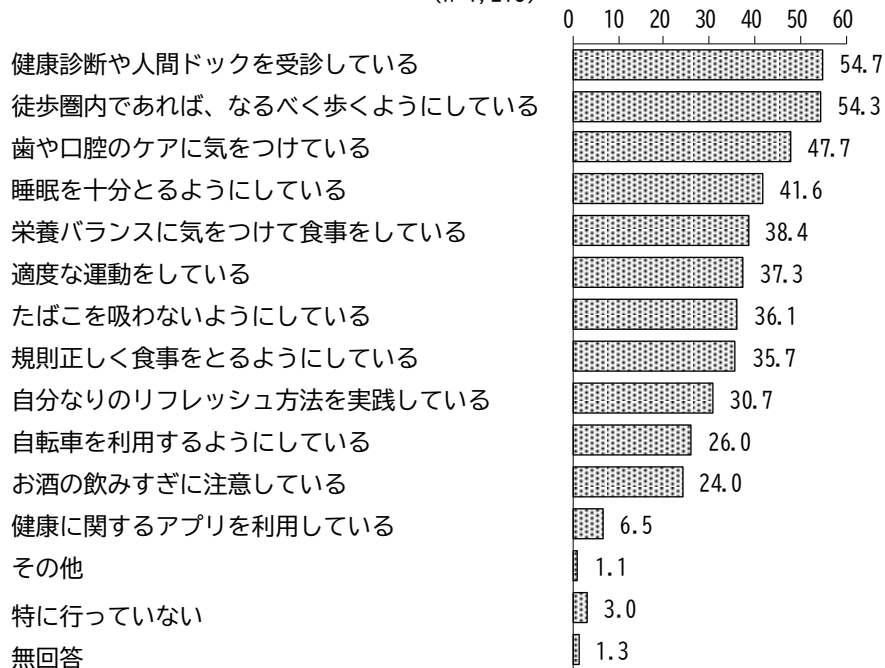
◇「健康診断や人間ドックを受診している」、「徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている」が5割半ば

問27 あなたが、健康のために普段から行っていることは何ですか。(○はいくつでも)

図8-9-1

(n=1,275)

単位：％



健康のために普段から行っていることを聞いたところ、「健康診断や人間ドックを受診している」(54.7%)、「徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている」(54.3%)が5割半ば、次いで「歯や口腔のケアに気をつけている」(47.7%)、「睡眠を十分とるようにしている」(41.6%)、「栄養バランスに気をつけて食事をしている」(38.4%)となっています。(図8-9-1)

① 年代別

年代別でみると、「健康診断や人間ドックを受診している」は40歳代(62.4%)、50歳～64歳(60.6%)、65歳～74歳(62.7%)で第1位となっています。「徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている」は18歳～20歳代(50.7%)、30歳代(53.9%)、75歳以上(62.7%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「適度な運動をしている」は18歳～20歳代(40.8%)、65歳～74歳(50.3%)で第3位となっています。「たばこを吸わないようにしている」は18歳～20歳代(43.0%)で第2位、30歳代(39.5%)、40歳代(38.6%)で第4位、50歳～64歳(35.4%)で第5位となっています。「規則正しく食事をするようにしている」は75歳以上(62.3%)で第2位となっています。

(表8-9-1)

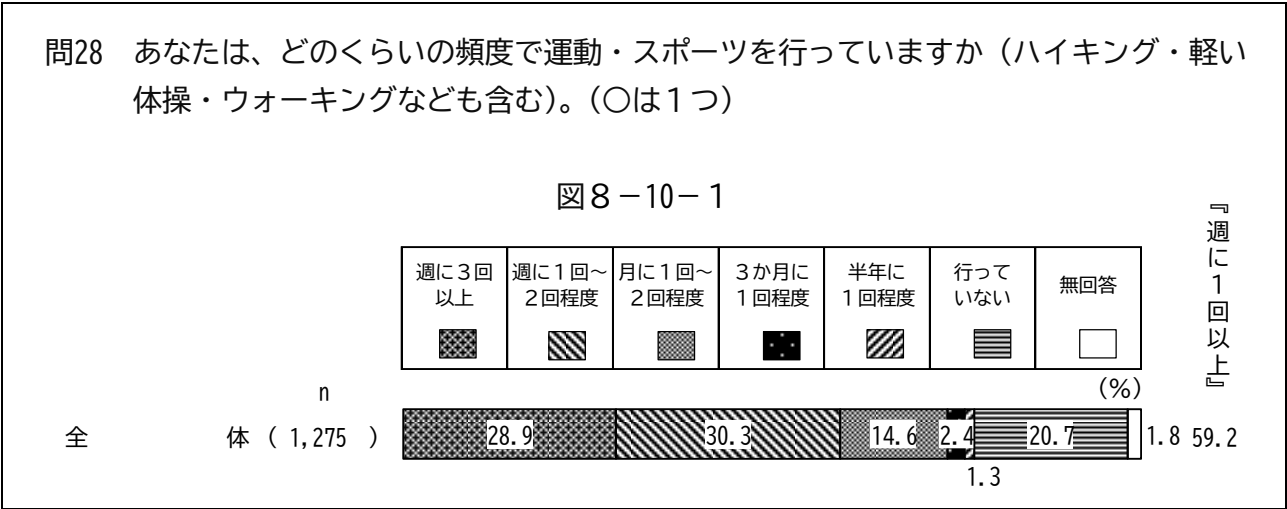
表8-9-1 健康のために普段から行っていること(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	健康診断や人間ドックを受診している 54.7	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 54.3	歯や口腔のケアに気をつけている 47.7	睡眠を十分とるようにしている 41.6	栄養バランスに気をつけて食事をしてい る 38.4
年 代 別	18～20歳代	142	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 50.7	たばこを吸わないようにしている 43.0	適度な運動をしている 40.8	睡眠を十分とるようにしている 38.7	歯や口腔のケアに気をつけている 35.2
	30歳代	167	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 53.9	健康診断や人間ドックを受診している 47.3	歯や口腔のケアに気をつけている 46.1	たばこを吸わないようにしている 39.5	睡眠を十分とるようにしている 37.1
	40歳代	210	健康診断や人間ドックを受診している 62.4	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 50.0	歯や口腔のケアに気をつけている 46.7	たばこを吸わないようにしている 38.6	自転車を利用するようにしている 36.7
	50歳～64歳	322	健康診断や人間ドックを受診している 60.6	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 50.6	歯や口腔のケアに気をつけている 46.9	睡眠を十分とるようにしている 37.0	たばこを吸わないようにしている 35.4
	65歳～74歳	193	健康診断や人間ドックを受診している 62.7	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 57.5	適度な運動をしている 50.3	歯や口腔のケアに気をつけている 49.7	睡眠を十分とるようにしている 45.1
	75歳以上	236	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている 62.7	規則正しく食事をするようにしている 62.3	歯や口腔のケアに気をつけている 56.4	睡眠を十分とるようにしている 55.1	健康診断や人間ドックを受診している 54.2

(10) 運動・スポーツの頻度

◇『週に1回以上』が約6割

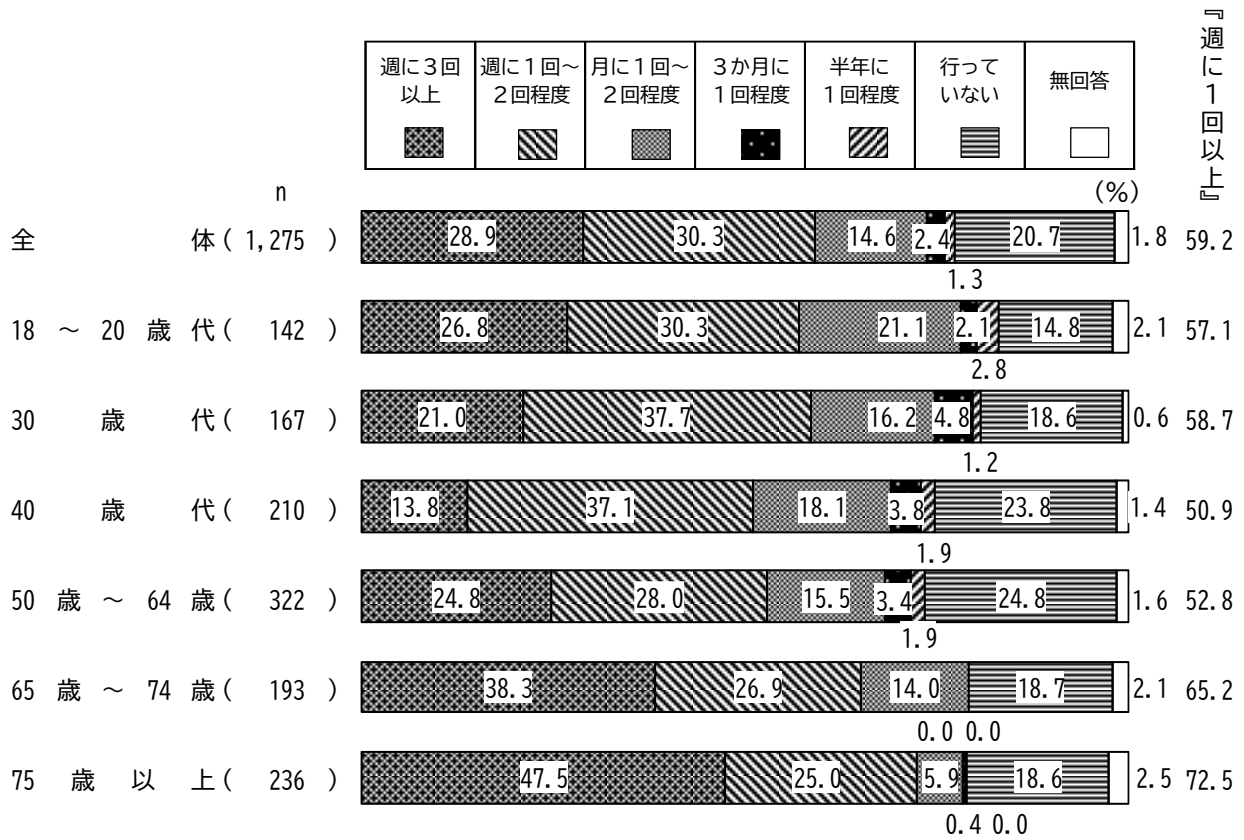


運動・スポーツの頻度を聞いたところ、「週に3回以上」(28.9%)と「週に1回～2回程度」(30.3%)を合わせた『週に1回以上』(59.2%)が約6割となっています。一方、「行っていない」(20.7%)は約2割となっています。（図8-10-1）

① 年代別

年代別でみると、『週に1回以上』は75歳以上（72.5%）で7割を超え、65歳～74歳（65.2%）で6割半ば、64歳以下のすべての年代で5割台となっています。（図8-10-2）

図8-10-2 運動・スポーツの頻度（年代別）



(11) 過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術

(11) 過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術

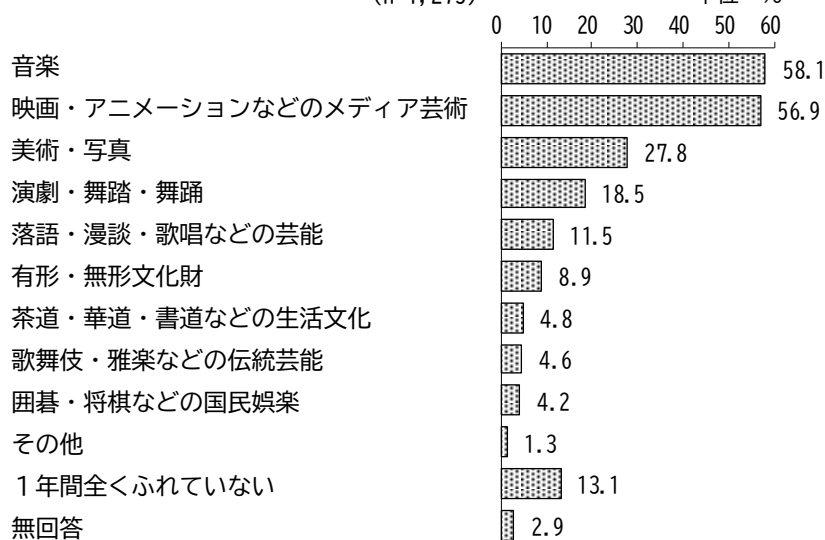
◇「音楽」が6割近く、「映画・アニメーションなどのメディア芸術」が5割半ば

問29 あなたが、過去1年の間に鑑賞した(オンライン・動画配信等含む)、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。(○はいくつでも)

図8-11-1

(n=1,275)

単位：％



過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術を聞いたところ、「音楽」(58.1%)が6割近くで最も高く、次いで「映画・アニメーションなどのメディア芸術」(56.9%)、「美術・写真」(27.8%)、「演劇・舞踏・舞踊」(18.5%)、「落語・漫談・歌唱などの芸能」(11.5%)となっています。一方、「1年間全くふれていない」(13.1%)は1割を超えています。(図8-11-1)

① 年代別

年代別でみると、「音楽」は18～20歳代（77.5%）、65歳～74歳（51.8%）、75歳以上（38.6%）で第1位となっています。「映画・アニメーションなどのメディア芸術」は30歳代（75.4%）、40歳代（64.3%）、50歳～64歳（64.6%）で第1位となっています。

その他の特徴として、「有形・無形文化財」は30歳代（8.4%）、50歳～64歳（11.8%）で第5位となっています。（表8-11-1）

表8-11-1 過去1年の間に鑑賞した、あるいは実際に体験活動した文化芸術（年代別）

(%)

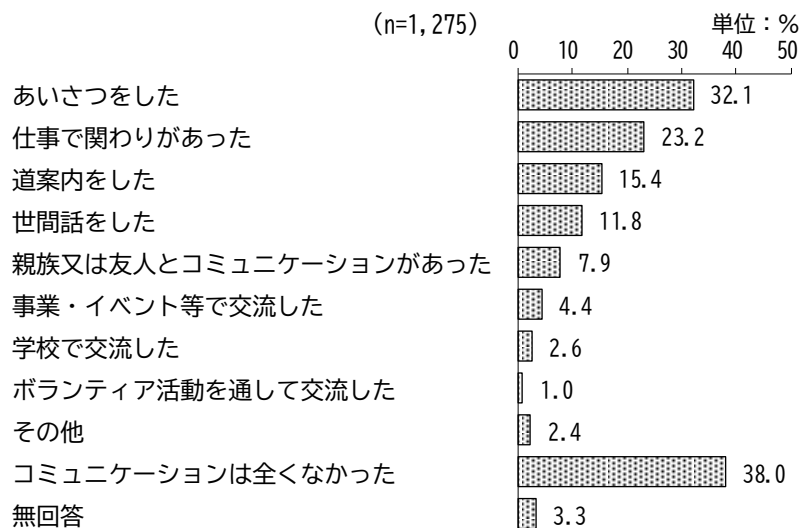
	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,275	音楽 58.1	映画・アニメーションなどのメディア芸術 56.9	美術・写真 27.8	演劇・舞踏・舞踊 18.5	落語・漫談・歌唱などの芸能 11.5
年 代 別	18～20歳代	142 音楽 77.5	映画・アニメーションなどのメディア芸術 76.1	美術・写真 39.4	演劇・舞踏・舞踊 23.9	落語・漫談・歌唱などの芸能 11.3
	30歳代	167 映画・アニメーションなどのメディア芸術 75.4	音楽 65.9	美術・写真 27.5	演劇・舞踏・舞踊 24.6	有形・無形文化財 8.4
	40歳代	210 映画・アニメーションなどのメディア芸術 64.3	音楽 60.5	美術・写真 26.7	演劇・舞踏・舞踊 20.5	落語・漫談・歌唱などの芸能 8.1
	50歳～64歳	322 映画・アニメーションなどのメディア芸術 64.6	音楽 62.7	美術・写真 27.3	演劇・舞踏・舞踊 16.1	落語・漫談・歌唱などの芸能/有形・無形文化財 11.8
	65歳～74歳	193 音楽 51.8	映画・アニメーションなどのメディア芸術 45.6	美術・写真 29.5	演劇・舞踏・舞踊 18.7	落語・漫談・歌唱などの芸能 13.0
	75歳以上	236 音楽 38.6	映画・アニメーションなどのメディア芸術 25.4	美術・写真 22.0	落語・漫談・歌唱などの芸能 19.1	演劇・舞踏・舞踊 12.3

(12) 過去1年間における、異なる国籍や文化を持つ方とのコミュニケーション

◇「あいさつをした」が3割超え

問30 あなたは、過去1年の間に、異なる国籍や文化をもつ方とコミュニケーション(あいさつや世間話、道案内等)をとりましたか。(〇はいくつでも)

図8-12-1



過去1年の間における、異なる国籍や文化を持つ方とのコミュニケーションを聞いたところ、「あいさつをした」(32.1%)が3割を超えて最も高く、次いで「仕事で関わりがあった」(23.2%)、「道案内をした」(15.4%)、「世間話をした」(11.8%)、「親族又は友人とコミュニケーションがあった」(7.9%)となっています。「コミュニケーションは全くなかった」、無回答を除いた『コミュニケーションがあった』(58.7%)は6割近くとなっています。(図8-12-1)

① 年代別

年代別でみると、「あいさつをした」は50歳～64歳を除くすべての年代で第1位となっています。
「仕事で関わりがあった」は50歳～64歳（34.8%）で第1位となっています。
その他の特徴として、「事業・イベント等で交流した」は30歳代（9.0%）、40歳代（4.3%）で第5位となっています。（表8-12-1）

表8-12-1 過去1年間における、異なる国籍や文化を持つ方とのコミュニケーション（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	あいさつをした 32.1	仕事で関わりがあつた 23.2	道案内をした 15.4	世間話をした 11.8	親族又は友人とコミュニケーションがあつた 7.9
年 代 別	18 ～ 20 歳 代	142	あいさつをした 28.2	仕事で関わりがあつた/道案内をした 26.1		親族又は友人とコミュニケーションがあつた 14.1	世間話をした 13.4
	30 歳 代	167	あいさつをした 38.9	仕事で関わりがあつた 27.5	世間話をした 21.0	道案内をした 19.2	事業・イベント等で交流した 9.0
	40 歳 代	210	あいさつをした 39.0	仕事で関わりがあつた 27.1	道案内をした 21.4	世間話をした 12.9	親族又は友人とコミュニケーションがあつた/事業・イベント等で交流した 4.3
	50 歳 ～ 64 歳	322	仕事で関わりがあつた 34.8	あいさつをした 32.9	道案内をした 15.8	世間話をした 10.6	親族又は友人とコミュニケーションがあつた 7.5
	65 歳 ～ 74 歳	193	あいさつをした 25.4	仕事で関わりがあつた 16.1	道案内をした 8.8	世間話をした 7.8	親族又は友人とコミュニケーションがあつた 6.7
	75 歳 以 上	236	あいさつをした 28.0	親族又は友人とコミュニケーションがあつた 8.9	世間話をした 8.5	道案内をした 5.5	仕事で関わりがあつた 5.1

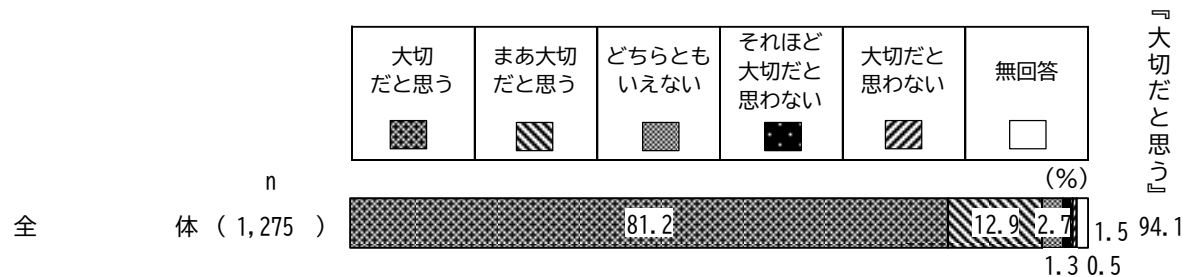
(13) 平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについてどう思うか

(13) 平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについてどう思うか

◇『大切だと思う』が9割半ば

問31 板橋区は平和都市宣言をしています。あなたは、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについて、どう思いますか。(○は1つ)

図8-13-1



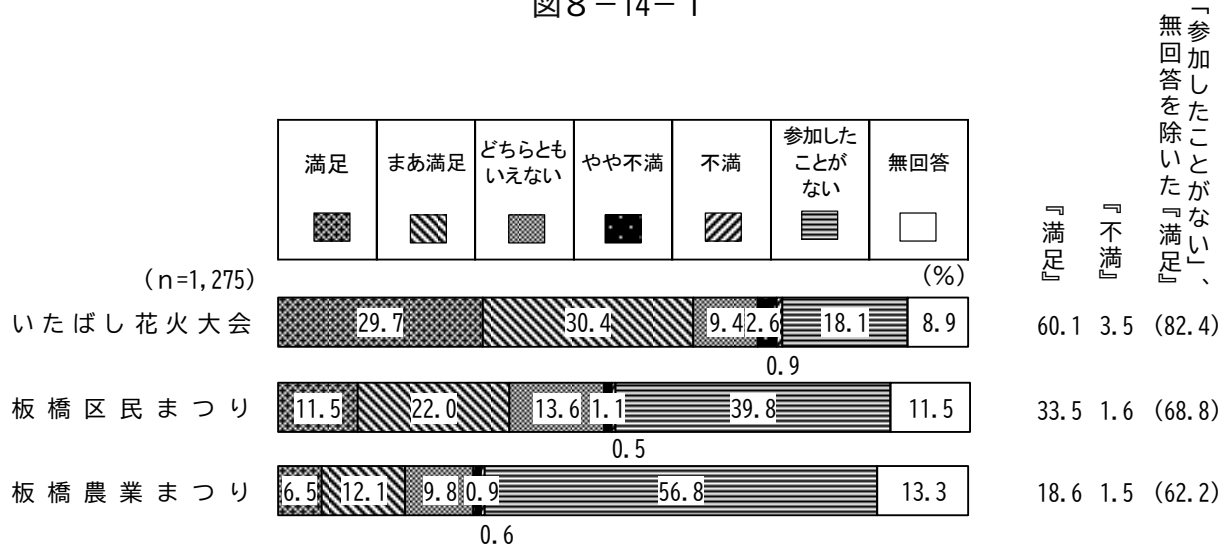
平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについてどう思うかを聞いたところ、「大切だと思う」(81.2%)が8割を超え、これに「まあ大切だと思う」(12.9%)を合わせた『大切だと思う』(94.1%)は9割半ばとなっています。(図8-13-1)

(14) いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度

◇満足度はいたばし花火大会が6割、区民まつりが3割超え、農業まつりが2割近く、そのうち、実際に参加したことがある方の満足度は花火大会が8割超え、区民まつりが7割近く、農業まつりが6割超え

問32 いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。(あなたが、今までに参加したものについてご回答ください。)

図8-14-1



いたばし花火大会の満足度を聞いたところ、「満足」(29.7%)が約3割で、これに「まあ満足」(30.4%)を合わせた『満足』(60.1%)は6割となっています。一方、「不満」(0.9%)に「やや不満」(2.6%)を合わせた『不満』(3.5%)はわずかとなっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』(82.4%)は8割を超えています。

板橋区民まつりの満足度は、「満足」(11.5%)が1割を超え、これに「まあ満足」(22.0%)を合わせた『満足』(33.5%)は3割を超えています。一方、「不満」(0.5%)に「やや不満」(1.1%)を合わせた『不満』(1.6%)はわずかとなっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』(68.8%)は7割近くとなっています。

板橋農業まつりの満足度は、「満足」(6.5%)が1割未満で、これに「まあ満足」(12.1%)を合わせた『満足』(18.6%)は2割近くとなっています。一方、「不満」(0.6%)に「やや不満」(0.9%)を合わせた『不満』(1.5%)はわずかとなっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』(62.2%)は6割を超えています。(図8-14-1)

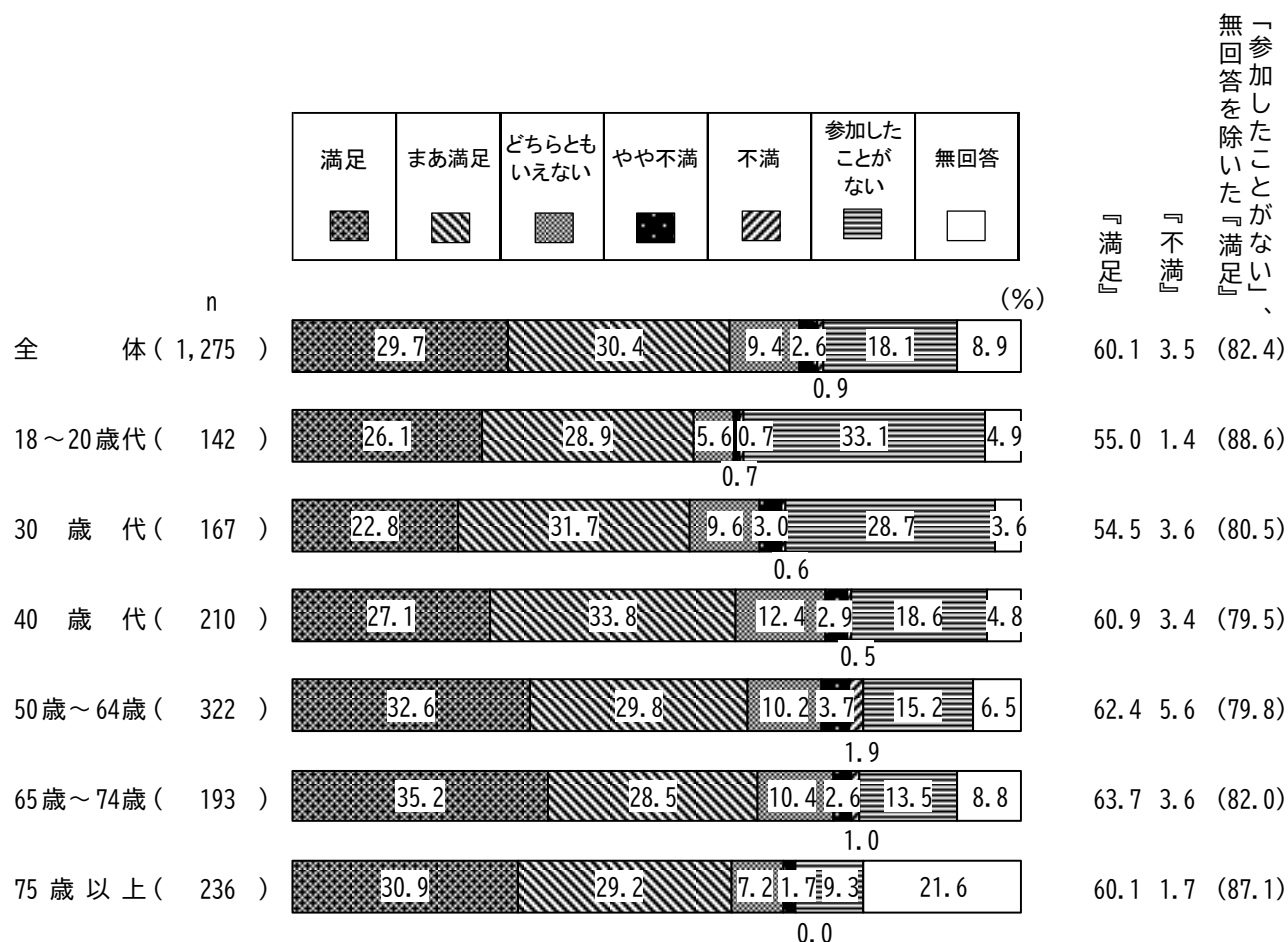
【いたばし花火大会の満足度】

① 年代別

いたばし花火大会の満足度について年代別でみると、『満足』は40歳代以上のすべての年代で6割台、30歳代以下のすべての年代で5割半ばとなっています。「参加したことがない」は18～20歳代(33.1%)、30歳代(28.7%)で3割前後となっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』は18～20歳代(88.6%)、75歳以上(87.1%)で9割近くとなっています。

(図8-14-2)

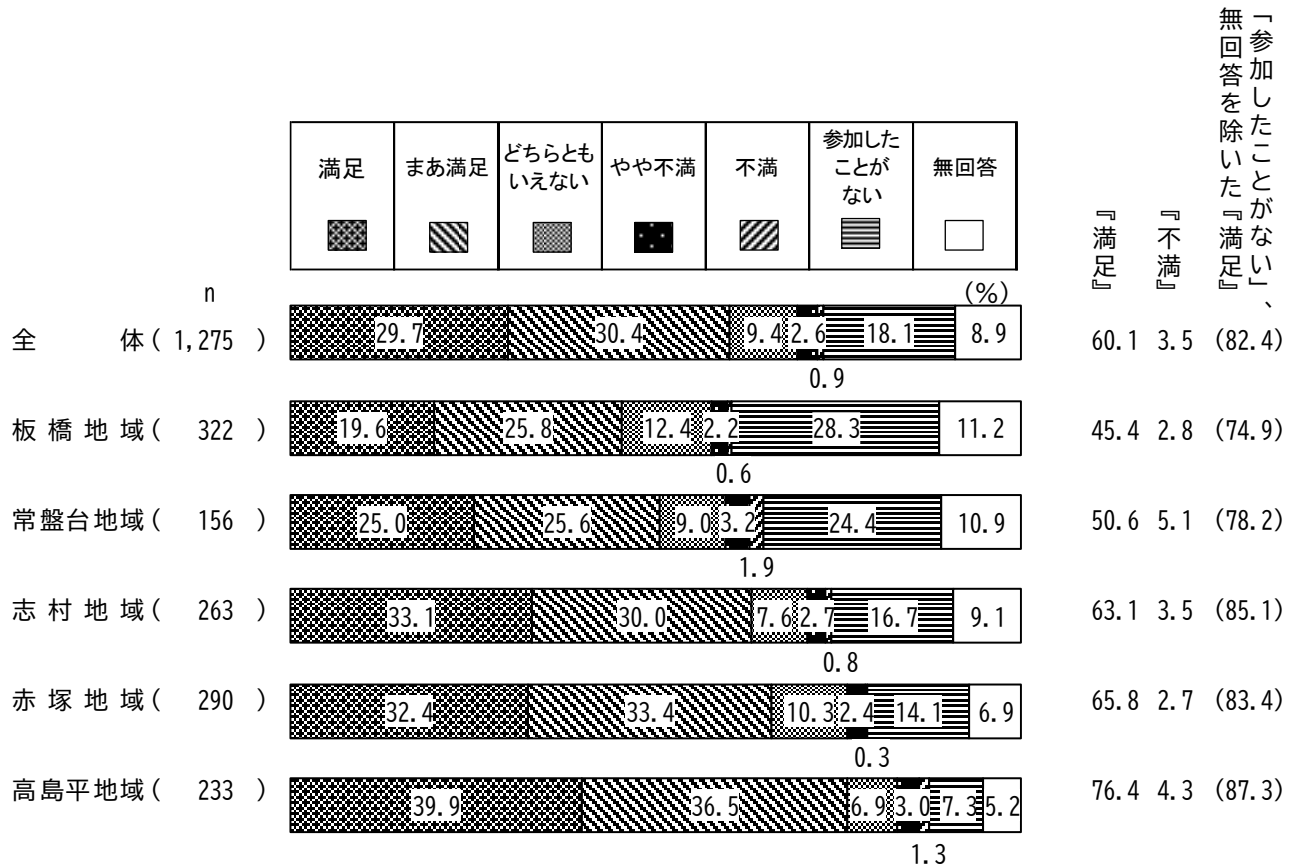
図8-14-2 いたばし花火大会の満足度(年代別)



② 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域(76.4%)で7割半ばとなっている一方、板橋地域(45.4%)は4割半ばにとどまっています。「参加したことがない」は高島平地域(7.3%)で1割未満となっている一方、板橋地域(28.3%)は3割近くとなっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』は高島平地域(87.3%)で9割近くとなっています。(図8-14-3)

図8-14-3 いたばし花火大会の満足度(地域別)



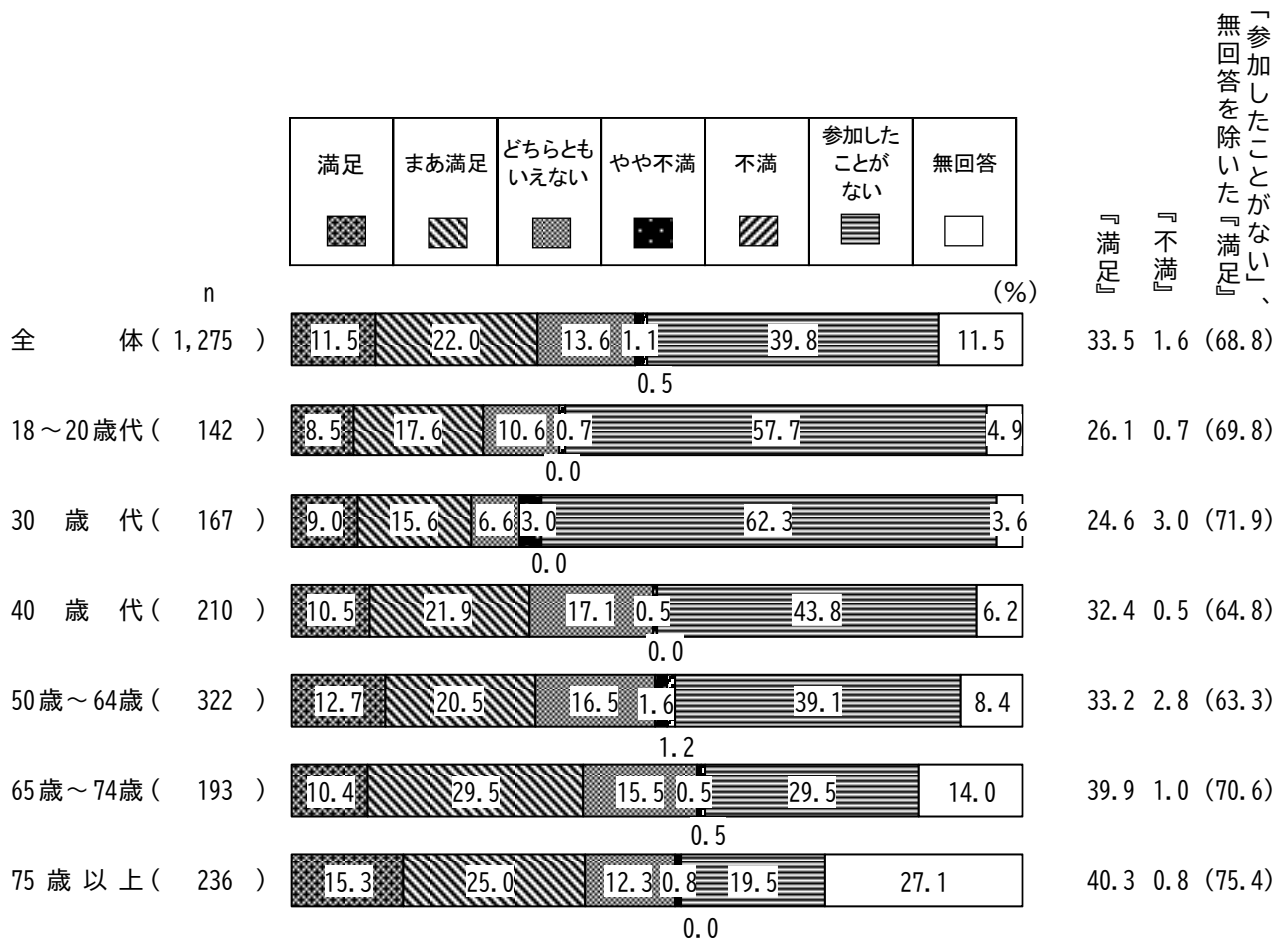
【板橋区民まつりの満足度】

① 年代別

板橋区民まつりの満足度について年代別でみると、『満足』は75歳以上(40.3%)で4割となっています。「参加したことがない」は65歳～74歳(29.5%)で約3割、75歳以上(19.5%)で約2割となっている一方、18～20歳代(57.7%)、30歳代(62.3%)は6割前後となっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』は75歳以上(75.4%)で7割半ばとなっています。

(図8-14-4)

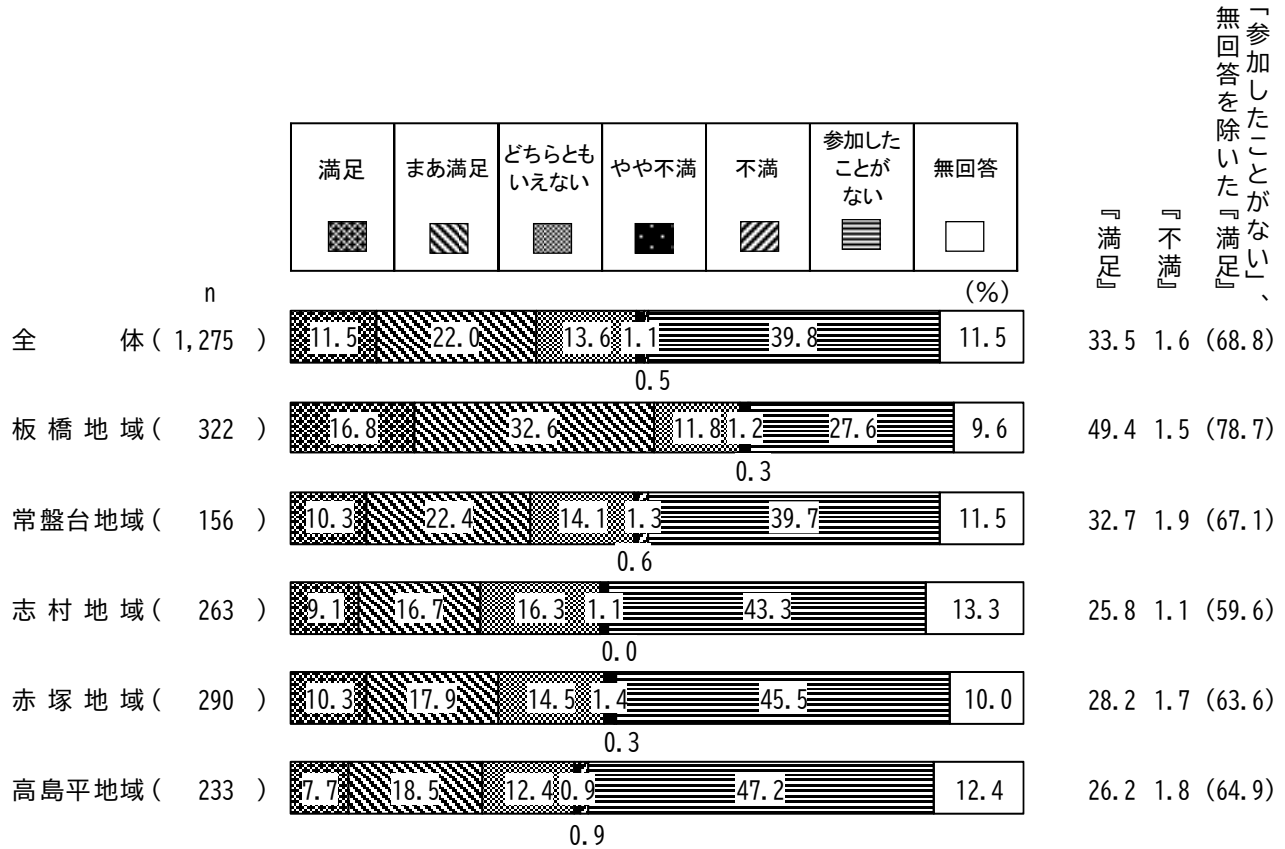
図8-14-4 板橋区民まつりの満足度(年代別)



② 地域別

地域別でみると、『満足』は板橋地域（49.4％）で約5割となっています。「参加したことがない」は板橋地域（27.6％）で3割近くとなっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』は板橋地域（78.7％）で8割近くとなっています。（図8－14－5）

図8－14－5 板橋区民まつりの満足度（地域別）



【板橋農業まつりの満足度】

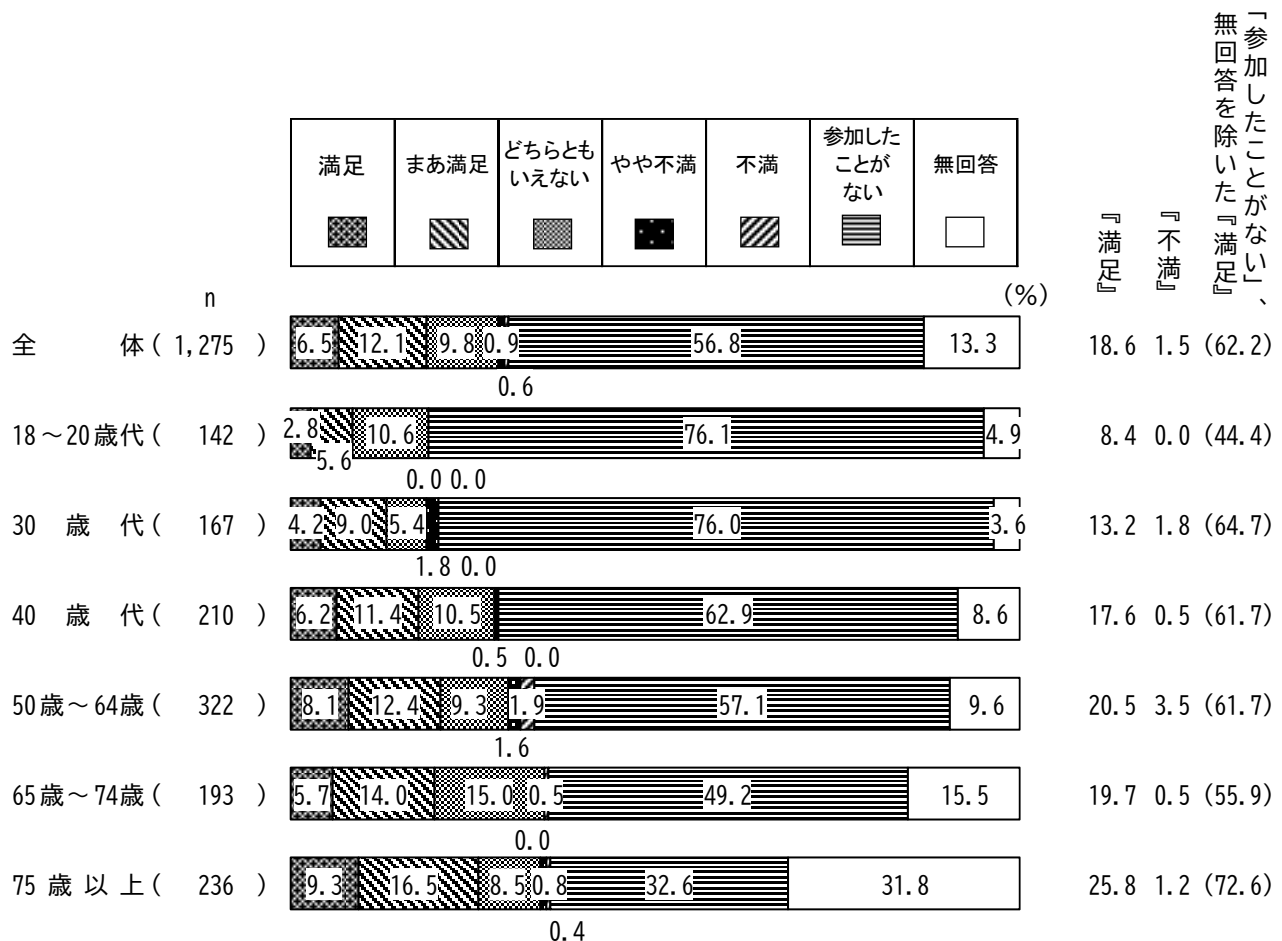
① 年代別

板橋農業まつりの満足度について年代別でみると、『満足』は75歳以上（25.8％）で2割半ばとなっている一方、18～20歳代（8.4％）は1割未満となっています。「参加したことがない」は75歳以上（32.6％）で3割台の一方、18～20歳代（76.1％）、30歳代（76.0％）は7割半ばとなっています。

「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』は75歳以上（72.6％）で7割を超えています。

（図8-14-6）

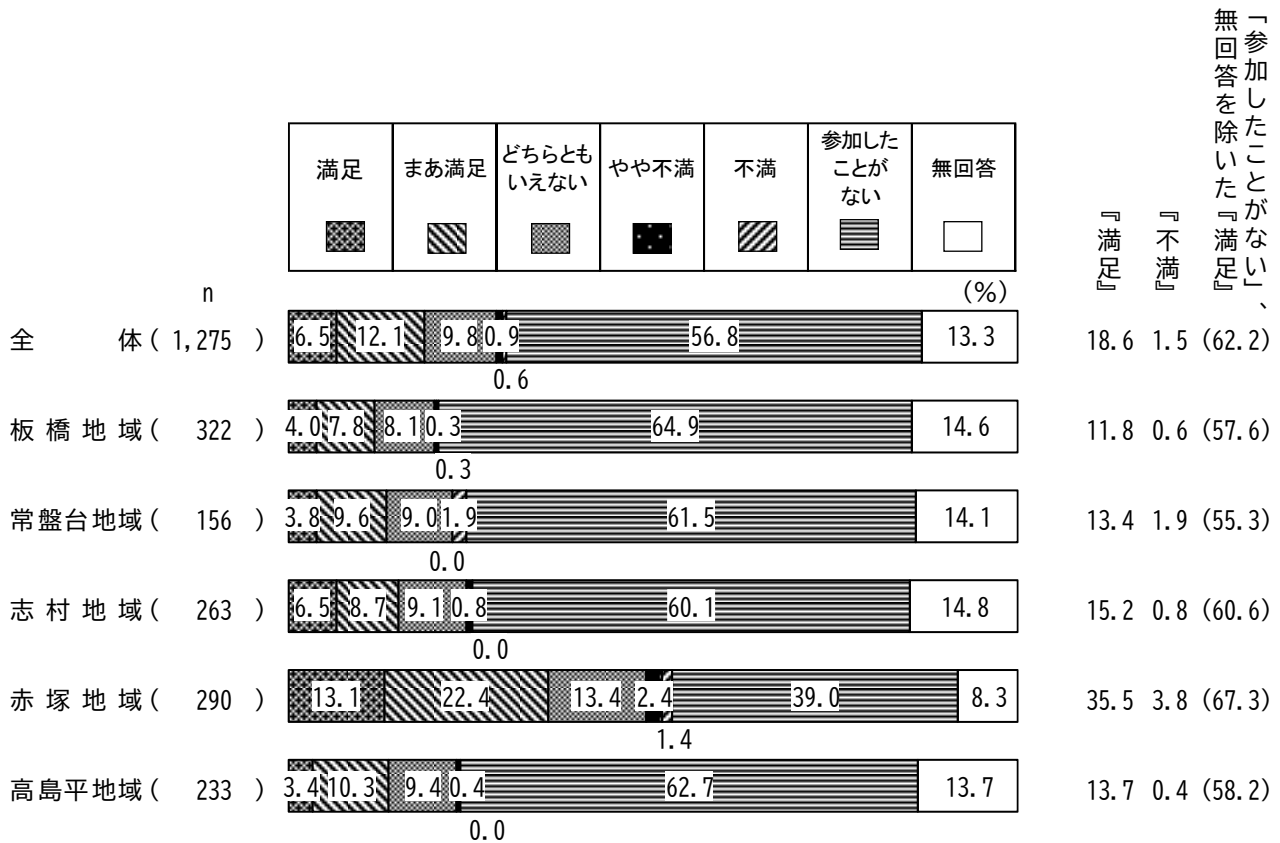
図8-14-6 板橋農業まつりの満足度（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『満足』は赤塚地域（35.5%）で3割半ばとなっています。「参加したことがない」は赤塚地域（39.0%）で約4割にとどまっている一方、その他すべての地域では6割台となっています。「参加したことがない」、無回答を除いた『満足』は赤塚地域（67.3%）で7割近くとなっています。（図8-14-7）

図8-14-7 板橋農業まつりの満足度（地域別）



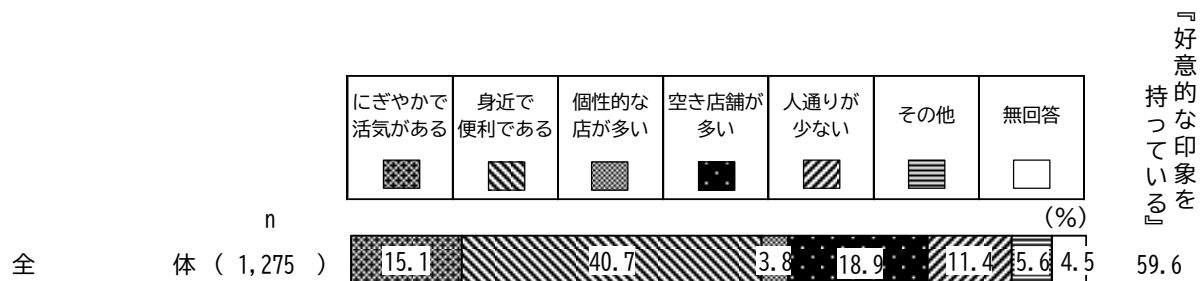
(15) 区内の身近な商店街に対する印象

◇『好意的な印象を持っている』が約6割

問33 あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。

(○は1つ)

図8-15-1

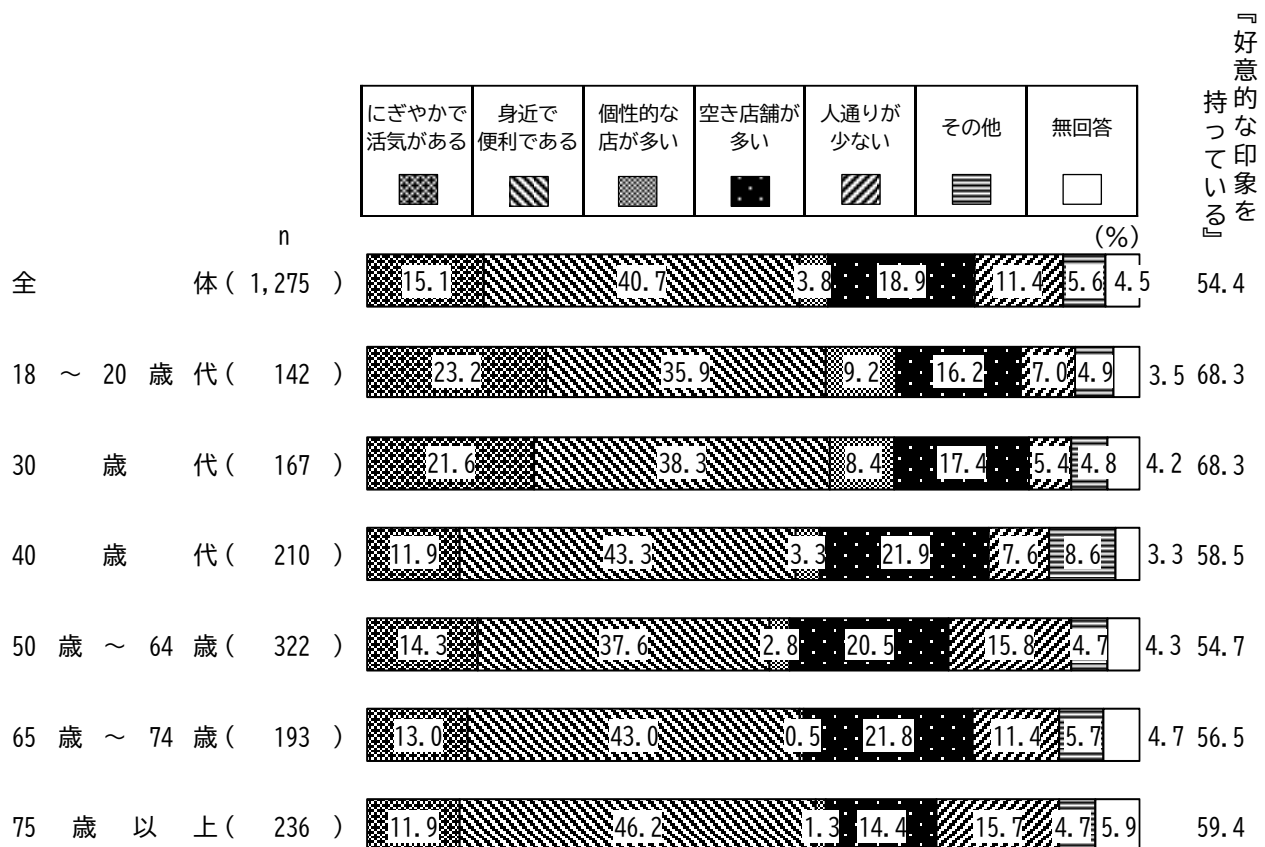


区内の身近な商店街に対する印象を聞いたところ、「にぎやかで活気がある」(15.1%)が1割半ばとなっており、これに「身近で便利である」(40.7%)と「個性的な店が多い」(3.8%)を合わせた『好意的な印象を持っている』(59.6%)は約6割となっています。(図8-15-1)

① 年代別

年代別でみると、『好意的な印象を持っている』は30歳代以下のすべての年代で7割近くとなっています。「空き店舗が多い」は40歳代(21.9%)、50歳～64歳(20.5%)、65歳～74歳(21.8%)で2割台となっています。(図8-15-2)

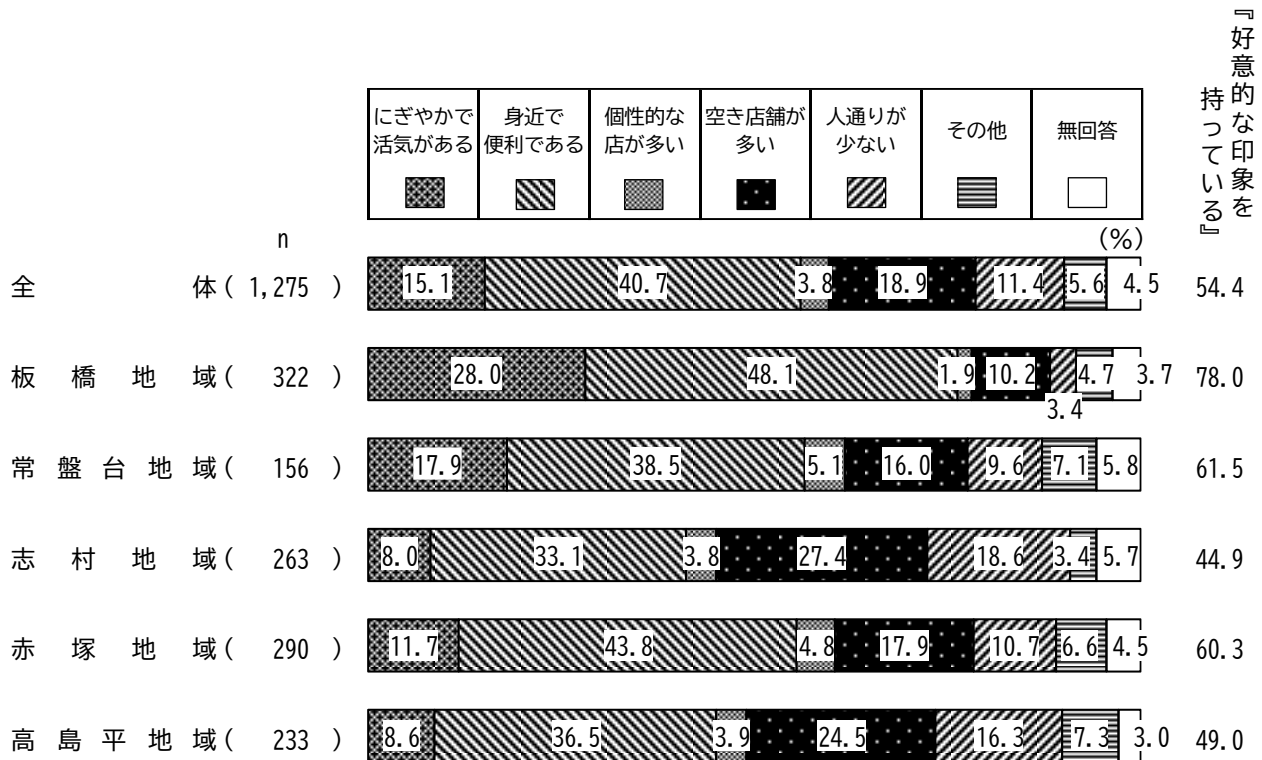
図8-15-2 区内の身近な商店街に対する印象（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『好意的な印象を持っている』は板橋地域（78.0%）で8割近くとなっています。「にぎやかで活気がある」は板橋地域（28.0%）で3割近くとなっています。（図8-15-3）

図8-15-3 区内の身近な商店街に対する印象（地域別）

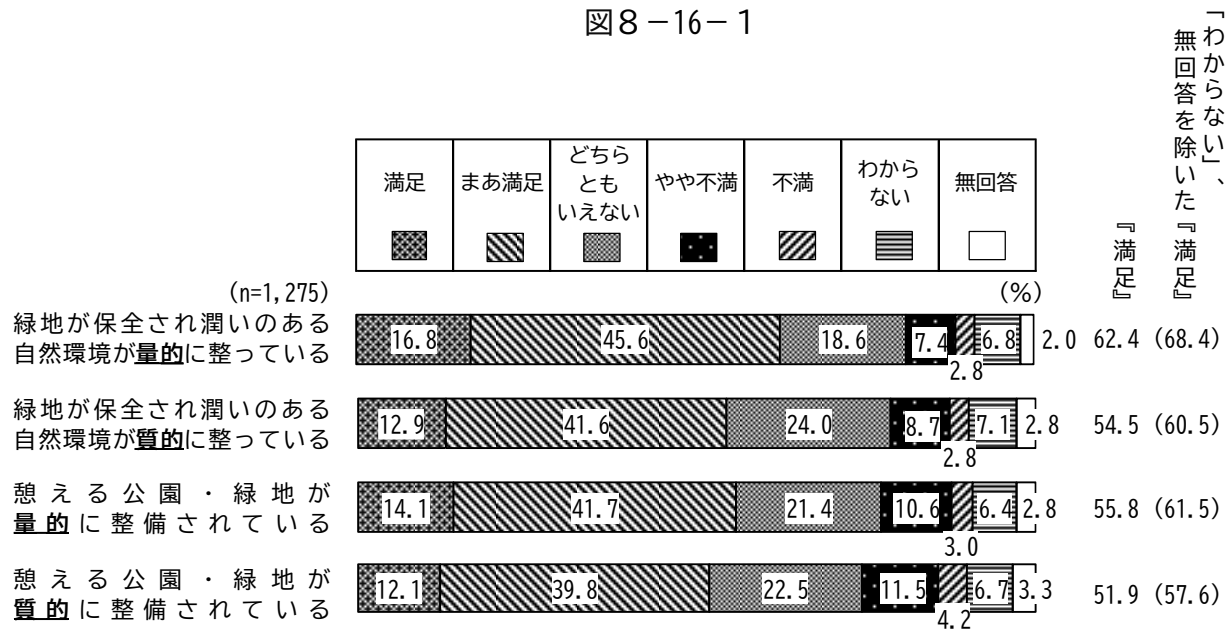


(16) 自然環境・公園に対する満足度

◇満足度は「緑地が保全され潤いのある自然環境」について「量的に整っている」が6割超え、「質的に整っている」が5割半ば、「憩える公園・緑地」について「量的に整備されている」が5割半ば、「質的に整備されている」が5割超え

問34 区内の「自然環境」や「公園・緑地」に関する満足度について、それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください

図8-16-1



緑地が保全され潤いのある自然環境が量的に整っていることについて満足度を聞いたところ、「満足」(16.8%)と「まあ満足」(45.6%)を合わせた『満足』(62.4%)は6割を超えています。「わからない」、無回答を除いた『満足』(68.4%)は7割近くとなっています。

緑地が保全され潤いのある自然環境が質的に整っていることについて満足度を聞いたところ、「満足」(12.9%)と「まあ満足」(41.6%)を合わせた『満足』(54.5%)は5割半ばとなっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』(60.5%)は約6割となっています。

憩える公園・緑地が量的に整備されていることについて満足度を聞いたところ、「満足」(14.1%)と「まあ満足」(41.7%)を合わせた『満足』(55.8%)は5割半ばとなっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』(61.5%)は6割を超えています。

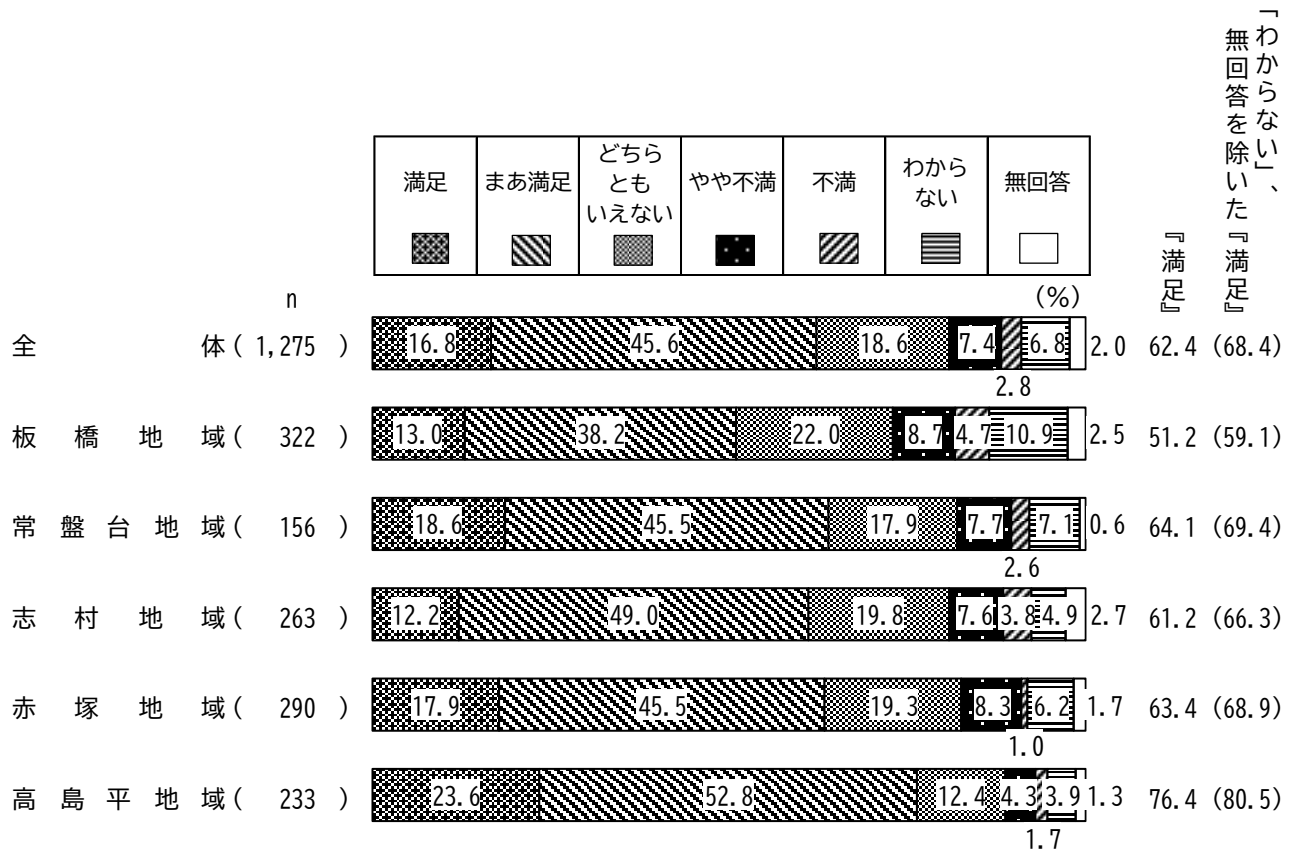
憩える公園・緑地が質的に整備されていることについて満足度を聞いたところ、「満足」(12.1%)と「まあ満足」(39.8%)を合わせた『満足』(51.9%)は5割を超えています。「わからない」、無回答を除いた『満足』(57.6%)は6割近くとなっています。(図8-16-1)

【緑地が保全され潤いのある自然環境が量的に整っている】

① 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域(76.4%)で7割半ばとなっている一方、板橋地域(51.2%)は5割を超えるにとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は高島平地域(80.5%)で約8割となっています。(図8-16-2)

図8-16-2 自然環境に対する量的な満足度(地域別)

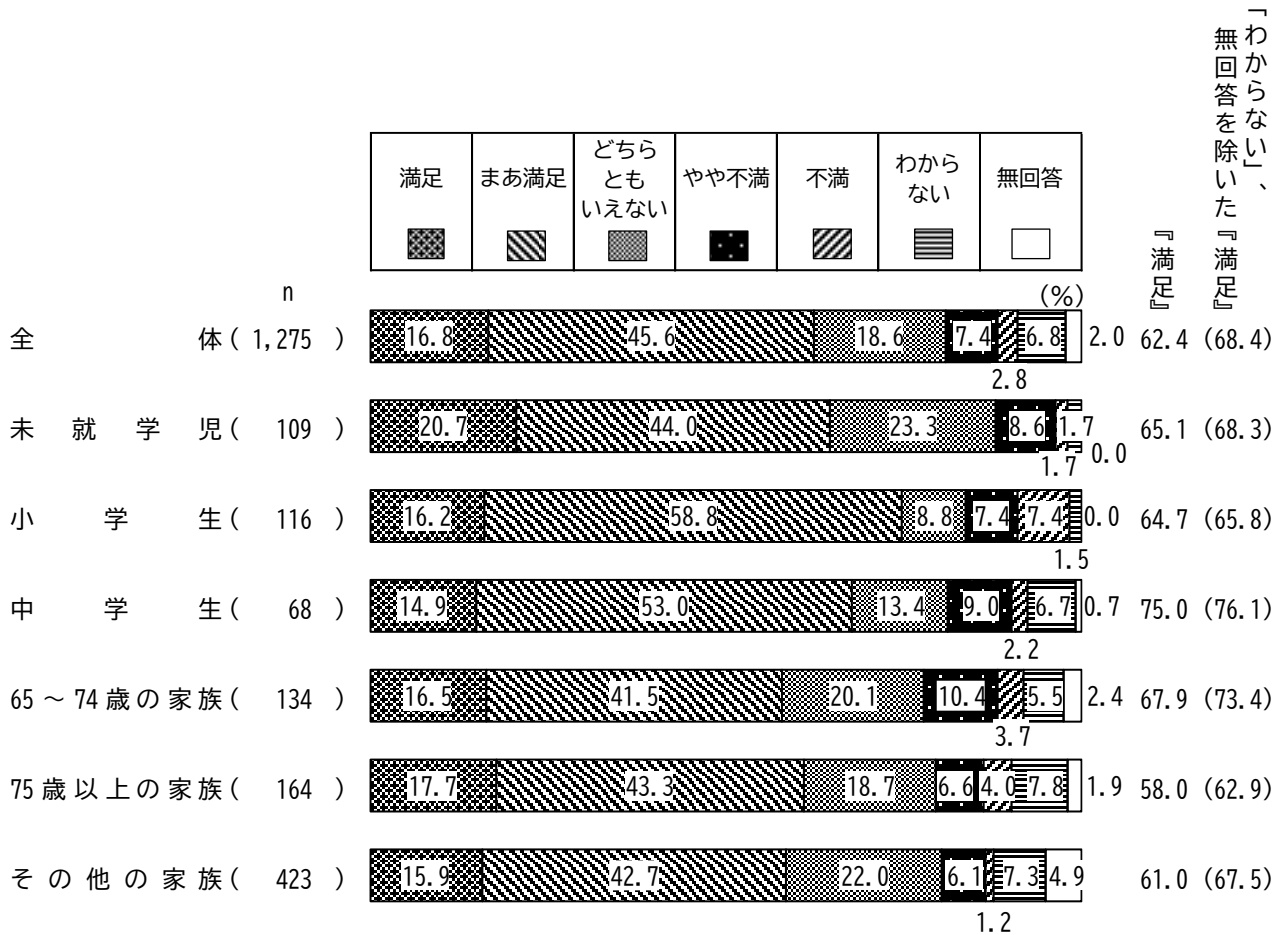


② 同居家族別

同居家族別でみると、『満足』は中学生（75.0%）と同居している方で7割半ばとなっている一方、75歳以上の家族（58.0%）と同居している方は6割近くにとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は中学生（76.1%）と同居している方で7割半ばとなっています。

（図8-16-3）

図8-16-3 自然環境に対する量的な満足度（同居家族別）

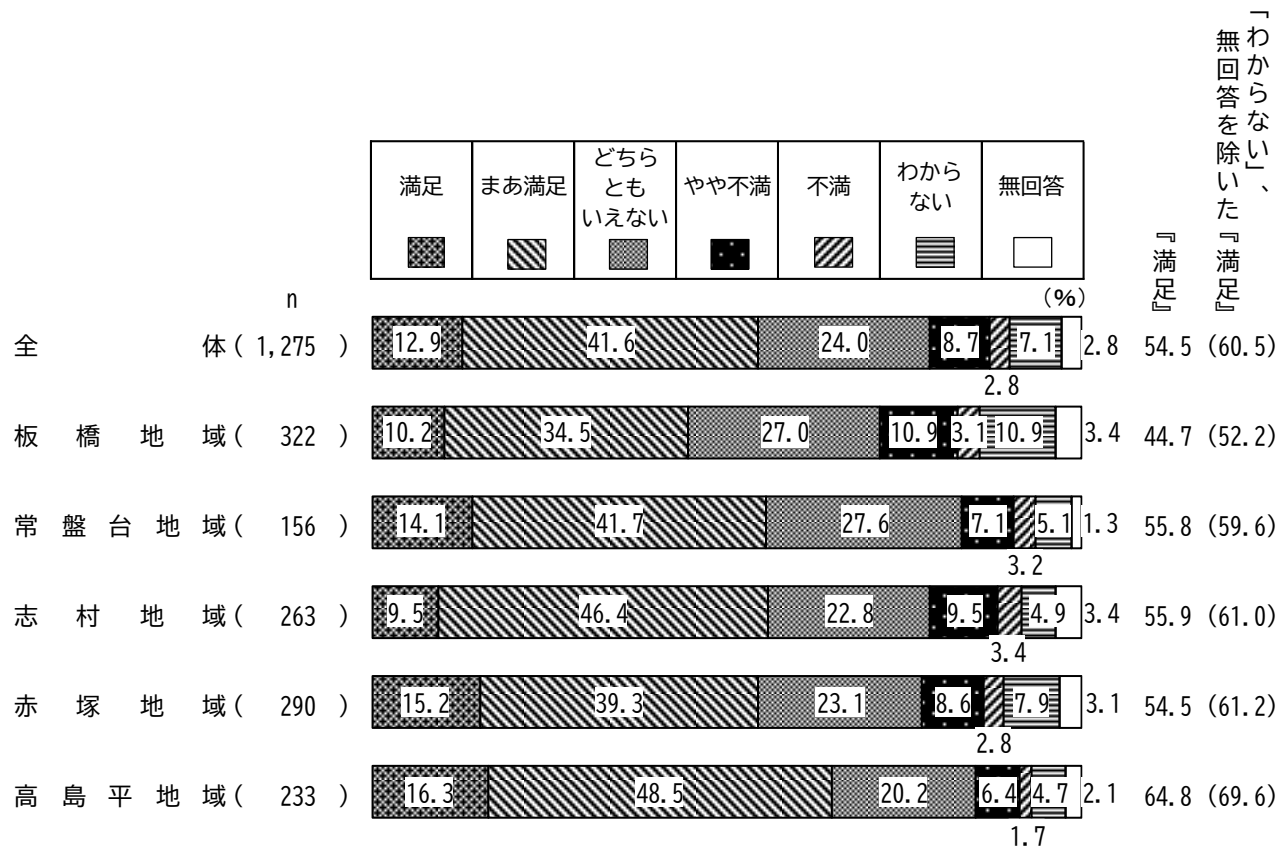


【緑地が保全され潤いのある自然環境が質的に整っている】

① 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域(64.8%)で6割半ばとなっている一方、板橋地域(44.7%)、は4割半ばにとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は高島平地域(69.6%)で約7割となっています。(図8-16-4)

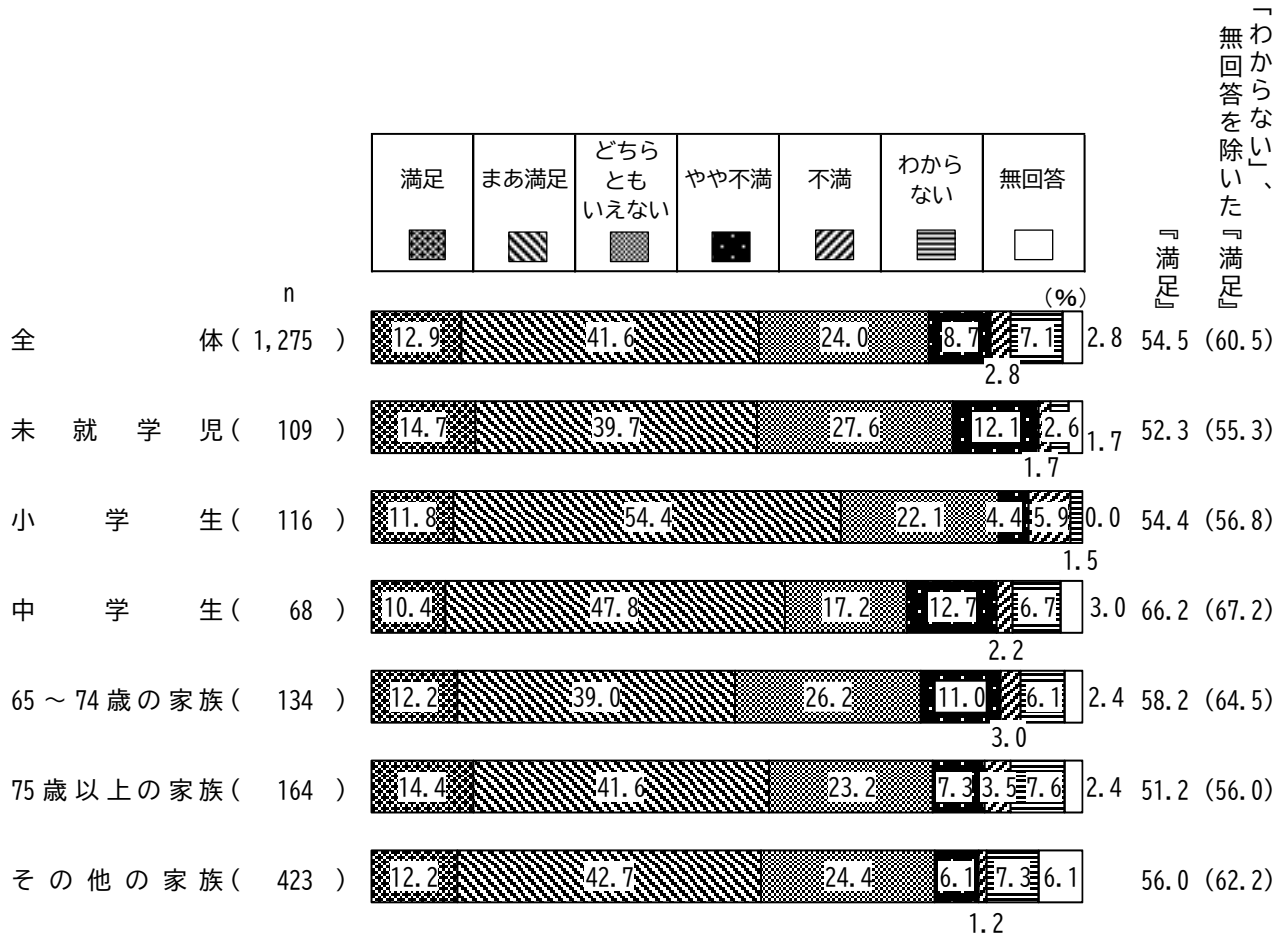
図8-16-4 自然環境に対する質的な満足度(地域別)



② 同居家族別

同居家族別でみると、『満足』は中学生（66.2%）と同居している方で6割半ばとなっている一方、未就学児（52.3%）、75歳以上の家族（51.2%）と同居している方は5割を超えるにとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は中学生（67.2%）と同居している方で7割近くとなっています。（図8-16-5）

図8-16-5 自然環境に対する質的な満足度（同居家族別）

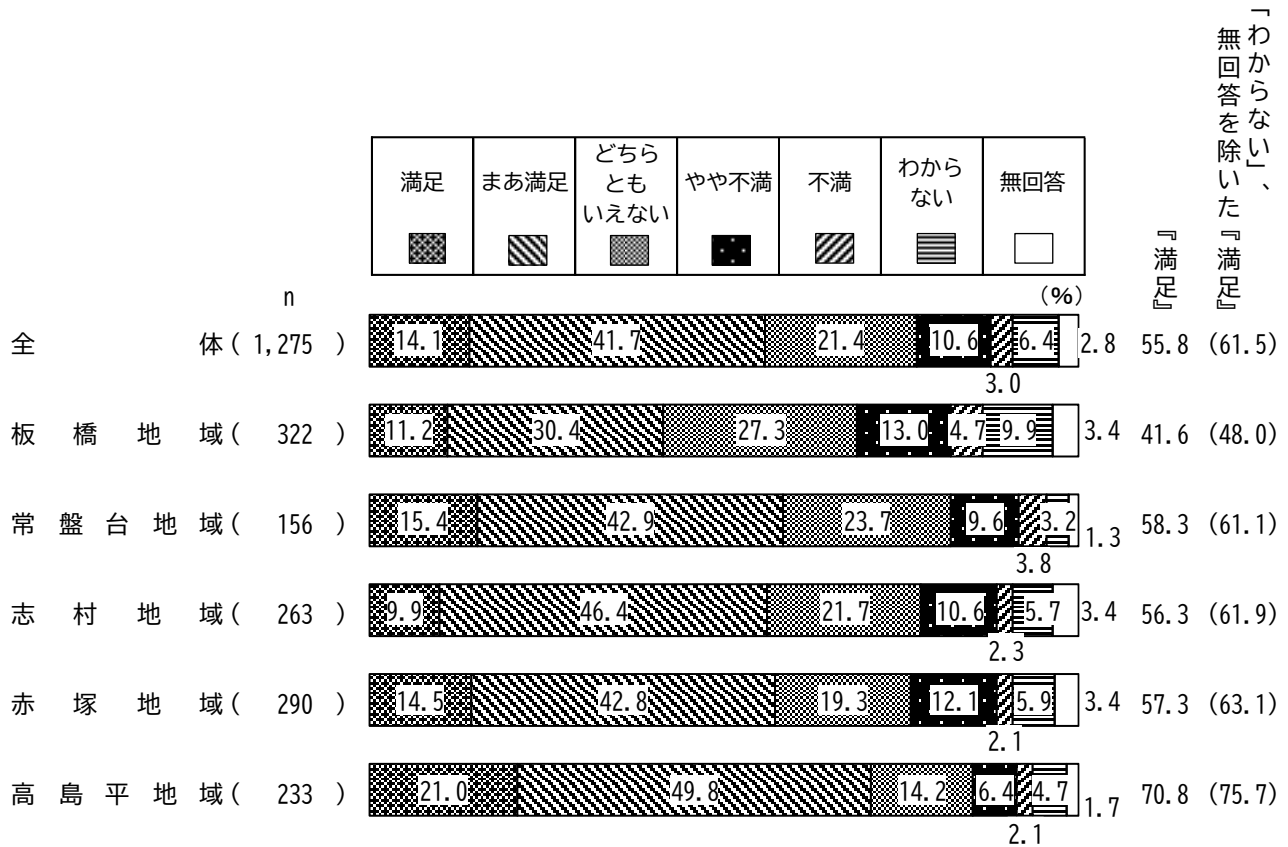


【憩える公園・緑地が量的に整備されている】

① 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域(70.8%)で約7割となっている一方、板橋地域(41.6%)は4割を超えるにとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は高島平地域(75.7%)で7割半ばとなっています。(図8-16-6)

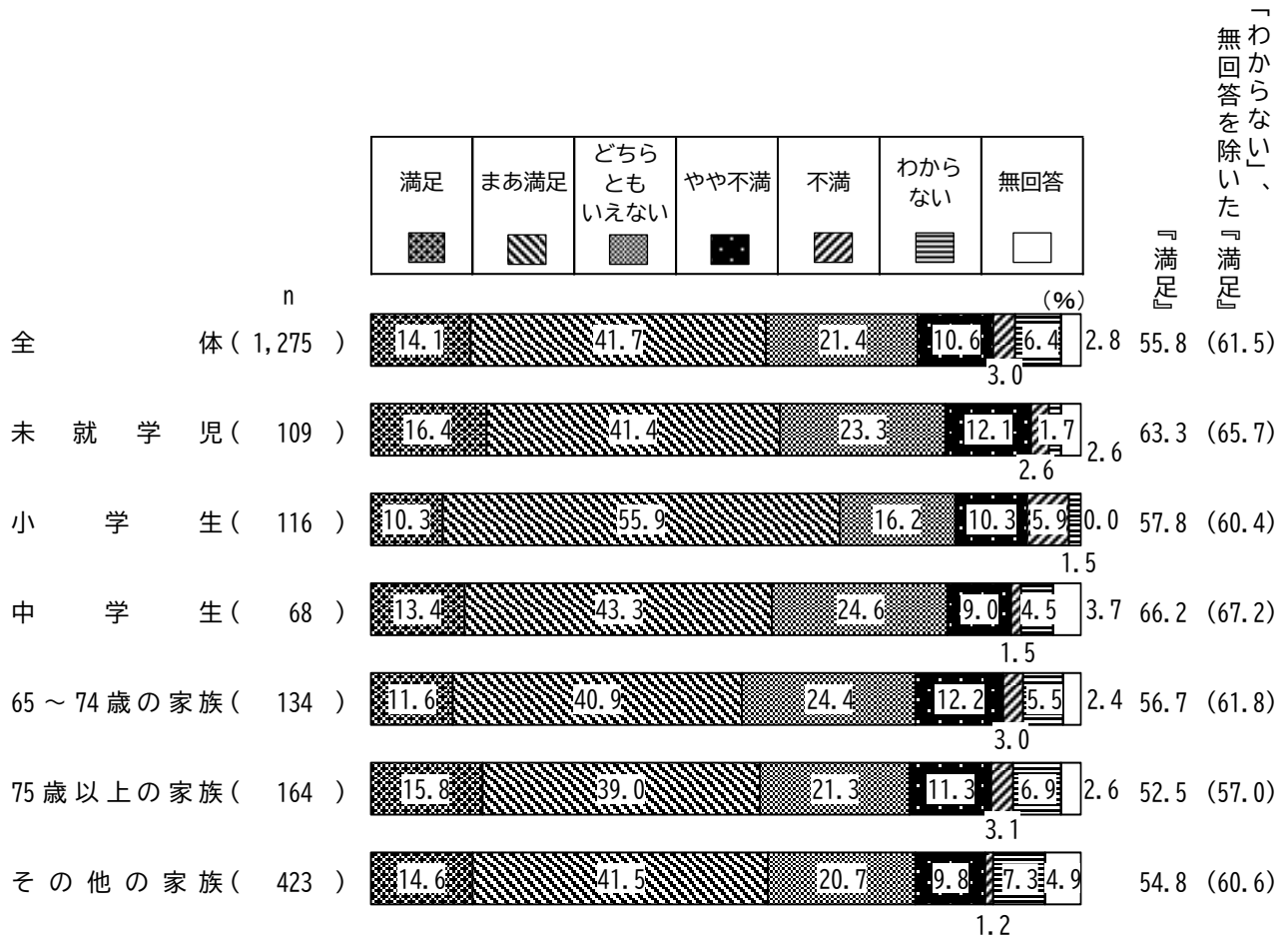
図8-16-6 公園に対する量的な満足度(地域別)



② 同居家族別

同居家族別でみると、『満足』は中学生（66.2%）と同居している方で6割半ばとなっている一方、75歳以上の家族（52.5%）と同居している方は5割を超えるにとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は中学生（67.2%）と同居している方で7割近くとなっています。
(図8-16-7)

図8-16-7 公園に対する量的な満足度（同居家族別）

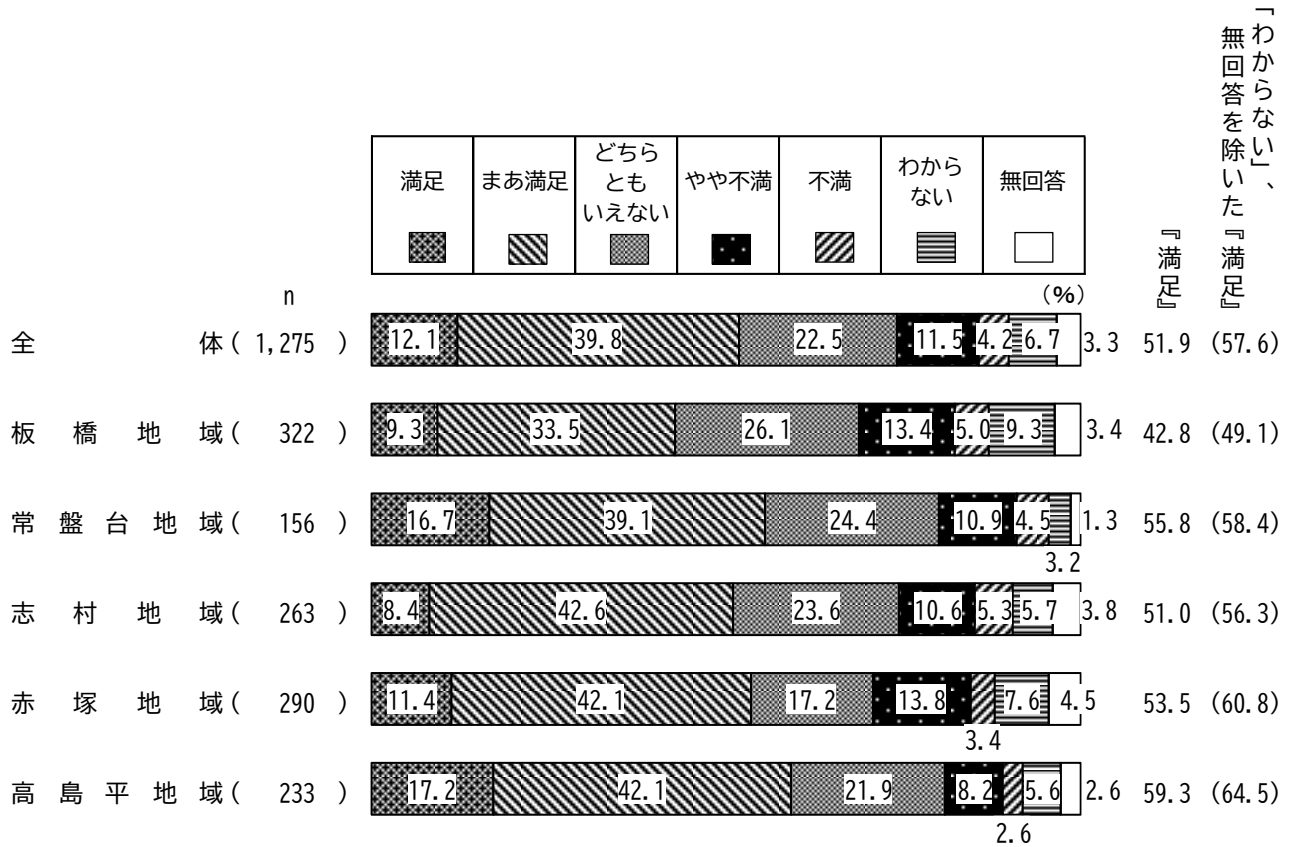


【憩える公園・緑地が質的に整備されている】

① 地域別

地域別でみると、『満足』は高島平地域(59.3%)で約6割となっている一方、板橋地域(42.8%)は4割を超えるにとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は高島平地域(64.5%)で6割半ばとなっています。(図8-16-8)

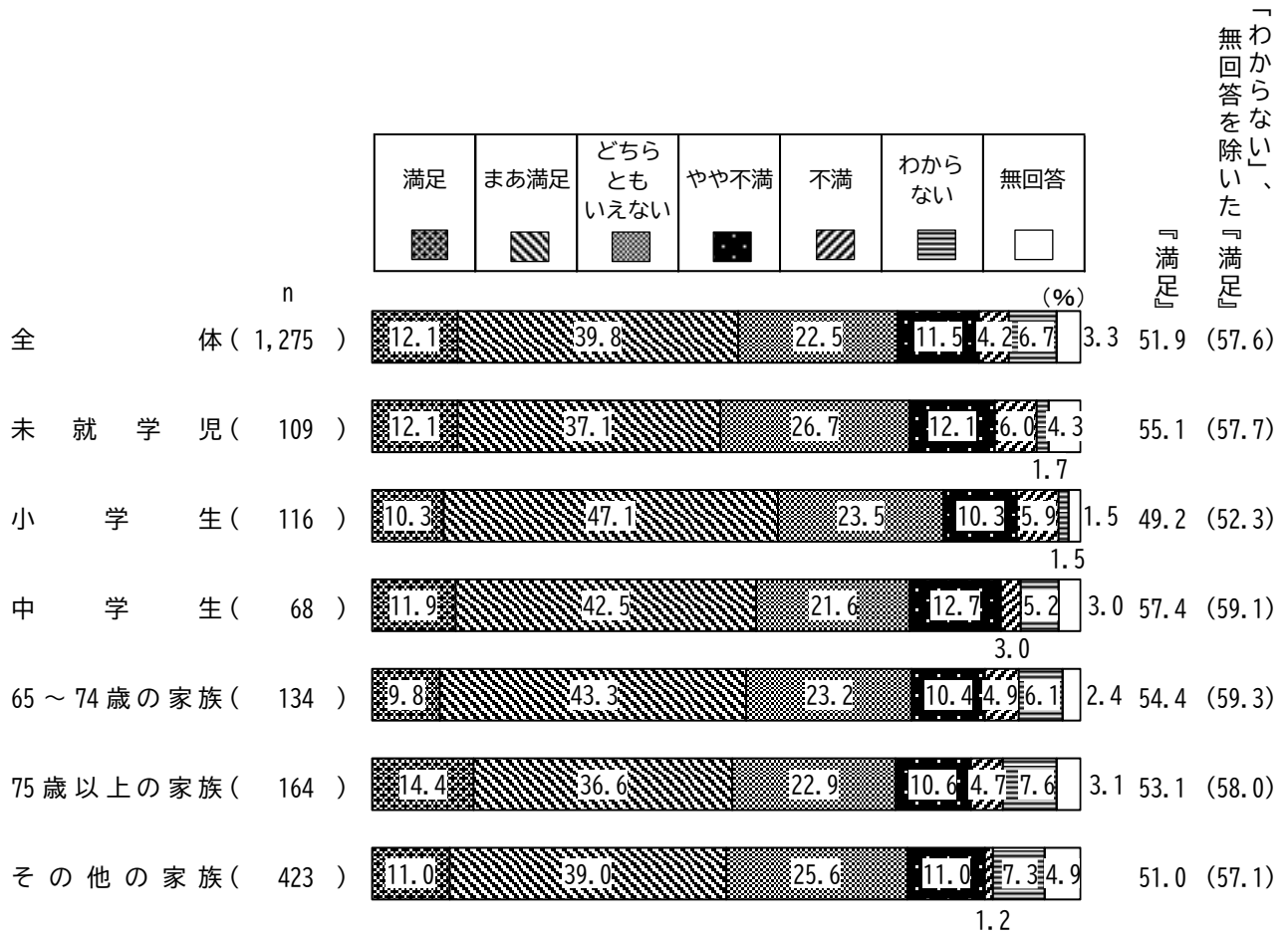
図8-16-8 公園に対する質的な満足度(地域別)



② 同居家族別

同居家族別でみると、『満足』は中学生（57.4%）と同居している方で6割近くとなっている一方、小学生（49.2%）と同居している方は約5割にとどまっています。「わからない」、無回答を除いた『満足』は中学生（59.1%）、65歳～74歳の家族（59.3%）と同居している方で約6割となっています。（図8-16-9）

図8-16-9 公園に対する質的な満足度（同居家族別）



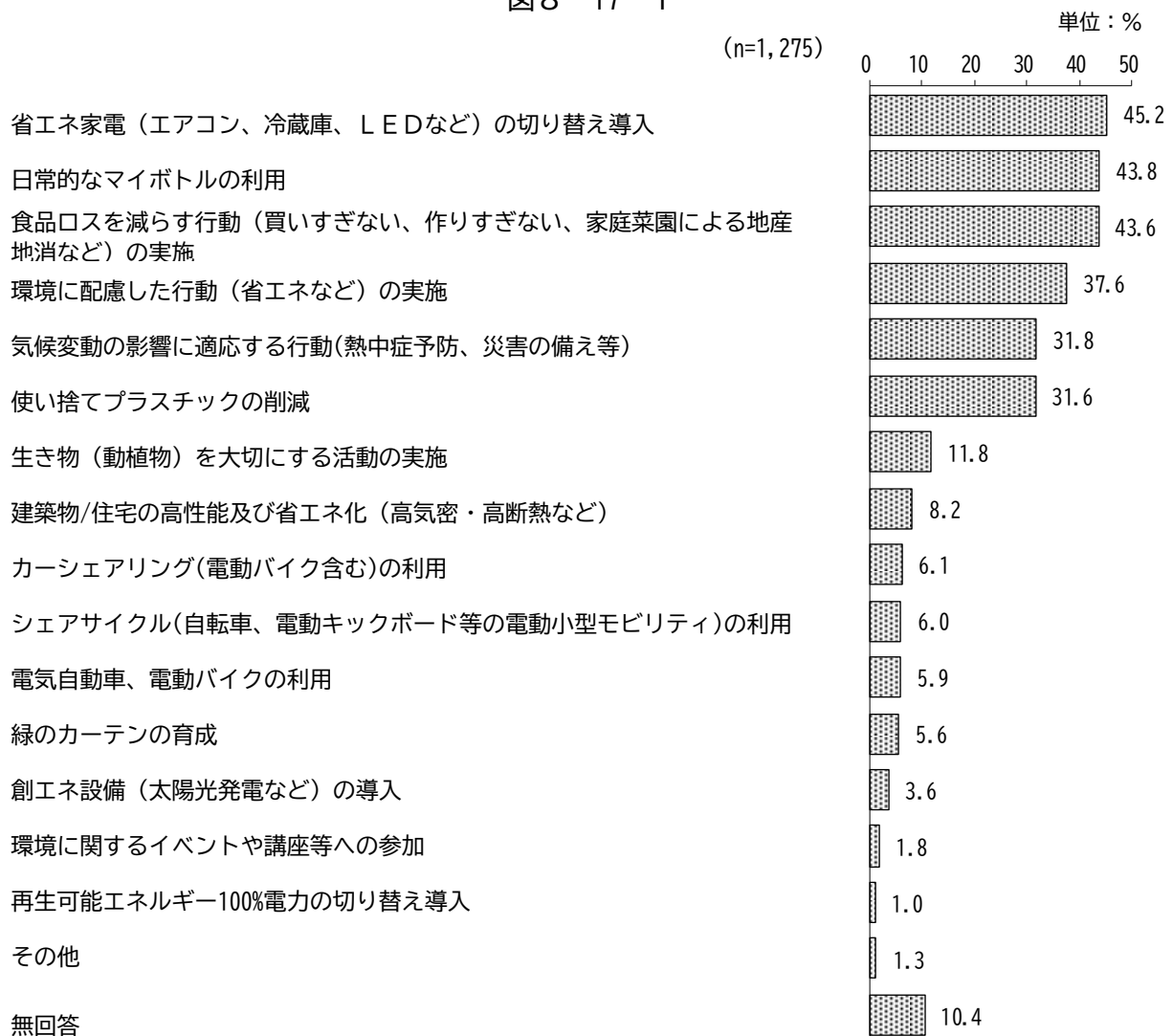
(17) 環境のために現在取り組んでいること・今後取り組んでみたいこと

【現在取り組んでいること】

◇「省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、LEDなど）の切り替え導入」が4割半ば

問35 環境のためのご自身での取組について、「現在取り組んでいること」をそれぞれ下の表から選んでください。（〇はいくつでも）

図8-17-1



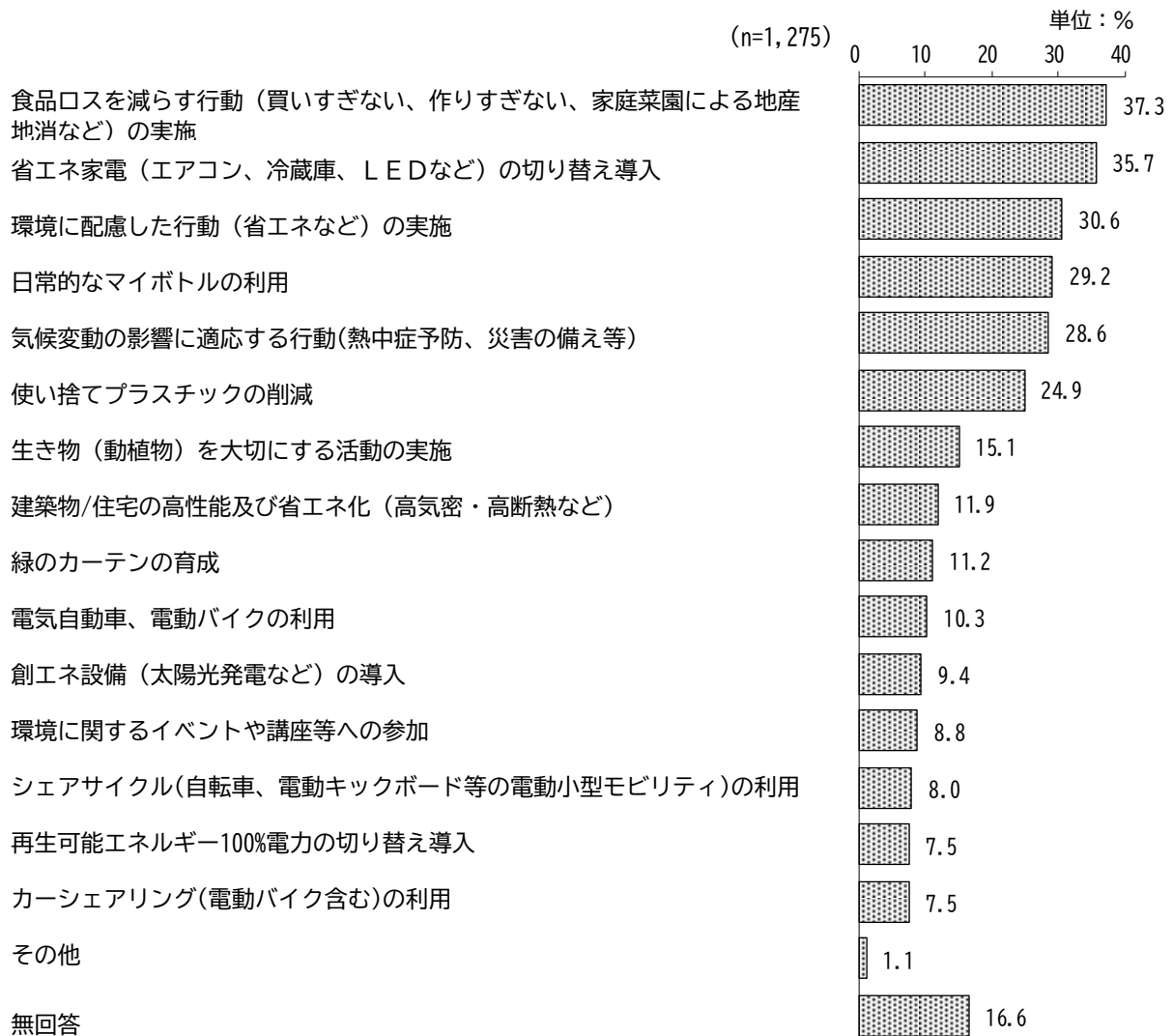
環境のために現在取り組んでいることを聞いたところ、「省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、LEDなど）の切り替え導入」（45.2％）が4割半ばで最も高く、次いで「日常的なマイボトルの利用」（43.8％）、「食品ロスを減らす行動（買いすぎない、作りすぎない、家庭菜園による地産地消など）の実施」（43.6％）、「環境に配慮した行動（省エネなど）の実施」（37.6％）、「気候変動の影響に適応する行動（熱中症予防、災害の備え等）」（31.8％）となっています。（図8-17-1）

【今後取り組んでみたいこと】

◇「食品ロスを減らす行動（買いすぎない、作りすぎない、家庭菜園による地産地消など）の実施」が4割近く

問35 環境のためのご自身での取組について、「今後取り組んでみたいこと（現在も取り組んでいて継続して取り組みたいことを含む）」をそれぞれ下の表から選んでください。（○はいくつでも）

図8-17-2



環境のために今後取り組んでみたいこと（現在も取り組んでいて継続して取り組みたいことを含む）を聞いたところ、「食品ロスを減らす行動（買いすぎない、作りすぎない、家庭菜園による地産地消など）の実施」（37.3%）が4割近くで最も高く、次いで「省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、LEDなど）の切り替え導入」（35.7%）、「環境に配慮した行動（省エネなど）の実施」（30.6%）、「日常的なマイボトルの利用」（29.2%）、「気候変動の影響に適応する行動（熱中症予防、災害の備え等）」（28.6%）となっています。（図8-17-2）

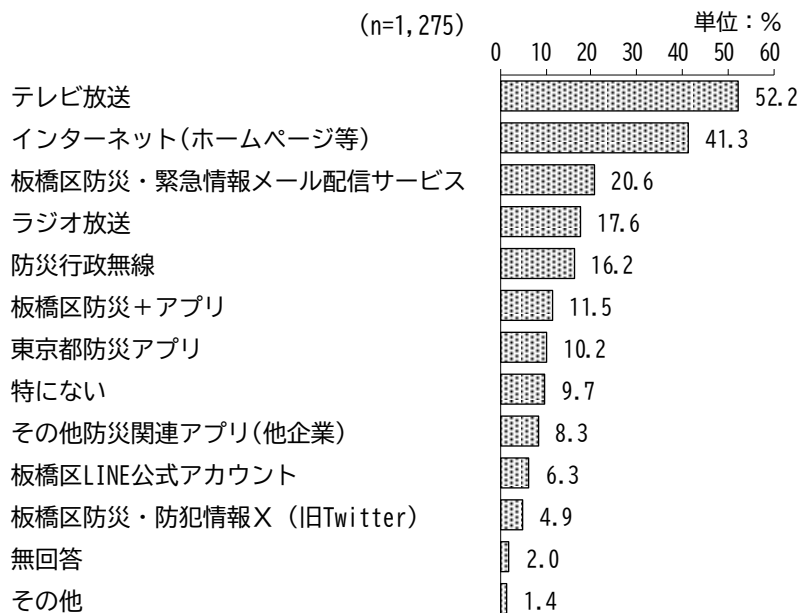
(18) 災害情報を収集するために確保している手段

◇「テレビ放送」が5割超え

問36 あなたは、災害情報を収集するために、どんな手段を確保していますか。

(○はいくつでも)

図8-18-1



災害情報を収集するために確保している手段を聞いたところ、「テレビ放送」(52.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「インターネット(ホームページ等)」(41.3%)、「板橋区防災・緊急情報メール配信サービス」(20.6%)、「ラジオ放送」(17.6%)、「防災行政無線」(16.2%)となっています。「特にない」、無回答を除いた『災害情報の収集環境を確保している』(88.3%)は9割近くとなっています。(図8-18-1)

① 年代別

年代別でみると、「テレビ放送」は50歳以上のすべての年代で第1位となっています。「インターネット（ホームページ等）」は40歳代以下のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「板橋区防災＋アプリ」は40歳代（14.3%）、65歳～74歳（16.6%）で第5位となっています。「その他防災関連アプリ（他企業）」は18～20歳代（8.5%）で第4位となっています。「板橋区LINE公式アカウント」は30歳代（15.6%）で第4位、18～20歳代（7.0%）で第5位となっています。（表8-18-1）

表8-18-1 災害情報を収集するために確保している手段（年代別）

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	テレビ放送 52.2	インターネット(ホームページ等) 41.3	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 20.6	ラジオ放送 17.6	防災行政無線 16.2
年 代 別	18～20歳代	142	インターネット(ホームページ等) 45.1	テレビ放送 32.4	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 14.8	その他防災関連アプリ(他企業) 8.5	防災行政無線/板橋区LINE公式アカウント 7.0
	30歳代	167	インターネット(ホームページ等) 49.1	テレビ放送 34.7	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 20.4	板橋区LINE公式アカウント 15.6	ラジオ放送/防災行政無線 13.2
	40歳代	210	インターネット(ホームページ等) 57.1	テレビ放送 42.4	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 24.3	防災行政無線 14.8	板橋区防災＋アプリ 14.3
	50歳～64歳	322	テレビ放送 55.6	インターネット(ホームページ等) 50.6	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 22.4	ラジオ放送 20.2	防災行政無線 14.3
	65歳～74歳	193	テレビ放送 63.2	インターネット(ホームページ等) 33.7	ラジオ放送 22.8	防災行政無線 18.7	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス/板橋区防災＋アプリ 16.6
	75歳以上	236	テレビ放送 71.6	ラジオ放送 26.3	防災行政無線 25.8	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス 22.5	インターネット(ホームページ等) 13.1

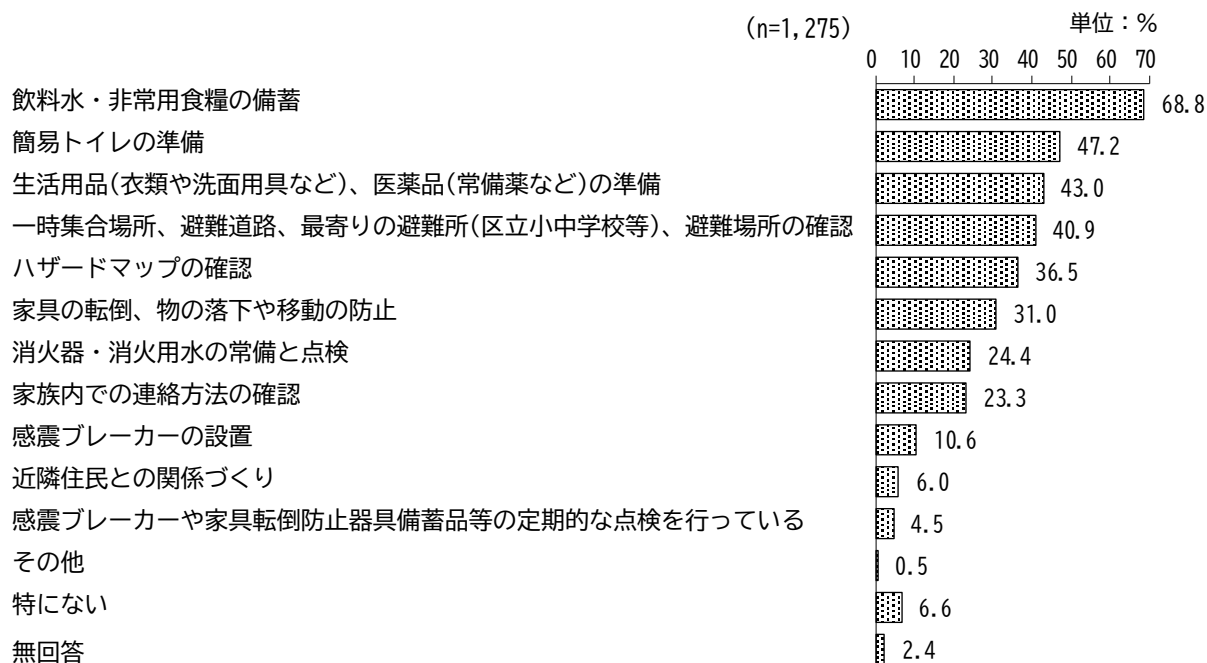
(19) 災害に備えた家庭内での対策

◇「飲料水・非常用食糧の備蓄」が7割近く

問37 あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。

(○はいくつでも)

図8-19-1



災害に備えた家庭内での対策を聞いたところ、「飲料水・非常用食糧の備蓄」(68.8%)が7割近くで最も高く、次いで「簡易トイレの準備」(47.2%)、「生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備」(43.0%)、「一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小学校等)、避難場所の確認」(40.9%)、「ハザードマップ」(36.5%)となっています。一方、「特にない」、無回答を除いた『家庭内での対策を行っている割合』(91.0%)は9割を超えています。

(図8-19-1)

① 年代別

年代別でみると、「飲料水・非常用食糧の備蓄」はすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「家具の転倒、物の落下や移動の防止」は75歳以上(43.2%)で第5位となっています。(表8-19-1)

表8-19-1 災害に備えた家庭内での対策(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,275	飲料水・非常用食糧の備蓄 68.8	簡易トイレの準備 47.2	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 43.0	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 40.9	ハザードマップの確認 36.5
年 代 別	18～20歳代	142	飲料水・非常用食糧の備蓄 59.2	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 33.1	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 31.7	簡易トイレの準備/ハザードマップの確認 28.9	
	30歳代	167	飲料水・非常用食糧の備蓄 67.1	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 50.3	簡易トイレの準備 48.5	ハザードマップの確認 38.3	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 35.9
	40歳代	210	飲料水・非常用食糧の備蓄 75.7	簡易トイレの準備 47.6	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 45.7	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 43.3	ハザードマップの確認 36.2
	50歳～64歳	322	飲料水・非常用食糧の備蓄 72.0	簡易トイレの準備 49.1	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 40.7	ハザードマップの確認 38.5	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 36.0
	65歳～74歳	193	飲料水・非常用食糧の備蓄 73.6	簡易トイレの準備 51.3	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 48.7	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 42.0	ハザードマップの確認 40.9
	75歳以上	236	飲料水・非常用食糧の備蓄 61.4	簡易トイレの準備 50.8	一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所(区立小中学校等)、避難場所の確認 47.9	生活用品(衣類や洗面用具など)、医薬品(常備薬など)の準備 45.3	家具の転倒、物の落下や移動の防止 43.2

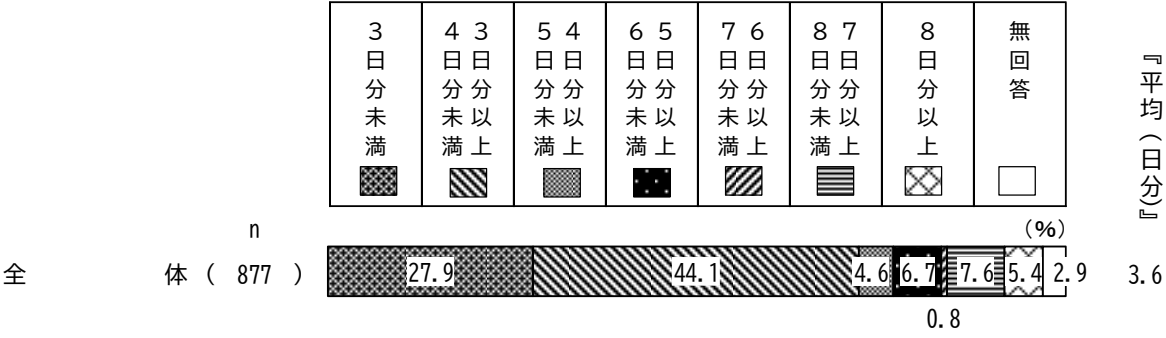
(19-1) 飲料水・非常用食料の備蓄日数

◇「3日分以上4日分未満」が4割半ば

(問37で「1 飲料水・非常用食糧の備蓄」を選んだ方のみ)

問37-1 およそ何日分の備蓄をしていますか。記載例を参考に () 内に数値を記入してください (例：飲料水は一人1日3ℓが目安)。

図8-19-2



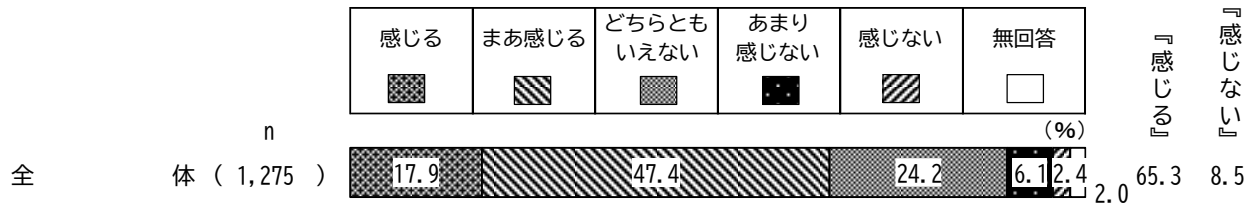
飲料水・非常用食料の備蓄日数を聞いたところ、「3日分以上4日分未満」(44.1%)が4割半ばと最も高く、次いで「3日分未満」(27.9%)、「7日分以上8日分未満」(7.6%)となっています。平均では3.6日分となっています。(図8-19-2)

(20) お住まいの地域の治安

◇『感じる』が6割半ば

問38 あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。(○は1つ)

図8-20-1



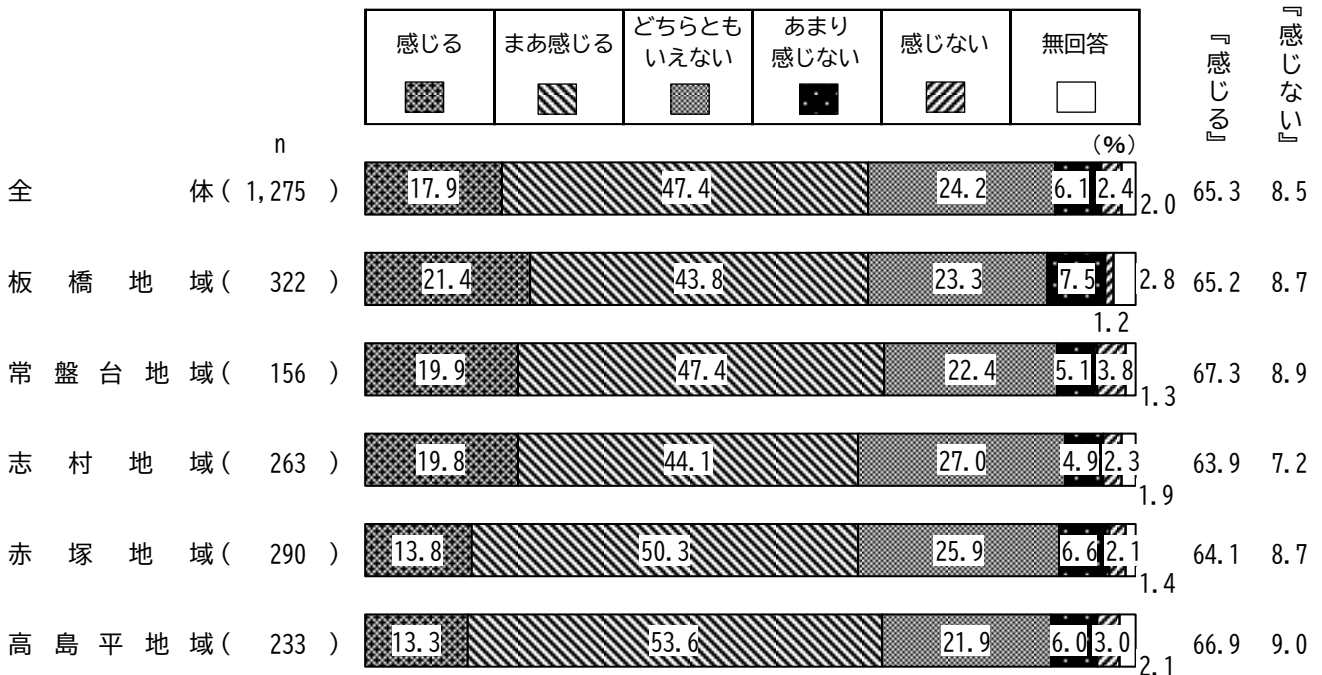
お住まいの地域の治安が保たれていると感じるかを聞いたところ、「感じる」(17.9%)が2割近くで、これに「まあ感じる」(47.4%)を合わせた『感じる』(65.3%)は6割半ばとなっています。一方、「感じない」(2.4%)に「あまり感じない」(6.1%)を合わせた『感じない』(8.5%)は1割未満となっています。(図8-20-1)

① 地域別

地域別でみると、『感じる』は常盤台地域(67.3%)で7割近くとなっています。

(図8-20-2)

図8-20-2 お住まいの地域の治安(地域別)



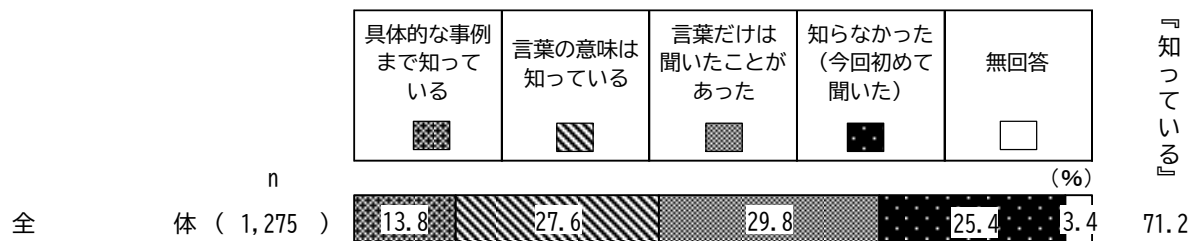
(21)「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇『知っている』が7割超え

問39 あなたは、「ユニバーサルデザイン」についてどの程度知っていますか。

(○は1つ)

図8-21-1

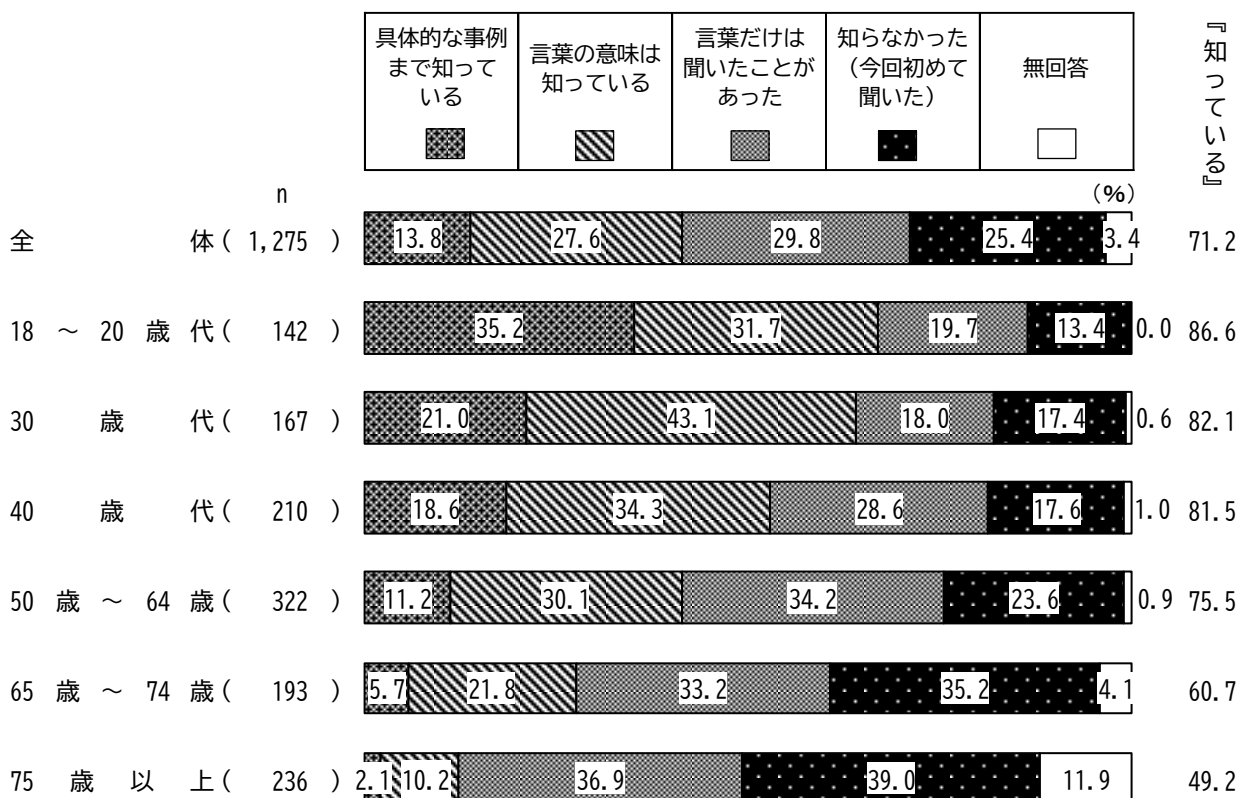


ユニバーサルデザインをどの程度知っているかを聞いたところ、「具体的な事例まで知っている」（13.8%）、「言葉の意味は知っている」（27.6%）、「言葉だけは聞いたことがあった」（29.8%）を合わせた『知っている』（71.2%）は7割を超えています。一方、「知らなかった（今回初めて聞いた）」（25.4%）は2割半ばとなっています。（図8-21-1）

① 年代別

年代別でみると、『知っている』は18～20歳代（86.6%）で8割半ば、30歳代（82.1%）、40歳代（81.5%）で8割を超えています。一方、「知らなかった（今回初めて聞いた）」は75歳以上（39.0%）で約4割となっています。（図8-21-2）

図8-21-2 「ユニバーサルデザイン」の認知度（年代別）

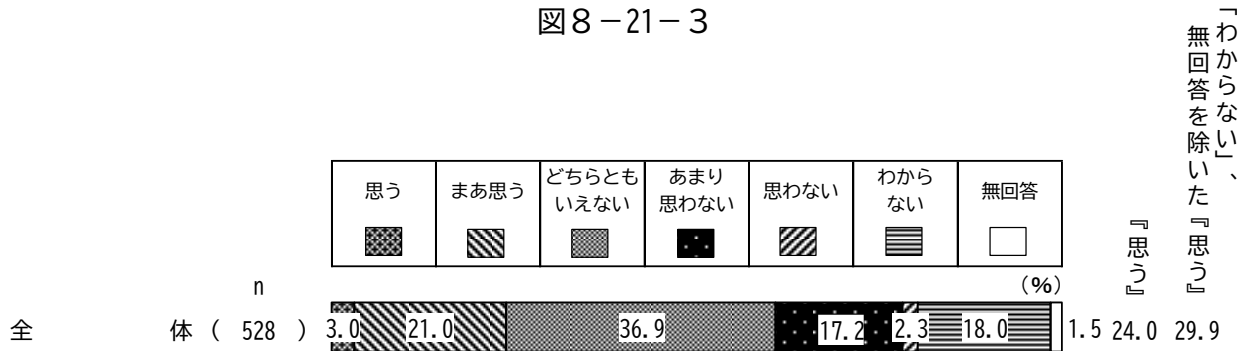


(21-1) ユニバーサルデザインへの取組が進んでいるか

◇『思う』が2割半ば

(問39で「1 具体的な事例まで知っている」又は「2 言葉の意味は知っている」と回答した方のみ)
 問39-1 板橋区では、ユニバーサルデザインを推進しています。あなたは、区の実践が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

図8-21-3

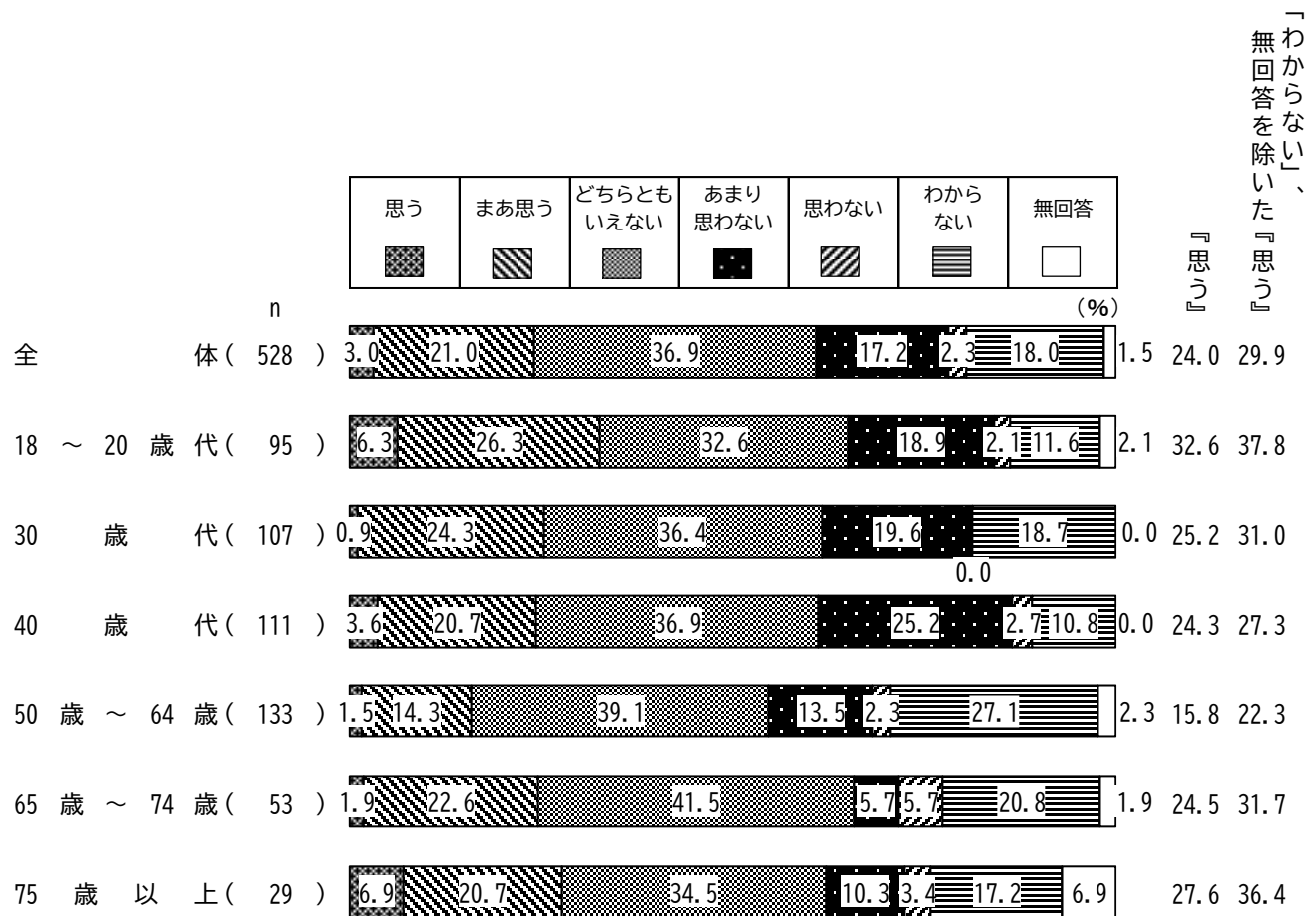


ユニバーサルデザインへの取組が進んでいるかを聞いたところ、「思う」(3.0%)と「まあ思う」(21.0%)を合わせた『思う』(24.0%)は2割半ばとなっています。「わからない」、無回答を除いた『思う』(29.9%)は約3割となっています。(図8-21-3)

① 年代別

年代別でみると、『思う』は18～20歳代（32.6％）で3割を超えています。「わからない」、無回答を除いた『思う』は18～20歳代（37.8％）で4割近くとなっています。（図8-21-4）

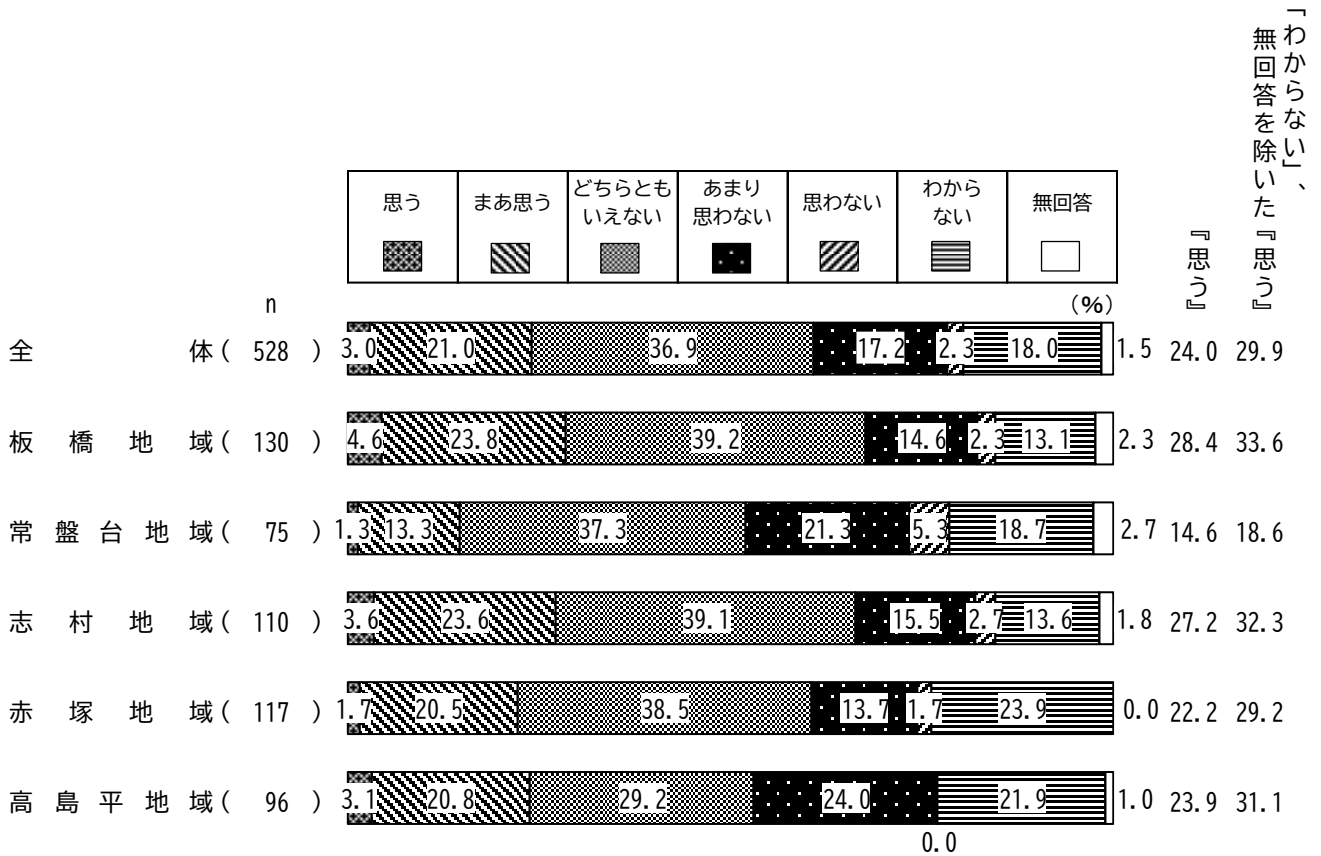
図8-21-4 ユニバーサルデザインへの取組が進んでいるか（年代別）



② 地域別

地域別でみると、『思う』は常盤台地域を除くすべての地域で2割台となっています。「わからない」、無回答を除いた『思う』は板橋地域(33.6%)、志村地域(32.3%)、高島平地域(31.1%)で3割を超えています。(図8-21-5)

図8-21-5 ユニバーサルデザインへの取組が進んでいるか(地域別)



(22) 電車やバスの利用しやすさ

◇『感じる』が7割超え

問40 あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。(○は1つ)

図8-22-1

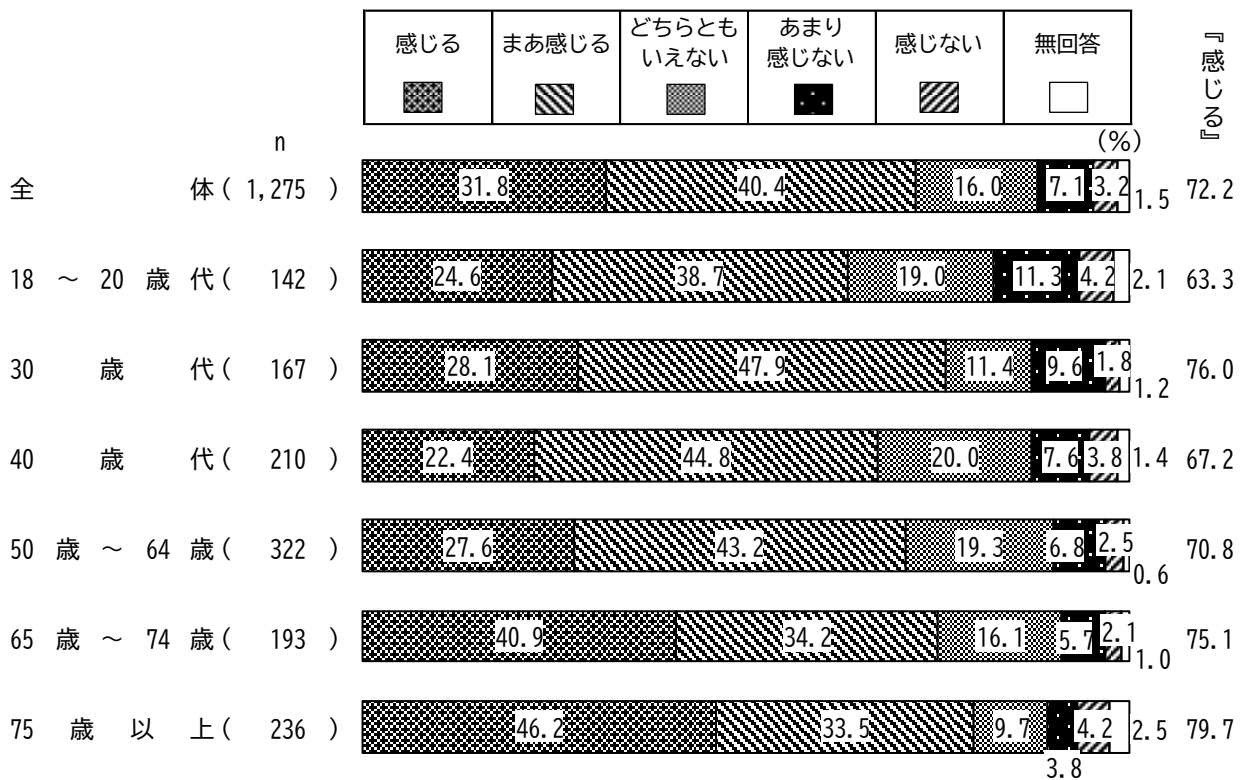


電車やバスの利用しやすさを聞いたところ、「感じる」(31.8%)が3割超えで、これに「まあ感じる」(40.4%)を合わせた『感じる』(72.2%)は7割を超えています。(図8-22-1)

① 年代別

年代別でみると、『感じる』は75歳以上(79.7%)で約8割となっています。(図8-22-2)

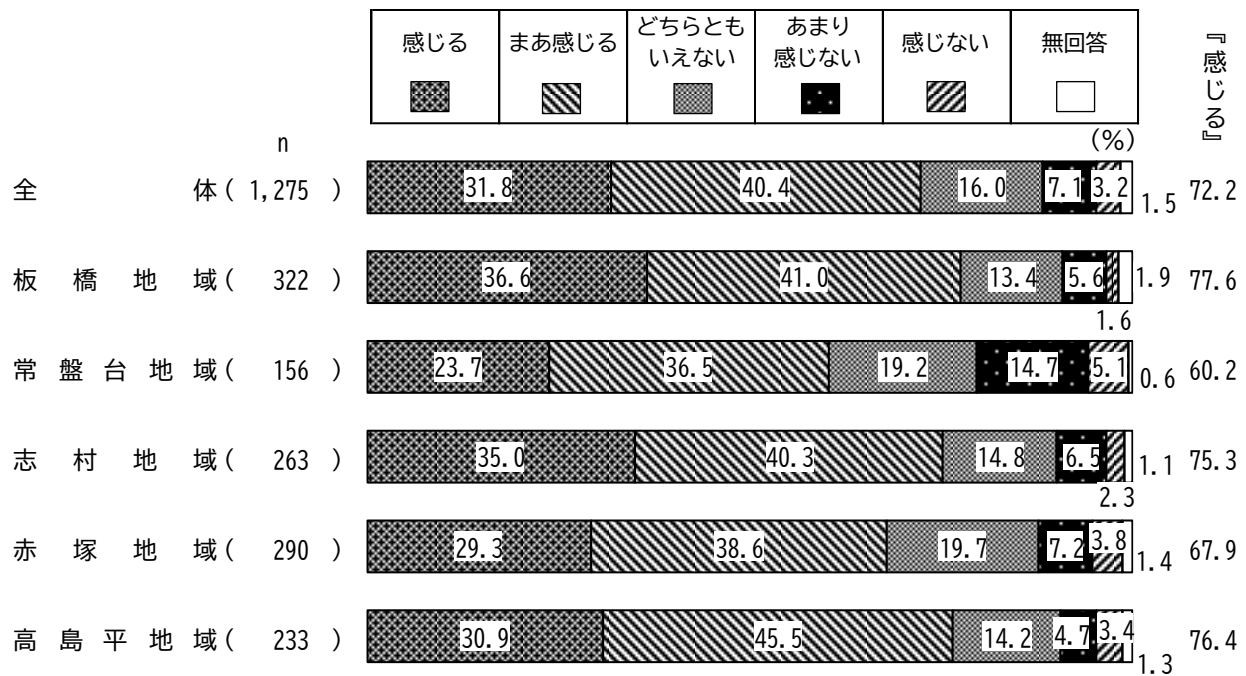
図8-22-2 電車やバスの利用しやすさ(年代別)



② 地域別

地域別でみると、『感じる』は板橋地域（77.6%）、志村地域（75.3%）、高島平地域（76.4%）で7割台となっています。（図8-22-3）

図8-22-3 電車やバスの利用しやすさ（地域別）

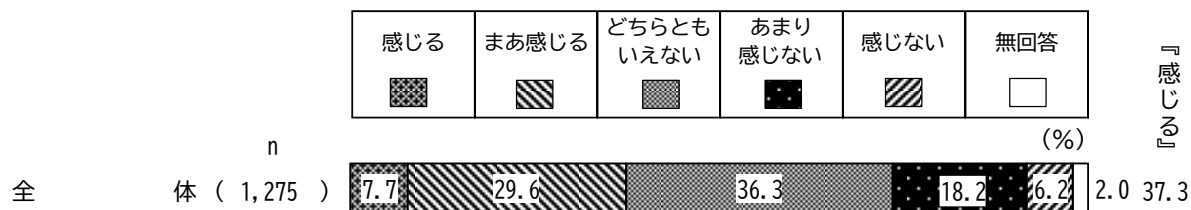


(23) 建築物等とまちなみとの調和

◇『感じる』が4割近く

問41 板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいます。あなたは、建築物等(建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など)が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。(○は1つ)

図8-23-1

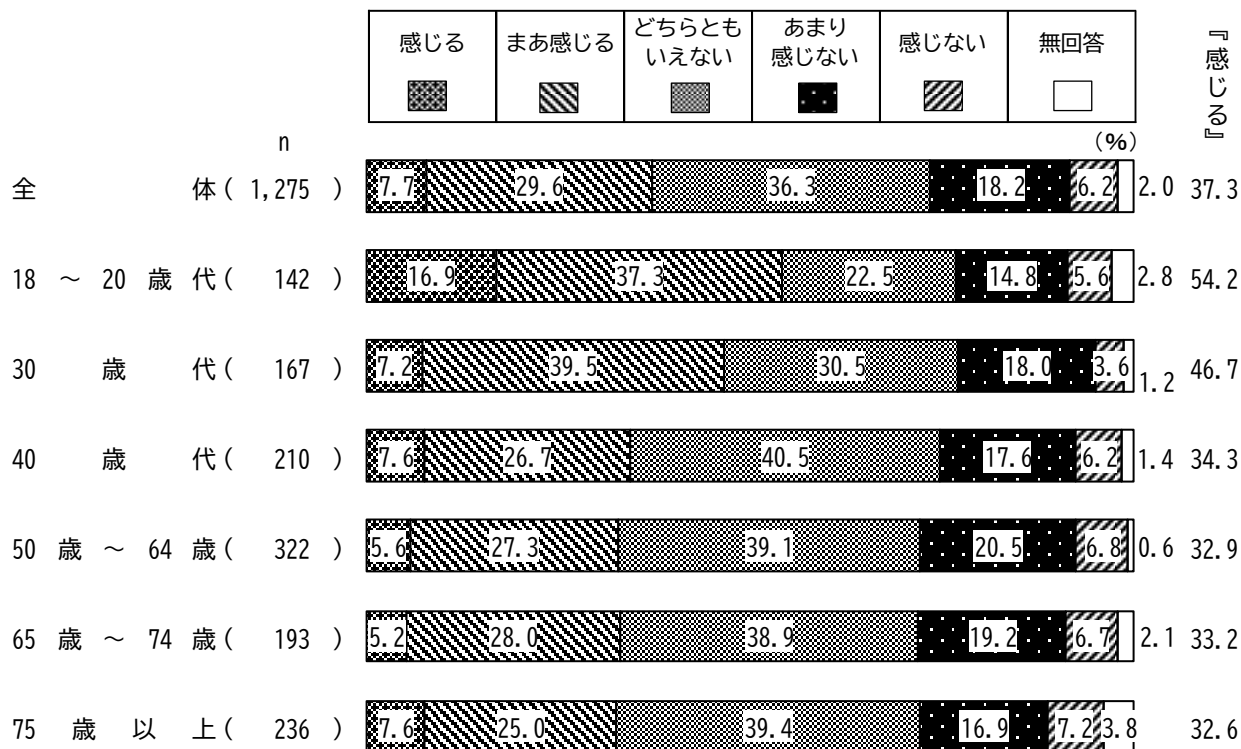


建築物等(建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など)が区のまちなみと調和して美しいと感じるかを聞いたところ、「感じる」(7.7%)と「まあ感じる」(29.6%)を合わせた『感じる』(37.3%)は4割近くとなっています。(図8-23-1)

① 年代別

年代別でみると、『感じる』は18～20歳代(54.2%)で5割半ばとなっています。(図8-23-2)

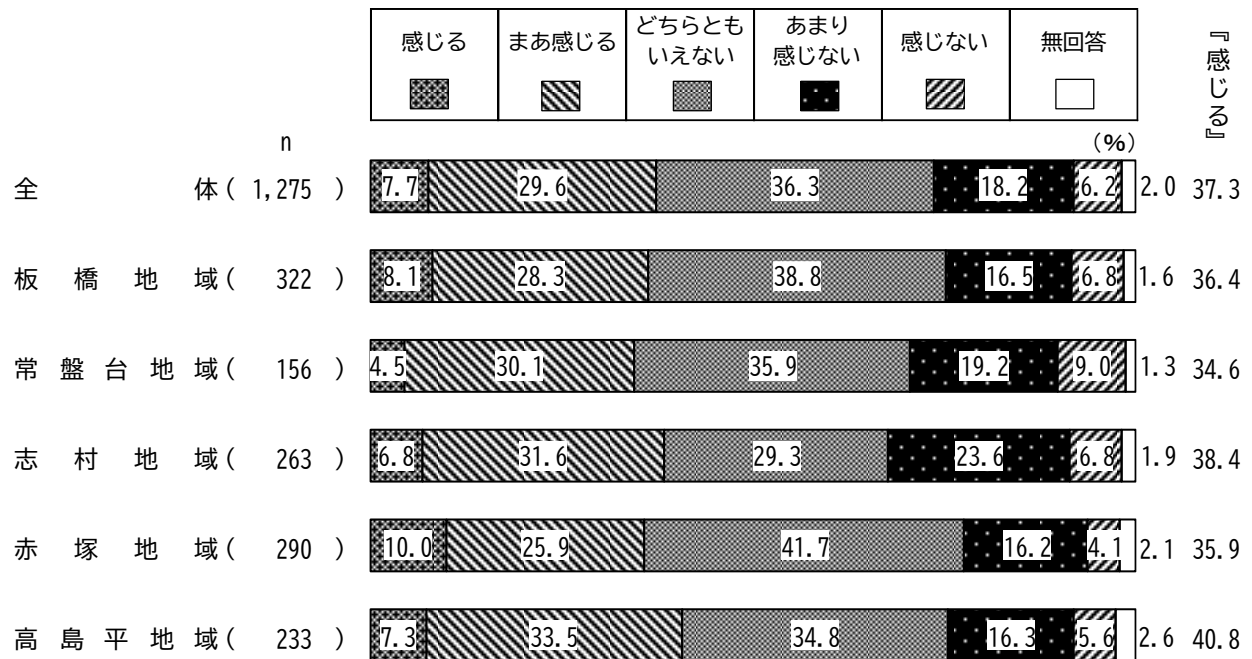
図8-23-2 建築物等とまちなみとの調和(年代別)



② 地域別

地域別でみると、『感じる』は高島平地域（40.8％）で約4割となっています。（図8－23－3）

図8－23－3 建築物等とまちなみとの調和（地域別）



(24) 自転車に乗って出かけたくなるまちの実現に不足しているもの

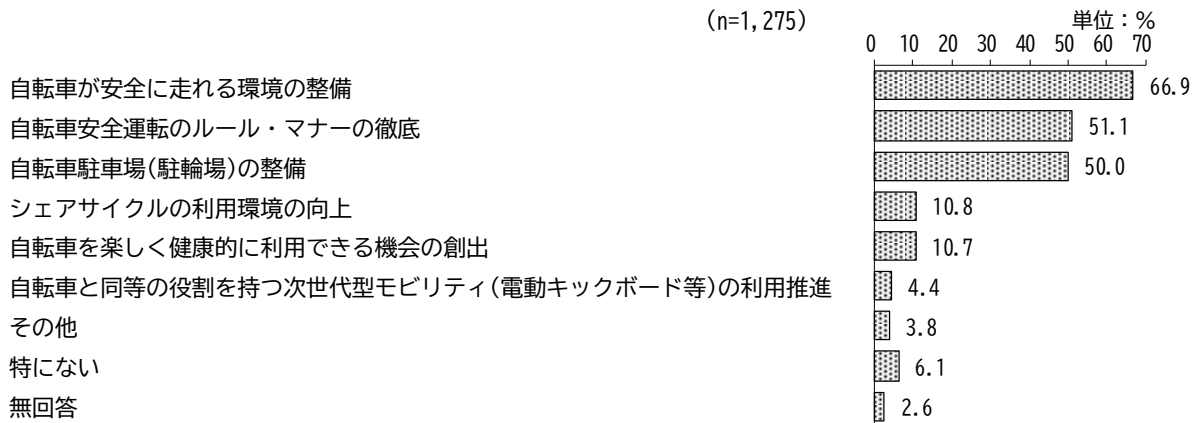
(24) 自転車に乗って出かけたくなるまちの実現に不足しているもの

◇「自転車が安全に走れる環境の整備」が6割半ば

問42 自転車に乗って出かけたくなるまちの実現に向けて何が不足していると思いますか。
(○はいくつでも)

図8-24-1

(n=1,275)



自転車に乗って出かけたくなるまちの実現に向けて何が不足しているかを聞いたところ、「自転車が安全に走れる環境の整備」(66.9%)が6割半ばで最も高く、次いで「自転車安全運転のルール・マナーの徹底」(51.1%)、「自転車駐車場(駐輪場)の整備」(50.0%)、「シェアサイクルの利用環境の向上」(10.8%)、「自転車を楽しく健康的に利用できる機会の創出」(10.7%)となっています。(図8-24-1)

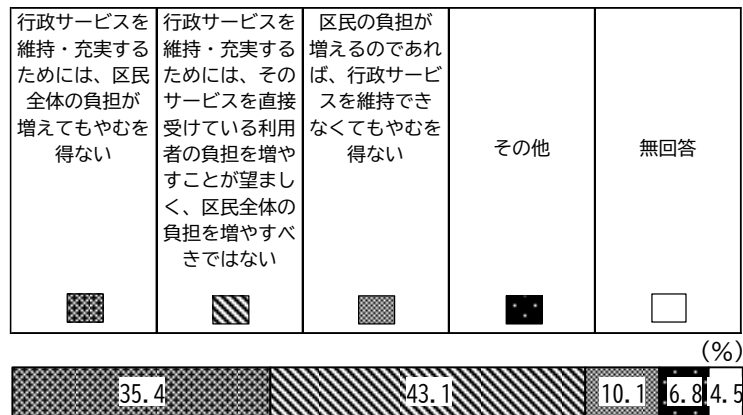
9. 今後の行政サービスと負担のあり方

(1) 行政サービスと費用負担の関係

◇「行政サービスを維持・充実するためには、そのサービスを直接受けている利用者の負担を増やすことが望ましく、区民全体の負担を増やすべきではない」が4割超え

問43 今後の行政サービスの水準と費用負担の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

図9-1-1

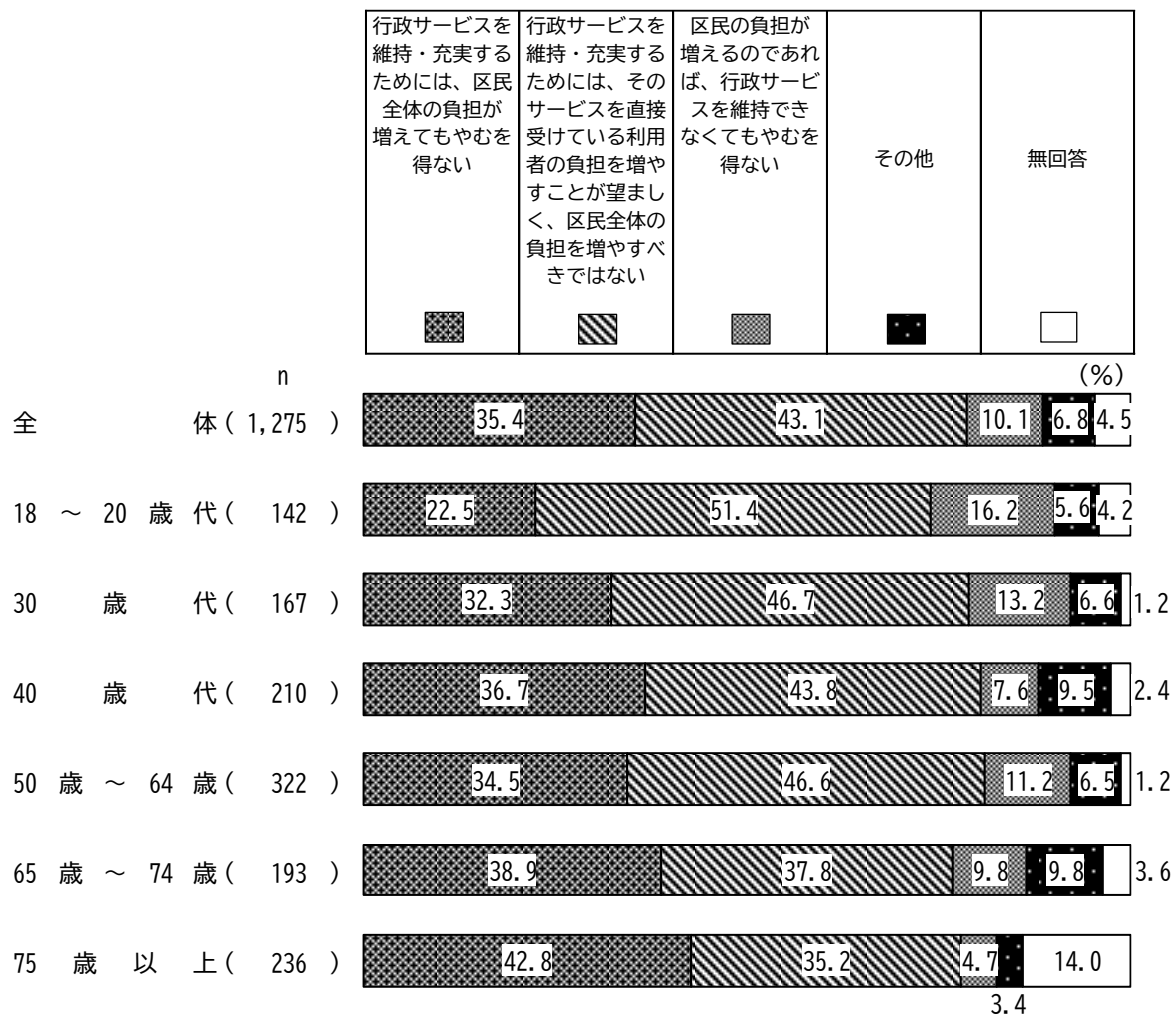


将来的な行政サービスと費用負担の関係についての考えを聞いたところ、「行政サービスを維持・充実するためには、そのサービスを直接受けている利用者のみの負担を増やすことが望ましく、区民全体の負担を増やすべきではない」(43.1%)が4割を超え、「行政サービスを維持・充実するためには、区民全体の負担が増えてもやむを得ない」(35.4%)が3割半ばとなっています。(図9-1-1)

① 年代別

年代別でみると、「行政サービスを維持・充実するためには、そのサービスを直接受けている利用者だけの負担を増やすことが望ましく、区民全体の負担を増やすべきではない」は 18～20 歳代（51.4%）が5割を超えています。「行政サービスを維持・充実するためには、区民全体の負担が増えてもやむを得ない」は 75 歳以上（42.8%）で4割を超えています。（図9－1－2）

図9－1－2 行政サービスと費用負担の関係（年代別）



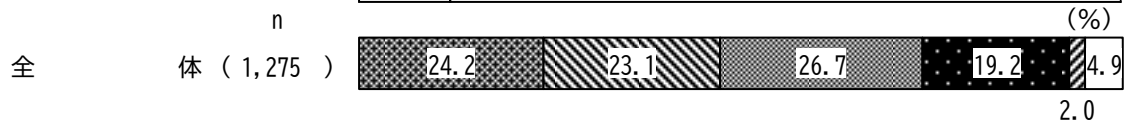
(2) 安定した行政サービスの提供に重要だと思うもの

- ◇「類似事業の整理や業務手順の効率化など、区民目線から業務の見直しを行うとともに、民間活用を積極的に進め、職員がコア業務に注力できる体制を構築することで、区民サービスの向上につなげる」、「区民や地域団体、民間事業者など、多様な主体と積極的に協力することで、幅広い行政需要に対応していく」が2割半ば

問44 板橋区は定型業務・窓口業務の委託化や指定管理者制度の導入など、民間事業者等の活用を進めてきました。これからも区が安定して行政サービスを提供していくために、あなたが重要だと思うものはどれですか。(〇は1つ)

図9-2-1

	区民や地域団体、民間事業者など、多様な主体と積極的に協力することで、幅広い行政需要に対応していく
	AIの活用など、DXによる事務の効率化を進め、より効果的な事業実施手法への転換を図ることで区民サービスの維持・向上につなげ、創出された職員の力を効果的に活用する
	類似事業の整理や業務手順の効率化など、区民目線から業務の見直しを行うとともに、民間活用を積極的に進め、職員がコア業務に注力できる体制を構築することで、区民サービスの向上につなげる
	優秀な人材確保のため、職員の人材育成や能力開発を行うとともに、短時間勤務やテレワーク等、柔軟で多様な働き方を推進するなど、誰もが働きやすい就業環境を整備する
	その他
	無回答

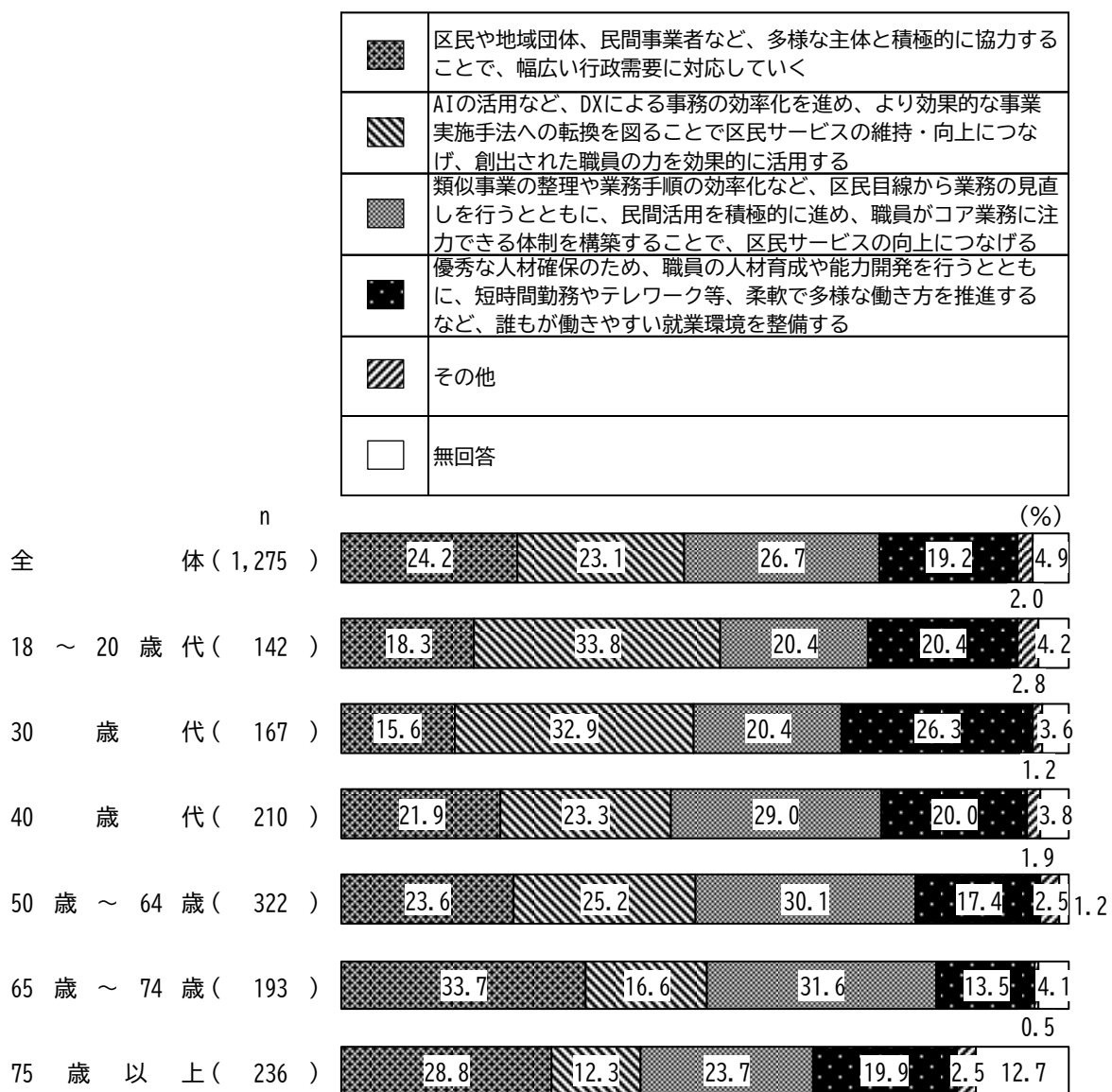


安定した行政サービスの提供に重要だと思うものを聞いたところ、「類似事業の整理や業務手順の効率化など、区民目線から業務の見直しを行うとともに、民間活用を積極的に進め、職員がコア業務に注力できる体制を構築することで、区民サービスの向上につなげる」(26.7%)、「区民や地域団体、民間事業者など、多様な主体と積極的に協力することで、幅広い行政需要に対応していく」(24.2%)が2割半ばとなっています。「AIの活用など、DXによる事務の効率化を進め、より効果的な事業実施手法への転換を図ることで区民サービスの維持・向上につなげ、創出された職員の力を効果的に活用する」(23.1%)は2割を超えています。「優秀な人材確保のため、職員の人材育成や能力開発を行うとともに、短時間勤務やテレワーク等、柔軟で多様な働き方を推進し、誰もが働きやすい職場環境の整備をする」(19.2%)は約2割となっています。(図9-2-1)

① 年代別

年代別でみると、「類似事業の整理や業務手順の効率化など、区民目線から業務の見直しを行うとともに、民間活用を積極的に進め、職員がコア業務に注力できる体制を構築することで、区民サービスの向上につなげる」は50歳～64歳(30.1%)、65歳～74歳(31.6%)で3割台、それらを除くすべての年代は2割台となっています。「区民や地域団体、民間事業者など、多様な主体と積極的に協力することで、幅広い行政需要に対応していく」は65歳～74歳(33.7%)で3割を超えています。「AIの活用など、DXによる事務の効率化を進め、より効果的な事業実施手法への転換を図ることで区民サービスの維持・向上につなげ、創出された職員の力を効果的に活用する」は30歳代以下のすべての年代で3割を超えている一方、65歳以上の全ての年代では1割台にとどまっています。(図9-2-2)

図9-2-2 安定した行政サービスの提供に重要だと思うもの(年代別)

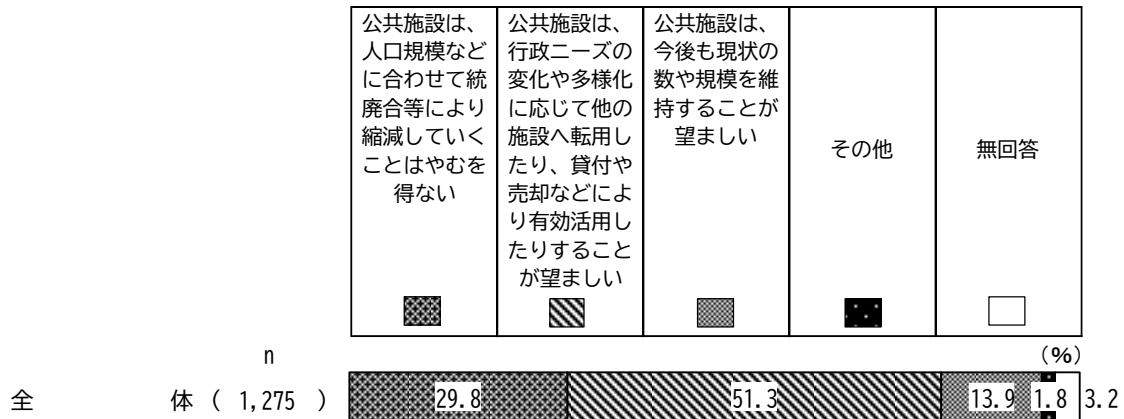


(3) 今後の公共施設の在り方についての考え

◇「公共施設は、行政ニーズの変化や多様化に応じて他の施設へ転用したり、貸付や売却などにより有効活用したりすることが望ましい」が5割超え

問45 板橋区の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後、多額の更新費用を要することが見込まれます。今後の公共施設のあり方について、あなたが重要だと思うものはどれですか。(〇は1つ)

図9-3-1



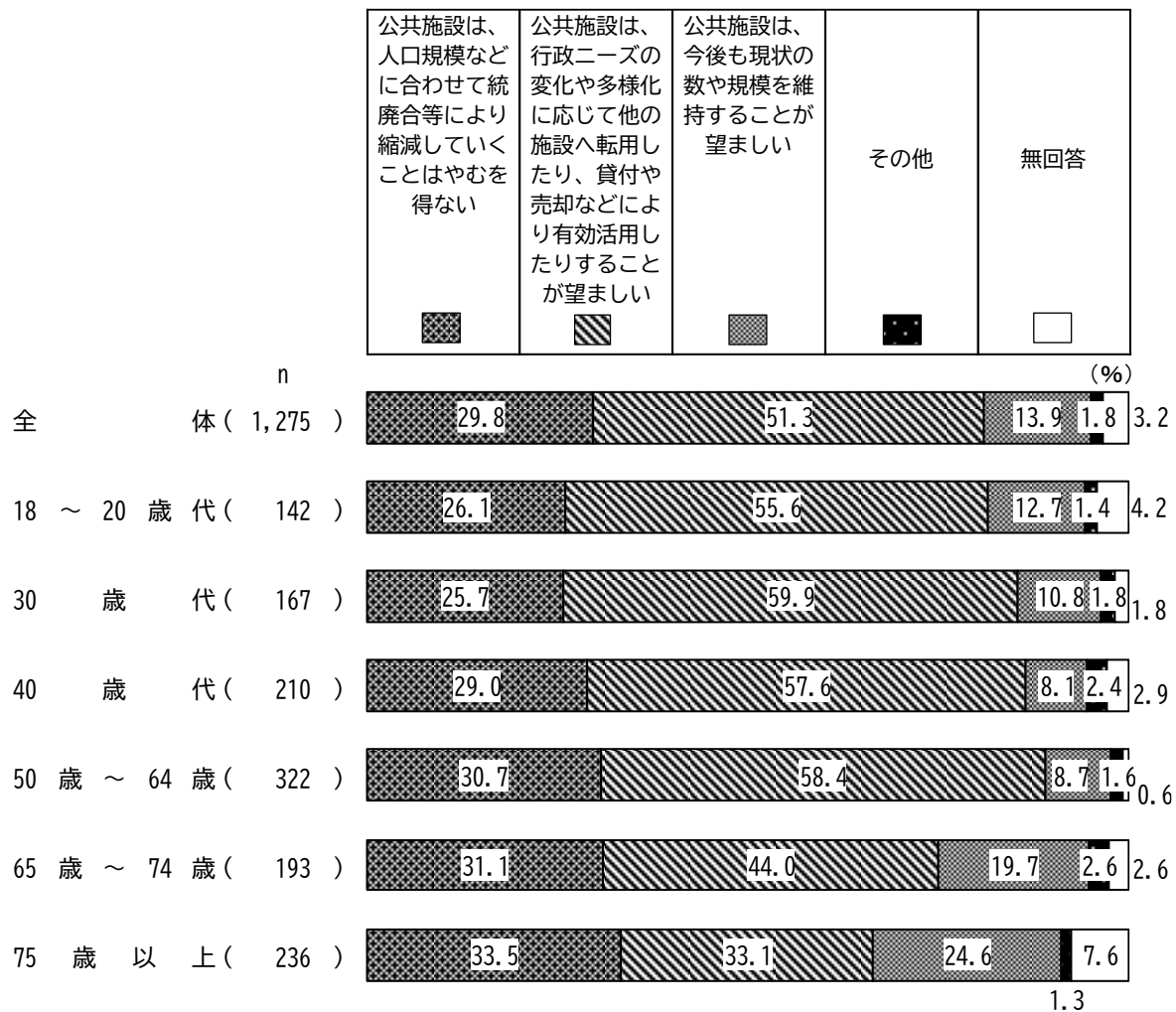
今後の公共施設の在り方についての考えを聞いたところ、「公共施設は、行政ニーズの変化や多様化に応じて他の施設へ転用したり、貸付や売却などにより有効活用したりすることが望ましい」(51.3%) が5割を超えています。「公共施設は、人口規模などに合わせて統廃合等により縮減していくことはやむを得ない」(29.8%) が約3割となっています。「公共施設は、今後も現状の数や規模を維持することが望ましい」(13.9%) は1割を超えるにとどまっています。(図9-3-1)

① 年代別

年代別でみると、「公共施設は、行政ニーズの変化や多様化に応じて他の施設へ転用したり、貸付や売却などにより有効活用したりすることが望ましい」は 64 歳以下のすべての年代で5割台となっています。「公共施設は、人口規模などに合わせて統廃合等により縮減していくことはやむを得ない」は 50 歳以上のすべての年代で3割台、40 歳代以下のすべての年代で2割台となっています。

「公共施設は、今後も現状の数や規模を維持することが望ましい」は 75 歳以上 (24.6%) で2割半ばとなっています。(図9-3-2)

図9-3-2 今後の公共施設の在り方についての考え (年代別)



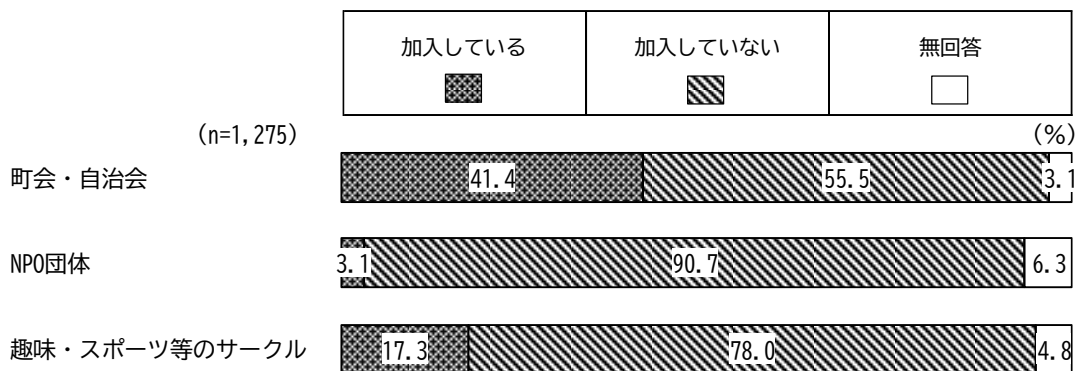
10. 社会活動・地域活動等

(1) 社会活動・地域活動等への加入状況

◇町会・自治会に「加入している」が4割超え

問46 あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。加入状況について該当するものをそれぞれ選び、番号に○印をつけてください。また、「2 加入していない」と回答した方はその主な理由を3つ選び、下の表に番号を記入してください。(○は3つ)

図10-1-1



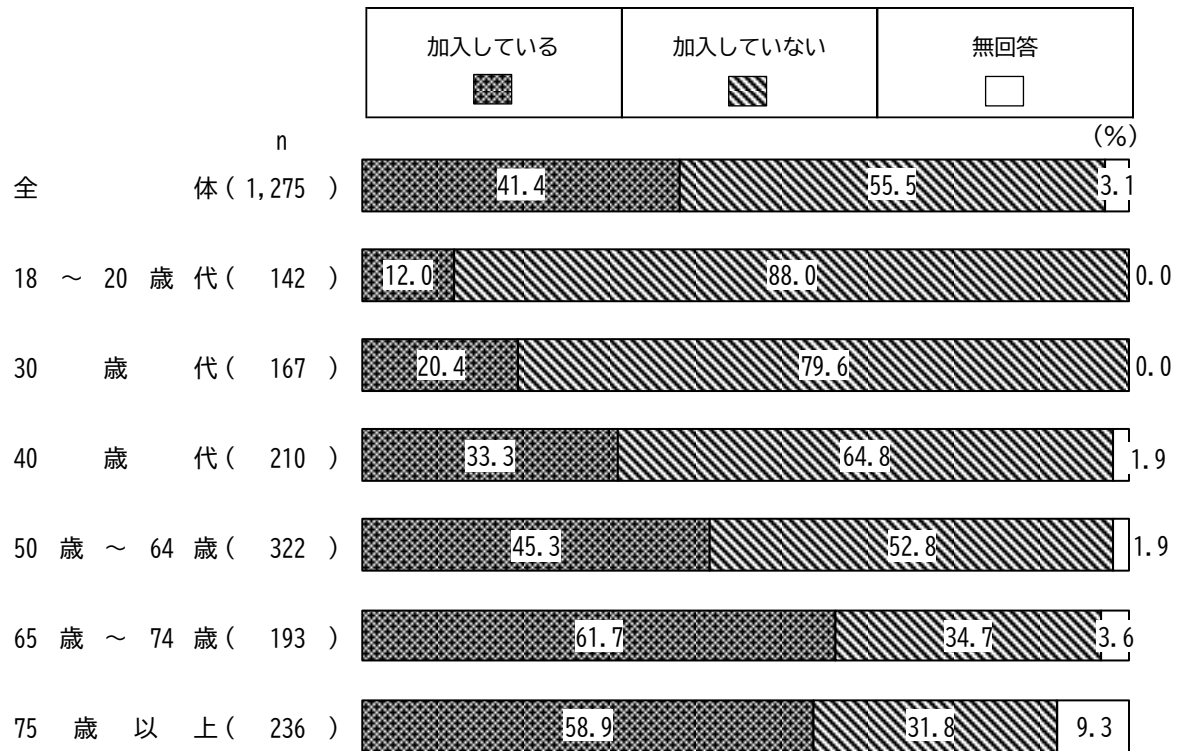
現在、地域で活動する団体やサークルへ加入しているかを聞いたところ、「加入している」は町会・自治会（41.4%）が4割超え、「趣味・スポーツ等のサークル」（17.3%）が2割近くとなっています。一方、「加入していない」はNPO団体（90.7%）が約9割となっています。（図10-1-1）

【町会・自治会】

① 年代別

町会・自治会への加入状況を年代別でみると、「加入している」は65歳～74歳（61.7%）、75歳以上（58.9%）で6割前後となっています。一方、「加入していない」は18～20歳代（88.0%）で9割近く、30歳代（79.6%）で約8割となっています。（図10-1-2）

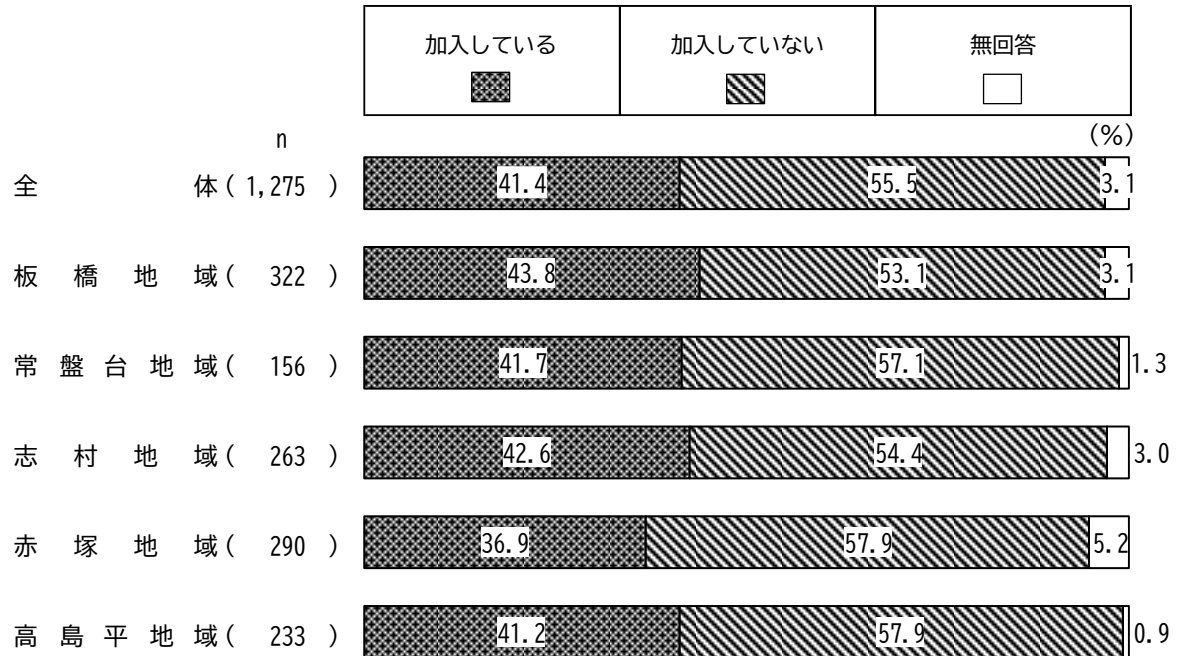
図10-1-2 町会・自治会への加入状況（年代別）



② 地域別

町会・自治会への加入状況を地域別でみると、「加入している」は赤塚地域以外のすべての地域で4割台となっています。(図10-1-3)

図10-1-3 町会・自治会への加入状況(地域別)



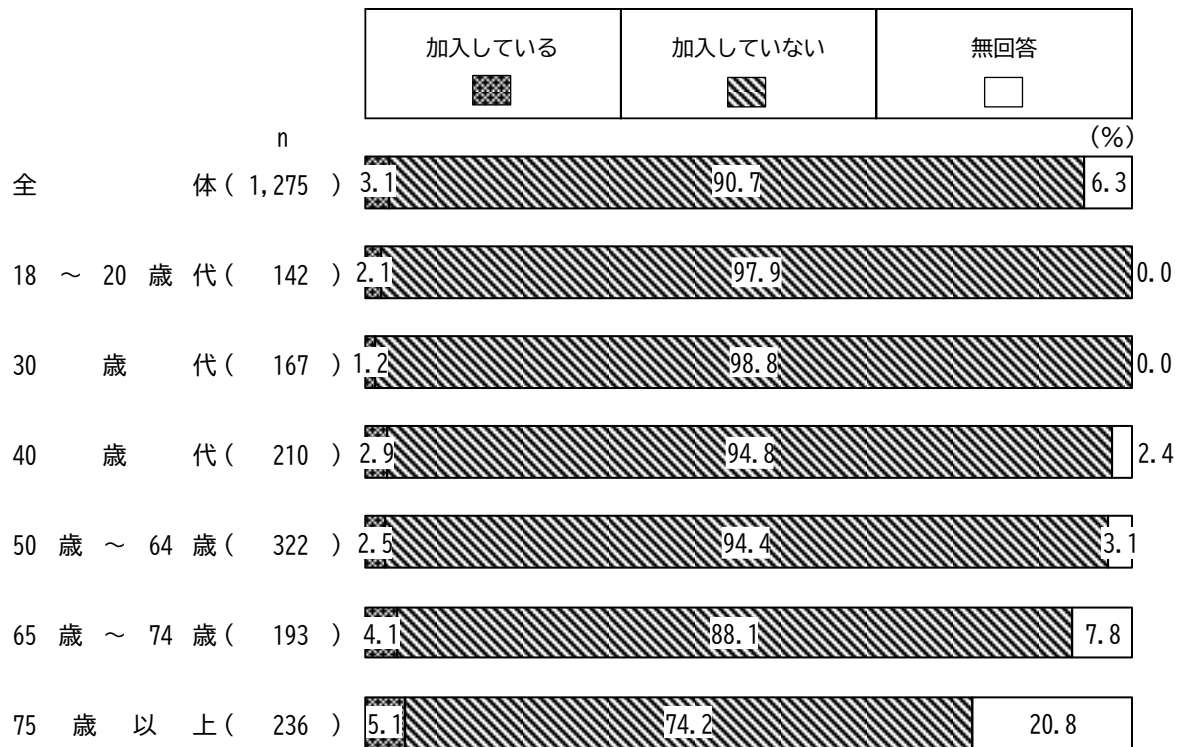
【NPO団体】

① 年代別

NPO団体への加入状況を年代別でみると、「加入していない」は64歳以下のすべての年代で9割台、65歳～74歳（88.1%）で9割近く、75歳以上（74.2%）で7割半ばとなっています。

（図10－1－4）

図10－1－4 NPO団体への加入状況（年代別）

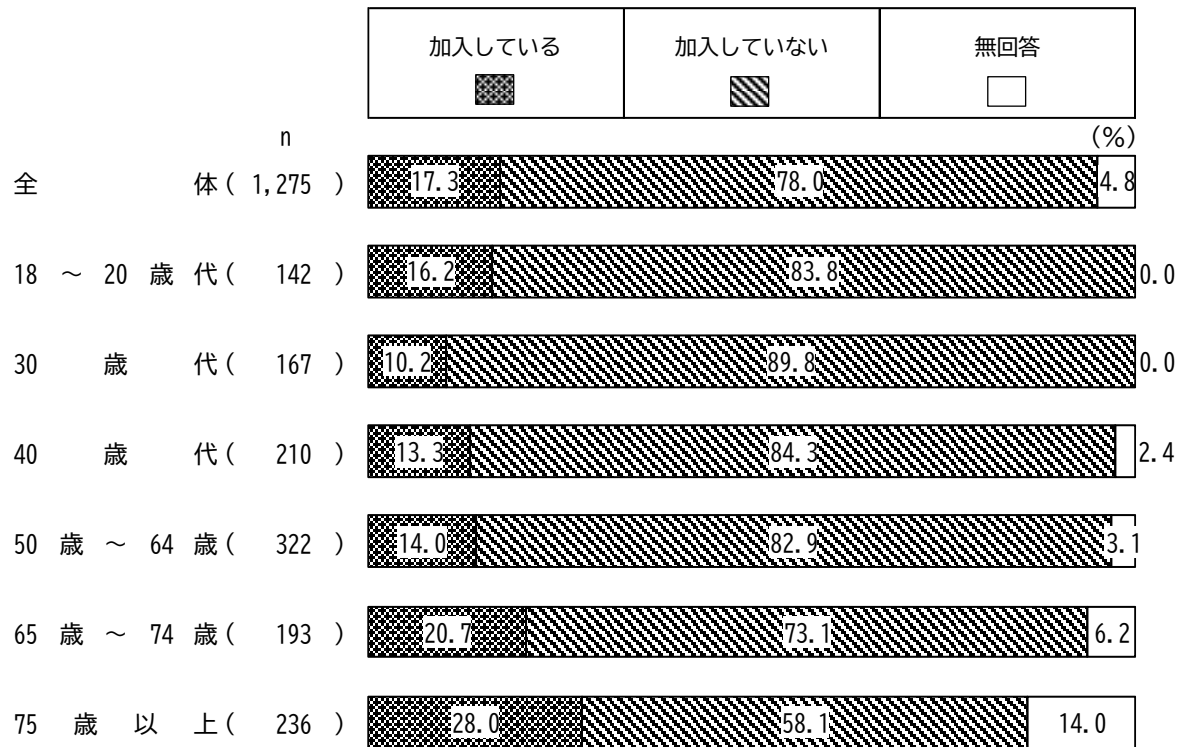


【趣味・スポーツ等のサークル】

① 年代別

趣味・スポーツ等のサークルへの加入状況を年代別でみると、「加入している」は75歳以上(28.0%)で3割近く、65歳～74歳(20.7%)で約2割となっています。一方、「加入していない」は30歳代(89.8%)で9割近くとなっています。(図10-1-5)

図10-1-5 趣味・スポーツ等のサークルへの加入状況(年代別)



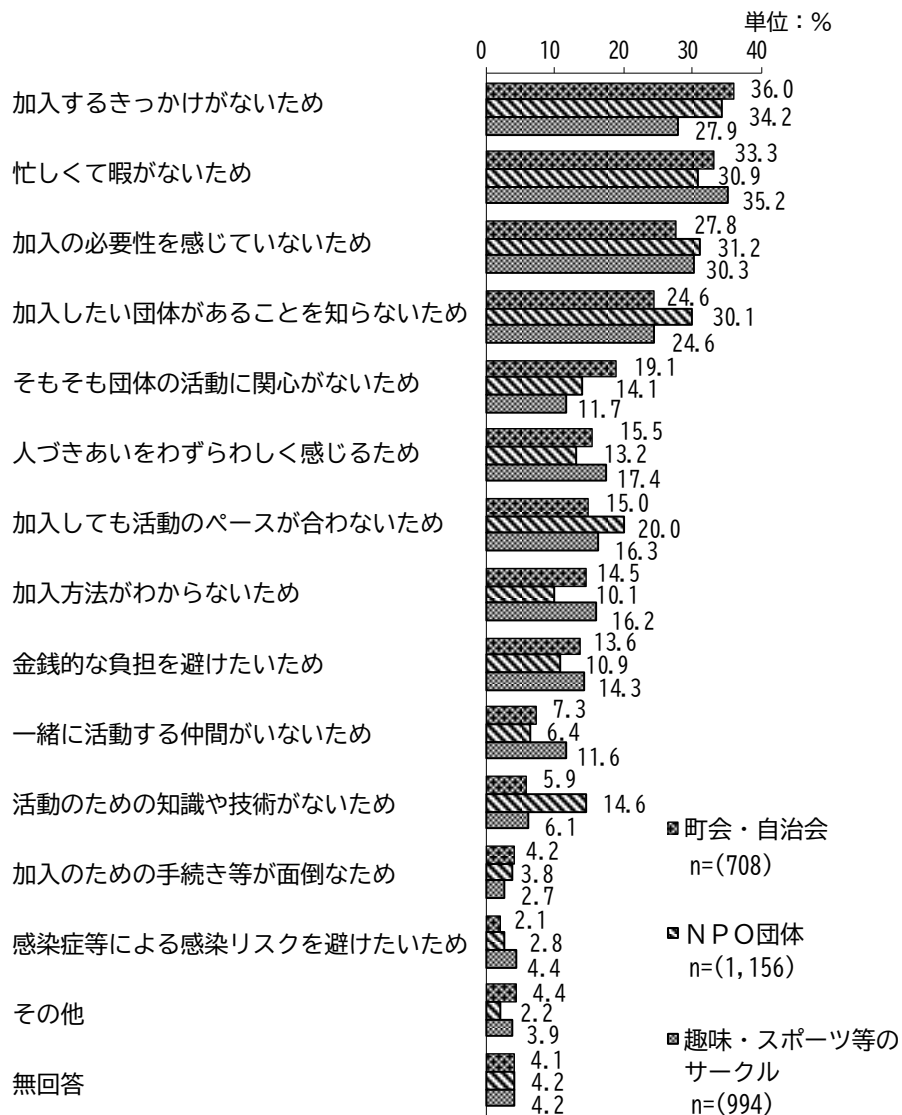
(1-1) 地域で活動する団体・サークルに加入していない理由

◇「加入するきっかけがないため」が町内・自治会、趣味・スポーツ等のサークルで3割半ば、NPO団体で3割近く

(問46で「2 加入していない」と回答した方のみ)

問46-1 「2 加入していない」と回答した方はその主な理由を3つまで選び、下の表に番号を記入してください。

図10-1-6



問46で、地域で活動する団体やサークルそれぞれに、「加入していない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「加入するきっかけがないため」は町会・自治会(36.0%)、NPO団体(34.2%)で3割台、趣味・スポーツ等のサークル(27.9%)で3割近くとなっています。「忙しくて暇がないため」は町会・自治会(33.3%)、NPO団体(30.9%)、趣味・スポーツ等のサークル(35.2%)で3割台となっています。「加入の必要性を感じていないため」は町会・自治会(27.8%)で3割近く、NPO団体(31.2%)で3割超え、趣味・スポーツ等のサークル(30.3%)で3割となっています。(図10-1-6)

【町会・自治会】

① 年代別

年代別でみると、「加入するきっかけがないため」は30歳代(41.4%)、50歳～64歳(35.9%)、65歳～74歳(34.3%)で第1位となっています。「忙しくて暇がないため」は18～20歳代(36.8%)、40歳代(43.4%)で第1位となっています。「加入の必要性を感じないため」は75歳以上(28.0%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「そもそも団体の活動に関心がないため」は75歳以上(22.7%)で第3位となっています。「金銭的な負担を避けたいため」は18～20歳代(24.0%)で第4位となっています。「加入しても活動のペースが合わないため」は50歳～64歳(18.8%)、75歳以上(18.7%)で第5位となっています。「人づきあいをわずらわしく感じるため」は40歳代(16.9%)で第5位となっています(表10-1-7)

表10-1-7 町会・自治会に加入していない理由(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		708	加入するきっかけがないため 36.0	忙しくて暇がないため 33.3	加入の必要性を感じていないため 27.8	加入したい団体があることを知らないため 24.6	加入方法がわからないため 19.1
年 代 別	18～20歳代	125	忙しくて暇がないため 36.8	加入するきっかけがないため 35.2	加入の必要性を感じていないため 28.0	金銭的な負担を避けたいため 24.0	加入したい団体があることを知らないため 23.2
	30歳代	133	加入するきっかけがないため 41.4	忙しくて暇がないため 34.6	加入したい団体があることを知らないため 28.6	加入の必要性を感じていないため 27.8	加入方法がわからないため 24.8
	40歳代	136	忙しくて暇がないため 43.4	加入するきっかけがないため 39.0	加入の必要性を感じていないため 27.9	加入したい団体があることを知らないため 25.0	人づきあいをわずらわしく感じるため 16.9
	50歳～64歳	170	加入するきっかけがないため 35.9	忙しくて暇がないため 35.3	加入の必要性を感じていないため 28.8	加入したい団体があることを知らないため 22.4	加入しても活動のペースが合わないため 18.8
	65歳～74歳	67	加入するきっかけがないため 34.3	加入したい団体があることを知らないため 29.9	加入の必要性を感じていないため 25.4	加入方法がわからないため 20.9	忙しくて暇がないため 17.9
	75歳以上	75	加入の必要性を感じていないため 28.0	加入するきっかけがないため 25.3	そもそも団体の活動に関心がないため 22.7	加入したい団体があることを知らないため 20.0	加入方法がわからないため/加入しても活動のペースが合わないため 18.7

【NPO団体】

① 年代別

年代別でみると、「加入するきっかけがないため」は65歳～74歳（38.8%）で第1位となっています。「加入の必要性を感じていないため」は75歳以上（30.3%）で第1位となっています。「忙しくて暇がないため」は64歳以下のすべての年代で第1位となっています。

その他の特徴として、「活動のための知識や技術がないため」は75歳以上で（29.1%）で第3位、65歳～74歳（21.8%）で第4位となっています。「金銭的な負担を避けたいため」は18～20歳代（20.1%）で第5位となっています。（表10-1-8）

表10-1-8 NPO団体に加入していない理由（年代別）

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		1,156	加入するきっかけがないため 34.2	加入の必要性を感じていないため 31.2	忙しくて暇がないため 30.9	加入したい団体があることを知らないため 30.1	そもそも団体の活動に関心がないため 20.0
年 代 別	18～20歳代	139	忙しくて暇がないため 36.7	加入するきっかけがないため 33.8	加入の必要性を感じていないため/加入したい団体があることを知らないため 28.1		金銭的な負担を避けたいため 20.1
	30歳代	165	忙しくて暇がないため 38.8	加入するきっかけがないため 32.7	加入の必要性を感じていないため 32.1	加入したい団体があることを知らないため 23.0	そもそも団体の活動に関心がないため 21.8
	40歳代	199	忙しくて暇がないため 37.2	加入するきっかけがないため 35.2	加入の必要性を感じていないため 33.7	加入したい団体があることを知らないため 30.2	そもそも団体の活動に関心がないため 21.6
	50歳～64歳	304	忙しくて暇がないため 37.8	加入するきっかけがないため 35.2	加入したい団体があることを知らないため 34.2	加入の必要性を感じていないため 28.6	そもそも団体の活動に関心がないため 20.1
	65歳～74歳	170	加入するきっかけがないため 38.8	加入の必要性を感じていないため 35.9	加入したい団体があることを知らないため 32.4	活動のための知識や技術がないため 21.8	忙しくて暇がないため 19.4
	75歳以上	175	加入の必要性を感じていないため 30.3	加入したい団体があることを知らないため 29.7	加入するきっかけがないため/活動のための知識や技術がないため 29.1		そもそも団体の活動に関心がないため 20.6

【趣味・スポーツ等のサークル】

① 年代別

年代別でみると、「忙しくて暇がないため」は50歳～64歳以下のすべての年代で第1位となっています。「加入の必要性を感じていないため」は65歳～74歳(35.5%)、75歳以上(38.0%)で第1位となっています。「加入するきっかけがないため」は65歳～74歳(35.5%)で第1位となっています。

その他の特徴として、「金銭的な負担を避けたいため」は18～20歳代(26.1%)で第2位、50歳～64歳(20.2%)で第5位となっています。「一緒に活動する仲間がいないため」は75歳以上(22.6%)で第3位となっています。「人づきあいをわずらわしく感じるため」は65歳～74歳(22.0%)で第4位となっています。「加入しても活動のペースが合わないため」は50歳～64歳(20.2%)で第5位となっています。(表10-1-9)

表10-1-9 趣味・スポーツ等のサークルに加入していない理由(年代別)

(%)

		n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		994	忙しくて暇がないため 35.2	加入の必要性を感じていないため 30.3	加入するきっかけがないため 27.9	加入したい団体があることを知らないため 24.6	人づきあいをわずらわしく感じるため 17.4
年 代 別	18～20歳代	119	忙しくて暇がないため 37.0	金銭的な負担を避けたいため 26.1	加入の必要性を感じていないため/加入するきっかけがないため 24.4	加入したい団体があることを知らないため 23.5	
	30歳代	150	忙しくて暇がないため 44.7	加入するきっかけがないため 27.3	加入の必要性を感じていないため 25.3	加入したい団体があることを知らないため 22.7	加入方法がわからないため 17.3
	40歳代	177	忙しくて暇がないため 46.3	加入の必要性を感じていないため 31.1	加入するきっかけがないため 27.7	加入したい団体があることを知らないため 24.9	そもそも団体の活動に関心がないため 18.1
	50歳～64歳	267	忙しくて暇がないため 38.6	加入の必要性を感じていないため 28.8	加入するきっかけがないため 28.1	加入したい団体があることを知らないため 27.0	金銭的な負担を避けたいため/加入しても活動のペースが合わないため 20.2
	65歳～74歳	141	加入の必要性を感じていないため/加入するきっかけがないため 35.5		加入したい団体があることを知らないため 30.5	人づきあいをわずらわしく感じるため 22.0	忙しくて暇がないため 19.9
	75歳以上	137	加入の必要性を感じていないため 38.0	加入するきっかけがないため 24.1	一緒に活動する仲間がいないため 22.6	そもそも団体の活動に関心がないため 21.2	忙しくて暇がないため 19.0

(2) 地域の活動を活発にするために必要なこと

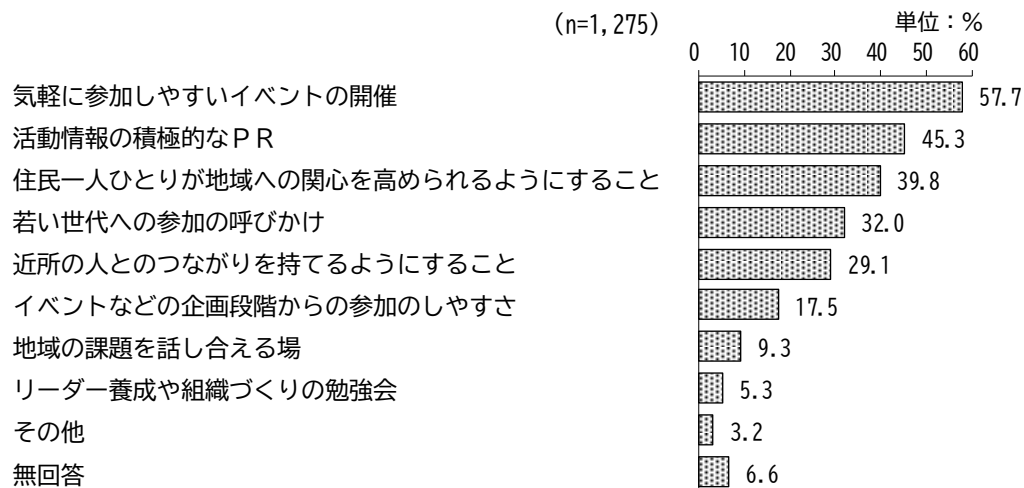
◇「気軽に参加しやすいイベントの開催」が6割近く

問47 あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。

(○は3つ)

図10-2-1

(n=1,275)



地域の活動を活発にするために必要なことを聞いたところ、「気軽に参加しやすいイベントの開催」(57.7%)が6割近くで最も高く、次いで「活動情報の積極的なPR」(45.3%)、「住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること」(39.8%)、「若い世代への参加の呼びかけ」(32.0%)、「近所の人とのつながりを持てるようにすること」(29.1%)となっています。(図10-2-1)

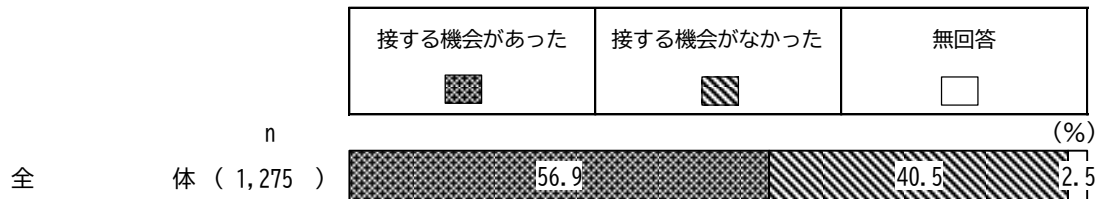
11. 板橋区職員に期待する能力・資質

(1) 最近1年間での職員と接する機会の有無

◇「接する機会があった」が5割半ば

問48 あなたは過去1年間で、区役所の窓口(電話含む)を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接したりする機会がありましたか。(○は1つ)

図11-1-1



過去1年間で職員と接する機会があったかを聞いたところ、「接する機会があった」(56.9%)が5割半ば、「接する機会がなかった」(40.5%)が約4割となっています。(図11-1-1)

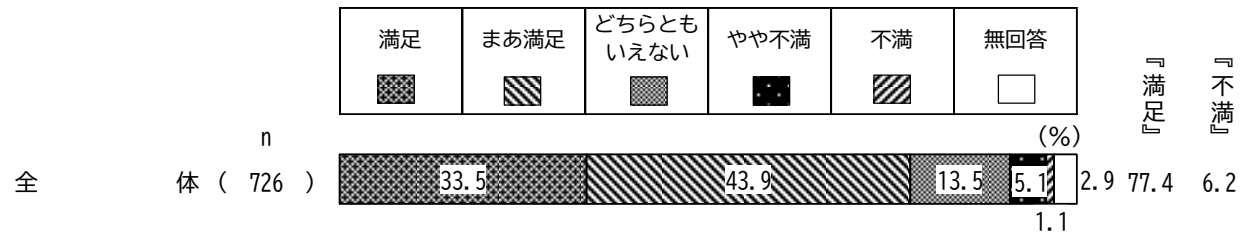
(1-1) 職員の対応に対する満足度

◇『満足』が8割近く

(問48で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

問48-1 その際に接した職員の対応に関する満足度についてお答えください。(○は1つ)

図11-1-2



問48で、過去1年間で、区役所の窓口(電話含む)、もしくは地域活動やイベント等で職員と「接する機会があった」と答えた人(726人)に、その際の職員の対応に関する満足度を聞いたところ、「満足」(33.5%)と「まあ満足」(43.9%)を合わせた『満足』(77.4%)が8割近くとなっています。一方、「不満」(1.1%)と「やや不満」(5.1%)を合わせた『不満』(6.2%)は1割未満となっています。(図11-1-2)

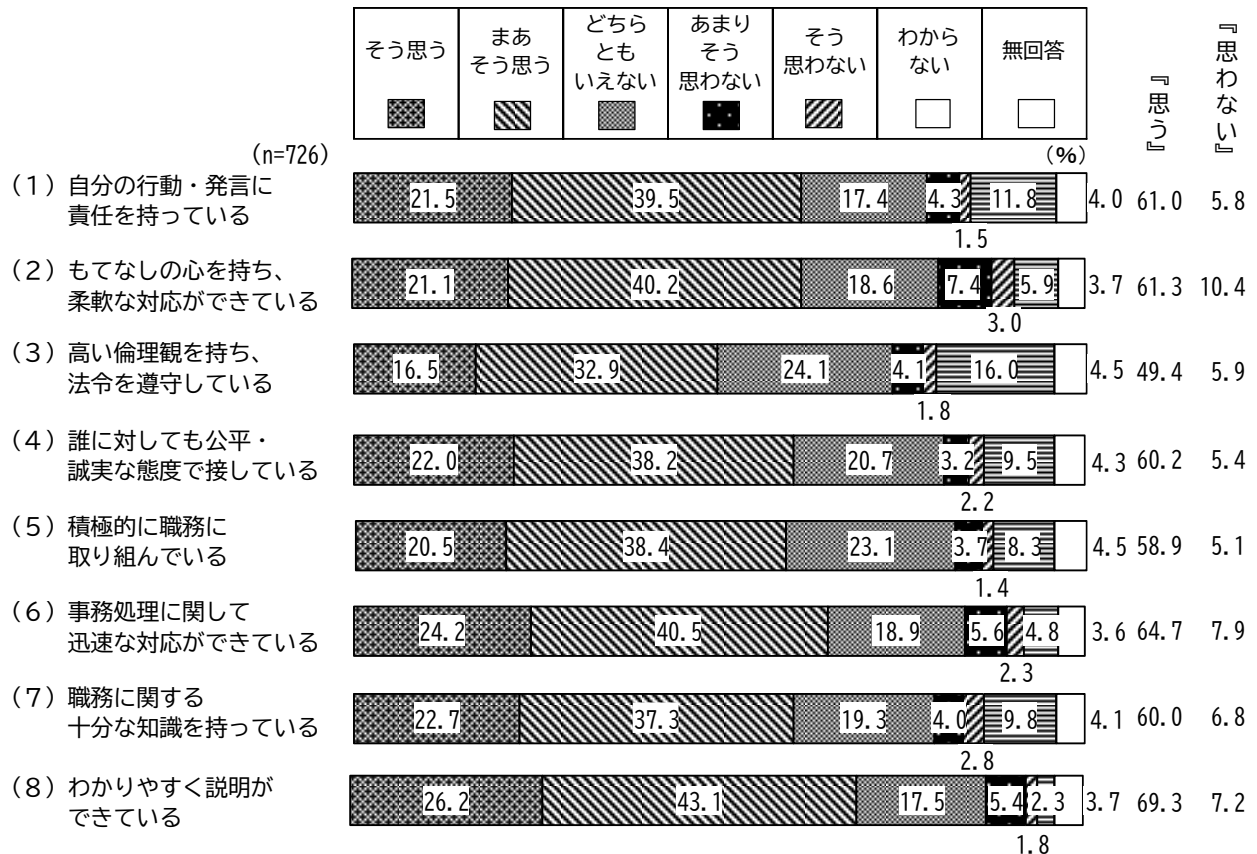
(1-2) 職員の能力・資質の現状評価

◇「わかりやすく説明ができています」が約7割

(問48で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

問48-2 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

図11-1-3



問48で、過去1年間で、区役所の窓口（電話含む）、もしくは地域活動やイベント等で職員と「接する機会があった」と答えた人（726人）に、板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思うか、8項目に分けて聞いたところ、「思う」と「まあ思う」を合わせた『思う』は（8）わかりやすく説明ができています（69.3%）が約7割、（2）もてなしの心を持ち、柔軟な対応ができています（61.3%）、（4）誰に対しても公平・誠実な態度で接している（60.2%）、（7）職務に関する十分な知識を持っている（60.0%）が6割台となっています。（図11-1-3）

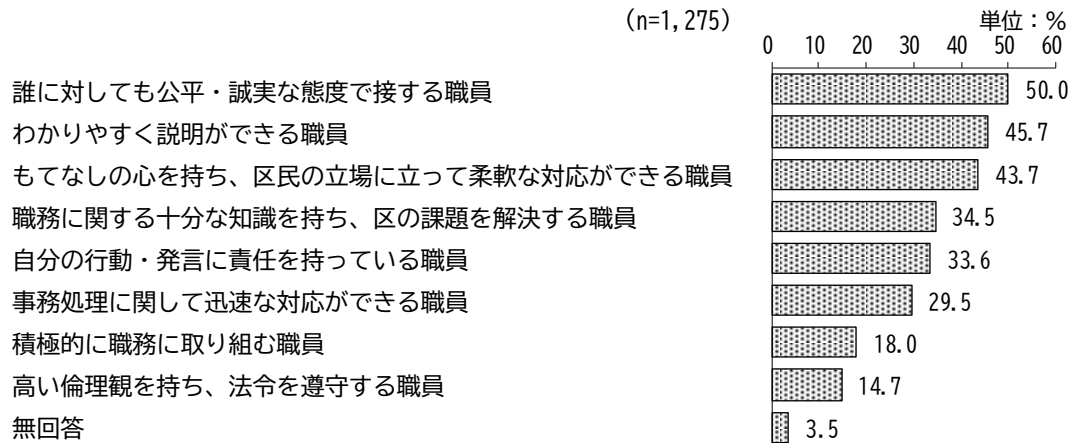
(2) 職員に求める姿

◇「誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員」が5割

問49 あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。(○は3つ)

図11-2-1

(n=1,275)



特に求める板橋区職員の姿を聞いたところ、「誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員」(50.0%)が5割で最も高く、次いで「わかりやすく説明ができる職員」(45.7%)、「もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員」(43.7%)、「職務に関する十分な知識を持ち、区の課題を解決する職員」(34.5%)、「自分の行動・発言に責任を持っている職員」(33.6%)となっています。(図11-2-1)

第3章 分析

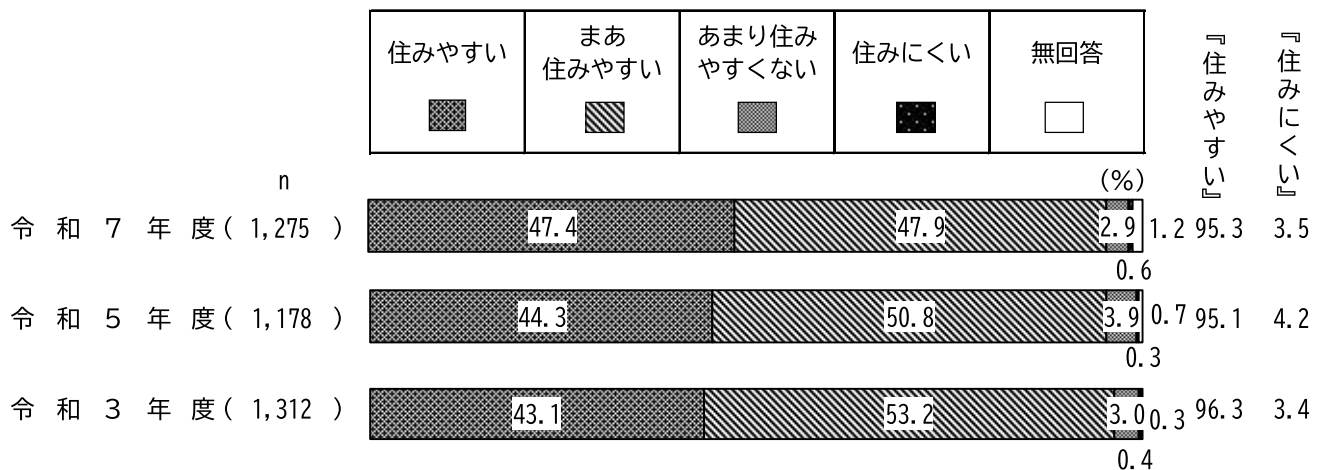
1. 過去の調査との比較

(1) 区での住み心地

① 住みやすさ

板橋区の住みやすさについて、『住みやすい』(95.3%)は令和5年度より0.2ポイント増加しており、「住みやすい」(47.4%)も2.9ポイント増加しています。『住みにくい』(3.5%)は0.7ポイント減少しています。(図1-1-1)

図1-1-1 住みやすさ(経年変化)

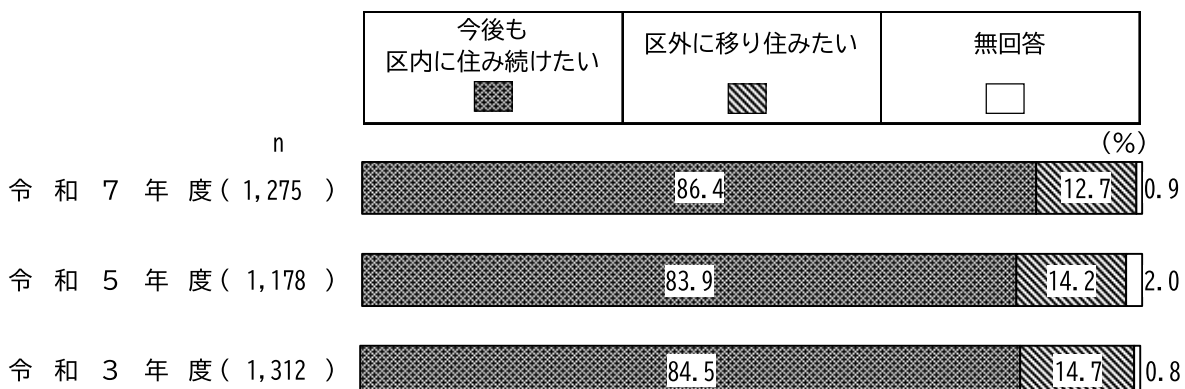


② 定住意向

板橋区の定住意向について、「今後も区内に住み続けたい」(86.4%)は令和5年度より2.5ポイント増加しており、「区外に移り住みたい」(12.7%)は2.5ポイント減少しています。

(図1-2-1)

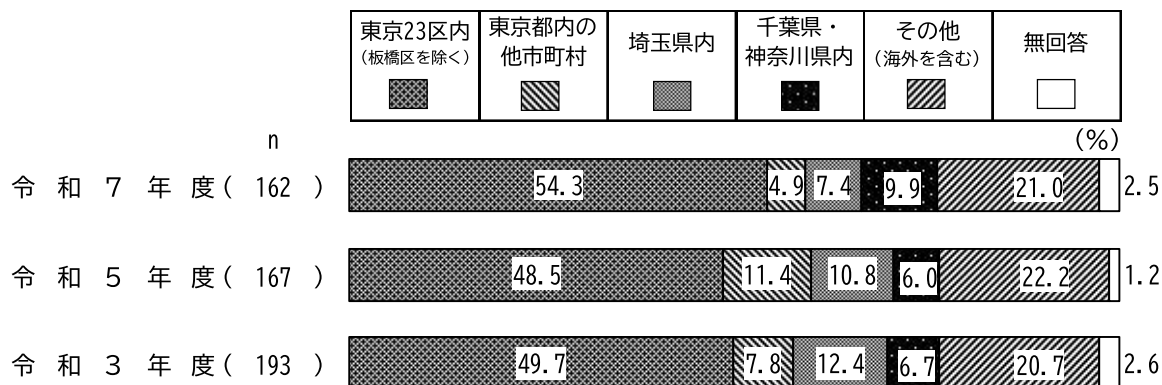
図1-2-1 定住意向(経年変化)



③ 区外に移り住むとしたら住みたい地域

区外に移り住むとしたら住みたい地域について、「東京 23 区内（板橋区を除く）」（54.3%）は令和5年度より 5.8 ポイント増加しています。一方、「東京都内の他市町村」（4.9%）は 6.5 ポイント減少しています。（図 1－3－1）

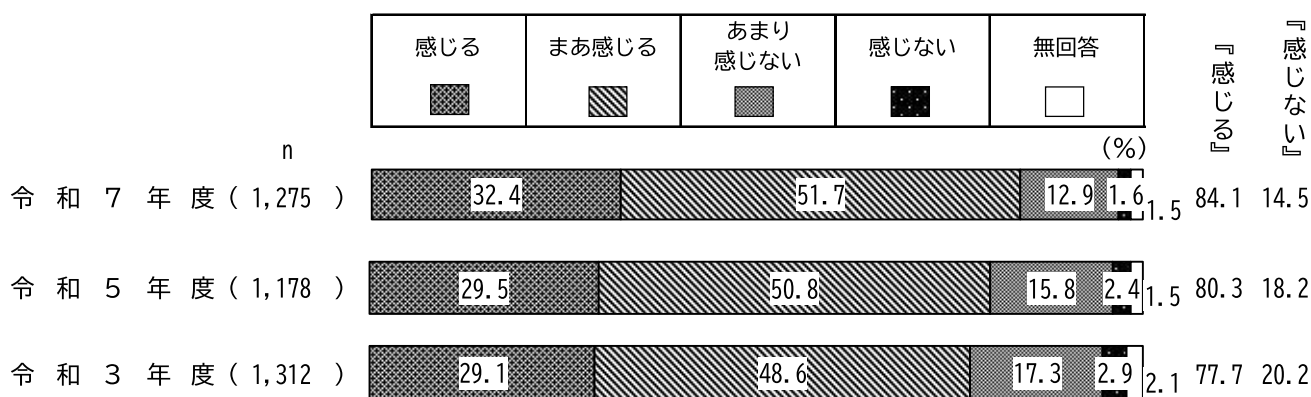
図 1－3－1 区外に移り住むとしたら住みたい地域（経年変化）



④ 板橋区の暮らしに対する「愛着」

板橋区の暮らしに対して愛着を感じるかについて、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』(84.1%)は令和3年度以降増加を続けており、令和5年度より 3.8 ポイント増加しています。「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』(14.5%)は令和3年度以降減少を続けており、令和5年度より 3.7 ポイント減少しています。（図 1－4－1）

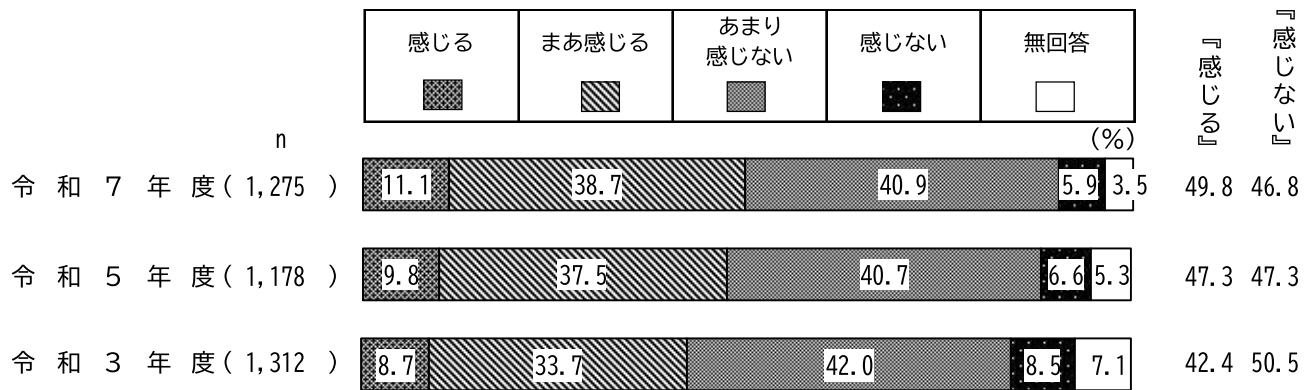
図 1－4－1 板橋区に対する愛着（経年変化）



⑤ 板橋区の暮らしに対する「誇り」

板橋区の暮らしに対して誇りを感じるかについて、「感じる」と「まあ感じる」を合わせた『感じる』(49.8%)は令和3年度以降増加を続けており、令和5年度より2.5ポイント増加しています。一方、『感じない』(46.8%)は令和3年度以降減少を続けており、令和5年度より0.5ポイント減少しています。(図1-4-2)

図1-4-2 板橋区に対する誇り(経年変化)



(2) 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野

今後、区が重点的に力を入れるべきだと思う分野について、重要だと思う順に5つまで聞いたところ、第1位から第5位までの合計の割合では、「子育て」は令和3年度以降第1位を維持しています。「介護・高齢福祉・見守り」は令和5年度と同じ第2位となっています。「防犯」は、令和5年度には5位以内に入っていなかったものの、令和7年度には令和3年度と同じ第3位となっています。「防災」は令和3年度以降第5位でしたが、令和7年度には第4位となっています。

(表2-1-1)

表2-1-1 行政サービスで重点的に力を入れるべき分野(経年変化)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
令和7年度	1,275	子育て 46.0	介護・高齢福祉・見守り 32.6	防犯 32.3	防災 31.1	緑・公園・景観 28.6
令和5年度	1,178	子育て 46.6	介護・高齢福祉・見守り 34.9	学校教育 27.3	緑・公園・景観 26.3	防災 25.6
令和3年度	1,312	子育て 46.4	学校教育 33.1	防犯 31.7	介護・高齢福祉・見守り 30.2	防災 29.7

2. 属性別にみた主な特徴

【表の見方】

以下の※1、※2以外は、全体の割合と比べて、属性別にみた時に10ポイント以上上向きの場合「□」、10ポイント以上下向きの場合「■」にて、主な特徴を掲載。

※1 全体の5位以内には入っていない項目が、属性別にみた時に3位以内に入っている場合「□」にて、主な特徴を掲載。（「特にない」「未加入の理由」などは「■」）

※2 全体の上位の項目の割合と比べて、属性別にみた時に10ポイント以上上向きの場合「□」、10ポイント以上下向きの場合「■」にて、主な特徴を掲載。

属性別にみた主な特徴一覧

属性	調査項目				
	問2 住みやすさ 『住みやすい』 95.3%	問3 定住意向 ①今後も区内に住み続けたい 86.4% ②区外に移り住みたい 12.7%	問3-1 定住理由（※1） ①通勤・通学 ②長期定住 ③消費生活・利便 ④緑・公園・景観 ⑤医療・福祉・介護 ⑥治安	問3-2 転出先（※2） ①23区内 54.3% ②その他（海外を含む） 21.0% ③千葉県・神奈川県内 9.9%	問3-3 転出理由（※1） ①通勤・通学 ②緑・公園・景観 ③消費生活・利便 ④家族・親戚 ⑤治安
性別	■回答しない 82.4%		□回答しない 「職場・学校」が上位		
年代別		②□18～20歳代 23.2%	□30歳代 「子育て」が上位 □40歳代 「子育て」が上位	①□18～20歳代 66.7% ■65歳～74歳 40.0% ②□40歳代 31.8% ③□65歳～74歳 20.0%	□18～20歳代 「職場・学校」が上位 □50歳～64歳 「イメージ」が上位 □65歳～74歳 「医療・福祉・介護」、「その他」が上位 □75歳以上 「医療・福祉・介護」が上位
地域別			□板橋地域 「商店街」が上位	①□常磐台地域 68.8% □高島平地域 64.7% ■志村地域 40.5% ②■板橋地域 8.8%	□板橋地域 「イメージ」が上位 □常磐台地域 「医療・福祉・介護」、「その他」が上位 □赤塚地域 「良質な物件」が上位 □高島平地域 「医療・福祉・介護」が上位
国籍					
職業別			□アルバイト・パート 「職場・学校」が上位 □学生 「家族・親戚」が上位	①■無職 28.6% ②□主婦・主夫 35.3% □無職 38.1%	□自営業・自由業 「医療・福祉・介護」が上位 □アルバイト・パート 「良質な物件」、「教育環境」が上位 □無職 「医療・福祉・介護」が上位
世帯構成別			□二世帯同居（親と同居） 「家族・親戚」が上位 □三世帯同居 「家族・親戚」が上位	①■夫婦のみ 42.1%	□二世帯同居（親と同居） 「職場・学校」が上位
同居家族			□未就学児 「家族・親戚」、「子育て」が上位 □小学生 「職場・学校」、「子育て」が上位 □中学生 「職場・学校」が上位	①■65～74歳の家族 38.5% ②□65～74歳の家族 46.2%	□未就学児 「職場・学校」、「子育て」が上位 □65～74歳の家族 「良質な物件」、「医療・福祉・介護」、「伝統芸能・歴史・名所等」、「その他」が上位 □その他の家族 「医療・福祉・介護」が上位
住居形態	■社宅・寮・間借り・住込み 84.2%	①■社宅・寮・間借り・住込み 63.2% ②□社宅・寮・間借り・住込み 36.8%			
居住年数別			□1年未満 「子育て」、「生涯学習」が上位が上位 □生まれたときから 「家族・親戚」が上位	①□生まれた時から 71.4% ■20年以上 42.9% ②□20年以上 36.7% ■生まれた時から 7.1%	□5年以上10年未満 「職場・学校」、「商店街」が上位 □20年以上 「良質な物件」が上位 □生まれたときから 「職場・学校」、「その他」が上位
直前の居住地別				①□東京23区内（板橋区を除く） 65.7% ■埼玉県内 37.5% ■千葉県・神奈川県内 34.8% ②□その他（海外を含む） 36.0% ③□千葉県・神奈川県内 26.1%	□埼玉県内 「良質な物件」、「イメージ」、「医療・福祉・介護」が上位 □千葉県・神奈川県内 「良質な物件」が上位

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問4 愛着 『感じる』84.1%	問4-1 愛着理由（※1） ①長期定住 ②通勤・通学 ③消費生活・利便 ④緑・公園・景観 ⑤治安	問5 誇り 『感じる』49.8%	問5-1 誇り理由（※1） ①緑・公園・景観 ②治安 ③医療・福祉・介護 ④生涯学習 ⑤商店街	問6 少子化対策や子育て世帯の定住化（※1） ①経済的負担軽減 ②保育所・放課後対策 ③就労・職場環境 ④切れ目ない支援 ⑤公園・遊び場
性別		☐ 回答しない 「家族や親戚」、「職場・学校」、「子育て」、「環境・資源」、「イメージ」が上位	☒ 回答しない 35.3%		☐ 回答しない 「在宅子育て」が上位
年代別		☐ 75歳以上 「医療・福祉・介護」が上位		☐ 30歳代 「子育て」が上位 ☐ 40歳代 「子育て」が上位	☐ 30歳代 「住宅支援」が上位
地域別					
国籍		☐ 日本以外 「医療・福祉・介護」が上位	☐ 日本以外 61.8%	☐ 日本以外 「子育て」が上位	☐ 日本以外 「住宅支援」、「在宅子育て」が上位
職業別		☐ 学生 「家族・親戚」が上位 ☐ その他 「医療・福祉・介護」が上位	☐ 学生 65.7%		☐ 自営業・自由業 「住宅支援」が上位 ☐ 学生 「コミュニティ構築」、「在宅子育て」が上位 ☐ その他 「コミュニティ構築」、「まちづくり」が上位
世帯構成別		☐ 二世帯同居（親と同居） 「家族・親戚」が上位		☐ 二世帯同居（子と同居） 「子育て」が上位 ☐ 三世帯同居 「祭り・イベント」が上位	☐ その他 「住宅支援」が上位
同居家族		☐ 未就学児 「子育て」が上位 ☐ 小学生 「子育て」が上位 ☐ 75歳以上の家族 「医療・福祉・介護」が上位		☐ 未就学児 「子育て」が上位 ☐ 小学生 「子育て」が上位 ☐ 中学生 「子育て」が上位	
住居形態	☒ 一戸建（賃貸） 68.4% ☒ 社宅・寮・間借り・住込み 63.2%	☐ 一戸建（賃貸） 「商店街」、「職場・学校」、「子育て」が上位	☒ 社宅・寮・間借り・住込み 26.3%	☐ 一戸建（賃貸） 「子育て」が上位	☐ 一戸建（賃貸） 「住宅支援」が上位 ☐ 社宅・寮・間借り・住込み 「住宅支援」が上位
居住年数別	☒ 1年未満 62.0%	☐ 生まれたときから 「家族・親戚」が上位		☐ 5年以上10年未満 「子育て」が上位	
直前の居住地別					

第3章 分析
2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問7 子どもが区に意見を伝えやすい方法や手段 ①出前授業・ヒアリング ②ワークショップ ③政策コンテスト ④子ども記者・子ども広報 ⑤アンケート調査	問8 超高齢社会に重要なもの（※1） ①介護保険制度の充実・適正化 ②見守り・閉じこもり・孤独対策 ③高齢者就労・生涯現役 ④在宅医療サービス ⑤地域包括ケアシステム・相談体制充実	問9 循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うもの（※1） ①ごみの減量、食品ロスの削減 ②緑や水環境など自然の保全・再生 ③再生可能エネルギーの積極的な利用 ④省エネの促進 ⑤プラスチックごみ再資源化	問10 ブランド創造に向けた取組について、知っているもの（※1） ①いたばし花火大会 ②板橋区民まつり ③板橋のいっぴん ④板橋Cityマラソン ⑤ポローニャ国際絵本原画展	問11 板橋区のブランドになりうると考えるもの ①大規模イベント ②にぎわいのある商店街 ③豊富な医療機関 ④子育て環境 ⑤環境と調和した中央図書館
性別		☐ 回答しない 「終活サポート」、「デジタル活用支援」が上位			
年代別	☐ 50歳～64歳 「投稿フォーム」が上位	☐ 18～20歳代 「終活サポート」が上位		☐ 30歳代 「『絵本のまち板橋』の取組」が上位	
地域別				☐ 赤塚地域 「板橋農業まつり」が上位	
国籍	☐ 日本以外 「投稿フォーム」が上位	☐ 日本以外 「元氣力チェック」が上位	☐ 日本以外 「次世代自動車の利用促進」が上位		
職業別	☐ 自営業・自由業 「子どもだけワークショップ」が上位 ☐ その他 「投稿フォーム」上位	☐ 学生 「終活サポート」が上位	☐ 学生 「創エネの促進」が上位		
世帯構成別	☐ 二世帯同居（親と同居） 「投稿フォーム」が上位 ☐ その他 「子どもモニター制度」が上位				
同居家族				☐ 未就学児 「『絵本のまち板橋』の取組」、「板橋発の子ども政策」が上位	
住居形態			☐ 一戸建（賃貸） 「公共交通機関・カーシェア等の利用」が上位 ☐ 社宅・寮・間借り・住込み 「省エネ性能が高い設備を公共施設へ導入」、「自転車、電動小型モビリティの利用促進」が上位	☐ 社宅・寮・間借り・住込み 「『絵本のまち板橋』の取組」が上位	
居住年数別	☐ 1年未満 「投稿フォーム」が上位	☐ 1年未満 「バリアフリー化・ユニバーサルデザイン」が上位		☐ 1年未満 「『絵本のまち板橋』の取組」が上位 ☐ 1年以上5年未満 「『絵本のまち板橋』の取組」が上位 ☐ 5年以上10年未満 「『絵本のまち板橋』の取組」が上位	
直前の居住地別					

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問12 絵本のまち「板橋」の取組として参加したいもの ①絵本を身近に感じられるイベント ②創作者と連携した取組 ③子育て世帯が楽しめるイベント ④絵本の芸術性・国際性にふれるイベント ⑤絵本の読み聞かせなどのボランティア活動	問13 行政サービスのデジタル化（※2） 『進んでいる』59.5%	問14 行政サービスのデジタル化で重要なこと（※1） ①万全なセキュリティ対策の実施 ②行政手続きのオンライン化の推進 ③行政手続きのペーパーレス推進 ④Wi-Fi環境の充実 ⑤キャッシュレス決済の推進	問15 行政手続き等のオンライン化 ①わかりやすい案内と使いやすいウェブサイト ②オンライン申請できる手続きの充実 ③個人情報保護とセキュリティ対策の強化 ④簡素化された申請フォームと手続き ⑤安全で簡便な本人確認方法	問16 区からの情報（※2） 『伝わっている』32.6%
性別		■回答しない 41.2%			■回答しない 17.6%
年代別		□30歳代 70.1%	□65歳～74歳 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位 □75歳以上 「マイナナンバーカードの普及・活用」、「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位		□75歳以上 49.6% ■18～20歳代 22.5%
地域別					
国籍					□日本以外 55.9%
職業別		■無職 47.7%	□主婦・主夫 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位 □無職 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位 □その他 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位		□主婦・主夫 42.9%
世帯構成別			□その他 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位		■二世帯同居（親と同居）21.3% ■三世帯同居 21.2%
同居家族			□75歳以上の家族 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位		
住居形態		□一戸建（賃貸） 89.5%	□都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位		□都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 44.5% ■社宅・寮・間借り・住込み 21.1%
居住年数別			□20年以上 「スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施」が上位		
直前の居住地別			□東京都内の他市町村 「マイナナンバーカードの普及・活用」が上位		

第3章 分析
2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問16-1 区からの情報が伝わっていない理由（※2）	問17 区に関する情報の入手方法（※1）	問18 区が力を入れるべき分野（※1）	問19 子育てのしやすさ	問20 子育て施策（※1）
	①手段が分からない 48.8% ②情報を収集する時間がない 21.5% ③関心がない 16.9%	①広報いたばし ②ホームページ ③掲示板 ④回覧板 ⑤くらしガイド・防災ガイド・ハザードマップ	①子育て ②介護・高齢福祉・見守り ③防災 ④防災 ⑤緑・公園・景観	はい 46.0%	①安心して遊べる場 ②保育サービスの充実 ③相談の場 ④経済的支援 ⑤困窮する家庭への支援
性別		☐ 回答しない 「地域メディアのサイト・SNS」、「その他」が上位	☐ 回答しない 「学校教育」、「住宅施策」が上位	☒ 回答しない 29.4%	
年代別	① ☐ 65歳～74歳 71.8% ☐ 75歳以上 68.3% ☒ 40歳代 35.8% ② ☐ 40歳代 34.0% ☒ 65歳～74歳 5.1% ☒ 75歳以上 7.3% ③ ☐ 18～20歳代 29.3%	☐ 18～20歳代 「テレビでの板橋区に関する放送」が上位 ☐ 30歳代 「ニュースサイト・アプリ・SNS」が上位	☐ 18～20歳代 「学校教育」が上位 ☐ 30歳代 「学校教育」が上位 ☐ 40歳代 「学校教育」が上位	☐ 40歳代 61.4%	
地域別	① ☐ 赤塚地域 58.8%				
国籍			☐ 日本以外 「学校教育」、「就労支援」、「住宅施策」が上位		☐ 日本以外 「妊娠・出産支援」が上位
職業別	① ☐ 主婦・主夫 68.0% ② ☐ 自営業・自由業 32.1% ☒ 主婦・主夫 8.0% ☒ 無職 7.5% ③ ☐ 学生 27.3%	☐ 学生 「テレビでの板橋区に関する放送」が上位	☐ 会社員・公務員 「学校教育」が上位 ☐ 学生 「学校教育」、「生活保護・誠克困窮者支援」が上位 ☐ その他 「学校教育」が上位	☐ 学生 62.9% ☒ 無職 35.8%	☐ 学生 「妊娠・出産支援」、「子育てしている家庭への支援」が上位 ☐ その他 「情報提供の充実」が上位
世帯構成別	① ☐ 夫婦のみ 58.8% ☐ その他 80.0% ☒ 二世帯同居（親と同居） 10.0% ② ☐ 二世帯同居（親と同居） 39.0% ☒ 夫婦のみ 10.6% ☒ 三世帯同居 10.0% ☒ その他 10.0% ③ ☐ 二世帯同居（親と同居） 34.1% ☒ その他 0.0%	☐ その他 「新聞、雑誌等での記事」が上位	☐ 二世帯同居（子と同居） 「学校教育」が上位 ☐ 三世帯同居 「道路・交通」が上位	☐ 二世帯同居（子と同居） 65.3% ☒ 単身世帯 30.8%	☐ 三世帯同居 「妊娠・出産支援」が上位
同居家族	① ☒ 小学生 34.8% ② ☐ 小学生 34.8% ☐ 中学生 41.7% ③ ☒ 未就学児 4.2%	☐ 未就学児 「ニュースサイト・アプリ・SNS」が上位	☐ 未就学児 「学校教育」が上位 ☐ 小学生 「学校教育」が上位 ☐ 中学生 「学校教育」が上位	☐ 未就学児 72.5% ☐ 小学生 80.2% ☐ 中学生 77.9%	
住居形態	① ☒ 都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 36.4% ② ☒ 一戸建（賃貸） 0.0% ③ ☒ 一戸建（賃貸） 0.0%	☐ 一戸建（賃貸） 「区公式SNS」が上位	☐ 一戸建（賃貸） 「道路・交通」が上位 ☐ 社宅・寮・間借り・住込み 「学校教育」、「市街地整備・まちづくり」が上位	☒ 社宅・寮・間借り・住込み 31.6%	☐ 一戸建（賃貸） 「妊娠・出産支援」が上位 ☐ 社宅・寮・間借り・住込み 「妊娠・出産支援」が上位
居住年数別	① ☐ 1年未満 68.8% ② ☐ 10年以上20年未満 34.0% ③ ☐ 5年以上10年未満 27.3% ☒ 1年未満 0.0%	☐ 1年以上5年未満 「ニュースサイト・アプリ・SNS」が上位	☐ 1年未満 「学校教育」、「DX」が上位 ☐ 1年以上5年未満 「学校教育」が上位 ☐ 5年以上10年未満 「学校教育」が上位 ☐ 10年以上20年未満 「学校教育」が上位	☒ 1年未満 34.0%	☐ 1年未満 「妊娠・出産支援」が上位
直前の居住地別	③ ☐ 東京都内の他市町村 36.8%		☐ 東京都内の他市町村 「高齢者社会参加・介護予防」、「交通安全」が上位 ☐ その他（海外を含む） 「学校教育」が上位		

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問21 子どもたちの生きる力 (※2) 『感じる』 30.9%	問22 直近1年間の学習(※1) ①知識・技能や資格 ②健康やスポーツ ③インターネットの知識・技能 ④音楽・美術・レクリエーション活動 ⑤NISAや資産運用	問23 今後積極的に学びたいこと(※1) ①知識・技能や資格 ②健康やスポーツ ③インターネットの知識・技術 ④NISAや資産運用 ⑤音楽・美術・レクリエーション活動	問24 1か月に読む本の冊数 ①1冊以上5冊未満 ②読まない ③5冊以上10冊未満 ④10冊以上20冊未満 ⑤20冊以上30冊未満	問25 地域の支援 『支援したり、支援されたりしたことがある』 33.9%
性別	■回答しない 0.0%		□回答しない 「文学や歴史、語学」が上位		■回答しない 23.5%
年代別		□30歳代 「育児や教育」が上位 □40歳代 「料理や裁縫」が上位 □75歳以上 「人口減少や地球温暖化」が上位	□30歳代 「育児や教育」が上位		
地域別					
国籍	□日本以外 44.1%				
職業別	□学生 42.9% ■その他 17.9%	□主婦・主夫 「料理や裁縫」が上位 □無職 「文学や歴史、語学」が上位	□無職 「文学や歴史、語学」が上位		□学生 51.4% □その他 57.2%
世帯構成別	□二世帯同居(子と同居) 44.5% □三世帯同居 45.4%	□二世帯同居(子と同居) 「育児や教育」が上位 □その他 「福祉に関すること」が上位	□三世帯同居 「料理や裁縫」が上位 □その他 「文学や歴史、語学」が上位		
同居家族	□未就学児 49.5% □小学生 55.2% □中学生 53.0%	□未就学児 「育児や教育」が上位 □小学生 「育児や教育」が上位 □中学生 「料理や裁縫」が上位	□未就学児 「育児や教育」が上位 □小学生 「育児や教育」が上位 □中学生 「育児や教育」が上位		□未就学児 45.0% □小学生 44.0%
住居形態	□社宅・寮・間借り・住込み 42.1% ■一戸建(賃貸) 10.6%	□一戸建(賃貸) 「料理や裁縫」が上位	□一戸建(賃貸) 「料理や裁縫」、「育児や教育」が上位 □都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 「福祉」が上位 □社宅・寮・間借り・住込み 「料理や裁縫」が上位		■社宅・寮・間借り・住込み 21.0%
居住年数別					■1年以上5年未満 22.8%
直前の居住地別			□千葉県・神奈川県 「文学や歴史、語学」が上位		

第3章 分析
2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問26 住民同士の支え合い活動（※1） ①身近な話し相手 ②できるものはない ③家事援助 ④防災・防犯の活動支援 ⑤見守り活動	問27 健康のためにやっていること（※1） ①健康診断等の受診 ②歩く ③口腔ケア ④睡眠 ⑤栄養バランス	問28 運動・スポーツ 『週に1回以上』 59.2% 行っていない 20.7%	問29 鑑賞・体験活動した文化芸術（※1） ①音楽 ②メディア芸術 ③美術・写真 ④演劇・舞踏・舞踊 ⑤落語・漫談・歌唱などの芸能	問30 異文化コミュニケーション（※1） ①あいさつ ②仕事 ③道案内 ④世間話 ⑤親族又は友人
性別	☐ 回答しない 「地域の居場所活動への参加」が上位	☐ 男性 「適度な運動」が上位			
年代別		☐ 18～20歳代 「適度な運動」、「禁煙」が上位 ☐ 65歳～74歳 「適度な運動」が上位 ☐ 75歳以上 「規則正しい食事」が上位	<行っている> ☐ 75歳以上 72.5%		
地域別			<行っている> ☐ 常磐台地域 69.2%		
国籍		☐ 日本以外 「適度な運動」が上位			
職業別		☐ 主婦・主夫 「規則正しい食事」が上位 ☐ 学生 「適度な運動」が上位	<行っている> ☐ 無職 72.1% <行っていない> ■その他 32.1% ☐ 学生 8.6%		☐ 学生 「学校」が上位
世帯構成別		☐ その他 「適度な運動」が上位			
同居家族		☐ 小学生 「自転車利用」が上位 ☐ 75歳以上の家族 「規則正しい食事」が上位	<行っている> ■未就学児 48.6%		
住居形態			<行っている> ■一戸建（賃貸） 47.4% ■社宅・寮・間借り・住込み 36.9% <行っていない> ■都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 35.4%		
居住年数別		☐ 1年未満 「禁煙」が上位	<行っていない> ■1年未満 42.0%		
直前の居住地別					

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問31 戦争体験の語り継ぎ 『大切だと思う』 94.1%	問32 区のイベントに対する満足度			問33 身近な商店街に対する印象（※2）
		いたばし花火大会 『満足』 60.1% 参加したことがない 18.1%	板橋区民まつり 『満足』 33.5% 参加したことがない 39.8%	板橋農業まつり 『満足』 18.6% 参加したことがない 56.8%	①身近で便利 40.7% ②空き店舗が多い 18.9% ③活気がある 15.1%
性別		<満足> ■回答しない 47.0% <参加したことがない> ■回答しない 41.2%	<満足> ■回答しない 11.8% <参加したことがない> ■回答しない 82.4%	<満足> ■回答しない 5.9% <参加したことがない> ■回答しない 82.4%	①■回答しない 17.6% ②□回答しない 29.4%
年代別		<参加したことがない> ■18～20歳代 33.1% ■30歳代 28.7%	<参加したことがない> ■18～20歳代 57.7% ■30歳代 62.3% □65歳～74歳 29.5% □75歳以上 19.5%	<満足> ■18～20歳代 8.4% <参加したことがない> ■18～20歳代 76.1% ■30歳代 76.0% □75歳以上 32.6%	
地域別		<満足> □高島平地域 76.4% ■板橋地域45.4% <参加したことがない> ■板橋地域 28.3% □高島平地域 7.3%	<満足> □板橋地域49.4% <参加したことがない> □板橋地域 27.6%	<満足> □赤塚地域 35.5% <参加したことがない> □赤塚地域 39.0%	③□板橋地域 28.0%
国籍		<満足> ■日本以外50.0% <参加したことがない> ■日本以外32.4%			②■日本以外 5.9%
職業別		<満足> □学生 77.1% □その他 71.5% <参加したことがない> ■その他 7.1%	<参加したことがない> ■学生 54.3% □その他 17.9%	<参加したことがない> ■学生 77.1% □自営業・自由業 46.7% □主婦・主夫 46.1% □その他 42.9%	①■その他 28.6%
世帯構成別		<満足> ■単身世帯 48.7%	<参加したことがない> □その他 29.4%		①■その他 26.5% ③□三世帯同居 27.3%
同居家族		<参加したことがない> ■未就学児 30.3%	<満足> □小学生 46.5% □75歳以上の家族 43.9% <参加したことがない> ■未就学児 53.2% □75歳以上の家族 27.4%	<参加したことがない> ■未就学児 72.5% □75歳以上の家族 44.5%	
住居形態		<満足> □都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅 73.7% ■マンション・アパート（賃貸） 47.7% <参加したことがない> ■マンション・アパート（賃貸） 30.2%	<満足> ■社宅・寮・間借り・住込み 15.8% <参加したことがない> ■マンション・アパート（賃貸） 50.6% ■社宅・寮・間借り・住込み 68.4% □一戸建（持ち家） 29.2%	<満足> ■社宅・寮・間借り・住込み 5.3% <参加したことがない> ■社宅・寮・間借り・住込み 84.2%	①■社宅・寮・間借り・住込み 26.3% ②■一戸建（賃貸） 5.3% ③□社宅・寮・間借り・住込み 26.3%
居住年数別		<満足> □生まれたときから 70.7% ■1年未満 24.0% ■1年以上5年未満 46.9% <参加したことがない> ■1年未満 60.0% ■1年以上5年未満 34.8%	<満足> □生まれたときから 44.6% ■1年未満 12.0% ■1年以上5年未満 22.8% ■5年以上10年未満 22.8% <参加したことがない> ■1年未満 70.0% ■1年以上5年未満 60.1% ■5年以上10年未満 54.5% □20年以上 29.6%	<満足> ■1年未満 6.0% <参加したことがない> ■1年未満 76.0% ■1年以上5年未満 74.1% ■5年以上10年未満 69.9% □20年以上 46.2%	②■1年未満 6.0%
直前の居住地域別					

第3章 分析
2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問34 自然環境・公園に対する満足度				問35 環境のための取組（現在）（※1）
	緑地保全(量的) 『満足』 62.4%	緑地保全(質的) 『満足』 54.5%	公園整備(量的) 『満足』 55.8%	公園整備(質的) 『満足』 51.9%	
性別	■回答しない 35.3%	■回答しない 17.6%	■回答しない 35.3%	■回答しない 17.6%	□回答しない 「電気自動車、電動バイクの利用」が上位
年代別					□75歳以上 「使い捨てプラスチックの削減」が上位
地域別	□高島平地域 76.4% ■板橋地域 51.2%	□高島平地域 64.8%	□高島平地域 70.8% ■板橋地域 41.6%		
国籍	□日本以外 76.5%	□日本以外 76.4%	□日本以外 70.5%	□日本以外 70.6%	
職業別	□学生 77.1%	□学生 80.0%	□学生 74.3%	□学生 65.7%	
世帯構成別	□その他 79.4% ■三世帯同居51.5%	□その他 70.6%	□その他 67.6%	□その他 70.6%	
同居家族	□中学生 75.0%	□中学生 66.2%	□中学生 66.2%		
住居形態	□一戸建（賃貸） 73.7% ■社宅・寮・間借り・住込み 47.3%	□一戸建（賃貸） 79.0% ■社宅・寮・間借り・住込み 42.1%	□都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 66.7% ■社宅・寮・間借り・住込み 42.1%	□一戸建（賃貸） 68.4%	□都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 「使い捨てプラスチックの削減」が上位
居住年数別					
直前の居住地域別					

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問35 環境のための取組（今後）（※1）	問36 災害情報収集手段（※1）	問37 災害時の対策（※1）	問37-1 備蓄日数（※1）	問38 地域の治安
	①食品ロスを減らす行動 ②省エネ家電 ③省エネに配慮した行動 ④マイボトルの利用 ⑤気候変動の影響に適應する行動	①テレビ ②インターネット ③メール配信サービス ④ラジオ ⑤防災行政無線	①飲料水・非常用食糧 ②簡易トイレの準備 ③生活用品、医薬品の準備 ④一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所、避難場所の確認 ⑤ハザードマップの確認	①3日以上4日未満 ②3日未満 ③7日以上8日未満 ④5日以上6日未満 ⑤8日以上	『感じる』 65.3%
性別		■回答しない 「特にない」が上位	□回答しない 「家具の転倒、物の落下や移動の防止」が上位		■回答しない 41.2%
年代別					
地域別					
国籍	□日本以外 「使い捨てプラスチックの削減」、「建築物/住宅の省エネ化」が上位				□日本以外 82.3%
職業別	□自営業・自由業 「使い捨てプラスチックの削減」が上位 □学生 「使い捨てプラスチックの削減」が上位		□学生 「家具の転倒、物の落下や移動の防止」が上位 □その他 「家具の転倒、物の落下や移動の防止」が上位	□アルバイト・パート 「4日以上5日未満」が上位	
世帯構成別					
同居家族					
住居形態	□一戸建（賃貸） 「使い捨てプラスチックの削減」が上位			□一戸建（賃貸） 「4日以上5日未満」が上位	□社宅・寮・間借り・住込み 79.0%
居住年数別	□1年未満 「使い捨てプラスチックの削減」が上位	□1年未満 「LINE公式アカウント」が上位			
直前の居住地別				□埼玉県内 「4日以上5日未満」が上位	

第3章 分析
2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問39 ユニバーサルデザイン 『知っている』 71.2%	問39-1 ユニバーサルデザインの 取組の進捗状況 『思う』 24.0%	問40 電車、バスの利便性 『感じる』 72.2%	問41 建築物とまちなみとの調和 『感じる』 37.3%	問42 自転車に乗って出かけた くなるまちの実現（※1） ①安全に走れる環境の整備 ②ルール・マナーの徹底 ③自転車駐車場（駐輪場）の 整備 ④シェアサイクルの利用環境 ⑤楽しく健康的に利用できる 機会
性別			■回答しない 53.0%		
年代別	□18～20歳代 86.6% □30歳代 82.1% □40歳代 81.5% ■65歳～74歳 60.7% ■75歳以上 49.2%			□18～20歳代 54.2%	
地域別			■常盤台地域60.2%		
国籍	■日本以外 32.3%		□日本以外 94.2%	□日本以外 50.0%	□日本以外 「特にない」が上位
職業別	□学生 82.8% ■主婦・主夫 61.0% ■無職 58.9%	□主婦・主夫 40.9% □学生 34.7%	□学生 88.5% ■その他 60.7%	□学生 65.7%	
世帯構成別	□二世帯同居（親と同居） 81.6%	□三世帯同居 40.0%	■三世帯同居 60.6%		
同居家族	□未就学児 86.2% ■75歳以上の家族 61.0%	□小学生 34.8% ■75歳以上の家族 14.0%			
住居形態	□社宅・寮・間借り・住込み 84.3% ■一戸建（賃貸） 58.0%		■社宅・寮・間借り・住込み 47.4%	□一戸建（賃貸） 57.9%	
居住年数別		■1年未満 11.1%		□1年未満 50.0% □1年以上5年未満 50.0%	
直前の 居住地別	□千葉県・神奈川県内 83.0%	■東京都内の他市町村 10.3%			

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問43 行政サービスと住民負担のバランス（※2）	問44 「安定した行政サービスを提供するうえで重要なこと」（※2）	問45 「今後の公共施設のあり方」（※2）	問46 地域で活動する団体・サークルへの加入状況	
	①負担を増やすべきではない 43.1% ②負担が増えてもやむを得ない 35.4% ③維持できなくてもやむを得ない 10.1%	①区民サービスの向上 26.7% ②幅広い行政需要に対応 24.2% ③AIの活用・DXによる事務の効率化 23.1%	①転用・売却することが望ましい 51.3% ②縮減はやむを得ない 29.8% ③現状維持することが望ましい 13.9%	町会・自治会 加入している 41.4%	NPO団体 加入している 3.1%
性別	②■回答しない 17.6% ③□回答しない 29.4%	②□回答しない 35.3%	②■回答しない 17.6%	■回答しない 23.5%	
年代別	②■18～20歳代 22.5%	③□18～20歳代 33.8% ■75歳以上 12.3%	①■75歳以上 33.1% ③□75歳以上 24.6%	■18～20歳代 12.0% ■30歳代 20.4% □65歳～74歳 61.7% □75歳以上 58.9%	
地域別					
国籍		①■日本以外 14.7%	①■日本以外 38.2%	■日本以外 14.7%	
職業別	①■その他 32.1%	①■学生 11.4% ②□自営業・自由業 39.1% □その他 39.3% ③□学生 34.3%		□自営業・自由業 52.2% □主婦・主夫 57.8% □無職 54.3% □その他 57.1% ■会社員・公務員 29.5% ■学生 25.7%	
世帯構成別		③■三世帯同居 12.1%		□三世帯同居 57.6% ■単身世帯 29.5% ■その他 26.5%	
同居家族		③□未就学児 36.7% ■75歳以上の家族 9.8%	①□未就学児 63.3%	□65～74歳の家族 53.7% □75歳以上の家族 61.0% ■未就学児 27.5%	
住居形態	③■社宅・寮・間借り・住込み 0.0%	①■一戸建（賃貸） 5.3% ②■社宅・寮・間借り・住込み 5.3%	①■都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 36.4%	□一戸建（持ち家） 68.0% □都市再生機構・公社住宅・都営・区営住宅 56.6% ■一戸建（賃貸） 21.1% ■マンション・アパート（賃貸） 5.8% ■社宅・寮・間借り・住込み 15.8%	
居住年数別		②■1年未満 8.0% ③□1年未満 44.0%		□20年以上 55.6% ■1年未満 8.0% ■1年以上5年未満 17.1% ■5年以上10年未満 26.0% ■10年以上20年未満 30.4%	
直前の居住地別					

第3章 分析
2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問46 地域で活動する団体・サークルへの加入状況	問46 未加入理由			問47 地域活動の活発化（※1）
	趣味・スポーツ等のサークル 加入している 17.3%	町会・自治会（※1） ①きっかけがない ②暇がない ③必要性を感じていない ④団体があることを知らない ⑤加入方法がわからない	NPO団体（※1） ①きっかけがない ②必要性を感じていない ③暇がない ④団体があることを知らない ⑤関心がない	趣味・スポーツ等のサークル（※1） ①暇がない ②必要性を感じていない ③きっかけがない ④団体があることを知らない ⑤関心がない	①イベントの開催 ②活動情報のPR ③地域への関心 ④若い世代 ⑤近所の人とのつながり
性別	■回答しない 5.9%	■回答しない 「金銭的な負担を避けたい」が上位	■回答しない 「金銭的な負担を避けたい」が上位	■回答しない 「金銭的な負担を避けたい」、「活動のペースが合わない」、「一緒に活動する仲間がいない」が上位	
年代別	□75歳以上 28.0%	■75歳以上 「団体の活動に関心がない」が上位	■75歳以上 「活動のための知識や技術がない」が上位	■18～20歳代 「金銭的な負担を避けたい」が上位 ■75歳以上 「一緒に活動する仲間がいない」が上位	
地域別					
国籍			■日本以外 「加入方法がわからない」が上位	■日本以外 「加入方法がわからない」が上位	
職業別	□学生 37.1%	■主婦・主夫 「団体の活動に関心がない」が上位 ■その他 「活動のペースが合わない」が上位			
世帯構成別	■その他 5.9%			■その他 「一緒に活動する仲間がいない」、「その他」が上位	
同居家族		■65～74歳の家族 「活動のペースが合わない」が上位			
住居形態	■一戸建（賃貸） 5.3%	■社宅・寮・間借り・住込み 「金銭的な負担を避けたい」が上位	■都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅 「人づきあいがわずらわしい」が上位	■一戸建（賃貸） 「団体の活動に関心がない」、「金銭的な負担を避けたい」が上位 ■都市再生機構・公社住宅・都営住宅・区営住宅 「団体の活動に関心がない」が上位 ■社宅・寮・間借り・住込み 「活動のペースが合わない」が上位	
居住年数別			■1年未満 「加入方法がわからない」が上位		
直前の居住地域別					

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問48 区の職員と接する機会 接する機会がなかった 40.5%	問48-1 職員の対応に関する満足度 『満足』 77.4%	問48-2 職員の能力・現状評価		
			(1) 責任を持っている 『思う』 61.0%	(2) もてなしの心、柔軟な対応 『思う』 61.3%	(3) 倫理観・法令遵守 『思う』 49.4%
性別	□回答しない 52.9%				
年代別	□18～20歳代 56.3%				
地域別					
国籍		□日本以外 94.4%	□日本以外 83.4%	□日本以外 77.8%	□日本以外 77.7%
職業別	□学生 62.9% ■その他 25.0%			□自営業・自由業 74.5%	
世帯構成別	□二世帯同居（親と同居） 54.2%	□その他 93.8%	□三世帯同居 77.7% ■その他 50.0%	□三世帯同居 72.2%	□三世帯同居 66.7%
同居家族	■未就学児 24.8%	□中学生 88.2%	□中学生 79.4%	□中学生 82.4%	□中学生 70.5%
住居形態	□社宅・寮・間借り・住込み 52.6%	□一戸建（賃貸） 100.0%	□一戸建（賃貸） 80.0%	□一戸建（賃貸） 80.0%	□一戸建（賃貸） 80.0%
居住年数別	■1年未満 26.0%	■生まれたときから 66.3%			□1年未満 59.4%
直前の 居住地域別				■東京都内の他市町村 46.8%	■東京都内の他市町村 38.3%

第3章 分析
2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目				
	問48-2 職員の能力・現状評価				
	(4) 誰に対しても公平・誠実 『思う』 60.2%	(5) 積極的に職務に取り組む 『思う』 58.9%	(6) 迅速な対応 『思う』 64.7%	(7) 十分な知識 『思う』 60.0%	(8) わかりやすい説明 『思う』 69.3%
性別					
年代別					
地域別					
国籍	☐ 日本以外 77.7%		☐ 日本以外 77.7%	☐ 日本以外 72.2%	
職業別		☐ 学生 69.3%	☒ 学生 53.9% ☐ その他 80.0%		
世帯構成別		☐ 三世帯同居 72.2%	☐ その他 75.1%		☐ その他 81.3%
同居家族	☐ 中学生 76.5%	☐ 中学生 76.5%	☐ 中学生 88.2%	☐ 中学生 76.5%	☐ 中学生 88.2%
住居形態	☐ 一戸建（賃貸） 90.0%	☐ 一戸建（賃貸） 70.0%	☐ 一戸建（賃貸） 80.0%	☐ 一戸建（賃貸） 80.0%	
居住年数別					
直前の居住地域別	☒ 東京都内の他市町村 49.0%			☒ 東京都内の他市町村 46.8%	

第3章 分析

2. 属性別にみた主な特徴

属性	調査項目
	問49 職員に求める姿（※1）
	①誰に対しても公平・誠実 ②わかりやすく説明 ③もてなしの心、柔軟な対応 ④十分な知識を持ち、区の課題を解決 ⑤責任感
性別	
年代別	☐ 30歳代 「迅速な対応ができる職員」が上位
地域別	
国籍	
職業別	
世帯構成別	
同居家族	☐ 未就学児 「迅速な対応ができる職員」が上位 ☐ 中学生 「迅速な対応ができる職員」が上位
住居形態	☐ 一戸建（賃貸） 「迅速な対応ができる職員」が上位
居住年数別	☐ 1年以上5年未満 「迅速な対応ができる職員」が上位
直前の居住地域別	☐ 東京都内の他市町村 「迅速な対応ができる職員」が上位

第4章 集計表

(1) 属性

回答方法

全 体	W E B	郵 送
1,275 100.0	605 47.5	670 52.5

問1 次の各質問について、該当するものをお答えください。(○は1つ)

ア あなたの性別は、

全 体	男 性	女 性	そ の 他	回 答 し な い	無 回 答
1,275 100.0	544 42.7	707 55.5	1 0.1	17 1.3	6 0.5

イ あなたの年齢は、

全 体	1 8 ～ 2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 ～ 6 4 歳	6 5 歳 ～ 7 4 歳	7 5 歳 以 上	無 回 答
1,275 100.0	142 11.1	167 13.1	210 16.5	322 25.3	193 15.1	236 18.5	5 0.4

ウ あなたがお住まいの地域は、

全 体	宿・橋 仲町・富 士見 (板橋・ 熊野・ 仲)	台・盤 桜川 (大谷口・ 常盤)	上・志 村・中 地・台 域・(清 水・志 村・坂)	徳・赤 丸 (塚地 域・下 赤塚・ 成増・)	高・高 島・平 (地域・ 蓮根・ 舟渡・)	無 回 答
1,275 100.0	322 25.3	156 12.2	263 20.6	290 22.7	233 18.3	11 0.9

第4章 集計表

エ あなたの国籍は、

全 体	日 本	日 本 以 外	無 回 答
1,275 100.0	1,162 91.1	34 2.7	79 6.2

オ あなたの職業は、

全 体	会 社 員 ・ 公 務 員	自 営 業 ・ 自 由 業	ア ル バ イ ト ・ パ ー ト	主 婦 ・ 主 夫	学 生	無 職	そ の 他	無 回 答
1,275 100.0	543 42.6	92 7.2	161 12.6	154 12.1	35 2.7	243 19.1	28 2.2	19 1.5

カ あなたのお宅の世帯の構成は、

全 体	単 身 世 帯	夫 婦 の み	二 世 代 同 居 (子 と 同 居)	二 世 代 同 居 (親 と 同 居)	三 世 代 同 居	そ の 他	無 回 答
1,275 100.0	312 24.5	330 25.9	429 33.6	131 10.3	33 2.6	34 2.7	6 0.5

(カで「1 単身世帯」以外を回答した方のみ)

キ あなた自身を除き、あなたのお宅に同居する家族は、(複数回答可)

全 体	未 就 学 児	小 学 生	中 学 生	6 5 5 7 4 歳 の 家 族	7 5 歳 以 上 の 家 族	族1 は5 は5 ない に 当 て は ま る 同 居 家	無 回 答
957 100.0	109 11.4	116 12.1	68 7.1	134 14.0	164 17.1	423 44.2	82 8.6

ク あなたのお住まいの家の住居形態は、※長屋建（テラスハウス含む）は一戸建に含みます。

全 体	一 戸 建 （ 持 ち 家 ）	一 戸 建 （ 賃 貸 ）	マ ン シ ョ ン （ 持 ち 家 ）	マ ン シ ョ ン ・ ア パ ー ト （ 賃 貸 ）	都 市 再 生 機 構 ・ 公 社 住 宅 ・ 都 営 住 宅 ・ 区 営 住 宅	社 宅 ・ 寮 ・ 間 借 り ・ 住 込 み	そ の 他 （ ケ ア 付 住 宅 な ど ）	無 回 答
1,275 100.0	397 31.1	19 1.5	386 30.3	344 27.0	99 7.8	19 1.5	2 0.2	9 0.7

ケ あなたは板橋区にお住まいになって通算で何年になりますか。

全 体	1 年 未 満	1 年 以 上 5 年 未 満	5 年 以 上 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 2 0 年 未 満 （ 「 6 」 を 除 く ）	2 0 年 以 上 （ 「 6 」 を 除 く ）	生 ま れ た と き か ら	無 回 答
1,275 100.0	50 3.9	158 12.4	123 9.6	214 16.8	561 44.0	157 12.3	12 0.9

（ケで「6 生まれたときから」以外に回答した方のみ）

コ あなたは、板橋区に来られる直前にどちらにお住まいでしたか。

全 体	く 東 京 2 3 区 内 （ 板 橋 区 を 除 く ）	東 京 都 内 の 他 市 町 村	埼 玉 県 内	千 葉 県 ・ 神 奈 川 県 内	そ の 他 （ 海 外 を 含 む ）	無 回 答
1,106 100.0	506 45.8	80 7.2	149 13.5	106 9.6	191 17.3	74 6.7

(2) 区での住み心地

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。(〇は1つ)

全 体	住 み や す い	ま あ 住 み や す い	あ ま り 住 み や す く な い	住 み に く い	無 回 答	『 住 み や す い 』	『 住 み に く い 』
1,275 100.0	604 47.4	611 47.9	37 2.9	8 0.6	15 1.2	1,215 95.3	45 3.5

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。(〇は1つ)

全 体	今 後 も 区 内 に 住 み 続 け た い	区 外 に 移 り 住 み た い	無 回 答
1,275 100.0	1,101 86.4	162 12.7	12 0.9

(問3で「1 今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ)

問3-1 そう思った主な理由は何ですか。(〇は3つ)

全 体	子育てしやすい環境であるため	子どもの教育環境が充実しているため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	地域コミュニティが親しみやすいため	楽しい祭り・イベントがあるため	にぎわいのある商店街があるため	環境を守り資源を大切にしているため	緑や公園など自然環境に恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため	災害（震災や水害）対策が充実しているため	
	1,101 100.0	113 10.3	30 2.7	112 10.2	208 18.9	58 5.3	16 1.5	11 1.0	12 1.1	30 2.7	40 3.6	132 12.0	21 1.9	258 23.4	34 3.1
	治安が良く安心して暮らせるため	区のイメージが良かったため	通勤・通学や暮らしに便利 な道路・交通網があるため	職場・学校が近いため	不動産価格や家賃が手頃で 良質な物件があるため	消費生活が便利（買い物 のため）	家族や親戚が近くに住んで いるため	長年住んでいるため	その他	無回答					
	208 18.9	18 1.6	409 37.1	143 13.0	59 5.4	295 26.8	180 16.3	401 36.4	27 2.5	49 4.5					

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-2 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。(〇は1つ)

全 体	く東京 23区 内(板 橋区 を除	東京 都内 の他 市町 村	埼 玉 県 内	千 葉 県 ・ 神 奈 川 県 内	そ の 他 (海 外 を 含 む)	無 回 答
162 100.0	88 54.3	8 4.9	12 7.4	16 9.9	34 21.0	4 2.5

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

問3-3 そう思った主な理由は何ですか。(〇は3つ)

板橋区よりも区外の方が、

全 体	子育てしやすい環境である	子どもの教育環境が充実しているため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	身近にふれることができるため	伝統芸能・歴史・名所等に	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	地域コミュニティが親しみやすいため	楽しい祭り・イベントがあるため	にぎわいのある商店街があるため	環境を守り資源を大切にしているため	緑や公園など自然環境に恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため	災害（震災や水害）対策が充実しているため
162 100.0	12 7.4	8 4.9	5 3.1	20 12.3	6 3.7	5 3.1	12 7.4	1 0.6	7 4.3	5 3.1	19 11.7	5 3.1	38 23.5	9 5.6	
	治安が良く安心して暮らせるため	イメージが良かったため	通勤・通学や暮らしたるための道路・交通網があるため	職場・学校が近いため	不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため	消費生活が便利（買い物のため）が良い・物価が安い	家族や親戚が近くに住んでいるため	その他	無回答						
	28 17.3	21 13.0	47 29.0	21 13.0	22 13.6	35 21.6	29 17.9	17 10.5	8 4.9						

問4 あなたは、板橋区での暮らしに「愛着」を感じますか。(〇はそれぞれ1つ)

全 体	感 じ る	ま あ感 じ る	あ ま り感 じ ない	感 じ ない	無 回 答	『感 じ る』	『感 じ ない』
1,275 100.0	413 32.4	659 51.7	164 12.9	20 1.6	19 1.5	1,072 84.1	184 14.5

第4章 集計表

(問4で「1 感じる」「2 まあ感じる」と回答した方のみ)

問4-1 「愛着を感じる」理由を5つ選んで下の表に番号を記入してください。

全 体	子育てしやすい環境であるため	子どものための教育環境が充実しているため	図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	医療・福祉・介護サービスが充実しているため	健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	文化活動に親しみやすい環境であるため	伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため	地域コミュニティが親しみやすいため	楽しい祭り・イベントがあるため	にぎわいのある商店街があるため	環境を守り資源を大切にしているため	緑や公園など自然環境に恵まれていて、又はまちなみ景観が美しいため	災害（震災や水害）対策が充実しているため	
	1,072 100.0	140 13.1	56 5.2	196 18.3	282 26.3	106 9.9	39 3.6	40 3.7	21 2.0	75 7.0	100 9.3	227 21.2	79 7.4	387 36.1	66 6.2
	治安が良く安心して暮らせるため	区のイメージが良かったため	通勤・通学や暮らしに便利 な道路・交通網があるため	職場・学校が近い ため	不動産価格や家賃が手頃で 良質な物件があるため	消費生活が便利（安い）物 なため	家族や親戚が近くに 住んでいるため	長年住んでいるため	その他	無回答					
	345 32.2	45 4.2	475 44.3	181 16.9	104 9.7	452 42.2	247 23.0	559 52.1	32 3.0	17 1.6					

問5 あなたは、板橋区での暮らしに「誇り」を感じますか。(○はそれぞれ1つ)

全 体	感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
1,275 100.0	141 11.1	494 38.7	521 40.9	75 5.9	44 3.5	635 49.8	596 46.8

(問5で「1 感じる」「2 まあ感じる」と回答した方のみ)

問5-1 「誇りを感じる」理由5つ選んで下の表に番号を記入してください。

全 体	子育てしやすい環境である	子どものため教育環境が充実している	図書館など生涯学習のため	医療・福祉・介護サービスが充実している	健康づくり・スポーツに取	文化活動に親しみやすい環	身近な伝統・歴史・名所等に	地域活動・ボランティアで活	地域コミュニティが親しみ	楽しい祭り・イベントがあ	にぎわいのある商店街があ	環境を守り資源を大切にし	緑や公園など自然環境に恵	災害(震災や水害)対策が
635 100.0	164 25.8	71 11.2	217 34.2	259 40.8	132 20.8	55 8.7	74 11.7	41 6.5	101 15.9	110 17.3	209 32.9	98 15.4	340 53.5	108 17.0
	治安が良く安心して暮らせ	区のイメージが良かったため	その他	無回答										
	338 53.2	92 14.5	29 4.6	14 2.2										

(3) 未来へつなぐまちづくり

問6 板橋区人口ビジョンを改定し、区の人口は増加を続けた後、2040年をピークに減少する推計となりました。

一方で近年、出生数の減少や子育て世帯の転出超過が続いています。

少子化対策や若い世代・子育て世帯の定住化に重要だと思うものはどれですか。(○は3つ)

全 体	不妊治療支援や産前産後のケア・相談体制	孤立を防ぐ地域の子育てコミュニティ構築	子育ての助け合いの多様化と世代間の助け合い	在宅子育て家庭への支援	共働きを支援する保育所や放課後対策事業	子どもの成長に合わせた切れ目のない支援	子育てしやすい公園・遊び場の環境	文化・スポーツなど情操教育の場や機会	多子・障がい等多様な支援ニーズへの対応	質の高い幼稚園・学校・大学等教育機関	子育て・教育にかかる負担軽減	多様な働き方ができる就業・職場環境	男性の家事・育児参画と女性の活躍社会	子育て世帯向けの住宅支援
1,275 100.0	148 11.6	207 16.2	152 11.9	137 10.7	504 39.5	281 22.0	238 18.7	93 7.3	85 6.7	160 12.5	547 42.9	334 26.2	78 6.1	231 18.1
	い妊婦や子連れが利用しやすい施設や外環境	魅力ある出産・子育て情報の発信	区内外や次世代に誇れるまちづくり	その他	無回答									
	127 10.0	48 3.8	132 10.4	50 3.9	42 3.3									

問7 2023年にこども基本法が施行され、こども施策の策定等にあたって、こどもの意見の反映に係る措置を講ずることが義務付けられました。区では、2024年にいたばし子どもワークショップを開催するなど、子どもの意見を聴く仕組みについて検討を続けています。どのような方法や手段があれば、子どもは、区に対して意見を伝えやすいと思いますか。(〇は3つ)

全 体	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	子どもだけ でできるワ ーキング	無 回 答
1,275 100.0	259 20.3	398 31.2	377 29.6	337 26.4	592 46.4	203 15.9	118 9.3	282 22.1	391 30.7	379 29.7	52 4.1	52 4.1

問8 2025年時点で区の高齢者人口(65歳以上)は、超高齢社会の目安となる総人口に占める割合の21%を超えており、2040年には25%(4人に1人)をも超える推計となっています。超高齢社会において重要だと思うものはどれですか。(〇は3つ)

全 体	定期的な 元気力 チェック	フレイル・ 介護予防	高齢者 就業・ 生涯現 役に向 け	地域活 動の文 化・ス ポーツ 等	世代間 交流な ど地域 社会と の関	高齢者 の孤独 対策	地域包 括ケア システ ム・相 談体制 充実	在宅医 療サー ビス	介護保 険制度 の充実 ・適正 化	時代に 合わせた デジタル 活用支 援	認知症 の普及 啓発・ 地域で の支え 合い	終活サ ポート	詐欺等 犯罪被 害防止 及び成 年	サルバ リアデ ザイン 化・ユ ニバー サル
1,275 100.0	139 10.9	237 18.6	436 34.2	161 12.6	199 15.6	439 34.4	243 19.1	335 26.3	455 35.7	151 11.8	165 12.9	207 16.2	110 8.6	169 13.3
	活働 き盛 りへ の健 康教 育・ 生	そ の 他	無 回 答											
	147 11.5	30 2.4	17 1.3											

問9 板橋区では2022年1月に「ゼロカーボンいたばし2050」を表明し、2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる「カーボンニュートラル」の実現をめざして、脱炭素に向けた取組を行っています。
資源を大切に作る循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うものはどれですか。(〇は3つ)

全 体	家庭や事業所における省エネの促進	再生可能エネルギーの積極的な利用	太陽光発電など創エネの促進	公共交通機関・カーシェア等の利用促進	電気自動車など次世代自動車の利用促進	自転車、電動小型モビリティの利用促進	緑地・水環境など自然の保全・再生	生物多様性の保全・再生	環境に配慮した企業経営の支援・促進	ごみの減量、食品ロスの削減	プラスチックごみ再資源化	区内小中学校への環境教育の充実	環境教育のための学びの機会提供	地域や企業等との協働による環境行動
1,275 100.0	291 22.8	381 29.9	229 18.0	184 14.4	79 6.2	126 9.9	500 39.2	91 7.1	119 9.3	502 39.4	269 21.1	151 11.8	135 10.6	132 10.4
	共設・ビル（ZEB）の整備	省エネ性能が高い設備を公共施設へ導入	高気密・高断熱の公共施設の推進	その他	無回答									
	67 5.3	173 13.6	130 10.2	23 1.8	27 2.1									

(4) 板橋区のブランドに関する取り組み

問10 板橋区が取り組んでいる板橋らしさを感じるブランド創造に向けた取組について、あなたが知っているものはどれですか。
(〇はいくつでも)

全 体	魅力ある文化を創造・発信する「板橋」の取組	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など	絵本作家の国際交流・展示・講演会など
1,275 100.0	316 24.8	391 30.7	95 7.5	301 23.6	984 77.2	610 47.8	379 29.7	440 34.5	246 19.3	90 7.1	511 40.1	161 12.6	69 5.4	102 8.0
	史跡や旧軍板橋家住宅など	制度として「板橋区ゆかりの人物」を顕彰する	その他	無回答										
	175 13.7	142 11.1	29 2.3	61 4.8										

問11 あなたが、板橋区の「ブランド」になりうると考えるものはどれですか。(〇は3つ)

全 体	ソリ、会、大、術、と、絵、館、し、平、ボ、車、草、再、と、マ、フ、リ、整、東、然、荒、森、武、街、大、都、橋、業、を、2、ア、文、橋、植、橋、地、全、橋、先、エ、S、て、S、子、共、 ン、板、規、館、ン、本、環、ロー、公、も、屋、現、友、レ、アイ、備、京、川、蔵、野、山、内、が、3、化、火、村、域、校、ミ、進、コ、ポ、D、都、D、育、 橋、区、模、た、バ、本、境、ニー、園、動、根、す、好、し、あ、2、河、野、に、有、景、製、共、実、ニ、都、の、カ、推、内、先、 C、民、イ、個、ス、江、と、ニ、な、特、や、熱、携、ア、ず、0、敷、台、に、数、観、造、に、し、位、進、 i、ま、ン、性、の、戸、と、調、和、園、な、赤、環、し、ベ、ス、0、な、の、所、跡、進、 t、つ、(、あ、狩、の、公、と、し、の、色、塚、ン、ス、大、等、な、加、な、向、 y、り、)、ふ、野、派、の、内、あ、熱、ナ、ツ、会、の、歴、エ、板、 マ、農、花、展、等、の、緑、あ、環、植、雨、を、契、光、学、出、荷、 ま、業、火、の、立、中、袋、あ、本、橋、木、を、機、学、学、額、 ラ、ま、大、美、心、モ、書、れ、設、を、に、自、の、	807 63.3	84 6.6	241 18.9	225 17.6	125 9.8	106 8.3	177 13.9	479 37.6	86 6.7	112 8.8	70 5.5	93 7.3	93 7.3	338 26.5
	なも大 医2規 療3模 機区病 関内院 が一 を多 誇く る、 病 床 豊 富 数	その他	無 回 答												
	406 31.8	31 2.4	43 3.4												

問12 板橋区は絵本文化を発信する「絵本のまち板橋」を推進しています。どのような取組であれば参加したいですか。

(〇は3つ)

全 体	絵 本 を 身 近 に 感 じ ら れ る イ ベ ン ト	子 育 て 世 帯 が 楽 し め る イ ベ ン ト	大 学 生 と 協 働 し た 取 組	絵 本 の 読 み 活 動 か せ な ど の ポ ジ ン グ	絵 本 の 芸 術 性 ・ 国 際 性 に ふ れ る イ ベ ン ト	印 刷 ・ 製 本 関 連 企 業 と 連 携 し た イ ベ ン ト	取 組 ま な ど 創 作 者 と 連 携 し た	絵 本 作 家 ・ イ ラ ス ト レ ー タ ー	そ の 他	無 回 答
1,275 100.0	622 48.8	468 36.7	107 8.4	294 23.1	306 24.0	416 32.6	270 21.2	552 43.3	58 4.5	106 8.3

(5) デジタル化に向けた取組

問13 板橋区は行政サービスのデジタル化が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

全 体	進 ん で い る	ま あ 進 ん で い る	あ ま り 進 ん で い ない	遅 れ て い る	無 回 答	『 進 ん で い る 』	『 進 ん で い ない 』
1,275 100.0	76 6.0	682 53.5	367 28.8	58 4.5	92 7.2	758 59.5	425 33.3

問14 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うものはどれですか。(〇は3つ)

全 体	公共施設における シユレス決済の推 進	公共施設における F i 環境の充実	申請・届出等の推 進	マイナンバーク ードの普	W E B ・ S N S の提供	だれでもが利用し やすいオ	オンラインによる 会議・講	研修・講座・各 種の配	スマートフォン やパソ	生成 A I を活用 した行政	企業、商店街、 町会・自治	教育環境のデ ジタル化推	書かない窓口 等、行政手	人流データ等 のデジタリ
1,275 100.0	292 22.9	337 26.4	539 42.3	258 20.2	130 10.2	96 7.5	34 2.7	71 5.6	250 19.6	92 7.2	172 13.5	89 7.0	357 28.0	41 3.2
	施全個人 なセキ ュリが漏 テい 対策 のい 実万	その他	無 回 答											
	669 52.5	45 3.5	43 3.4											

問15 板橋区では様々な行政手続き等のオンライン化を進めています。

行政手続き等のオンラインサービスを利用するうえで必要だと思うものはどれですか。(〇は1つ)

全 体	オン ライ ン申 請で きる 手続	すわ いウ ェブ サイ ト	きさ れた 項目 が少 ない 等簡 素化	合オ ンラ イ ン 機 能	安全 で簡 便な 本人 確認 方法	サ複 ー数 手続 きの ワン スト ップ	テ個 イ人 対情 策報 の保 護と セキ ュリ	その他	無 回 答
1,275 100.0	297 23.3	301 23.6	167 13.1	33 2.6	72 5.6	50 3.9	249 19.5	17 1.3	89 7.0

(6) 区の情報発信

問16 あなたは、区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。(〇は1つ)

全 体	伝 わ つ て い る	ま あ 伝 わ つ て い る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 伝 わ つ て い な い	全 く 伝 わ つ て い な い	無 回 答	『伝 わ つ て い る』	『伝 わ つ て い な い』
1,275 100.0	62 4.9	353 27.7	499 39.1	278 21.8	48 3.8	35 2.7	415 32.6	326 25.6

第4章 集計表

(問16で「4 あまり伝わっていない」「5 全く伝わっていない」と回答した方のみ)

問16-1 区からの情報が伝わっていないと思う主な理由は何ですか。(○は1つ)

全 体	情報を収集する時間がない	情報を得る手段がわからない	情報は収集しているが内容がわからない	区政に関心がない	無回答
326 100.0	70 21.5	159 48.8	30 9.2	55 16.9	12 3.7

問17 あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。(〇はいくつでも)

全 体	区ホームページ	広報いたばし	公式SNS（LINE、Facebook、Instagram）	YouTube板橋区公式チャンネル（魅力発信！いたばしナビなど）	いたばしぐらしガイド・防災ガイド・ハザードマップ	区役所内のデジタルサイネージ（モニター）、1階ギャラリモール等の展示	板橋区公式アプリ（いたばし子育てナビアプリ、板橋防災＋アプリ）	いたばしPayアプリのコラム記事	区内に設置されている掲示板	町会・自治会からの回覧板	ニュースサイト・アプリ・SNSでの板橋区に関する情報	板橋区内の情報を専門的に発信する地域メディアのサイト・SNSでの情報	新聞、雑誌（紙）等での板橋区に関する記事	テレビ（地上波・ケーブルテレビ）での板橋区に関する放送
1,275 100.0	446 35.0	566 44.4	108 8.5	33 2.6	261 20.5	19 1.5	46 3.6	69 5.4	394 30.9	282 22.1	134 10.5	112 8.8	181 14.2	172 13.5
	その他	無回答												
	61 4.8	72 5.6												

(7) 今後力を入れるべき分野

問18 板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に5つ選んで下の表に番号を記入してください。

	全 体	子 育 て	学 校 教 育	健 康 づ く り ・ 公 衆 衛 生	生 涯 学 習 ・ 社 会 教 育	食 育	ス ポ ー ツ 振 興	住 宅 施 策	高 齢 者 社 会 参 加 ・ 介 護 予 防	介 護 ・ 高 齢 福 祉 ・ 見 守 り	障 が い 者 福 祉	生 活 保 護 ・ 生 活 困 窮 者 支 援	孤 立 ・ 孤 独 対 策 ・ ひ き こ も り 支 援	男 女 平 等 ・ 女 性 活 躍 推 進
1 位	1,275 100.0	396 31.1	63 4.9	48 3.8	20 1.6	13 1.0	13 1.0	40 3.1	70 5.5	102 8.0	10 0.8	24 1.9	12 0.9	9 0.7
2 位	1,275 100.0	72 5.6	152 11.9	42 3.3	32 2.5	17 1.3	17 1.3	49 3.8	78 6.1	124 9.7	29 2.3	25 2.0	30 2.4	10 0.8
3 位	1,275 100.0	50 3.9	43 3.4	60 4.7	25 2.0	16 1.3	21 1.6	42 3.3	46 3.6	84 6.6	36 2.8	31 2.4	27 2.1	23 1.8
4 位	1,275 100.0	34 2.7	49 3.8	46 3.6	26 2.0	18 1.4	13 1.0	25 2.0	52 4.1	58 4.5	23 1.8	27 2.1	31 2.4	17 1.3
5 位	1,275 100.0	35 2.7	27 2.1	33 2.6	28 2.2	14 1.1	15 1.2	44 3.5	35 2.7	48 3.8	9 0.7	26 2.0	26 2.0	10 0.8
	多 様 性 理 解 の 推 進	就 労 支 援	消 費 生 活 ト ラ ブ ル 防 止	コ ミ ュ ニ テ ィ ・ 協 働	商 業 ・ 工 業 振 興	都 市 農 業 振 興	観 光 振 興	文 化 ・ 芸 術 振 興	国 際 交 流 ・ 多 文 化 共 生	防 災	防 犯	交 通 安 全 （ 自 転 車 対 策 等 ）	市 街 地 整 備 ・ ま ち づ く り	進 ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イ ン の 推
1 位	4 0.3	22 1.7	6 0.5	8 0.6	24 1.9	5 0.4	9 0.7	6 0.5	1 0.1	63 4.9	65 5.1	17 1.3	36 2.8	4 0.3
2 位	8 0.6	41 3.2	8 0.6	9 0.7	28 2.2	5 0.4	6 0.5	8 0.6	6 0.5	102 8.0	77 6.0	32 2.5	38 3.0	9 0.7
3 位	15 1.2	62 4.9	14 1.1	15 1.2	31 2.4	11 0.9	12 0.9	11 0.9	10 0.8	90 7.1	94 7.4	46 3.6	61 4.8	3 0.2
4 位	10 0.8	47 3.7	5 0.4	20 1.6	46 3.6	12 0.9	23 1.8	20 1.6	14 1.1	90 7.1	88 6.9	69 5.4	51 4.0	7 0.5
5 位	15 1.2	41 3.2	21 1.6	14 1.1	18 1.4	17 1.3	12 0.9	25 2.0	6 0.5	51 4.0	88 6.9	71 5.6	64 5.0	14 1.1
	緑 ・ 公 園 ・ 景 観	環 境 ・ 清 掃 ・ リ サ イ ク ル	道 路 ・ 交 通	情 報 公 開 ・ 区 民 参 加	ブ ラ ン ド 創 造 ・ 魅 力 発 信	フ ォ ー メ ー ジ シ ョ ル ト ラ ン ス	行 財 政 改 革	無 回 答						
1 位	33 2.6	17 1.3	20 1.6	5 0.4	15 1.2	17 1.3	22 1.7	56 4.4						
2 位	48 3.8	23 1.8	33 2.6	8 0.6	13 1.0	20 1.6	16 1.3	60 4.7						
3 位	74 5.8	35 2.7	52 4.1	8 0.6	11 0.9	23 1.8	19 1.5	74 5.8						
4 位	107 8.4	57 4.5	34 2.7	8 0.6	22 1.7	16 1.3	17 1.3	93 7.3						
5 位	102 8.0	68 5.3	69 5.4	39 3.1	32 2.5	20 1.6	36 2.8	102 8.0						

(8) 区の各政策分野のこと

問19 板橋区は子育て世帯にとって、子育てしやすいまちですか（子育て世帯ではない方は、子育てしやすいまちだと思いますか）。（○は1つ）

全 体	はい	いいえ	わからない	無回答
1,275 100.0	587 46.0	59 4.6	595 46.7	34 2.7

問20 あなたが必要と感じる子育て施策はどれですか。（○は3つ）

全 体	悩みを相談する場が身近にあること	自宅での子育てしている家庭への支援	生活に困窮する子育て家庭への支援	保育サービスの充実	子育て家庭への経済的支援	児童虐待の予防・発見・対応	妊娠・出産支援	子どもが安心して遊べる場があること	子育ての悩みを持つ保護者同士の交流	障がいなどの特に配慮が必要な子どもへの支援	子育てに関する情報提供の充実	子育てに関するオンライン手続きの充実	子どもの意見を反映する方法があること	その他
1,275 100.0	407 31.9	167 13.1	320 25.1	408 32.0	393 30.8	216 16.9	229 18.0	496 38.9	138 10.8	181 14.2	198 15.5	113 8.9	69 5.4	30 2.4
	特 に な い	無 回 答												
	52 4.1	53 4.2												

問21 あなたは、子どもたちのたくましく生きる力(学力・心・体)が学校・家庭・地域における教育を通して、はぐくまれていると感じますか。（○は1つ）

全 体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
1,275 100.0	109 8.5	286 22.4	349 27.4	103 8.1	46 3.6	347 27.2	35 2.7

『感じる』	『感じない』
395 30.9	149 11.7

問22 あなたは直近1年間でどのようなことを積極的に学びましたか。(〇はいくつでも)

全 体	資格に 必要な 知識・技 能や	インター ネットの 知識・技 能に 関すること	ボラン ティア 活動に 必要な 知識・技 能に 関すること	自然体 験や生 活体験 などの 体験活 動に 関すること	人口減 少や地 球温暖 化など の社会 問題に 関すること	健康や スポー ツに 関すること	料理や 裁縫な どの家 庭生活 に 関すること	育児や 教育に 関すること	音楽や 美術、 レクリ エー ション 活動な どの趣 味に 関すること	文学や 歴史、 語学な どの教 養に 関すること	福祉に 関すること	N I S A や資産 運用な どの金 融に 関すること	その他	特に積 極的 には学 んでい ない
1,275 100.0	462 36.2	238 18.7	39 3.1	77 6.0	112 8.8	311 24.4	190 14.9	135 10.6	239 18.7	193 15.1	116 9.1	200 15.7	29 2.3	279 21.9
	無 回 答													
	33 2.6													

問23 あなたは今後、どのようなことを積極的に学びたいと思いますか。(〇はいくつでも)

全 体	資格に 必要な 知識・技 能や	インター ネットの 知識・技 能に 関すること	ボラン ティア 活動に 必要な 知識・技 能に 関すること	自然体 験や生 活体験 などの 体験活 動に 関すること	人口減 少や地 球温暖 化など の社会 問題に 関すること	健康や スポー ツに 関すること	料理や 裁縫な どの家 庭生活 に 関すること	育児や 教育に 関すること	音楽や 美術、 レクリ エー ション 活動な どの趣 味に 関すること	文学や 歴史、 語学な どの教 養に 関すること	福祉に 関すること	N I S A や資産 運用な どの金 融に 関すること	その他	特に積 極的 には学 んでい ない
1,275 100.0	422 33.1	348 27.3	94 7.4	150 11.8	148 11.6	399 31.3	220 17.3	165 12.9	314 24.6	293 23.0	186 14.6	335 26.3	20 1.6	121 9.5
	無 回 答													
	32 2.5													

第4章 集計表

問24 あなたは、1か月に何冊くらい本を読んでいますか（電子書籍を含みますが、雑誌や漫画は除きます）。

()内に数値を記入してください

全 体	読 ま ない	1 冊 以 上 5 冊 未 満	5 冊 以 上 1 0 冊 未 満	1 0 冊 以 上 2 0 冊 未 満	2 0 冊 以 上 3 0 冊 未 満	3 0 冊 以 上	無 回 答	平 均 （冊）
1,275 100.0	426 33.4	682 53.5	64 5.0	17 1.3	6 0.5	6 0.5	74 5.8	2.4

問25 あなたは、近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことはありますか。（○は1つ）

全 体	支 援 し た こ と が あ る	支 援 さ れ た こ と は あ る	支 援 し た こ と は あ る が、 支 援 さ れ た こ と は あ る	支 援 し た こ と は あ る が、 支 援 さ れ た こ と は あ る	無 回 答	『 支 援 し た こ と が あ る 』 『 支 援 さ れ た こ と が あ る 』
1,275 100.0	214 16.8	127 10.0	91 7.1	814 63.8	29 2.3	432 33.9

問26 あなたが、地域住民同士の支え合い活動の中で、できるものはありますか。（○はいくつでも）

全 体	身 近 な 話 し 相 手 に な る こ と	高 齢 ・ 障 が い い 者 ・ 子 ど も な ど の 見 守 り 活 動	ご み 出 し な ど の 家 事 援 助	区 役 所 な ど の 相 談 先 に つ な ぐ 仲 介 役	子 ど も 食 堂 な ど 地 域 の 居 場 所 活 動 へ の 参 加	地 域 で の 防 災 ・ 防 犯 の 活 動	地 域 の 担 い 手 に な る た め の 養 成 講 座	そ の 他	で き る も の は な い	無 回 答
1,275 100.0	480 37.6	242 19.0	284 22.3	95 7.5	154 12.1	256 20.1	87 6.8	18 1.4	342 26.8	43 3.4

問27 あなたが、健康のために普段から行っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

全 体	健康診断や人間ドックを受診している	徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている	自転車を利用するようにしている	適度な運動をしている	栄養バランスに気をつけて食事をしている	規則正しく食事をするようにしている	たばこを吸わないようにしている	歯や口腔のケアに気をつけている	お酒の飲みすぎに注意している	睡眠を十分とるようにしている	自分なりのリフレッシュ方法を実践している	健康に関するアプリを利用している	その他	特に行っていない
1,275 100.0	697 54.7	692 54.3	331 26.0	476 37.3	489 38.4	455 35.7	460 36.1	608 47.7	306 24.0	531 41.6	392 30.7	83 6.5	14 1.1	38 3.0
	無回答													
	16 1.3													

問28 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか(ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む)。

(〇は1つ)

全 体	週に3回以上	週に1回～2回程度	月に1回～2回程度	3か月に1回程度	半年に1回程度	行っていない	無回答	『週に1回以上』
1,275 100.0	369 28.9	386 30.3	186 14.6	31 2.4	16 1.3	264 20.7	23 1.8	755 59.2

問29 あなたが、過去1年の間に鑑賞した(オンライン・動画配信等含む)、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。

(〇はいくつでも)

全 体	音楽	演劇・舞踏・舞踊	美術・写真	映画・アニメーションなど	歌舞伎・雅楽などの伝統芸能	落語・漫談・歌唱などの芸能	茶道・華道・書道などの生活文化	囲碁・将棋などの国民娯楽	有形・無形文化財	その他	1年間全くふれていない	無回答
1,275 100.0	741 58.1	236 18.5	355 27.8	726 56.9	59 4.6	146 11.5	61 4.8	54 4.2	113 8.9	17 1.3	167 13.1	37 2.9

第4章 集計表

問30 あなたは、過去1年の間に、異なる国籍や文化をもつ方とコミュニケーション(あいさつや世間話、道案内等)をとりましたか。(〇はいくつでも)

全 体	あい さつ をし た	世 間 話 をし た	道 案 内 をし た	た 事 業・イ ベン ト等 で交 流し	親 族又 は友 人 とコ ミュ ニ ケー シ ョ ン が あ つ た	仕 事 で 関 わ り が あ つ た	学 校 で 交 流 し た	交 流 し た ボ ラン テ ィ ア 活 動 を 通 し て	そ の 他	コ ミュ ニ ケー シ ョ ン は 全 く な か つ た	無 回 答
1,275 100.0	409 32.1	150 11.8	196 15.4	56 4.4	101 7.9	296 23.2	33 2.6	13 1.0	30 2.4	484 38.0	42 3.3

問31 板橋区は平和都市宣言をしています。あなたは、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについて、どう思いますか。
(〇は1つ)

全 体	大 切 だ と 思 う	ま あ 大 切 だ と 思 う	ど ち ら と も い え な い	そ れ ほ ど 大 切 だ と 思 わ な い	大 切 だ と 思 わ な い	無 回 答	『大 切 だ と 思 う』	『大 切 だ と 思 わ な い』
1,275 100.0	1,035 81.2	164 12.9	35 2.7	16 1.3	6 0.5	19 1.5	1,199 94.1	22 1.8

問32 いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ1つ選び、
下の表に番号を記入してください。(あなたが、今までに参加したものについてご回答ください。)
(いたばし花火大会)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	参 加 し た こ と が な い	無 回 答	『満 足』	『不 満』
1,275 100.0	379 29.7	387 30.4	120 9.4	33 2.6	11 0.9	231 18.1	114 8.9	766 60.1	44 3.5

(板橋区民まつり)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	参 加 し た こ と が な い	無 回 答
1,275 100.0	146 11.5	281 22.0	174 13.6	14 1.1	6 0.5	508 39.8	146 11.5

『満 足』	『不 満』
427 33.5	20 1.6

(板橋農業まつり)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	参 加 し た こ と が な い	無 回 答
1,275 100.0	83 6.5	154 12.1	125 9.8	11 0.9	8 0.6	724 56.8	170 13.3

『満 足』	『不 満』
237 18.6	19 1.5

問33 あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。(〇は1つ)

全 体	に ぎ や か で 活 気 が あ る	身 近 で 便 利 で あ る	個 性 的 な 店 が 多 い	空 き 店 舗 が 多 い	人 通 り が 少 な い	そ の 他	無 回 答
1,275 100.0	193 15.1	519 40.7	48 3.8	241 18.9	145 11.4	71 5.6	58 4.5

問34 区内の「自然環境」や「公園・緑地」に関する満足度について、それぞれ1つずつ選び、番号に〇印をつけてください。
(緑地が保全され潤いのある自然環境が量的に整っている)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	わ か ら な い	無 回 答
1,275 100.0	214 16.8	582 45.6	237 18.6	94 7.4	36 2.8	87 6.8	25 2.0

『満 足』	『不 満』
796 62.4	130 10.2

(緑地が保全され潤いのある自然環境が質的に整っている)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	わ か ら な い	無 回 答
1,275 100.0	165 12.9	530 41.6	306 24.0	111 8.7	36 2.8	91 7.1	36 2.8

『満 足』	『不 満』
695 54.5	147 11.5

第4章 集計表

(憩える公園・緑地が量的に整備されている)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	わ か ら な い	無 回 答	『満 足』	『不 満』
1,275 100.0	180 14.1	532 41.7	273 21.4	135 10.6	38 3.0	81 6.4	36 2.8	712 55.8	173 13.6

(憩える公園・緑地が質的に整備されている)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	わ か ら な い	無 回 答	『満 足』	『不 満』
1,275 100.0	154 12.1	507 39.8	287 22.5	147 11.5	53 4.2	85 6.7	42 3.3	661 51.9	200 15.7

問35 環境のためのご自身での取組について、「現在取り組んでいること」・「今後取り組んでみたいこと
(現在も取り組んでいて継続して取り組みたいことを含む)」をそれぞれ下の表から選んでください。
(○はいくつでも)

	全 体	環 境 に 配 慮 し た 行 動 (省エ ネなど) の 実 施	省エネ 家電 (LED など) の 切 り 冷 替 え 導 入	創 設 の 導 入 (太 陽 光 発 電 な ど)	入 入 再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 切 り 替 え 導 入	電 気 自 動 車 、 電 動 バ イ ク の 利 用	カ ー シ ェ ア リ ン グ (電 動 バ イ ク 含 む) の 利 用	シ ェ ア サ イ ク ル (自 転 車 、 電 動 キ ャ ッ ク ボ ー ド 等 の 利 用 、 小 型 モ ビ リ テ ィ の 利 用)	緑 の カ ー テ ン の 育 成	生 き 物 (動 植 物) を 大 切 に す る 活 動 の 実 施	環 境 に 関 する イ ベ ン ト や 講 座 等 へ の 参 加	食 品 ロ ス を 減 ら す 行 動 (買 い す ぎ な い 、 家 庭 菜 園 に よ る 地 産 地 消 な ど) の 実 施	減 ら す プ ラ ス チ ッ ク の 削 削	日 常 的 な マ イ ボ ト ル の 利 用
現在	1,275 100.0	480 37.6	576 45.2	46 3.6	13 1.0	75 5.9	78 6.1	77 6.0	71 5.6	151 11.8	23 1.8	556 43.6	403 31.6	559 43.8
今後	1,275 100.0	390 30.6	455 35.7	120 9.4	96 7.5	131 10.3	95 7.5	102 8.0	143 11.2	193 15.1	112 8.8	475 37.3	318 24.9	372 29.2
	備 行 気 候 変 化 等 (熱 中 症 予 防 、 適 応 す る 等)	省エネ 建 物 化 (高 気 密 ・ 高 断 熱 及 び 省 エ ネ 化 等)	そ の 他	無 回 答										
現在	405 31.8	105 8.2	17 1.3	133 10.4										
今後	365 28.6	152 11.9	14 1.1	212 16.6										

問36 あなたは、災害情報を収集するために、どんな手段を確保していますか。(〇はいくつでも)

全 体	防災行政無線	板橋区防災・緊急情報メール配信サービス	板橋区防災＋アプリ	板橋区防災・防犯情報X(旧Twitter)	板橋区LINE公式アカウント	その他防災関連アプリ(他企業)	東京都防災アプリ	テレビ放送	ラジオ放送	インターネット(ホームページ等)	その他	特 に ない	無 回 答
1,275 100.0	207 16.2	263 20.6	146 11.5	62 4.9	80 6.3	106 8.3	130 10.2	665 52.2	224 17.6	526 41.3	18 1.4	124 9.7	25 2.0

問37 あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。(〇はいくつでも)

全 体	飲料水・非常用食糧の備蓄	生活用品(衣類や洗面用具など)の準備	消火器・消火用水の常備と点検	最寄り学校等、避難場所の確認	一時集合場所、避難場所、避難路、ハザードマップの確認	地震ブレーカーの設置	家具の転倒、物の落下や移動の防止	簡易トイレの準備	家族内での連絡方法の確認	近隣住民との関係づくり	感震ブレーカーや家具転倒防止器具等、定期的な点検を行っている	その他	特 に ない	無 回 答
1,275 100.0	877 68.8	548 43.0	311 24.4	521 40.9	465 36.5	135 10.6	395 31.0	602 47.2	297 23.3	77 6.0	58 4.5	6 0.5	84 6.6	31 2.4

(問37で「1 飲料水・非常用食糧の備蓄」を選んだ方のみ)

問37-1 およそ何日分の備蓄をしていますか。記載例を参考に()内に数値を記入してください

全 体	3 日 分 未 満	3 日 分 以 上 4 日 分 未 満	4 日 分 以 上 5 日 分 未 満	5 日 分 以 上 6 日 分 未 満	6 日 分 以 上 7 日 分 未 満	7 日 分 以 上 8 日 分 未 満	8 日 分 以 上	無 回 答	平均(日分)
877 100.0	245 27.9	387 44.1	40 4.6	59 6.7	7 0.8	67 7.6	47 5.4	25 2.9	3.6

問38 あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。(〇は1つ)

全 体	感じる	まあ感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	無 回 答	『感じる』	『感じない』
1,275 100.0	228 17.9	604 47.4	309 24.2	78 6.1	30 2.4	26 2.0	832 65.3	108 8.5

第4章 集計表

問39 あなたは、「ユニバーサルデザイン」についてどの程度知っていますか。(〇は1つ)

全 体	具体的 な事例 まで知 ってい る	言葉 の意味 は知っ てい る	言葉 だけ は聞い たこ とが	知ら なかつ た(今 回初 めて 聞いた)	無 回 答	『認 知 度』
1,275 100.0	176 13.8	352 27.6	380 29.8	324 25.4	43 3.4	908 71.2

(問39で「1 具体的な事例まで知っている」「2 言葉の意味は知っている」と回答した方のみ)

問39-1 板橋区では、ユニバーサルデザインを推進しています。あなたは、区の実践が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

全 体	思 う	ま あ思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	『思 う』	『思 わ な い』
528 100.0	16 3.0	111 21.0	195 36.9	91 17.2	12 2.3	95 18.0	8 1.5	127 24.0	103 19.5

問40 あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。(〇は1つ)

全 体	感 じ る	ま あ感 じ る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 感 じ な い	感 じ な い	無 回 答	『感 じ る』	『感 じ な い』
1,275 100.0	406 31.8	515 40.4	204 16.0	90 7.1	41 3.2	19 1.5	921 72.2	131 10.3

問41 板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいます。あなたは、

建築物等(建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など)が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。(〇は1つ)

全 体	感 じ る	ま あ感 じ る	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 感 じ な い	感 じ な い	無 回 答	『感 じ る』	『感 じ な い』
1,275 100.0	98 7.7	377 29.6	463 36.3	232 18.2	79 6.2	26 2.0	475 37.3	311 24.4

問42 自転車に乗って出かけたいまちの実現に向けて何が不足していると思いますか。(〇はいくつでも)

全 体	の自 整備 備車 が安 全に 走れ る環 境	整自 備車 駐車 場(駐 輪場) の	のシ ェア サイ クル の利 用環 境	進キ ツク 世代 ボー モビ リテ イ(電)の利 用推 動つ	用自 転車 を楽 しく 健康 的に 利	マ自 ナ転 車の 安全 徹底 運転 のル ール・	そ 他	特 に な い	無 回 答
1,275 100.0	853 66.9	638 50.0	138 10.8	56 4.4	137 10.7	652 51.1	48 3.8	78 6.1	33 2.6

(9) 今後の行政サービスと負担のあり方

問43 今後の行政サービスの水準と費用負担の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(〇は1つ)

無 回 答	そ の 他	区民の負担が増えるのであれば、行政サービスの維持 できなくともやむを得ない	行政サービスの維持・充実 するためには、そのサービスの直接受け手である利用者 の負担を増やすことが望ま しく、区民全体の負担を増 やすべきではない	行政サービスを維持・充 実するためには、区民全 体の負担が増えるのでな い	全 体
58 4.5	87 6.8	129 10.1	550 43.1	451 35.4	1,275 100.0

問44 板橋区は定型業務・窓口業務の委託化や指定管理者制度の導入など、民間事業者等の活用を進めてきました。

これからも区が安定して行政サービスを提供していくために、あなたが重要だと思うものはどれですか。(〇は1つ)

無回答	その他	優秀な人材確保のため、職員の人材育成や能力開発を行うとともに、短時間勤務やテレワーク等、柔軟で多様な働き方を推進する就業環境を整備する	類似事業の整理や業務手順の効率化など、区民目線から業務の見直しを行うとともに、民間活用を積極的に進め、職員がコア業務に注力できる体制を構築すること、で、区民サービスの向上につなげる	Aの活用など、DXによる事務の効率化を進め、より効果的な事業実施手法への転換を図ることで区民サービスの維持・向上につなげ、創出された職員の力を効果的に活用する	区民や地域団体、民間事業者など、多様な主体と積極的に協力することで、幅広い行政需要に対応していく	全体
63	25	245	340	294	308	1,275
4.9	2.0	19.2	26.7	23.1	24.2	100.0

問45 板橋区の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後、多額の更新費用を要することが見込まれます。

今後の公共施設のあり方について、あなたが重要だと思うものはどれですか。(〇は1つ)

無回答	その他	公共施設は、今後も現状の 数や規模を維持することが 望ましい	公共施設は、行政ニーズの 変化や多様化に応じて他の 売却などにより有効活用し たりすることが望ましい	公共施設は、人口規模や利 用状況などに応じて統廃合 等により縮減していくこと はやむを得ない	全 体
41 3.2	23 1.8	177 13.9	654 51.3	380 29.8	1,275 100.0

第4章 集計表

(10) 社会活動・地域活動等

問46(1)-1 あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。

加入状況について該当するものをそれぞれ選び、番号に○印をつけてください。

(町会・自治会)

全 体	加 入 し て い る	加 入 し て い な い	無 回 答
1,275 100.0	528 41.4	708 55.5	39 3.1

問46(1)-2 加入していない主な理由を3つ選んでください。

(町会・自治会)

全 体	を 加 入 し た い た め の 団 体 が あ る こ と	加 入 方 法 が わ か ら な い た め	倒 入 の た め の 手 続 き 等 が 面	め 加 入 す る き つ か け が な い た	合 加 入 し て も 活 動 の ベ ー ス が	忙 し く て 暇 が な い た め	め 金 銭 的 な 負 担 を 避 け た た め	な 活 動 の た め の 知 識 や 技 術 が	い 一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い な	い 加 入 の 必 要 性 を 感 じ て い な	が そ も そ も 団 体 の 活 動 に 関 心	人 づ き あ い を わ ず ら わ し く	を 感 染 症 等 に よ る 感 染 リ ス ク	そ の 他
708 100.0	174 24.6	135 19.1	30 4.2	255 36.0	96 13.6	236 33.3	103 14.5	42 5.9	52 7.3	197 27.8	106 15.0	110 15.5	15 2.1	31 4.4
	無 回 答													
	29 4.1													

問46(2)-1 あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。

加入状況について該当するものをそれぞれ選び、番号に○印をつけてください。

(NPO団体)

全 体	加 入 し て い る	加 入 し て い な い	無 回 答
1,275 100.0	39 3.1	1,156 90.7	80 6.3

問46(2)-2 加入していない主な理由を3つ選んでください。

(NPO団体)

全 体	を 加 入 し な い た め の 理 由 が あ る こ と	加 入 方 法 が わ か ら な い た め	加 入 の た め の 手 続 き 等 が 面 倒	加 入 す る き つ か け が な い た め	加 入 し て も 活 動 の ベ ー ス が 合 わ な い た め	忙 し く て 暇 が な い た め	金 銭 的 な 負 担 を 避 け た た め	活 動 の た め の 知 識 や 技 術 が な い た め	一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い な い た め	加 入 の 必 要 性 を 感 じ て い な い た め	そ も そ も 団 体 の 活 動 に 関 心 が な い た め	人 づ き あ い を わ ず ら わ し く 感 じ る た め	感 染 症 等 に よ る 感 染 リ ス ク を 避 け た た め	そ の 他
1,156 100.0	348 30.1	163 14.1	44 3.8	395 34.2	126 10.9	357 30.9	117 10.1	169 14.6	74 6.4	361 31.2	231 20.0	153 13.2	32 2.8	26 2.2
	無 回 答													
	48 4.2													

問46(3)-1 あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。

加入状況について該当するものをそれぞれ選び、番号に○印をつけてください。

(趣味・スポーツ等のサークル)

全 体	加 入 し て い る	加 入 し て い な い	無 回 答
1,275 100.0	220 17.3	994 78.0	61 4.8

第4章 集計表

問46(3)-2 加入していない主な理由を3つ選んでください。

(趣味・スポーツ等のサークル)

全 体	を 加 入 し た い 団 体 が あ る こ と	加 入 方 法 が わ か ら な い た め	倒 入 の た め の 手 続 き 等 が 面	め 加 入 す る き つ か け が な い た	合 加 入 し て も 活 動 の ペ ー ス が	忙 し く て 暇 が な い た め	め 金 銭 的 な 負 担 を 避 け た い た	な 活 動 の た め の 知 識 や 技 術 が	い 一 緒 に 活 動 す る 仲 間 が い な	加 入 の 必 要 性 を 感 じ て い な	が そ も そ も 団 体 の 活 動 に 関 心	人 づ き あ い を わ ず ら わ し く	感 染 症 等 に よ る 感 染 リ ス ク	そ の 他
994 100.0	245 24.6	116 11.7	27 2.7	277 27.9	142 14.3	350 35.2	161 16.2	61 6.1	115 11.6	301 30.3	162 16.3	173 17.4	44 4.4	39 3.9
	無 回 答													
	42 4.2													

問47 あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。(〇は3つ)

全 体	活動情報の積極的なPR	若い世代への参加の呼びかけ	気軽に参加しやすいイベントの開催	イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ	地域の課題を話し合える場	住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること	近所の人とのつながりを持つようにすること	リーダー養成や組織づくりの勉強会	その他	無回答
1,275 100.0	577 45.3	408 32.0	736 57.7	223 17.5	119 9.3	507 39.8	371 29.1	67 5.3	41 3.2	84 6.6

(11) 板橋区職員に期待する能力・資質

問48 あなたは過去1年間で、区役所の窓口(電話含む)を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接したりする機会がありましたか。(〇は1つ)

全 体	接 す る 機 会 が あ っ た	接 す る 機 会 が な か っ た	無 回 答
1,275 100.0	726 56.9	517 40.5	32 2.5

(問48で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

問48-1 その際に接した職員の対応に関する満足度についてお答えください。(○は1つ)

全 体	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら で も な い	や や 不 満	不 満	無 回 答	『満 足』	『不 満』
726 100.0	243 33.5	319 43.9	98 13.5	37 5.1	8 1.1	21 2.9	562 77.4	45 6.2

(問48で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

問48-2 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	全 体	そ う 思 う	ま あ そ う 思 う	ど ち ら と も い え な い	あ ま り そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	『思 う』	『思 わ な い』
(1) 自分の行動・発言に責任を持っている	726 100.0	156 21.5	287 39.5	126 17.4	31 4.3	11 1.5	86 11.8	29 4.0	443 61.0	42 5.8
(2) もてなしの心を持ち、柔軟な対応ができています	726 100.0	153 21.1	292 40.2	135 18.6	54 7.4	22 3.0	43 5.9	27 3.7	445 61.3	76 10.4
(3) 高い倫理観を持ち、法令を遵守している	726 100.0	120 16.5	239 32.9	175 24.1	30 4.1	13 1.8	116 16.0	33 4.5	359 49.4	43 5.9
(4) 誰に対しても公平・誠実な態度で接している	726 100.0	160 22.0	277 38.2	150 20.7	23 3.2	16 2.2	69 9.5	31 4.3	437 60.2	39 5.4
(5) 積極的に職務に取り組んでいる	726 100.0	149 20.5	279 38.4	168 23.1	27 3.7	10 1.4	60 8.3	33 4.5	428 58.9	37 5.1
(6) 事務処理に関して迅速な対応ができています	726 100.0	176 24.2	294 40.5	137 18.9	41 5.6	17 2.3	35 4.8	26 3.6	470 64.7	58 7.9
(7) 職務に関する十分な知識を持っています	726 100.0	165 22.7	271 37.3	140 19.3	29 4.0	20 2.8	71 9.8	30 4.1	436 60.0	49 6.8
(8) わかりやすく説明ができています	726 100.0	190 26.2	313 43.1	127 17.5	39 5.4	13 1.8	17 2.3	27 3.7	503 69.3	52 7.2

問49 あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。(○は3つ)

全 体	持 自 つ 分 て の 行 動 職・発 言 に 責 任 を	が の も て 立 て き 場 な る に し 職 立 の 心 を 持 ち 、 柔 軟 な 対 区 応 民	遵 高 守 い す 倫 理 観 職 員 を 持 ち、 法 令 を	態 誰 度 に で 対 接 し て も 職 公 員 平 ・ 誠 実 な	員 積 極 的 に 職 務 に 取 り 組 む 職	応 事 が 務 で 処 理 に 職 関 員 し て 迅 速 な 対	職 持 職 員 ち 務 、 に 区 関 の する 課 十 を 分 解 な 決 知 す 識 る を	職 わ 員 か り や す く 説 明 が で き る	無 回 答
1,275 100.0	428 33.6	557 43.7	188 14.7	637 50.0	230 18.0	376 29.5	440 34.5	583 45.7	45 3.5

第 5 章 調査票

I D

令和7年度 板橋区 区民意識意向調査

ご記入に際してのお願い（郵送での回答の場合）

※区ではデジタル化・オンライン化の取組を進めています。可能な限り、インターネットを利用した回答にご協力ください。インターネットを利用した回答方法については「令和7年度 板橋区 区民意識意向調査へのご協力のお願い」裏面をご参照ください。

1 アンケート調査票の記入方法

- ◆封筒の**あて名に表示のあるご本人様**がご記入ください。ただし、事情により、ご記入が難しい場合には、ご本人様の意向をご家族の方が代わりにご記入いただいても構いません。
- ◆ご回答は、選択肢の中からご自身のお考えに最も近い番号を選び、質問文に示された数の範囲内で**番号に○印**をつけ、又は、**所定の欄に番号、数値を調査票に直接記入**してください。

2 アンケート調査票の返送方法

- ◆誠に勝手なお願いですが、ご記入いただいたアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**5月16日（金）までに**、郵便ポストに投函してください。なお、**インターネットを利用して回答された方は、この調査票を返送していただく必要はありません。**
- ◆返信用封筒に切手は不要です。また、**お名前・ご住所をご記入いただく必要はありません。**
- ◆このアンケート調査の集計作業につきましては、(株)都市計画21に委託しておりますので、返信用封筒のあて先が(株)都市計画21となっている旨をご了承願います。

3 本調査に関するお問い合わせ先

板橋区 政策経営部 政策企画課 総合調整係
所在地：〒173-8501
東京都板橋区板橋二丁目66番1号（板橋区役所 北館4階）
電 話：03-3579-2011（直通） FAX：03-3579-4211
E-mail：sk-schousei@city.itabashi.tokyo.jp

● あなたご自身のことをお伺いします ●

問1 次の各質問について、該当するものをお答えください。（○は1つ）

ア あなたの性別は、	1 男性	2 女性	3 その他	4 回答しない
イ あなたの年齢は、	1 18～20歳代	3 40歳代	5 65歳～74歳	
	2 30歳代	4 50歳～64歳	6 75歳以上	
ウ あなたがお住まいの地域は、 ※お住まいの地域がわからない場合は、別紙1「お住まいの地域について」をご覧ください。	1 板橋地域（板橋・熊野・仲宿・仲町・富士見）			
	2 常盤台地域（大谷口・常盤台・桜川）			
	3 志村地域（清水・志村坂上・中台・前野）			
	4 赤塚地域（下赤塚・成増・徳丸）			
	5 高島平地域（蓮根・舟渡・高島平）	※（ ）内は地区名です		
エ あなたの国籍は、	1 日本	2 日本以外		

● 区での住み心地に関してお答えください ●

問2 板橋区はあなたにとって、どの程度住みやすいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 住みやすい | 3 あまり住みやしくない |
| 2 まあ住みやすい | 4 住みにくい |

問3 あなたは今後も板橋区に住み続けたいとお考えですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 今後も区内に住み続けたい | 2 区外に移り住みたい |
|----------------|-------------|

問3-1へ

問3-2、3-3へ

(問3で「1 今後も区内に住み続けたい」と回答した方のみ)

▶問3-1 そう思った主な理由は何ですか。(○は3つ) 回答後、問4へお進みください。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1 子育てしやすい環境であるため | 12 環境を守り資源を大切にしているため |
| 2 子どもの教育環境が充実しているため | 13 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため |
| 3 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため | 14 災害(震災や水害)対策が充実しているため |
| 4 医療・福祉・介護サービスが充実しているため | 15 治安が良く安心して暮らせるため |
| 5 健康づくり・スポーツに取り組むしやすい環境であるため | 16 区のイメージが良いため |
| 6 文化活動に親しみやすい環境であるため | 17 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため |
| 7 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため | 18 職場・学校が近いため |
| 8 地域活動・ボランティア活動に取り組むしやすい環境であるため | 19 不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため |
| 9 地域コミュニティが親しみやすいため | 20 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため |
| 10 楽しい祭り・イベントがあるため | 21 家族や親戚が近くに住んでいるため |
| 11 にぎわいのある商店街があるため | 22 長年住んでいるため |
| | 23 その他 () |

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

▶問3-2 板橋区外に住むとしたら、どちらをお考えですか。(○は1つ) 回答後、問3-3へお進みください。

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1 東京23区内(板橋区を除く) | 3 埼玉県内 | 5 その他(海外を含む) |
| 2 東京都内の他市町村 | 4 千葉県・神奈川県内 | |

(問3で「2 区外に移り住みたい」と回答した方のみ)

▶ 問3-3 そう思った主な理由は何ですか。(〇は3つ) 回答後、問4へお進みください。

板橋区よりも区外の方が、

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1 子育てしやすい環境であるため | 12 環境を守り資源を大切にしているため |
| 2 子どもの教育環境が充実しているため | 13 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため |
| 3 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため | 14 災害(震災や水害)対策が充実しているため |
| 4 医療・福祉・介護サービスが充実しているため | 15 治安が良く安心して暮らせるため |
| 5 健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため | 16 イメージが良いため |
| 6 文化活動に親しみやすい環境であるため | 17 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため |
| 7 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため | 18 職場・学校が近いため |
| 8 地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため | 19 不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため |
| 9 地域コミュニティが親しみやすいため | 20 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため |
| 10 楽しい祭り・イベントがあるため | 21 家族や親戚が近くに住んでいるため |
| 11 にぎわいのある商店街があるため | 22 その他 () |

問4 あなたは、板橋区での暮らしに「愛着」を感じますか。(〇はそれぞれ1つ)

愛 着	1 感じる	2 まあ感じる	3 あまり感じない	4 感じない
-----	-------	---------	-----------	--------

(問4で「1 感じる」「2 まあ感じる」と回答した方のみ)

▶ 問4-1 「愛着を感じる」理由を5つ選んで下の表に番号を記入してください。回答後、問5へお進みください。

愛着を感じる理由 ⇒					
------------	--	--	--	--	--

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1 子育てしやすい環境であるため | 12 環境を守り資源を大切にしているため |
| 2 子どもの教育環境が充実しているため | 13 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため |
| 3 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため | 14 災害(震災や水害)対策が充実しているため |
| 4 医療・福祉・介護サービスが充実しているため | 15 治安が良く安心して暮らせるため |
| 5 健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため | 16 区のイメージが良いため |
| 6 文化活動に親しみやすい環境であるため | 17 通勤・通学や暮らしに便利な道路・交通網があるため |
| 7 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため | 18 職場・学校が近いため |
| 8 地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため | 19 不動産価格や家賃が手頃で良質な物件があるため |
| 9 地域コミュニティが親しみやすいため | 20 消費生活が便利(買い物の便が良い・物価が安い)なため |
| 10 楽しい祭り・イベントがあるため | 21 家族や親戚が近くに住んでいるため |
| 11 にぎわいのある商店街があるため | 22 長年住んでいるため |
| | 23 その他 () |

問5 あなたは、板橋区での暮らしに「誇り」を感じますか。(○はそれぞれ1つ)

「誇り」を感じるとは

もっと板橋区での暮らしをよくしたい、そのために貢献したいと思ったり、板橋区の暮らしのいいところについて、他者に勧めたいと思ったりすること。

誇り	1 感じる	2 まあ感じる	3 あまり感じない	4 感じない
----	-------	---------	-----------	--------

(問5で「1 感じる」「2 まあ感じる」と回答した方のみ)

▶ 問5-1 「誇りを感じる」理由5つ選んで下の表に番号を記入してください。回答後、問6へお進みください。

誇りを感じる理由 →					
1 子育てしやすい環境であるため	8 地域活動・ボランティア活動に取り組みやすい環境であるため				
2 子どもの教育環境が充実しているため	9 地域コミュニティが親しみやすいため				
3 図書館など生涯学習のための環境が充実しているため	10 楽しい祭り・イベントがあるため				
4 医療・福祉・介護サービスが充実しているため	11 にぎわいのある商店街があるため				
5 健康づくり・スポーツに取り組みやすい環境であるため	12 環境を守り資源を大切にしているため				
6 文化活動に親しみやすい環境であるため	13 緑や公園など自然環境に恵まれている、又はまちなみ景観が美しいため				
7 伝統芸能・歴史・名所等に身近にふれることができるため	14 災害(震災や水害)対策が充実しているため				
	15 治安が良く安心して暮らせるため				
	16 区のイメージが良いため				
	17 その他 ()				

● 未来へつなぐまちづくりに関してお答えください ●

◎板橋区は2022年5月、SDGs（持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals）の達成に向けた取組を積極的に進める自治体として、内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された2030年を年限とする国際目標であり、持続可能な世界を実現するための17の目標（ゴール）から構成され、全ての国の共通目標となっています。日本経済新聞社が編集・発行する「日経グローバル」が実施した「SDGs（持続可能な開発目標）先進度調査」では、板橋区が都内1位になるなど取組が評価されていますが、今後も引き続き、「誰一人取り残さない」社会をつくり、未来へつないでいくため、さらなる努力が必要です。

問6 板橋区人口ビジョンを改定し、区の人口は増加を続けた後、2040年をピークに減少する推計となりました。一方で近年、出生数の減少や子育て世帯の転出超過が続いています。少子化対策や若い世代・子育て世帯の定住化に重要だと思うものはどれですか。（〇は3つ）

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 不妊治療支援や産前産後のケア・相談体制 | 10 質の高い幼稚園・学校・大学等教育機関 |
| 2 孤立を防ぐ地域の子育てコミュニティ構築 | 11 子育て・教育にかかる負担軽減 |
| 3 子育て担い手の多様化と世代間の助け合い | 12 多様な働き方ができる就労・職場環境 |
| 4 在宅子育て家庭への支援 | 13 男性の家事・育児参画と女性の活躍社会 |
| 5 共働きを支援する保育所や放課後対策事業 | 14 子育て世帯向けの住宅支援 |
| 6 子どもの成長に合わせた切れ目のない支援 | 15 妊婦や子連れが利用しやすい施設・外出環境 |
| 7 子育てしやすい公園・遊び場の環境 | 16 妊娠・出産・子育て情報の魅力発信 |
| 8 文化・スポーツなど情操教育の場や機会 | 17 区内外や次世代に誇れるまちづくり |
| 9 多子・障がい等多様な支援ニーズへの対応 | 18 その他（ ） |

問7 2023年にこども基本法が施行され、こども施策の策定等にあたって、こどもの意見の反映に係る措置を講ずることが義務付けられました。区では、2024年にいたばし子どもワークショップを開催するなど、子どもの意見を聴く仕組みについて検討を続けています。どのような方法や手段があれば、子どもは、区に対して意見を伝えやすいと思いますか。（〇は3つ）

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 子どもだけでテーマに沿って意見交換ができるワークショップ | 6 審議会や懇談会への子ども・若者の参加 |
| 2 区職員も交えてテーマに沿って意見交換ができるワークショップ | 7 子どもを対象としたパブリックコメント |
| 3 インターネットやSNS、タブレット端末を用いたアンケート調査 | 8 区の取組に対し、定期的に意見を聴く子どもモニター制度 |
| 4 自由に意見を募る投書箱・WebサイトやSNSの投稿フォーム | 9 子ども自身が自由な発想で考えた政策を募集する子ども政策コンテスト |
| 5 児童館や学校など子どもの居場所に向いて行う出前授業やヒアリング | 10 子どもの視点で地域の課題を発見し、取材する子ども記者や子ども広報 |
| | 11 その他（ ） |

問8 2025年時点で区の高齢者人口（65歳以上）は、超高齢社会の目安となる総人口に占める割合の21%を超えており、2040年には25%（4人に1人）をも超える推計となっています。超高齢社会において重要だと思うものはどれですか。（○は3つ）

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1 定期的な元気力チェック | 9 介護保険制度の充実・適正化 |
| 2 フレイル ^{※1} ・介護予防 | 10 時代に合わせたデジタル活用支援 |
| 3 高齢者就労・生涯現役に向けた支援 | 11 認知症の普及啓発・地域での支え合い |
| 4 高齢者の文化・スポーツ等地域活動支援 | 12 終活サポート |
| 5 世代間交流など地域社会との関係づくり | 13 詐欺等犯罪被害防止及び成年後見等の拡充 |
| 6 高齢者の見守り、閉じこもり・孤独対策 | 14 バリアフリー化・ユニバーサルデザイン ^{※3} |
| 7 地域包括ケアシステム ^{※2} ・相談体制充実 | 15 働き盛りへの健康教育・生活習慣病予防 |
| 8 在宅医療サービス | 16 その他（ ） |

※1：健康な状態と要介護状態の中間で、こころとからだの活力が低下した状態を言う。具体的には、加齢に伴い筋力が衰えて疲れやすくなり、家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般のこと。

※2：要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」が包括的・一体的に提供される体制のこと。

※3：年齢、性別、国籍、個人の能力にかかわらず、一人ひとりの多様性が尊重され、あらゆる場面で社会参加できる環境を整えること。

問9 板橋区では2022年1月に「ゼロカーボンいたばし2050」を表明し、2050年までに温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる「カーボンニュートラル」の実現をめざして、脱炭素に向けた取組を行っています。資源を大切に作る循環共生型社会の実現に向けて重要だと思うものはどれですか。（○は3つ）

- | | |
|------------------------------|---|
| 1 家庭や事業所における省エネの促進 | 11 プラスチックごみ再資源化 |
| 2 再生可能エネルギーの積極的な利用 | 12 区内小中学校への環境教育の充実 |
| 3 太陽光発電など創エネの促進 | 13 環境教育のための学びの機会の提供 |
| 4 公共交通機関・カーシェア等の利用促進 | 14 地域や企業等との協働による環境行動 |
| 5 電気自動車など次世代自動車の利用促進 | 15 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル ^{※2}
(ZEB) 公共施設の整備 |
| 6 自転車、電動小型モビリティの利用促進 | 16 省エネ性能が高い設備を公共施設へ導入 |
| 7 緑や水環境など自然の保全・再生 | 17 高気密・高断熱の公共施設/住宅の推進 |
| 8 生物多様性 ^{※1} の保全・再生 | 18 その他（ ） |
| 9 環境に配慮した企業経営の支援・促進 | |
| 10 ごみの減量、食品ロスの削減 | |

※1：多種多様な生きものと、それらがつながってバランスが保たれている生態系、さらに生物が過去から未来へと伝える遺伝子の個性までを含めた生命の豊かさを生物多様性という。

※2：Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）。略称で、「ZEB（ゼブ）」。

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物のこと。

● 板橋区のブランドの関する取組に関してお答えください ●

◎板橋区は、国全体の人口が減少し、少子高齢社会が進行する中で「選ばれるまち」となるべく、住んでいる人が「誇りに思うまち」、さらに区外の人にも訪れたい「魅力あふれるまち」をめざし、自治体のイメージや知名度、ブランド力を向上させる「ブランド」戦略に力を入れています。

問10 板橋区が取り組んでいる板橋らしさを感じるブランド創造に向けた取組について、あなたが知っているものはどれですか。（○はいくつでも）

1 絵本文化を創造・享受し、魅力を発信する「絵本のまち板橋」の取組	9 乳幼児向け児童館、赤ちゃんの駅、待機児ゼロのあいキッズなど板橋発の子ども政策
2 絵本のイラスト・コンクール入選作品を展示する「ボローニャ国際絵本原画展」	10 学びを通じて成長と幸せを実感できる「教育の板橋」
3 英語とイタリア語の海外絵本を翻訳するコンテスト「いたばし国際絵本翻訳大賞」	11 区を代表する食のブランド「板橋のいっぴん」
4 世界各国の絵本を展示・紹介する「ボローニャ・ブックフェアinいたばし」	12 「光学の板橋」や「いたばし産業見本市」など産業都市のブランド力を高める取組
5 荒川対岸の戸田市と合同で開催する「いたばし花火大会」	13 23区の中でも多い、国内外の自治体等※との都市交流・国際交流事業
6 板橋区の魅力がつまった区内最大のおまつり「板橋区民まつり」	14 区民文化祭やアーティストバンク、郷土芸能・伝統工芸など地域文化活動
7 都市農業に対する理解を深める、野菜宝船などが人気の「板橋農業まつり」	15 「陸軍板橋火薬製造所跡」や「旧粕谷家住宅」などの史跡や文化財
8 荒川河川敷にて行われる世界陸連認証の「板橋Cityマラソン」	16 板橋区にゆかりのあるオリンピックや著名人を登用したスポーツ大使・観光大使制度
	17 その他（ ）

※国内友好都市（金沢市、日光市、大船渡市）、海外友好都市等（カナダ・バーリントン市、中国・北京市石景山区、モンゴル・教育科学省・文化省、マレーシア・ペナン植物園、イタリア・ボローニャ市）

問11 あなたが、板橋区の「ブランド」になりうると考えるものはどれですか。（○は3つ）

1 大規模イベント（花火大会、区民まつり、農業まつり、板橋 City マラソン）	9 23区有数の製品出荷額等を誇り、理研や光学関連企業が集積する「光学の板橋」
2 絵本・江戸狩野派・池袋モンパルナスの展示等を中心とした個性あふれる区立美術館	10 植村冒険館、国史跡陸軍板橋火薬製造所跡など歴史と文化・景観豊かな加賀エリア
3 ボローニャ絵本館を併設し、平和公園内の緑あふれる環境と調和した中央図書館	11 コミュニティ・スクールを全校実施し、学校が家庭・地域と共に歩む「教育の板橋」
4 草屋根が特徴的な板橋こども動物園や赤塚植物園・水車公園など特色ある公園	12 エコポリスセンターや板橋発・緑のカーテンなど環境先進都市「エコポリス板橋」
5 マレーシア・ペナン植物園と友好提携し、熱帯雨林を再現する熱帯環境植物館	13 SDGs先進度調査において都内1位と評価されたSDGs推進に向けた取組
6 東京2020大会を契機に整備したスポーツ施設のエリア・あずさスポーツフィールド	14 共働き子育てしやすい街として都内1位と評価された子育て環境
7 武蔵野台地の崖線や赤塚の森、スポーツ等に親しめる荒川河川敷など緑豊かな自然	15 大規模病院が多く、病床数も23区内随一を誇る豊富な医療機関
8 都内有数のハッピーロード大山商店街・遊座大山商店街などにぎわいのある商店街	16 その他（ ）

問12 板橋区は絵本文化を発信する「絵本のまち板橋」を推進しています。どのような取組であれば参加したいですか。(〇は3つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1 絵本を身近に感じられるイベント | 6 絵本の芸術性・国際性にふれるイベント |
| 2 子育て世帯が楽しめるイベント | 7 印刷・製本関連企業と連携したイベント |
| 3 大学生と協働した取組 | 8 絵本作家・イラストレーターなど創作者と連携した取組 |
| 4 絵本づくりワークショップや講座 | 9 その他 () |
| 5 絵本の読み聞かせなどのボランティア活動 | |

● デジタル化に向けた取組に関してお答えください ●

◎板橋区では、デジタル化により区民サービスの向上や業務の効率化を進め、DX※を推進しています。すでにペーパーレス化の推進やオンライン申請の手続き数の拡大(2020年57手続きから2023年382手続き)など積極的にDXに向けた取組を実施していますが、今後も新しい価値の創出や既存の業務にとらわれない「変革」を起こし、暮らしを豊かにしていくことが必要です。

※DX：デジタルトランスフォーメーション「Digital Transformation」デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活を、あらゆる面でより良い方向に変化させること。

問13 板橋区は行政サービスのデジタル化が進んでいると思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 進んでいる | 3 あまり進んでいない |
| 2 まあ進んでいる | 4 遅れている |

問14 行政サービスのデジタル化を進めていくにあたり重要だと思うものはどれですか。(〇は3つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1 公共施設におけるキャッシュレス決済の推進 | 10 生成AIを活用した行政サービスの向上 |
| 2 公共施設におけるWi-Fi環境の充実 | 11 企業、商店街、町会・自治会等の地域のデジタル化支援 |
| 3 申請・届出等の行政手続きオンライン化の推進 | 12 教育環境のデジタル化推進 |
| 4 マイナンバーカードの普及・活用 | 13 書かない窓口等、行政手続きのペーパーレス推進 |
| 5 WEB・SNS等を活用したサービスの提供 | 14 人流データ等のデジタル技術を活用した都市づくりの推進 |
| 6 だれもが利用しやすいオープンデータの公開 | 15 個人情報漏えいしない万全なセキュリティ対策の実施 |
| 7 オンラインによる会議・講演会等の実施 | 16 その他 () |
| 8 研修・講座・各種イベントのオンライン動画の配信 | |
| 9 スマートフォンやパソコンの操作説明会の実施 | |

問15 板橋区では様々な行政手続き等のオンライン化を進めています。行政手続き等のオンラインサービスを利用するうえで必要だと思うものはどれですか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 オンライン申請できる手続きの充実 | 4 オンラインでの相談・問い合わせ機能 |
| 2 わかりやすい案内と使いやすいウェブサイト | 5 安全で簡便な本人確認方法 |
| 3 入力項目が少ない等簡素化された申請フォームと手続き | 6 複数手続きのワンストップサービス |
| | 7 個人情報保護とセキュリティ対策の強化 |
| | 8 その他 () |

● **区の情報・魅力発信** に関してお答えください ●

問 16 あなたは、区からの情報が十分に伝わっていると思いますか。(○は1つ)

【「1」～「3」を選択された方は問 17 へお進みください。】

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1 伝わっている | 3 どちらともいえない | 5 全く伝わっていない |
| 2 まあ伝わっている | 4 あまり伝わっていない | |

(問16で「4 あまり伝わっていない」「5 全く伝わっていない」と回答した方のみ)

▶ 問16-1 区からの情報が伝わっていないと思う主な理由は何ですか。(○は1つ)

回答後、問17へお進みください。

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 情報を収集する時間がない | 3 情報は収集しているが内容がわからない |
| 2 情報を得る手段がわからない | 4 区政に関心がない |

問 17 あなたは、板橋区に関する情報をどのように得ていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 区ホームページ | 8 いたばしPayアプリのコラム記事 |
| 2 広報いたばし | 9 区内に設置されている掲示板 |
| 3 区公式SNS (LINE、X (旧Twitter)、Facebook、Instagram) | 10 町会・自治会からの回覧板 |
| 4 YouTube板橋区公式チャンネル (魅力発信！いたばしナビなど) | 11 ニュースサイト・アプリ・SNSでの板橋区に関する情報 |
| 5 いたばし暮らしガイド・防災ガイド・ハザードマップ | 12 板橋区内の情報を専門的に発信する地域メディアのサイト・SNSでの情報 |
| 6 区役所内のデジタルサイネージ (モニター)、1階ギャラリーモール等の展示 | 13 新聞、雑誌 (紙) 等での板橋区に関する記事 |
| 7 板橋区公式アプリ (いたばし子育てナビアプリ、板橋区防災+アプリ) | 14 テレビ (地上波・ケーブルテレビ) での板橋区に関する放送 |
| | 15 その他 () |

● **今後力を入れるべき分野**に関してお答えください ●

問18 板橋区が持続的に発展していくために、今後、力を入れるべきだと思う分野を、重要だと思う順に**5つ**選んで**下の表に番号を記入**してください。

1	子育て	13	男女平等・女性活躍推進	25	交通安全（自転車対策等）
2	学校教育	14	多様性理解の推進	26	市街地整備・まちづくり
3	健康づくり・公衆衛生	15	就労支援	27	ユニバーサルデザインの推進
4	生涯学習・社会教育	16	消費生活トラブル防止	28	緑・公園・景観
5	食育	17	コミュニティ・協働	29	環境・清掃・リサイクル
6	スポーツ振興	18	商業・工業振興	30	道路・交通
7	住宅施策	19	都市農業振興	31	情報公開・区民参加
8	高齢者社会参加・介護予防	20	観光振興	32	ブランド創造・魅力発信
9	介護・高齢福祉・見守り	21	文化・芸術振興	33	DX（デジタルトランスフォーメーション）
10	障がい者福祉	22	国際交流・多文化共生	34	行財政改革
11	生活保護・生活困窮者支援	23	防災		
12	孤立・孤独対策、ひきこもり支援	24	防犯		

順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位

● 区の各政策分野のことに関してお答えください ●

問19 板橋区は子育て世帯にとって、子育てしやすいまちですか（子育て世帯ではない方は、子育てしやすいまちだと思いますか）。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

問20 あなたが、必要と感じる子育て施策はどれですか。（○は3つ）

1 悩みを相談する場が身近にあること	9 子育ての悩みを持つ保護者同士の交流
2 自宅で子育てしている家庭への支援	10 障がいなどの特に配慮が必要な子どもへの支援
3 生活に困窮する子育て家庭への支援	11 子育てに関する情報提供の充実
4 保育サービスの充実	12 子育てに関するオンライン手続きの充実
5 子育て家庭への経済的支援	13 子どもの意見を反映する方法があること
6 児童虐待の予防・発見・対応	14 その他（ ）
7 妊娠・出産支援	15 特にない
8 子どもが安心して遊べる場があること	

問21 あなたは、子どもたちのたくましく生きる力（学力・心・体）が学校・家庭・地域における教育を通して、はぐくまれていると感じますか。（○は1つ）

1 感じる	3 どちらともいえない	5 感じない
2 まあ感じる	4 あまり感じない	6 わからない

問22 あなたは直近1年間でどのようなことを積極的に学びましたか。（○はいくつでも）

1 仕事に必要な知識・技能や資格に関すること	7 料理や裁縫などの家庭生活に関すること
2 インターネットの知識・技能に関すること	8 育児や教育に関すること
3 ボランティア活動に必要な知識・技能に関すること	9 音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関すること
4 自然体験や生活体験などの体験活動に関すること	10 文学や歴史、語学などの教養に関すること
5 人口減少や地球温暖化などの社会問題に関すること	11 福祉に関すること
6 健康やスポーツに関すること	12 NISAや資産運用などの金融に関すること
	13 その他（ ）
	14 特に積極的には学んでいない

問23 あなたは今後、どのようなことを積極的に学びたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1 仕事に必要な知識・技能や資格に関する事 | 7 料理や裁縫などの家庭生活に関する事 |
| 2 インターネットの知識・技能に関する事 | 8 育児や教育に関する事 |
| 3 ボランティア活動に必要な知識・技能に関する事 | 9 音楽や美術、レクリエーション活動などの趣味に関する事 |
| 4 自然体験や生活体験などの体験活動に関する事 | 10 文学や歴史、語学などの教養に関する事 |
| 5 人口減少や地球温暖化などの社会問題に関する事 | 11 福祉に関する事 |
| 6 健康やスポーツに関する事 | 12 NISAや資産運用などの金融に関する事 |
| | 13 その他 () |
| | 14 特に学びたいと思わない |

問24 あなたは、1か月に何冊くらい本を読んでいますか(電子書籍を含みますが、雑誌や漫画は除きます)。() 内に数値を記入してください

1 か月あたり () 冊 【記載例】 1 か月あたり (1) 冊

問25 あなたは、近所や地域の人を支援したり、支援されたりしたことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1 支援したことがあり、支援されたこともある | 3 支援はしていないが、支援されたことはある |
| 2 支援したことはあるが、支援されたことはない | 4 支援したこともなく、支援されたこともない |

問26 あなたが、地域住民同士の支え合い活動の中で、できるものはありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 身近な話し相手になること | 6 地域での防災・防犯の活動支援 |
| 2 高齢・障がい者・子どもなどの見守り活動 | 7 地域の担い手になるための養成講座への参加 |
| 3 ごみ出しなどの家事援助 | 8 その他 () |
| 4 区役所などの相談先につなぐ仲介役 | 9 できるものはない |
| 5 子ども食堂など地域の居場所活動への参加 | |

問27 あなたが、健康のために普段から行っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 健康診断や人間ドックを受診している | 8 歯や口腔のケアに気をつけている |
| 2 徒歩圏内であれば、なるべく歩くようにしている | 9 お酒の飲みすぎに注意している |
| 3 自転車を利用するようにしている | 10 睡眠を十分とるようにしている |
| 4 適度な運動をしている | 11 自分なりのリフレッシュ方法を実践している |
| 5 栄養バランスに気をつけて食事をしている | 12 健康に関するアプリを利用している |
| 6 規則正しく食事をするようにしている | 13 その他 () |
| 7 たばこを吸わないようにしている | 14 特に行っていない |

問28 あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツを行っていますか(ハイキング・軽い体操・ウォーキングなども含む)。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1 週に3回以上 | 3 月に1回～2回程度 | 5 半年に1回程度 |
| 2 週に1回～2回程度 | 4 3か月に1回程度 | 6 行っていない |

問 29 あなたが、過去1年の間に鑑賞した（オンライン・動画配信等含む）、あるいは実際に体験活動した文化芸術は何ですか。（○はいくつでも）

1 音楽	7 茶道・華道・書道などの生活文化
2 演劇・舞踏・舞踊	8 囲碁・将棋などの国民娯楽
3 美術・写真	9 有形・無形文化財
4 映画・アニメーションなどのメディア芸術	10 その他（ ）
5 歌舞伎・雅楽などの伝統芸能	11 1年間全くふれていない
6 落語・漫談・歌唱などの芸能	

問 30 あなたは、過去1年の間に、異なる国籍や文化をもつ方とコミュニケーション（あいさつや世間話、道案内等）をとりましたか。（○はいくつでも）

1 あいさつをした	6 仕事で関わりがあった
2 世間話をした	7 学校で交流した
3 道案内をした	8 ボランティア活動を通して交流した
4 事業・イベント等で交流した	9 その他（ ）
5 親族又は友人とコミュニケーションがあった	10 コミュニケーションは全くなかった

問 31 板橋区は平和都市宣言をしています。あなたは、平和の尊さや戦争の悲惨さを語り継ぐことについて、どう思いますか。（○は1つ）

1 大切だと思う	4それほど大切だと思わない
2 まあ大切だと思う	5 大切だと思わない
3 どちらともいえない	

問 32 いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつりの満足度について、該当するものをそれぞれ1つ選び、下の表に番号を記入してください。（あなたが、今までに参加したものについてご回答ください。）

1 満足	3 どちらともいえない	5 不満
2 まあ満足	4 やや不満	6 参加したことがない
いたばし花火大会	板橋区民まつり	板橋農業まつり

問 33 あなたは、区内の身近な商店街についてどのような印象を持っていますか。（○は1つ）

1 にぎやかで活気がある	3 個性的な店が多い	5 人通りが少ない
2 身近で便利である	4 空き店舗が多い	6 その他（ ）

問 34 区内の「自然環境」や「公園・緑地」に関する満足度について、それぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	満足	まあ満足	いどちらとも	やや不満	不満	わからない
(1) 緑地が保全され潤いのある自然環境が量的に整っている	1	2	3	4	5	6
(2) 緑地が保全され潤いのある自然環境が質的に整っている	1	2	3	4	5	6
(3) 憩える公園・緑地が量的に整備されている	1	2	3	4	5	6
(4) 憩える公園・緑地が質的に整備されている	1	2	3	4	5	6

問 35 環境のためのご自身での取組について、「現在取り組んでいること」・「今後取り組んでみたいこと（現在も取り組んでいて継続して取り組みたいことを含む）」をそれぞれ下の表から選んでください。（○はいくつでも）

	現在	今後
1 環境に配慮した行動（省エネなど）の実施		
2 省エネ家電（エアコン、冷蔵庫、LEDなど）の切り替え導入		
3 創エネ設備（太陽光発電など）の導入		
4 再生可能エネルギー100%電力の切り替え導入		
5 電気自動車、電動バイクの利用		
6 カーシェアリング（電動バイク含む）の利用		
7 シェアサイクル（自転車、電動キックボード等の電動小型モビリティ）の利用		
8 緑のカーテンの育成		
9 生き物（動植物）を大切にする活動の実施		
10 環境に関するイベントや講座等への参加		
11 食品ロスを減らす行動（買いすぎない、作りすぎない、家庭菜園による地産地消など）の実施		
12 使い捨てプラスチックの削減		
13 日常的なマイボトルの利用		
14 気候変動の影響に適応する行動（熱中症予防、災害の備え等）		
15 建築物/住宅の高性能及び省エネ化（高気密・高断熱など）		
16 その他（ ）		

問 36 あなたは、災害情報を収集するために、どんな手段を確保していますか。（○はいくつでも）

1 防災行政無線	7 東京都防災アプリ
2 板橋区防災・緊急情報メール配信サービス	8 テレビ放送
3 板橋区防災＋アプリ	9 ラジオ放送
4 板橋区防災・防犯情報X（旧Twitter）	10 インターネット（ホームページ等）
5 板橋区LINE公式アカウント	11 その他（ ）
6 その他防災関連アプリ（他企業）	12 特にない

問37 あなたは、災害時に備えて、家庭内でどのような対策を行っていますか。（○はいくつでも）

【「1 飲料水・非常用食糧の備蓄」を選択しなかった方は問38へお進みください。】

1 飲料水・非常用食糧の備蓄	7 家具の転倒、物の落下や移動の防止
2 生活用品（衣類や洗面用具など）、医薬品（常備薬など）の準備	8 簡易トイレの準備
3 消火器・消火用水の常備と点検	9 家族内での連絡方法の確認
4 一時集合場所、避難道路、最寄りの避難所（区立小中学校等）、避難場所の確認	10 近隣住民との関係づくり
5 ハザードマップの確認	11 感震ブレーカーや家具転倒防止器具備蓄品等の定期的な点検を行っている
6 感震ブレーカーの設置	12 その他（ ）
	13 特にない

(問 37 で「1 飲料水・非常用食糧の備蓄」を選んだ方のみ)

- ▶ 問 37-1 およそ何日分の備蓄をしていますか。記載例を参考に()内に数値を記入してください(例:飲料水は一人1日3ℓが目安)。回答後、問 38 へお進みください。

() 日分	【記載例】(3) 日分
--------	---------------

問 38 あなたは、お住まいの地域の治安が保たれていると感じますか。(○は1つ)

1 感じる	3 どちらともいえない	5 感じない
2 まあ感じる	4 あまり感じない	

問 39 あなたは、「ユニバーサルデザイン」についてどの程度知っていますか。(○は1つ)
【「3」、「4」を選択された方は問 40 へお進みください。】

1 具体的な事例まで知っている	3 言葉だけは聞いたことがあった
2 言葉の意味は知っている	4 知らなかった(今回初めて聞いた)

(問 39 で「1 具体的な事例まで知っている」「2 言葉の意味は知っている」と回答した方のみ)

- ▶ 問 39-1 板橋区では、ユニバーサルデザインを推進しています。あなたは、区の実践が進んでいると思いますか。(○は1つ) 回答後、問 40 へお進みください。

1 思う	3 どちらともいえない	5 思わない
2 まあ思う	4 あまり思わない	6 わからない

問 40 あなたは、板橋区内において電車やバスが利用しやすいと感じますか。(○は1つ)

1 感じる	3 どちらともいえない	5 感じない
2 まあ感じる	4 あまり感じない	

問 41 板橋区は“ひと、もの、まち”のバランスがとれた景観づくりに取り組んでいます。あなたは、建築物等(建物の色や形、屋外広告物、公園や緑地など)が区のまちなみと調和して美しいと感じますか。(○は1つ)

1 感じる	3 どちらともいえない	5 感じない
2 まあ感じる	4 あまり感じない	

問 42 自転車に乗って出かけたいまちの実現に向けて何が不足していると思いますか。(○はいくつでも)

1 自転車が安全に走れる環境の整備	5 自転車を楽しく健康的に利用できる機会の創出
2 自転車駐車場(駐輪場)の整備	6 自転車安全運転のルール・マナーの徹底
3 シェアサイクルの利用環境の向上	7 その他()
4 自転車と同等の役割を持つ次世代型モビリティ(電動キックボード等)の利用推進	8 特になし

● 今後の行政サービスと負担のあり方についてお答えください ●

◎少子高齢社会のさらなる進展に伴い、税や社会保険料を負担する人が減少するとともに区の職員など行政サービスの担い手も減少していくことが課題となっています。また、社会保障や公共施設の改築・改修にかかる経費増が予想されており、将来を見据えた区政運営が求められています。

問43 今後の行政サービスの水準と費用負担の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。
(○は1つ)

- | | |
|---|--|
| 1 | 行政サービスを維持・充実するためには、区民全体の負担が増えてもやむを得ない |
| 2 | 行政サービスを維持・充実するためには、そのサービスを直接受けている利用者の負担を増やすことが望ましく、区民全体の負担を増やすべきではない |
| 3 | 区民の負担が増えるのであれば、行政サービスを維持できなくてもやむを得ない |
| 4 | その他 () |

問44 板橋区は定型業務・窓口業務の委託化や指定管理者制度の導入など、民間事業者等の活用を進めてきました。これからも区が安定して行政サービスを提供していくために、あなたが重要だと思うものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 | 区民や地域団体、民間事業者など、多様な主体と積極的に協力することで、幅広い行政需要に対応していく |
| 2 | AIの活用など、DXによる事務の効率化を進め、より効果的な事業実施手法への転換を図ることで区民サービスの維持・向上につなげ、創出された職員の力を効果的に活用する |
| 3 | 類似事業の整理や業務手順の効率化など、区民目線から業務の見直しを行うとともに、民間活用を積極的に進め、職員がコア業務に注力できる体制を構築することで、区民サービスの向上につなげる |
| 4 | 優秀な人材確保のため、職員の人材育成や能力開発を行うとともに、短時間勤務やテレワーク等、柔軟で多様な働き方を推進するなど、誰もが働きやすい就業環境を整備する |
| 5 | その他 () |

問45 板橋区の公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後、多額の更新費用を要することが見込まれます。今後の公共施設のあり方について、あなたが重要だと思うものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 | 公共施設は、人口規模や利用状況などに応じて統廃合等により縮減していくことはやむを得ない |
| 2 | 公共施設は、行政ニーズの変化や多様化に応じて他の施設へ転用したり、貸付や売却などにより有効活用したりすることが望ましい |
| 3 | 公共施設は、今後も現状の数や規模を維持することが望ましい |
| 4 | その他 () |

● **社会活動・地域活動等**に関してお答えください ●

問46 あなたは、現在、地域で活動する団体やサークルに加入していますか。加入状況について該当するものをそれぞれ選び、番号に○印をつけてください。また、「**2 加入していない**」と回答した方はその主な理由を**3つ**選び、下の表に番号を記入してください。

町会・自治会※ ¹				NPO※ ² 団体				趣味・スポーツ等のサークル			
1 加入している				1 加入している				1 加入している			
2 加入していない (理由)				2 加入していない (理由)				2 加入していない (理由)			
1 加入したい団体があることを知らないため				8 活動のための知識や技術がないため							
2 加入方法がわからないため				9 一緒に活動する仲間がいないため							
3 加入のための手続き等が面倒なため				10 加入の必要性を感じていないため							
4 加入するきっかけがないため				11 そもそも団体の活動に関心がないため							
5 加入しても活動のペースが合わないため				12 人づきあいをわずらわしく感じるため							
6 忙しくて暇がないため				13 感染症等による感染リスクを避けたいため							
7 金銭的な負担を避けたいため				14 その他 ()							

※1 町会・自治会：同じ地域に住む人たちが、防犯・防災・青少年健全育成・環境美化・地域住民の親睦など、地域コミュニティを活性化し、住みよいまちにしていこうための様々なボランティア活動をしている。

※2 NPO：Non-Profit Organization の略。継続的に社会貢献活動を行う非営利団体（ボランティア団体、市民活動団体、NPO 法人）のこと。

問47 あなたは、地域の活動をより活発にするためには何が必要だと思いますか。（○は3つ）

1 活動情報の積極的なPR	6 住民一人ひとりが地域への関心を高められるようにすること
2 若い世代への参加の呼びかけ	7 近所の人とのつながりを持てるようにすること
3 気軽に参加しやすいイベントの開催	8 リーダー養成や組織づくりの勉強会
4 イベントなどの企画段階からの参加のしやすさ	9 その他 ()
5 地域の課題を話し合える場	

● **板橋区職員に期待する能力・資質**に関してお答えください ●

問48 あなたは過去1年間で、区役所の窓口（電話含む）を利用したり、地域活動やイベント等で職員と接したりする機会がありましたか。（○は1つ）

1 接する機会があった

2 接する機会がなかった ⇒問49へ

（問48で「1 接する機会があった」と回答した方のみ）

▶ 問48-1 その際に接した職員の対応に関する満足度についてお答えください。（○は1つ）

回答後、問48-2へお進みください。

1 満足

3 どちらでもない

5 不満

2 まあ満足

4 やや不満

(問48で「1 接する機会があった」と回答した方のみ)

▶ 問48ー2 板橋区職員の能力・資質について、現在の状況をどのように思いますか。それぞれ1
つずつ選び、番号に○印をつけてください。回答後、問49へお進みください。

	そう 思う	そう まあ 思う	い ど ち ら も え な い	あ ま り な い そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
(1) 自分の行動・発言に責任を持っている	1	2	3	4	5	6
(2) もてなしの心を持ち、柔軟な対応ができている	1	2	3	4	5	6
(3) 高い倫理観を持ち、法令を遵守している	1	2	3	4	5	6
(4) 誰に対しても公平・誠実な態度で接している	1	2	3	4	5	6
(5) 積極的に職務に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
(6) 事務処理に関して迅速な対応ができている	1	2	3	4	5	6
(7) 職務に関する十分な知識を持っている	1	2	3	4	5	6
(8) わかりやすく説明ができている	1	2	3	4	5	6

問49 あなたが特に求める板橋区職員の姿はどのようなものですか。(○は3つ)

1 自分の行動・発言に責任を持っている職員	5 積極的に職務に取り組む職員
2 もてなしの心を持ち、区民の立場に立って柔軟な対応ができる職員	6 事務処理に関して迅速な対応ができる職員
3 高い倫理観を持ち、法令を遵守する職員	7 職務に関する十分な知識を持ち、区の課題を解決する職員
4 誰に対しても公平・誠実な態度で接する職員	8 わかりやすく説明ができる職員

● その他区政全般に関してご意見がございましたらご自由にお書きください ●

<自由意見欄>

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒(切手不要)に入れ、5月16日(金)までに郵便ポストに投函してください。(インターネットを利用して回答する場合、調査票の返送は不要です。)

お住まいの地域について

No.	地域名	町丁名	
1	板橋地域	板橋 1～4丁目 稲荷台 大山金井町 大山町 大山西町 大山東町 加賀 1～2丁目 熊野町 幸町 栄町 中板橋	仲宿 仲町 中丸町 氷川町 双葉町 富士見町 本町 南町 大和町 弥生町
2	常盤台地域	大谷口 1～2丁目 大谷口上町 大谷口北町 上板橋 1～3丁目 小茂根 1～5丁目 桜川 1～3丁目	東新町 1～2丁目 常盤台 1～4丁目 東山町 南常盤台 1～2丁目 向原 1～3丁目
3	志村地域	小豆沢 1～4丁目 泉町 大原町 <u>坂下 1丁目（高島平地域を除く。）</u> 清水町 志村 1～3丁目 中台 1～3丁目 西台 1丁目	<u>西台 2丁目（赤塚地域を除く。）</u> <u>西台 3丁目（赤塚地域を除く。）</u> 西台 4丁目 蓮沼町 東坂下 1丁目 前野町 1～6丁目 宮本町 若木 1～3丁目
4	赤塚地域	赤塚 1～8丁目 赤塚新町 1～3丁目 大門 徳丸 1～8丁目 成増 1～5丁目	<u>西台 2丁目30番5号～16号</u> <u>西台 2丁目31～40番</u> <u>西台 3丁目47番</u> <u>西台 3丁目55～57番</u> 三園 1丁目 四葉 1～2丁目
5	高島平地域	相生町 <u>坂下 1丁目27番</u> <u>坂下 1丁目29～41番</u> 坂下 2～3丁目 新河岸 1～3丁目	高島平 1～9丁目 蓮根 1～3丁目 東坂下 2丁目 舟渡 1～4丁目 三園 2丁目

【注意】

坂下1丁目、西台2丁目、西台3丁目にお住まいの方は、番地等によって地区が異なりますのでお気を付けください。

板橋区基本構想・板橋区基本計画 2025 について

1 板橋区基本構想（以下、「基本構想」）

板橋区では、平成 27（2015）年 10 月に区議会の議決を経て基本構想を改定しました。

基本構想とは、将来の板橋区の望ましいまちの姿を示すものであり、区政の長期的指針として、区はもとより区民一人ひとりや地域の様々な団体、関係機関など区内のあらゆる主体が共有するものです。

現在の基本構想は、平成 28（2016）年度から概ね 10 年後を想定して、板橋区全体の将来像（「あるべき姿」）を「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と定め、さらに将来像を政策分野別に具現化した「9つのまちづくりビジョン」を掲げています。

【板橋区基本構想の概要】



2 板橋区基本計画 2025（以下、「基本計画」）

（1）基本計画とは

基本計画は、基本構想を実現するための区政全般の総合的な計画であり、本計画を推進する短期的なアクションプログラムとして策定された「いたばしNo.1 実現プラン 2025 改訂版」や各政策分野における個別計画の基幹となる計画です。計画期間は、平成 28（2016）年度から令和 7（2025）年度までの 10 か年です。

基本計画の体系図

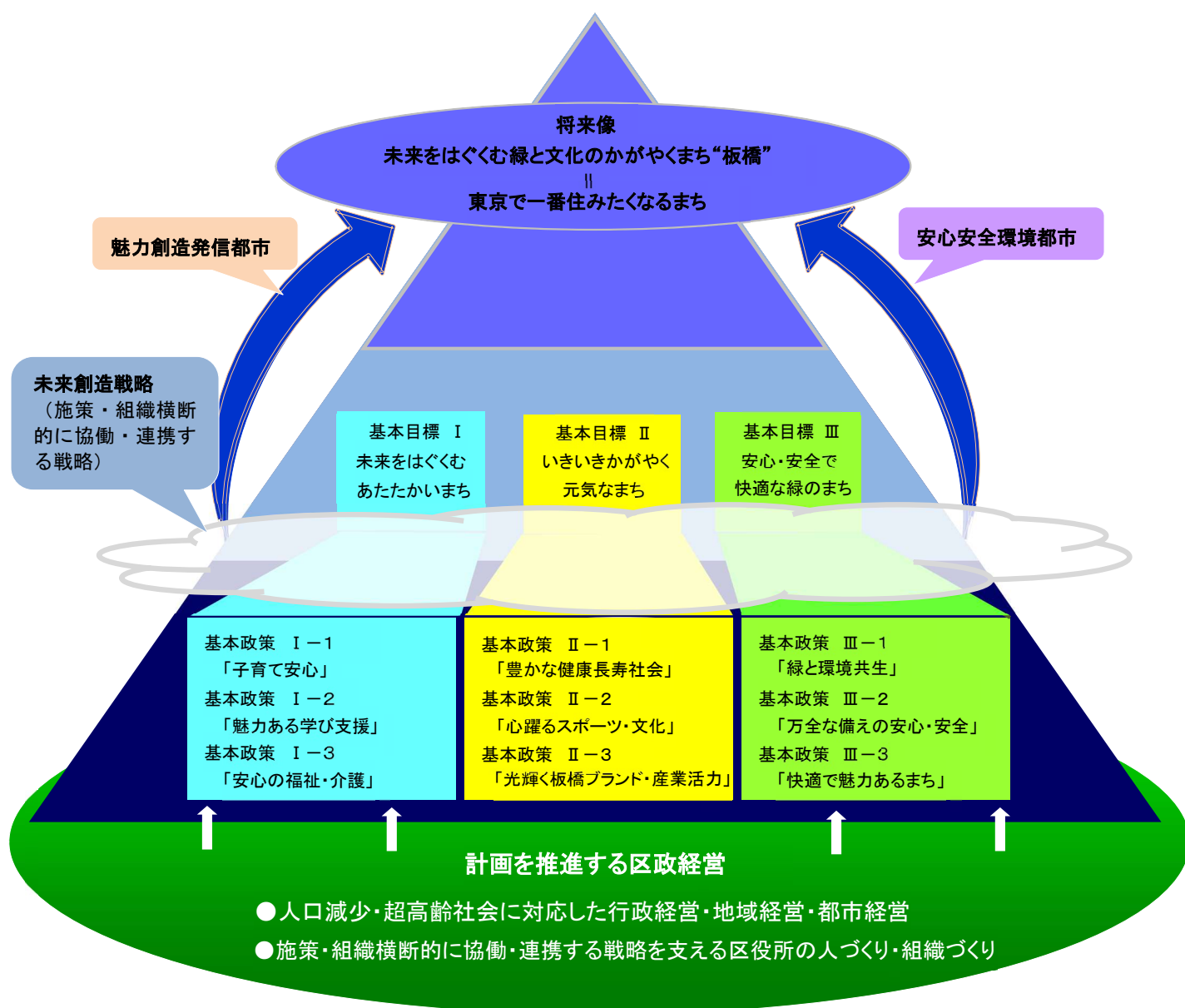


（２）基本計画の施策体系

基本構想で定める３つの基本理念（「あたたかい気持ちで支えあう」「元気なまちをみんなでつくる」「みどり豊かな環境を未来へつなぐ」）に基づき、区の将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」と政策分野別の「あるべき姿」である「９つのまちづくりビジョン」を実現するため、「３つの基本目標」と「９つの基本政策」を柱とした施策を体系化しています。

さらに、区政の持続的な発展を可能とするため、施策・組織横断的に協働・連携し、限られた資源を集中的に投入する**未来創造戦略**を立て、選ばれるまちとしての魅力を創造・発信するまち「魅力創造発信都市」と、安心・安全な環境が整い住み続けたいくなるまち「安心安全環境都市」といった２つの都市像を指向しながら、基本構想に掲げる区の将来像である「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」を実現し、「東京で一番住みたくなるまち」として評価されるまちをめざしています。

【基本計画の施策体系構成】



令和 7 年度板橋区区民意識意向調査報告書

企画・実施 板橋区政策経営部政策企画課

〒173-8501 板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

TEL 03-3579-2011 FAX 03-3579-4211

sk-schousei@city.itabashi.tokyo.jp

集計・分析 株式会社都市計画 2 1

〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町 1-6-10

ユニコム人形町ビル 6 階

TEL 03-5623-6371 FAX 03-5623-6672

令和 7 年 9 月発行

刊行物番号 R07-53

